



CARDNET接続条件書 (ダイレクト接続編)

第5.3版

株式会社日本カードネットワーク

2021年9月

(1/23)

©JAPAN CARD NETWORK Co., Ltd.2021 H3-3-2 (5.3)

修正履歴

(2/23)

変更章	変更内容	変更日
4. 1. 3	接続先センターの要求受信制御仕様を変更: 開局以外のキー交換、カットオーバー、オンライン精査 " - " → " △ "	1997年8月
4. 1. 3	接続先センターのステータス制御について曖昧な記述を削除: 注釈	
7. 3. 4	基本機能試験時の平文におけるチェックディジット設定基準を補足	
7. 7	基本機能試験時の平文における入力暗証番号設定基準を補足	
8. 3. 16	サブフィールドの属性表記を補足	
8. 3. 24	サブフィールドの属性表記を補足	
8. 3. 25	会員番号(BIT2)の設定について誤字を修正: " 11桁~16桁 " → " 11桁~26桁 "	
8. 3. 26	サブフィールドの属性表記を補足	
8. 3. 30	サブフィールドの属性表記を補足	
8. 3. 31	サブフィールドの属性表記を補足	
8. 3. 33	サブフィールドのデフォルト設定内容を補足	1997年10月
2. 3. 1	CAUSE、DIAGデフォルト値の記述を修正	
3. 5	表記方法 " MS " の記述を補足: 元取引要求の値を保証	
4. 1. 2	開閉局主体の記述を変更: カードネット主体→接続先主体	
6. 3. 5	カウンター計上方法の記述を変更: 無効カード照会にアドバイス系を追加	
8. 1. 5	加盟店会社コード設定条件の記述を変更: マニュアル入力時は加盟店センターで判定した会社コードを設定	
8. 3. 34	支払方法について繰り返し項目の記述を補足	
8. 3. 34	支払区分 " 69 " についてカードネットセンターの変換仕様を追加: 被仕向センターへの電文中継時は " 61 " に変換する	
9. 5. 2	カードネットセンターが設定する国内レスポンスコードのコード一覧を変更	1997年11月
3. 1. 4	カードネットセンターが設定する障害取消の加盟店会社コード(BIT32)の設定条件を補足	
8. 3. 17	カードネットセンターが設定する障害取消の加盟店会社コード(BIT32)の設定条件を補足	

修正履歴

(3/23)

変更章	変更内容	変更日
8. 3. 34	支払方法について項目単位の設定条件を補足	1997年12月
第1. 1版→第2. 0版へ改定 ・CCT接続に関する説明を追加		
全文	CARDNET手順をCN手順に変更	1998年3月
1. 1	CCT接続の説明追加	
1. 1. 1	JET-S手順図を追加	
1. 1. 2	CCT接続サービス概要を追加	
1. 1. 3	構成図の簡略化と統合におけるCCT接続対応	
1. 3	JET-S手順概要を追加	
1. 3. 1	JET-S手順における業務概要を追加	
3. 1. 1	差出センターIDにCCT接続を追加	
5. 1. 1	CCT接続の説明追加	
5. 1. 2	CCT接続の説明追加、サイクル通番説明追加	
5. 4. 1	CCT接続の説明追加	
5. 4. 3	CCT接続の説明追加	
8. 1. 3	CCT接続の説明追加	
8. 2. 5	CCT接続と他ネットワーク経由の追加によるコード値の追加	
8. 3. 6	CCT接続の説明追加	
8. 3. 7	CCT接続の説明追加	
8. 3. 11	CCT接続の説明追加と表現変更	
8. 3. 17	CCT接続の説明追加	
8. 3. 22	CCT接続の説明追加	
8. 3. 34	端末識別番号のCCT接続追加、支払区分の補記追加	

修正履歴

(4/23)

変更章	変更内容	変更日
9. 3	ダミー加盟店識別番号の変更、CCT接続説明追加	1998年3月
6. 1	CCT接続の説明追加	1998年4月
8. 3. 23	CCT接続の説明追加	
8. 3. 24	CCT接続の説明追加	
1. 1. 2	・オーソリデータスイッチングの内容変更 ・補足説明の修正	1998年6月
1. 1. 5	CCTからの要求電文に使用するセンターIDを追加	
8. 1. 3	CCT接続の説明追加	
8. 3. 10	補足説明追加	
8. 3. 24	CCT接続の加盟店名、所在都市名の修正	
図8-5-5	各項目に* 追加 “注: ~”を追加	
図8-5-7	各項目に* 追加 “注: ~”を追加	
図8-5-10	各項目に* 追加 “注: ~”を追加	
図8-5-11	各項目に* 追加 “注: ~”を追加	
図8-5-13	各項目に* 追加 “注: ~”を追加	
はじめに	本書の位置づけ、CARDNETダイレクト接続概要書を追加	1998年7月
表3-6-1	BIT22 POSデータコードの属性変更 n12 → an12	
表3-6-2	BIT22 POSデータコードの属性変更 n12 → an12	
表3-6-3	BIT22 POSデータコードの属性変更 n12 → an12	
表3-6-4	BIT22 POSデータコードの属性変更 n12 → an12	
表3-6-5	BIT22 POSデータコードの属性変更 n12 → an12	
表3-6-6	BIT22 POSデータコードの属性変更 n12 → an12	

修正履歴

(5/23)

変更章	変更内容	変更日
5. 4. 1	図5－9、図5－10にCCT時の説明を追加	1998年7月
7. 4	旧キーの管理方法変更 5分→2世代	
8. 1. 3	CCT接続時の規定内容の変更	
8. 3. 10	規定内容の一部削除	
8. 3. 10	表8－5、補足説明のコード値の表記を4桁へ変更	
8. 3. 11	POSデータコードのコード値説明を変更	
8. 3. 17	CCT接続時の規定内容の一部削除	
8. 3. 24	表8－11 CCT接続の説明を追加	
8. 3. 24	図8－5－5 注:)に他の項目説明を追加	
8. 3. 24	図8－5－10 注:)に他の項目説明を追加	
8. 3. 24	図8－5－10 注:)の説明に補記	
第2. 0版→第3. 0版へ改定 ・CARDNETセンター機能拡張に伴い、本書を改定		
はじめに	全面修正	1999年3月
本書の位置づけ	全面修正(オンライン端末接続サービス関連仕様書の統廃合により、仕様書体系変更) 「参考文献一覧」のページを削除	
全文	CCT→ " オンライン端末 " に変更	
全文	カードネットセンター→ " CARDNETセンター " に変更	
全文	スイッチング→ " 中継 " に変更	
1.	CN手順→ " CARDNET手順(以降CN手順と示す) " に変更	
1. 1. 1	オンライン端末との接続には、JET-S手順を使用する旨の記述を追加	
表1－1	" 売上電文中継 " において、カード会社センターへCAFIS経由にて中継する場合には、CARDNETセンターが売上データキャプチャリングを行う旨の記述を追加	
1. 1. 3	項目名を " システム構成 " → " 接続回線 " に変更	

修正履歴

(6/23)

変更章	変更内容	変更日
図1-2	CARDNETセンター内部の構成図を簡略化	1999年3月
旧1. 1. 4	センター運用時間の項を削除(事務取扱要綱に記述)	
表1-2	特徴から " ネットワーク信頼性の確保 " の項目を削除	
表1-6	・ " 電文種別 " → " 電文種別コード " に変更するとともに、記述内容を " MTI " → " 電文種別コード " に変更 ・ " 注: 電文種別コードの詳細は、～ " の記述を追加	
表2-7	・ " データ通信速度 " の内容から " (48Kbps) の記述を削除 ・注3の記述内容を変更	
表2-9	UIコマンドの記述を削除	
表2-12	LCGN/LCNの記述内容を変更	
表3-1	全体電文長の説明に " 暗号化後の～ " の記述を追加	
表3-2	BODY部電文長の説明に " 暗号化前の～ " の記述を追加	
3. 2	業務の表現方法に " 電文種別コード " を追加	
表3-7	電文種別コードの記述を追加	
図3-4	有効範囲を「 " ァ " ～ " ッ " 」から「 " SP " ～ " ッ " 」まで拡張	
表4-4-1	・ " ステータス " → " CARDNETセンターが認識している接続先センターのステータス " に変更 ・ " イベント " → " CARDNETセンターが送信する電文 " に変更 ・凡例: O: " 正常処理 " → " 送信する場合あり " に変更 ー: " 処理なし " → " 送信しない " に変更 " △: 仕向センターへ拒否応答 " を削除し注2の記述を追加	
表4-4-2	・ " ステータス " → " CARDNETセンターが認識している接続先センターのステータス " に変更 ・ " イベント " → " CARDNETセンターが受信する電文 " に変更 ・凡例: O: " 正常処理 " → " 正常受信 " に変更	
表4-4-3	・ " ステータス " → " CARDNETセンターが認識している仕向センターのステータス " に変更 ・ " イベント " → " CARDNETセンターが送信する電文 " に変更 ・凡例: O: " 正常処理 " → " 送信する場合あり " に変更 " ×: 電文破棄 " → " ー: 送信しない " に変更し、注1および注2の記述を追加	

修正履歴

(7/23)

変更章	変更内容	変更日
表4-4-4	<ul style="list-style-type: none"> ・ "ステータス" → "CARDNETセンターが認識している接続先センターのステータス" に変更 ・ "イベント" → "CARDNETセンターが受信する電文" に変更 ・ 凡例: ○: "正常処理" → "正常受信" に変更 	1999年3月
図4-10	<ul style="list-style-type: none"> ・ ③応答電文送信時を削除 ・ ④応答電文受信時を③に変更 	
表4-5-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ "ステータス" → "仕向センターのステータス" に変更 ・ "イベント" → "仕向センターが送信する電文" に変更 ・ エコーテストを "○" → "(○)" に変更 ・ 凡例: ○、(○): "正常処理" → "送信可能" に変更 ・ -: "処理なし" → "送信不可" に変更 	
表4-5-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ "ステータス" → "仕向センターのステータス" に変更 ・ "イベント" → "仕向センターが受信する電文" に変更 ・ 凡例: ○、(○): "正常処理" → "正常受信" に変更 ・ -: "処理なし" → "送信不可" に変更 	
表4-5-3	<ul style="list-style-type: none"> ・ "ステータス" → "仕向センターのステータス" に変更 ・ "イベント" → "仕向センターが受信する電文" に変更 ・ エコーテストを "○" → "(○)" に変更 ・ 凡例: ○、(○): "正常処理" → "正常受信" に変更 	
表4-6-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ "ステータス" → "被仕向センターのステータス" に変更 ・ "イベント" → "被仕向センターが送信する電文" に変更 ・ エコーテストを "○" → "(○)" に変更 ・ 凡例: ○、(○): "正常処理" → "送信可能" に変更 ・ -: "処理なし" → "送信不可" に変更 	
表4-6-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ "ステータス" → "被仕向センターのステータス" に変更 ・ "イベント" → "被仕向センターが受信する電文" に変更 ・ 凡例: ○、(○): "正常処理" → "正常受信" に変更 	
表4-6-3	<ul style="list-style-type: none"> ・ "ステータス" → "被仕向センターのステータス" に変更 ・ "イベント" → "被仕向センターが送信する電文" に変更 ・ 凡例: ○: "正常処理" → "送信可能" に変更 ・ "×: 電文破棄" → "-: 送信不可" に変更 	
表4-6-4	<ul style="list-style-type: none"> ・ "ステータス" → "被仕向センターのステータス" に変更 ・ "イベント" → "被仕向センターが受信する電文" に変更 ・ エコーテストを "○" → "(○)" に変更 ・ 凡例: ○: "正常処理" → "正常受信" に変更 	
第5章	章の構成を全面的に変更 (本章に関しては、内容の変更点のみ以降に記載)	
旧5. 1. 2	オーソリ／売上電文における "CARDNETセンター内部障害" 時の処理フロー削除	

修正履歴

(8/23)

変更章	変更内容	変更日
5. 1. 2	＜補足説明～オーソリ代行処理分のオンライン端末取引の中継処理＞の記述を追加	1999年3月
5. 2	障害取消業務の章を新設し、記述を追加 ・各センターにおける障害取消アドバイス電文の処理方式を明確化 ・オンライン端末取引における取引通番管理を契機とした障害取消処理フローを明記 ・オーソリアドバイス／売上アドバイス電文に対する障害取消処理フローを明記	
図6－2	③の説明を追加	
6. 3. 4	・金額カウンター計上条件を以下の2つに分けて記述し、条件を明確化 (1)仕向システム側の金額計上条件 (2)被仕向システム側の金額計上条件 ・上記に伴い、説明図も2つに分けて記述 ・(2)d. の場合には、被仕向システム側にて運用対処が必要である旨の記述を追加	
7. 3. 2	KPEの"キー交換サイクル"の(注)を追加	
7. 3. 4	＜補足説明～非暗号化電文の設定基準＞の記述を削除	
図7－10	記述をわかり易くするために、業務共通ヘッダーの図を追加	
7. 7	記述を分かり易くするために、図およびフローを追加	
8. 2. 5	"11"、"21"以外のコード値を全て【予備】に変更	
8. 3. 6	図8－3 システムトレースオーディットナンバー採番箇所を追加	
8. 3. 13	表8－8の"コード値＝1511"の備考に、オンライン端末取引における設定条件を追加	
8. 3. 19	図8－5 リトリバルリファレンスナンバー採番箇所を追加	
8. 3. 21	処理結果のパターン分けの記述を削除	
8. 3. 33	表8－15に"注3:オンライン端末にてカナ氏名を印字するためには～"の記述を追加	
8. 3. 34	表8－16に"注1:～"および"注2:～"を追加	
8. 3. 44	表中のBIT値を"86"→"87"へ変更(誤記修正)	
第9章	章の名称を"考慮事項"→"各種識別仕様"に変更	

修正履歴

(9/23)

変更章	変更内容	変更日
9. 3	(1)および(2)に " 同一加盟店配下の加盟店A～加盟店センターIDの上7桁と必ずしも同一とは限らない。 " の記述を追加	1999年3月
9. 5	9. 5 2000年の扱いを新規に追加	
第3. 0版→第3. 1版へ改定 ・CARDNETセンター機能拡張に伴い、改定		
表1－4	「海外キャッシング」追加	2000年4月
第3章	電文仕様にBIT62(個社使用予約域)を任意に設定できるよう拡張する。	
表3－5	電文項目の表記方法を仕向センター被仕向センター別に表示	
表3－6－1、 2、3、4、5、6	電文仕様にBIT62(個社使用予約域)を追加。	
表3－6－7、 8	BIT56「オリジナルデータエレメント」属性 " an " 35→ " anp " 35。 記述誤り訂正。	
表3－7	プロセシングコード「010000」海外キャッシング追加。	
表5－1	障害取消対応表追加。	
表6－3	「海外キャッシング」の追加。	
表6－4－1、 2	プロセシングコード「010000」海外キャッシング追加。	
8. 2. 5	業務共通ヘッダー:仕向区分のコード値設定内容の追加。 20 センター間取引(送信先判定代行なし) 21 センター間取引(送付先判定代行あり) 31 情報処理センター間接続CCT取引 41 情報処理センター間接続センター間取引 ※ " 31 " " 41 " の仕様についてはCARDNET接続条件書(ダイレク ト接続編)別冊「情報処理センター接続仕様」を参照。	
8. 3. 2	ビットマップにて記述修正 64ビット列, 8バイト+(64ビット列, 8バイト) → " b, b64(or b128), 8バイト(or 16バイト) "	
8. 3. 4	プロセシングコード(BIT3)項目値定義を追加。 ※海外キャッシング利用要求に対するオーソリ業務であることの識 別コード値「010000」を追加。	
表8－5	商品コード(BIT18)商品コード一覧変更	

修正履歴

(10/23)

変更章	変更内容	変更日
8. 3. 11	POSデータコード(BIT22)項目値定義を追加。 磁気エンコード情報の設定状態について細分化を図った。 ＜桁1＞カードデータ入力方式 0～6 : 変更無し 7～8 : 未使用 9 : EC A～Z : 未使用 ＜桁7＞カードデータ入力モード 1～6 : 変更無し 7～X : 未使用 Y : EC取引等による設定 Z : 磁気ストライプ変更処理適用	2000年4月
8. 3. 29	入力暗証番号(BIT52)にて記述。 b64, 8バイト→ " b, b64, 8バイト "	
表8－16	税／その他の以下内容を追加 無効カード照会業務は、0円を設定する。 オーソリ／売上アドバイス業務の拒否結果のアドバイス電文では、0円を設定する。	
8. 3. 35	個社使用予約域(BIT62)データ定義、フォーマット追加	
8. 3. 42	オーソリ件数(BIT81) ②a)対象業務識別コード値「プロセッシングコード」に " 010000 " 海外キャッシングコードを追加	
8. 3. 48	オーソリ障害取消件数(BIT90) ②a)対象識別コード値「プロセッシングコード」に " 010000 " 海外キャッシングコードを追加	
第3. 1版→第3. 2版へ改定 ・CARDNETセンター機能拡張に伴い、改定		
はじめに	関連事項についての記述変更	2001年12月
3. 1	図3－1BODY部のバイト数を最大449バイトから最大914バイトに変更	
3. 1. 4	表3－6－1にBIT63 カードネット拡張使用域を追加	
3. 1. 4	表3－6－2にBIT63 カードネット拡張使用域を追加	
3. 1. 4	表3－6－3にBIT63 カードネット拡張使用域を追加	
3. 1. 4	表3－6－4にBIT63 カードネット拡張使用域を追加	

修正履歴

(11/23)

変更章	変更内容	変更日
3. 1. 4	表3-6-5にBIT63 カードネット拡張使用域を追加	2001年12月
3. 1. 4	表3-6-6にBIT63 カードネット拡張使用域を追加	
6. 2. 3	説明文の記述を変更	
6. 3. 5	誤記修正	
8. 3	第8章 電文項目説明 8. 3 BODY部に8. 3. 36 BIT63:個社使用予約域を追加	
8. 3	8. 3. 36 BIT63:個社使用予約域 追加に伴い、BIT72:通知レコード以降の項番号及び表番号の見直し	
8. 3. 3	b)合計16バイトを最大16バイトに記述変更説明を追加	
8. 3. 6	図8-3修正	
8. 3. 10	②本手順での規定を追記 表8-5の<補足説明>を変更	
8. 3. 11	<ul style="list-style-type: none"> ・表8-6<補足説明>を追加 ・表8-6各桁数に説明を追加 ・表8-6桁1コード7~8 :未使用を7~9:未使用に変更 A~X :未使用を追加 9 :ECをY:ECに変更 A~Z :未使用をZ:未使用に変更 桁12の名称をPIN入力情報へ変更 ・POSデータコード桁2にICクレジットカード対応オンライン端末の場合の設定値を追加 ・POSデータコード桁3にICクレジットカード対応オンライン端末の場合の設定値を追加 ・POSデータコード桁7にICクレジットカード対応オンライン端末の場合の設定値を追加 ・POSデータコード桁8にICクレジットカード対応オンライン端末の場合の設定値を追加 	
8. 3. 13	表8-8コード値0000を追加 コード値9999備考を変更	
8. 3. 14	①説明を追加 <補足説明>を追加	
8. 3. 14	②説明を追加 <補足説明>を追加	
8. 3. 24	表8-11 オンライン端末内の設定値に補記	2002年7月

修正履歴

(12/23)

変更章	変更内容	変更日
8. 3. 34	表8－17サブフィールド構成を削除	2002年7月
8. 3. 36	全面修正 表8－20サブフィールド設定条件一覧	
9. 6. 2	表9－4に国内レスポンスコードG44, G45及びG46を追加	
第3. 2版→第3. 3版へ改定		
1. 1. 3	接続回線に関する記述の追加	2002年11月
第2章	「※～」記述追加	
8. 3. 11	桁7の「※ICクレジット～」に「 " S " 」を追加 桁7に「※BIT55 (ICカード関連データ) が設定された電文は " 5 " を設定」を追加 桁9に「A: MasterNet IC認証代行」を追加	
8. 3. 16	オーソリアドバイス (拒否) / 売上アドバイス (拒否) 業務の記述を追加	
9. 6. 2	「CXX」に関する記述の追加	
第3. 3版→第3. 4版へ改定		
1. 2. 1	表1－4に「承認後オーソリ、承認後オーソリ取消／返品」を追加	2003年11月
1. 5	表1－6に「承認後オーソリ、承認後オーソリ取消／返品」を追加 ＜補足説明＞を削除	
2. 3. 6	論理チャネル選択方式の記述の変更と追加	
3. 1. 4	表6－3－1に「注2: Bit63～」を追加 表6－3－2に「注2: Bit63～」を追加 表6－3－3に「注2: Bit63～」を追加 表6－3－4に「注2: Bit63～」を追加 表6－3－5に「注2: Bit63～」を追加 表6－3－6に「注2: Bit63～」を追加	
3. 2	表3－7に「承認後オーソリ、承認後オーソリ取消／返品」を追加	
4. 1. 2	図4－3の後の補足説明「閉局処理時」の後に「に仕掛中～」を追加 図4－3の後の補足説明「70秒」に「最大」を追加	

修正履歴

(13/23)

変更章	変更内容	変更日																						
8. 3. 10	<p>本手順での規定に「(ただし先頭1桁は0とする)」を追加 表8－5の商品コード一覧に以下のコードを追加</p> <table><tr><td>・0137 デジタルコンテンツ</td><td>・0470 共料金</td></tr><tr><td>・0202 プリペイドカード(鉄道・バス)</td><td>・0656 DVDプレーヤー</td></tr><tr><td>・0203 鉄道定期券・周遊券</td><td>・0657 液晶テレビ</td></tr><tr><td>・0332 入場料(テーマパーク)</td><td>・0683 ノート型パソコン</td></tr><tr><td>・0333 カラオケ</td><td>・0893 土産</td></tr><tr><td>・0350 不動産</td><td>・0894 花</td></tr><tr><td>・0351 リフォーム</td><td>・0913 ゲーム機・ゲームソフト</td></tr><tr><td>・0411 エステティックサロン</td><td>・0914 ペット</td></tr><tr><td>・0412 ネイルサロン</td><td>・0921 CDレンタル</td></tr><tr><td>・0421 マッサージ・カイロプラティック</td><td>・0971 陶磁器</td></tr><tr><td>・0460 新聞購読料</td><td></td></tr></table> <p>表8－5の補足説明②の「～がなかった場合」の後に「(または0000～)」を追加</p>	・0137 デジタルコンテンツ	・0470 共料金	・0202 プリペイドカード(鉄道・バス)	・0656 DVDプレーヤー	・0203 鉄道定期券・周遊券	・0657 液晶テレビ	・0332 入場料(テーマパーク)	・0683 ノート型パソコン	・0333 カラオケ	・0893 土産	・0350 不動産	・0894 花	・0351 リフォーム	・0913 ゲーム機・ゲームソフト	・0411 エステティックサロン	・0914 ペット	・0412 ネイルサロン	・0921 CDレンタル	・0421 マッサージ・カイロプラティック	・0971 陶磁器	・0460 新聞購読料		2003年11月
・0137 デジタルコンテンツ	・0470 共料金																							
・0202 プリペイドカード(鉄道・バス)	・0656 DVDプレーヤー																							
・0203 鉄道定期券・周遊券	・0657 液晶テレビ																							
・0332 入場料(テーマパーク)	・0683 ノート型パソコン																							
・0333 カラオケ	・0893 土産																							
・0350 不動産	・0894 花																							
・0351 リフォーム	・0913 ゲーム機・ゲームソフト																							
・0411 エステティックサロン	・0914 ペット																							
・0412 ネイルサロン	・0921 CDレンタル																							
・0421 マッサージ・カイロプラティック	・0971 陶磁器																							
・0460 新聞購読料																								
8. 3. 11	<p>桁2のコードに「A」の記述追加 桁2のコード10を[B]に変更 桁2に「※一部～」を追加 桁8のコードに「C」の記述追加 桁8のコードCを「D」に変更 桁8に「※一部～」を追加 桁9のコードに「B」の記述追加 桁9のコードBを「C」に変更 桁9に「※一部～」を追加</p>																							
8. 3. 24	<p>表8－11のサブフィールド「国コード」の属性を「anp3」に変更 「392(デフォルト)」に変更</p>																							
8. 3. 34	<p>表8－16のサブフィールド「承認番号」の内容に「承認後オーソリ業務(取消／返品含む)」を追加 サブフィールド「伝票番号」の内容に「(取消／返品業務でのスペース設定は不可)」を追加</p>																							
8. 3. 36	<p>(1)のa)「セキュリティ～」に変更、図の追加 (1)のb)「セキュリティ～」に変更、図の追加 (1)に「c)」の記述を追加 (2)の表に「A03」の項目を追加 (2)の補足説明を削除 (2)に「c)」の記述を追加 (3)の表に「A03」の項目を追加</p>																							
第3. 4版→第3. 5版へ改定																								
1. 1. 3	<p>本文に被仕向TCP／IP接続に関する記述を追加。また、図1－2に被仕向けTCP／IP接続に関する図を追加</p>	2004年12月																						

修正履歴

(14/23)

変更章	変更内容	変更日
第2章	本文に被仕向TCP／IP接続に関する記述を追加	2004年12月
3. 1. 4	表3－6－11のBIT96キーマネジメントデータの属性及び桁数を変更 また、(注2)と(注3)を追加	
6. 3. 2	「項番」→「BIT」に変更	
6. 3. 3	「1220売上」→「1220売上アドバイス」に変更 図6－10⑨に「運用対処」を追加	
6. 3. 5	表6－4－2の「注:被仕向側システム～」を本文中に移動	
第7章	接続条件書(ダイレクト編)別冊電文暗号化仕様に分冊	
8. 3. 3	図8－2のレングスを " 2 " → " 3 " に変更 ＜補足説明＞を追加	
8. 3. 11	桁7のコードSIに「PIN～読込」を追加	
8. 3. 13	コード値 " 0000 " の記載を削除 コード値 " 9999 " の備考に「およびオンライン端末」を追加	
8. 3. 30	表8－13のPIN暗号化ロジックの設定値に " 02 " を追加 また、(注1)を追加	
8. 3. 33	注1にオンライン端末取引時は、スペースの設定は不可を追加	
8. 3. 52	①のデータ定義の属性／桁数をSingle-DESとTriple-DESとに分けて記述 表8－21に暗号化方法の項目を追加 合わせて属性／桁数と備考を追加 補足説明に「暗号化方式は～Triple-DES方式となる」と「暗号化方式の選択は、～を参照」を追加	
9. 6. 2	表9－7に項番21、コード値P78を追加	
第3. 5版→第3. 6版へ改定		
9. 6. 2	表9－5にICオフライン取引時に設定されるコード値を追加 合わせて、表9－6以降の表番号を修正	2006年1月
第3. 6版→第3. 7版へ改定		
8. 3. 4	表8－4に承認後オーソリ、承認後オーソリ取消／返品を追加	2006年8月

修正履歴

(15/23)

変更章	変更内容	変更日
8. 3. 11	POSデータコード(BIT22)項目値定義を追加。 非接触ICカード対応を追加。 ＜桁1＞カードデータ入力方法 A: 非接触IC(国際クレジット EMV相当) B: 非接触IC(国際クレジット MS相当) C: 非接触IC(国内独自スキーム) D～X: 未使用 Y: EC Z: 未使用 ＜桁7＞カードデータ入力モード 8: CARDNET ID変換 9: 未使用 A: 非接触IC(国際クレジット EMV相当) B: 非接触IC(国際クレジット MS相当) C: 非接触IC(国内独自スキーム) ＜桁9＞会員認証の实在 A: 未使用 ＜桁12＞PIN入力情報 S: PIN取得あり(桁数不明)	2006年8月
8. 3. 12	表8－7に承認後オーソリ、承認後オーソリ取消／返品を追加	
第3. 7版→第3. 8版へ改定		
1. 3	表1－5にオーソリアドバイス、売上アドバイスを追加	2007年7月
3. 1. 4	表3－6－1～表3－6－6の注2にタグ「A04」および「A05」を追加	
8. 3. 11	POSデータコード(BIT22)の＜桁8＞に「S: 携帯電話～」を追加。	
8. 3. 34	表8－16に注3を追加	
8. 3. 36	タグ「A04」、「A05」を追加	
第3. 8版→第3. 9版へ改定		
3. 1. 3	表3－4の「電文送信区分」の内容を修正	2010年11月
3. 1. 4	表3－6－1～表3－6－6の注2に「iD取引用情報データ(ネット決済オンライン)」を追加	
8. 3. 11	POSデータコード(BIT22)の＜桁7＞に「D: 磁気カード～」を追加	
8. 3. 35	個社使用予約域(BIT62)に使用不可タグを追記	

修正履歴

(16/23)

変更章	変更内容	変更日
8. 3. 36	タグ「A04」にiD取引用情報データ(ネット決済オンライン)を追加	2010年11月
9. 6. 2	表9－6「無効通知情報チェックエラー・拒否(無効カード)」のコード値を修正	
第3. 9版→第4. 0版へ改定		
1. 1. 3	OBN網、DDX-P網、INS-P網廃止に伴い、関連する記述および図1－2を修正	2012年3月
第2章	DDX-P網、INS-P網廃止に伴い、記述を修正	
2. 1	DDX-P網、INS-P網廃止に伴い、記述を修正 DDX-P網、INS-P網廃止に伴い、表2－4、2－5を削除	
2. 2	DDX-P網、INS-P網廃止に伴い、記述を修正	
2. 3	DDX-P網、INS-P網廃止に伴い、記述を修正	
第4. 0版→第4. 1版へ改定		
8. 3. 11	各桁のオンライン端末取引における設定値および優先順位の記載方法を修正。	2014年1月
5. 2. 1	CARDNETセンターにおける取引履歴保有期間(3日間)に合わせ図5－10「CARDNETセンターにおける取引履歴保有期間」を修正	
7. 3. 6	自動キー交換要求送信処理の追加に伴い、＜補足説明～障害検知＞の内容を修正。	
7. 4	③キー交換失敗時の処理に、自動キー交換要求送信処理について追記	
第4. 1版→第4. 2版へ改定		
3. 5	項目属性チェックにおけるチェックについて注記を追記。	2015年11月
第4. 2版→第4. 3版へ改定		
8. 3. 11	POSデータコード(BIT22)以下の項目値定義を追加。 ＜桁2＞に「B:NoCVM」追加 ＜桁4＞に「6:mPOS」「7:自動販売機」追加 ＜桁5＞に「5:非対面販売(分割配送)」追加、「4:非対面販売(継続的なオーソリ)」に「リカーリング取引を示す。」の記述追加 ＜桁8＞に「D:NoCVM」追加	2017年4月

修正履歴

(17/23)

変更章	変更内容	変更日
第4. 3版→第4. 4版へ改定		
3. 1. 4	表3-6-7 BODY部・障害取消アドバイス＜対オーソリ／オーソリアドバイス＞のBIT42加盟店番号の要求電文の電文構成「MS」に「（注3）」を追記し、表欄外に「注3 MSであるが、障害発生箇所によっては元取引の応答電文の値を設定する。詳細については第8章「電文項目説明」を参照。」を追加。	2018年3月
3. 1. 4	表3-6-8 BODY部・障害取消アドバイス＜対売上／売上アドバイス＞のBIT42加盟店番号の要求電文の電文構成「MS」に「（注3）」を追記し、表欄外に「注3 MSであるが、障害発生箇所によっては元取引の応答電文の値を設定する。詳細については第8章「電文項目説明」を参照。」を追加。	
7. 2	表7-1の「対象MTI」列「電文暗号化・電文認証」行に、「1604/1614」(DCCレート変換MTI)を追記	
8. 3. 11	POSデータコード（BIT22）以下の銀聯固有項目値定義を追加 ＜桁7＞の「D」の説明を「銀聯カード取引（磁気カード、マニュアル入力）」に変更、「E：銀聯カード取引（ICカード）」、「F：銀聯カード取引（ICカード MS フォールバック）」オンライン端末取引で使用する値に「D」、「E」、「F」を追加	
第4. 4版→第4. 5版へ改定		
1. 1. 3	章の見出しを「1. 1. 3 接続回線」から「1. 1. 3 接続回線（TCP／IP使用の接続回線契約者向け）」へ修正	2018年7月
1. 1. 4	章「1. 1. 4 接続回線（X. 25使用の接続回線契約者向け）」を追加し 且つ、2018年05月にサービス提供が終了しているためcloseさせた	
第2章	以下の文言を追加 「※X. 25を使用した接続回線は2018年5月でサービス提供を終了し、以降TCP／IPを使用した接続回線へ切換え済。」	
第4. 5版→第4. 6版へ改定		
8. 3. 35	BIT62個社使用予約域＜補足説明＞に使用不可タグを追加 「TK1」、「CT1」	2019年6月
第4. 6版→第4. 7版へ改定		
8. 3. 11	BIT22の説明文を変更	2019年10月

修正履歴

(18/23)

変更章	変更内容	変更日
8. 3. 11	BIT22に以下の項目値定義を追加 ◆7桁目 " G " : 銀聯カード取引(非接触ICカード) ◆11桁目 " 5 " : プリンタレスCCT(現状未使用) " 6 " : ペーパーレスCCT	2019年10月
8. 3. 11	BIT22の<補足説明>に記載しているオンライン端末取引で使用する値について、以下の項目値定義を変更 ◆1桁目 " B " を削除 ◆2桁目 " B " を追加 ◆7桁目 " 8 " を追加 " G " を追加 ◆8桁目 " 8 " を削除 " D " を追加 ◆11桁目 " 6 " を追加 ◆12桁目 " S " を削除	
9. 7	CAFIS手順への変換仕様を追加	
第 4. 7 版→第 4. 8 版へ改定		
1. 1. 4	「1. 1. 4接続回線(X. 25使用の接続回線契約者向け)」を削除し、「1. 1. 5CARDNETセンターID」を1. 1. 4へ修正。合わせて図1-4を図1-3へ修正。	2020年4月
1. 2	「表1-3 CN手順の適用範囲」の項目「伝送制御仕様」の内容を「下位プロトコル(物理層／データリンク層／ネットワーク層)の構成基準であるX. 25の接続条件を定義」から「TCP／IPの接続条件を定義」へ修正	
第2章	本文から「CARDNETセンターへの接続条件はX. 25接続する。また、接続形態は、専用回線、また64Kアクセス網(PVC)接続とする。」を削除。「TCP／IPの接続条件を定義する」を追加。詳細は参照の文章を米印から本文へ変更。 以降すべて削除。	
3. 1. 3	表3-3に「1604」と「1614」を追加。	
3. 3	取引特定条件における電文の特定項目に「⑤差出センターID(共通制御ヘッダー)の3桁目～7桁目までの5バイト」を追加。	

修正履歴

(19/23)

変更章	変更内容	変更日
4. 1. 2	図4-3にタイマー値を追加。図4-3の補足説明に「※タイマーに関しては表4-7、表4-8参照」を追加。	2020年4月
4. 2	補足説明の文言を「各接続先センター毎に設定された送信間隔において無通信状態の場合に、エコーテストを送信する。」を「任意のタイミングでエコーテストを送信する場合がある。」へ変更。	
5. 2. 4	「障害取消電文における元取引(オリジナル)特定」の項目の①～④を「①オリジナルデータエレメント(BIT56)」に変更し、「②差出センターID(共通制御ヘッダー)の3桁目～7桁目までのバイト」を追加し、「①オリジナルデータエレメント(BIT56)」の説明文を追加。	
5. 2. 5	「図5-16 仕向センター内部障害」内のタイムアウトの文言の位置を変更。2)に「CNはタイムアウトを検知する」を追記。また、名称がなかった図に「図5-15 センター内部障害」を追記し、以降の図の番号を変更。	
6. 3. 3	「・アドバイス電文のタイムアウト時に再送を行った場合(再送リトライアウト含む)は、トータルで1件として計上する。」を「・アドバイス電文は再送が発生した場合も1件と計上する。」、「・アドバイス電文は再送リトライアウトした場合も1件と計上する。」へ変更。	
6. 3. 4	(1)「(再送リトライアウト強制成立含む)」を「(再送リトライアウト含む)」に修正。	
8. 1. 3	「差出センターIDの3桁目～7桁目までの5バイト」が「取引特定キー(トランザクションID)」の1項目として使用される説明を追加。	
8. 3. 1	「②本手順での規定」に「MTI」が「取引特定キー(トランザクションID)」の1項目として使用される説明を追加。	
8. 3. 31	「②本手順での規定」に「差出センターID(共通制御ヘッダー)の3桁目～7桁目を除いた4つの項目」の文言を追加。	
第4. 8版→第4. 9版へ改定		
3. 1. 4	<p>◆変更対象</p> <ul style="list-style-type: none">・表3-6-1 BODY部・オーソリ<暗証番号入力なし>・表3-6-2 BODY部・オーソリ<暗証番号入力あり>・表3-6-3 BODY部・オーソリアドバイス・表3-6-4 BODY部・売上<暗証番号入力なし>・表3-6-5 BODY部・売上<暗証番号入力あり>・表3-6-6 BODY部・売上アドバイス <p>◆各表変更内容</p> <ul style="list-style-type: none">・BIT63の属性を「b.. 968LLLVAR」から「b.. 1576LLLVAR」へ変更・BIT63の桁数を「Max124」から「Max200」へ変更・注2についてタグ「A07」利用時の留意点を追記	2020年7月

修正履歴

(20/23)

変更章	変更内容	変更日
8. 3. 36	<ul style="list-style-type: none"> ・「①データ定義」:「属性／桁数」を「Max124バイト」から「Max200バイト」へ変更 ・「①データ定義」へ「注1」を追記 ・「②本手順での規定」:「(1)フォーマット」: <設定例>:「a)セキュリティコード有るかJIS2面情報有無が‘0’かつ3D Secure関連情報有りの時」の記載から「サブフィールドA02」の記載を削除 ・「②本手順での規定」:「(1)フォーマット」: <設定例>:「d)3D Secure関連情報有るか3D Secure2. 0関連情報有りの時」を追記 ・「②本手順での規定」:「(2)サブフィールドの定義」:「表8-17」へ「注1」「注4」を追記(「注2」「注3」については既存の記載内容の表現を変更したものであり新規事項では無い) ・「②本手順での規定」:「(2)サブフィールドの定義」:「c)3-D Secure関連情報(タグ:A03)項目詳細」の説明に3-D Secureのバージョンに関する記載を追記 ・「②本手順での規定」:「(2)サブフィールドの定義」:「c)3-D Secure関連情報(タグ:A03)項目詳細」:「表8-20」へ「3DS2. 0認証フラグ」の項目定義を追記 ・「②本手順での規定」:「(2)サブフィールドの定義」:「c)3-D Secure関連情報(タグ:A03)項目詳細」:「表8-20」の「予備」項目の「属性／桁数」を、それぞれ「anp6」から「anp5」、「6」から「5」へ変更 ・「②本手順での規定」:「(2)サブフィールドの定義」:「c)3-D Secure関連情報(タグ:A03)項目詳細」:「表8-20」へ「注3」「注4」を追記 ・「②本手順での規定」:「(2)サブフィールドの定義」へ「f)3-D Secure2. 0関連情報(タグ:A07)項目詳細」を追記 ・「②本手順での規定」:「(3)設定条件」の「表8-26」を削除し、それに伴い説明に各サブフィールドの設定条件について修正・追記 ・「②本手順での規定」へ「(4)3-D Secure関連情報の中継に関する留意事項」を追記 	2020年7月
9. 7. 2	本章「9. 7. 2 3-D Secure関連情報の設定方法」を追記	
第4. 9版→第5. 0版へ改定		
1. 1. 3	「「CARDNET接続条件書(ダイレクト接続／仕向センター編)別冊TCP／IP伝送制御仕様」「CARDNET接続条件書(ダイレクト接続／カード会社編)別冊TCP／IP伝送制御仕様」を参照」を「第2章「伝送制御仕様」を参照」に変更	
第2章	<ul style="list-style-type: none"> ・「仕向業務も被仕向業務も行う場合は、2. 2. 被仕向センター接続を参照ください。」を追記 ・「CARDNET接続条件書(ダイレクト接続／仕向センター編)別冊TCP／IP伝送制御仕様」と「CARDNET接続条件書(ダイレクト接続／カード会社編)別冊TCP／IP伝送制御仕様」を本章に記載するように変更 ・別冊の章立てを数字に変更 	2020年11月

修正履歴

(21/23)

変更章	変更内容	変更日
2. 1. 2. 2. 2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・「宛先ポート番号は仕向センターが選択した番号(※)」を「宛先ポート番号は2200or5100」に変更 ・「仕向センターが選択した番号」を「2200or5100」に変更 ・「※CARDNETセンター接続申込時に、宛先ポート番号(「2. 2. 5 CARDNETセンター ポート番号一覧」参照)をご選択いただきます。」を「※CARDNETセンター接続申込時に、2200と5100より宛先ポート番号をご選択いただきます。CARDNETセンターはご選択いただいたポート番号を待ちポート番号に設定します。」に変更 	2020年11月
2. 1. 2. 2. 2 (1) 図2-2	<ul style="list-style-type: none"> ・宛先ポート番号を「仕向センターが選択した番号」から別紙の内容を取り込み「2200or5100」に変更 ・待ちポート番号を「仕向センターが選択した番号」から「宛先ポート番号と同じポート番号」に変更 	
2. 1. 2. 2. 2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・「宛先ポート番号は仕向センターが選択した番号(※)」を「宛先ポート番号は2200or5100」に変更 ・「仕向センターが選択した番号」を「2200or5100」に変更 ・「※仕向センターがCARDNETセンター接続申込時にご選択いただいた、仕向センター発行コネクションの宛先ポート番号を使用します。」を「※仕向センターがCARDNETセンター接続申込時にご選択いただいた、2200or5100を宛先ポート番号として使用します。ご選択いただいたポート番号を待ちポート番号に設定してください。」に変更 	
2. 1. 2. 2. 2 (2) 図2-3	<ul style="list-style-type: none"> ・宛先ポート番号を「仕向センターが選択した番号」から別紙の内容を取り込み「2200or5100」に変更 ・待ちポート番号を「仕向センターが選択した番号」から「宛先ポート番号と同じポート番号」に変更 	
2. 2. 2. 2. 2	「ご選択いただいたポート番号を待ちポート番号に設定してください。」を追記	
2. 2. 2. 2. 2 図2-30	待ちポート番号を「2100or5100」から「宛先ポート番号と同じポート番号」に変更	
7. 3. 1	「接続条件書(ダイレクト編)別冊 電文暗号化仕様」を「CARDNET接続条件書(ダイレクト接続編)別冊 電文暗号化仕様」に修正	
7. 3. 2	「接続条件書(ダイレクト編)別冊 電文暗号化仕様」を「CARDNET接続条件書(ダイレクト接続編)別冊 電文暗号化仕様」に修正	
7. 3. 3	「接続条件書(ダイレクト編)別冊 電文暗号化仕様」を「CARDNET接続条件書(ダイレクト接続編)別冊 電文暗号化仕様」に修正	
7. 3. 4	「接続条件書(ダイレクト編)別冊 電文暗号化仕様」を「CARDNET接続条件書(ダイレクト接続編)別冊 電文暗号化仕様」に修正	
7. 3. 5	「接続条件書(ダイレクト編)別冊 電文暗号化仕様」を「CARDNET接続条件書(ダイレクト接続編)別冊 電文暗号化仕様」に修正	
7. 5	「接続条件書(ダイレクト編)別冊 電文暗号化仕様」を「CARDNET接続条件書(ダイレクト接続編)別冊 電文暗号化仕様」に修正	

修正履歴

(22/23)

変更章	変更内容	変更日
7. 6	「接続条件書(ダイレクト編)別冊 電文暗号化仕様」を「CARDNET接続条件書(ダイレクト接続編)別冊 電文暗号化仕様」に修正	2020年11月
7. 7	「接続条件書(ダイレクト編)別冊 電文暗号化仕様」を「CARDNET接続条件書(ダイレクト接続編)別冊 電文暗号化仕様」に修正	
第5. 0版→第5. 1版へ改定		
8. 1. 5	②サブコードの設定値の囲み位置を他表記と合わせ、“ALL 0”からALL “0”に変更	2021年1月
8. 3. 16	表8－10 サブフィールド構成内、サブフィールド名の補足である項目の桁数種別を“”囲みから()へと変更	
8. 3. 24	表8－11 サブフィールド構成内、サブフィールド名の補足である項目の桁数種別を“”囲みから()へと変更	
8. 3. 26	BIT48:国内レスポンスコードの記載が被仕向の内容のみであり、仕向センターへの設定値が曖昧だったため、表8－12を、表8－12－1同期中継の場合、表8－12－2非同期中継・仕向の場合、表8－12－3非同期中継・被仕向の場合に分けて、設定フラグおよび国内レスポンスコードの設定内容を記載するよう変更	
8. 3. 31	表8－14 サブフィールド構成内、サブフィールド名の補足である項目の桁数種別を“”囲みから()へと変更	
9. 6. 3	8. 3. 26の修正によりデフォルト設定の内容が曖昧となったため、デフォルト設定の内容について補足を追加	
第5. 1版→第5. 2版へ改定		
本紙	フォーマット統一・誤記修正	2021年2月
第5. 2版→第5. 3版へ改定		
2. 1. 1	回線の使用方法がラウンドロビンであることを明記	2021年9月
2. 1. 3. 1	コネクションの確立順がCARDNETコネクション、仕向コネクションの順であることをわかるように記載	
2. 1. 3. 1. 1 2. 1. 3. 1. 2 2. 1. 3. 2. 1 2. 1. 3. 2. 2 2. 1. 3. 3. 1 2. 1. 3. 3. 2 2. 1. 6. 3 2. 1. 6. 4	CARDNETコネクション、仕向コネクションの順になるよう章の順序を変更 章番号および図表番号も順序に合わせて変更	

修正履歴

(23/23)

変更章	変更内容	変更日
2. 1. 3. 3. 2	ラウンドロビン方式利用には複数コネクションが前提である旨を追記	2021年9月
8. 3. 5	売上データ120バイトご利用時の桁数に関する留意事項を追加	

CARDNET CONFIDENTIAL

目 次

はじめに

第1章	ダイレクト接続概要	1-1
1. 1	CARDNETセンター概要	1-1
1. 1. 1	ネットワーク構成	1-1
1. 1. 2	サービス概要	1-2
1. 1. 3	接続回線 (TCP/IP使用の接続回線契約者向け)	1-3
1. 1. 4	CARDNETセンターID	1-4
1. 2	CN手順概要	1-5
1. 2. 1	業務概要	1-6
1. 3	JET-S手順概要	1-7
1. 3. 1	業務概要	1-7
1. 4	ISO8583との関連	1-8
1. 5	CAFIS手順との関連	1-9
第2章	伝送制御仕様	2-1
2. 1	仕向センター接続	2-2
2. 1. 1	接続概要	2-2
2. 1. 1. 1	ネットワーク構成	2-2
2. 1. 1. 2	接続回線	2-2
2. 1. 2	プロトコル仕様	2-3
2. 1. 2. 1	IP(Internet Protocol)レイヤ	2-3
2. 1. 2. 1. 1	仕様基準	2-3
2. 1. 2. 1. 2	IPアドレスの管理	2-3
2. 1. 2. 2	TCP(Transmission Control Protocol)レイヤ	2-3
2. 1. 2. 2. 1	仕様基準	2-3
2. 1. 2. 2. 2	ポート番号	2-4
2. 1. 2. 3	TCP/IPパケットの送受信方法	2-6
2. 1. 3	コネクションの方式	2-7
2. 1. 3. 1	コネクションの確立	2-7
2. 1. 3. 1. 1	CARDNETセンターからのコネクションの確立	2-7
2. 1. 3. 1. 2	仕向センターからのコネクションの確立	2-9
2. 1. 3. 2	最大コネクション数	2-10
2. 1. 3. 2. 1	CARDNETコネクション数	2-10
2. 1. 3. 2. 2	仕向コネクション数	2-12
2. 1. 3. 3	コネクション選択	2-14
2. 1. 3. 3. 1	コネクション選択方式 (CARDNETコネクション)	2-14
2. 1. 3. 3. 2	コネクション選択方式 (仕向コネクション)	2-15
2. 1. 3. 4	コネクション切断方式	2-17
2. 1. 3. 4. 1	CARDNETセンター計画停止時のコネクション切断方式	2-17
2. 1. 3. 4. 2	回線障害検知時のコネクション切断方式	2-18

2. 1. 3. 5	コネクション数超過時の処理	2-19
2. 1. 4	エラー検知	2-20
2. 1. 4. 1	エラー検知の方法	2-20
2. 1. 4. 1. 1	仕向センターでの状態監視方法	2-20
2. 1. 4. 1. 2	CARDNETセンターでの状態監視方法	2-20
2. 1. 4. 2	CARDNETセンターでのエラー検出時の対応	2-21
2. 1. 5	Master's ONE接続	2-22
2. 1. 5. 1	ネットワーク構成	2-22
2. 1. 5. 2	接続回線	2-22
2. 1. 6	SIV併用接続	2-23
2. 1. 6. 1	ネットワーク構成	2-23
2. 1. 6. 2	SIVとの接続回線	2-23
2. 1. 6. 3	CARDNETコネクション確立	2-24
2. 1. 6. 4	仕向コネクション確立	2-25
2. 1. 7	JR-NET/CN接続	2-26
2. 1. 7. 1	ネットワーク構成	2-26
2. 1. 7. 2	JR-NET/CNとの接続回線およびバックアップ回線	2-26
2. 1. 7. 3	バックアップ回線切替方式	2-28
2. 1. 7. 3. 1	JR-NET/CNとの接続に専用回線を使用する場合	2-28
2. 1. 7. 3. 2	JR-NET/CNとの接続にフレッツ・ISDNを使用する場合	2-30
2. 2	被仕向センター接続	2-34
2. 2. 1	接続概要	2-34
2. 2. 1. 1	ネットワーク構成	2-34
2. 2. 1. 2	接続回線	2-34
2. 2. 2	プロトコル仕様	2-35
2. 2. 2. 1	IP(Internet Protocol)レイヤ	2-35
2. 2. 2. 1. 1	仕様基準	2-35
2. 2. 2. 1. 2	IPアドレスの管理	2-35
2. 2. 2. 2	TCP(Transmission Control Protocol)レイヤ	2-35
2. 2. 2. 2. 1	仕様基準	2-35
2. 2. 2. 2. 2	ポート番号	2-35
2. 2. 2. 3	TCP/IPパケットの送受信方法	2-36
2. 2. 3	コネクションの方式	2-37
2. 2. 3. 1	コネクションの確立	2-37
2. 2. 3. 2	最大コネクション数	2-39
2. 2. 3. 3	コネクション選択	2-41
2. 2. 3. 4	コネクションの切断	2-42
2. 2. 3. 5	コネクション数超過時の処理	2-43
2. 2. 4	エラー検知	2-44
2. 2. 4. 1	エラー検知の方法	2-44
2. 2. 4. 1. 1	カード会社センターでの状態監視方法	2-44
2. 2. 4. 1. 2	CARDNETセンターでの状態監視方法	2-44
2. 2. 4. 2	CARDNETセンターでのエラー検出時の対応	2-45
第3章	電文構成仕様	3-1
3. 1	電文形式	3-1

3. 1. 1	共通制御ヘッダー	3-1
3. 1. 2	業務共通ヘッダー	3-2
3. 1. 3	MTI(Message Type ID)	3-3
3. 1. 4	ビットマップ	3-5
3. 1. 5	データエレメント	3-17
3. 2	電文体系	3-18
3. 3	取引特定条件	3-19
3. 4	データコード	3-20
3. 5	表記方法	3-21
第4章 センター制御仕様		4-1
4. 1	オンラインステータス管理	4-1
4. 1. 1	オンラインステータス遷移	4-1
4. 1. 2	開閉局処理	4-2
4. 1. 3	オンラインステータス制御	4-8
4. 2	エコーテスト処理	4-16
4. 3	タイマー監視	4-17
4. 3. 1	電文監視タイマー	4-17
4. 3. 2	インターバルタイマー	4-17
第5章 業務処理仕様		5-1
5. 1	オーソリ／売上業務	5-1
5. 1. 1	オーソリ／売上電文	5-3
5. 1. 2	オーソリアドバイス／売上アドバイス電文	5-5
5. 2	障害取消業務	5-10
5. 2. 1	CARDNETセンターにおける障害取消アドバイス電文の処理方式	5-10
5. 2. 2	仕向センターにおける障害取消アドバイス電文の処理方式	5-11
5. 2. 3	被仕向センターにおける障害取消アドバイス電文の処理方式	5-12
5. 2. 4	元取引特定条件	5-15
5. 2. 5	障害取消アドバイス電文／自動取消電文	5-16
5. 3	障害電文通知処理	5-26
第6章 オンライン精査仕様		6-1
6. 1	オンライン精査処理	6-1
6. 2	カットオーバー処理	6-2
6. 2. 1	カットオーバー日付更新	6-2
6. 2. 2	カットオーバー日付通知	6-3
6. 2. 3	カットオーバー要求リトライ	6-4
6. 2. 4	カットオーバー日付設定基準	6-4
6. 2. 5	カット対象日付設定基準	6-5
6. 2. 6	カットオーバーインターバル	6-6
6. 3	カウンター管理処理	6-7
6. 3. 1	精査対象電文種別	6-7

6. 3. 2	精査カウンター内容	6-8
6. 3. 3	件数カウンター計上条件	6-9
6. 3. 4	金額カウンター計上条件	6-10
6. 3. 5	カウンター項目集計方法	6-13
6. 3. 6	精査成立条件	6-14
第7章 セキュリティ制御仕様		7-1
7. 1	セキュリティ制御機能	7-1
7. 2	対象電文種別	7-1
7. 3	暗号化キー管理	7-2
7. 3. 1	暗号化キー作成基準	7-3
7. 3. 2	暗号化キー交換方法／サイクル	7-3
7. 3. 3	キー交換電文識別方法	7-3
7. 3. 4	チェックディジット設定基準	7-3
7. 3. 5	チェックディジット算出方法	7-3
7. 3. 6	チェックディジットエラー処理	7-3
7. 4	キー交換処理仕様	7-4
7. 5	電文暗号化処理	7-7
7. 6	電文認証処理	7-7
7. 7	PIN暗号化処理	7-7
第8章 電文項目説明		8-1
8. 1	共通制御ヘッダー	8-1
8. 1. 1	ヘッダータイプ	8-1
8. 1. 2	全体電文長	8-1
8. 1. 3	差出センターID	8-2
8. 1. 4	宛先センターID	8-2
8. 1. 5	加盟店契約会社コード	8-3
8. 1. 6	送信日時	8-3
8. 1. 7	モードフラグ	8-4
8. 1. 8	予備	8-4
8. 2	業務共通ヘッダー	8-5
8. 2. 1	ヘッダータイプ	8-5
8. 2. 2	電文種別コード	8-6
8. 2. 3	電文認証値	8-7
8. 2. 4	チェックディジット	8-7
8. 2. 5	仕向区分	8-8
8. 2. 6	カット対象日付	8-8
8. 2. 7	BODY部電文長	8-9
8. 2. 8	カードネット取引識別	8-10
8. 2. 9	カードネット取引通番	8-12
8. 2. 10	カードネット使用域	8-12
8. 2. 11	予備	8-12
8. 3	BODY部	8-13

8. 3. 1	MTI(Message Type ID)	8-13
8. 3. 2	ビットマップ	8-14
8. 3. 3	BIT2 : 会員番号	8-15
8. 3. 4	BIT3 : プロセシングコード	8-16
8. 3. 5	BIT4 : 取引金額	8-17
8. 3. 6	BIT11 : システムトレースオーディットナンバー	8-18
8. 3. 7	BIT12 : 現地取引日時	8-19
8. 3. 8	BIT14 : 有効期限	8-19
8. 3. 9	BIT17 : 収集日	8-20
8. 3. 10	BIT18 : 商品コード	8-21
8. 3. 11	BIT22 : POSデータコード	8-23
8. 3. 12	BIT24 : ファンクションコード	8-31
8. 3. 13	BIT25 : メッセージ理由コード	8-32
8. 3. 14	BIT26 : 加盟店業種コード	8-32
8. 3. 15	BIT28 : 精査日	8-38
8. 3. 16	BIT30 : オリジナル金額	8-39
8. 3. 17	BIT32 : 加盟店会社コード	8-40
8. 3. 18	BIT35 : JIS I 第2トラック情報	8-41
8. 3. 19	BIT37 : リトリバルリファレンスナンバー	8-42
8. 3. 20	BIT38 : 承認コード	8-43
8. 3. 21	BIT39 : アクションコード	8-43
8. 3. 22	BIT41 : 加盟店端末番号	8-44
8. 3. 23	BIT42 : 加盟店番号	8-44
8. 3. 24	BIT43 : 加盟店名/所在地	8-45
8. 3. 25	BIT47 : JIS II トラック情報	8-46
8. 3. 26	BIT48 : 国内レスポンスコード	8-47
8. 3. 27	BIT49 : 取引通貨コード	8-49
8. 3. 28	BIT50 : 精査通貨コード	8-49
8. 3. 29	BIT52 : 入力暗証番号	8-49
8. 3. 30	BIT53 : セキュリティ関連制御情報	8-50
8. 3. 31	BIT56 : オリジナルデータエレメント	8-51
8. 3. 32	BIT58 : オーソリ判定センターID	8-52
8. 3. 33	BIT59 : 端末出力データ	8-53
8. 3. 34	BIT60 : 国内使用予約域	8-54
8. 3. 35	BIT62 : 個社使用予約域	8-61
8. 3. 36	BIT63 : カードネット拡張使用域	8-62
8. 3. 37	BIT72 : 通知レコード	8-69
8. 3. 38	BIT74 : 売上取消/返品件数	8-70
8. 3. 39	BIT75 : 売上障害取消件数	8-70
8. 3. 40	BIT76 : 売上件数	8-71
8. 3. 41	BIT77 : 売上取消/返品障害取消件数	8-71
8. 3. 42	BIT80 : 照会件数	8-72
8. 3. 43	BIT81 : オーソリ件数	8-72
8. 3. 44	BIT82 : 照会障害取消件数	8-73
8. 3. 45	BIT86 : 売上取消/返品金額	8-73
8. 3. 46	BIT87 : 売上障害取消金額	8-74
8. 3. 47	BIT88 : 売上金額	8-74

8. 3. 4 8	BIT89 : 売上取消／返品障害取消金額	8-75
8. 3. 4 9	BIT90 : オーソリ障害取消件数	8-75
8. 3. 5 0	BIT93 : 電文送信先センターID	8-76
8. 3. 5 1	BIT94 : 電文送信元センターID	8-76
8. 3. 5 2	BIT96 : キーマネジメントデータ	8-77
8. 3. 5 3	BIT97 : 精査合計金額	8-78
8. 3. 5 4	BIT100 : 精査対象センターID	8-79
第9章 各種識別仕様		9-1
9. 1	センターIDと会社コード識別方法	9-1
9. 2	会員番号識別方法	9-1
9. 3	加盟店識別方法	9-2
9. 3. 1	センター間取引	9-2
9. 3. 2	オンライン端末取引	9-3
9. 4	日時設定基準	9-4
9. 5	2000年の扱い	9-4
9. 6	エラーコード設定基準	9-5
9. 6. 1	アクションコード設定基準	9-5
9. 6. 2	国内レスポンスコード設定基準	9-7
9. 6. 3	エラーコード編集処理	9-13
9. 7	CAFIS手順への変換について	9-16
9. 7. 1	BIT22 : POSデータコードを使用した変換	9-16
9. 7. 2	3-D SECURE関連情報の設定方法	9-17

はじめに

本書は、CARDNETセンターとCARDNET手順によるダイレクト接続を行う際のオンライン処理に関する接続条件を記述したものであり、「CARDNETサービス説明書」で記載した「ダイレクト接続」に関する詳細資料である。

なお関連事項については、「CARDNETオンライン接続サービス ドキュメント体系説明書」を参照の事。

CARDNET CONFIDENTIAL

第1章 ダイレクト接続概要

本章では、CARDNETセンターとダイレクト接続を行う際の概要として、CARDNETセンターの概要、および接続手順であるCARDNET手順（以降CN手順と示す）の概要について定義する。

1. 1 CARDNETセンター概要

CARDNETセンターは、加盟店センター、オンライン端末、およびカード会社センターと接続することでクレジット関連業務処理をオンラインで提供する。

1. 1. 1 ネットワーク構成

CARDNETセンターと加盟店センター、およびカード会社センターの接続にはCN手順を使用する。また、CARDNETセンターとオンライン端末の接続には、株式会社日本カードネットワーク独自のJET-S手順を使用する。
CARDNETセンターを中心とするネットワーク構成を図1-1に示す。

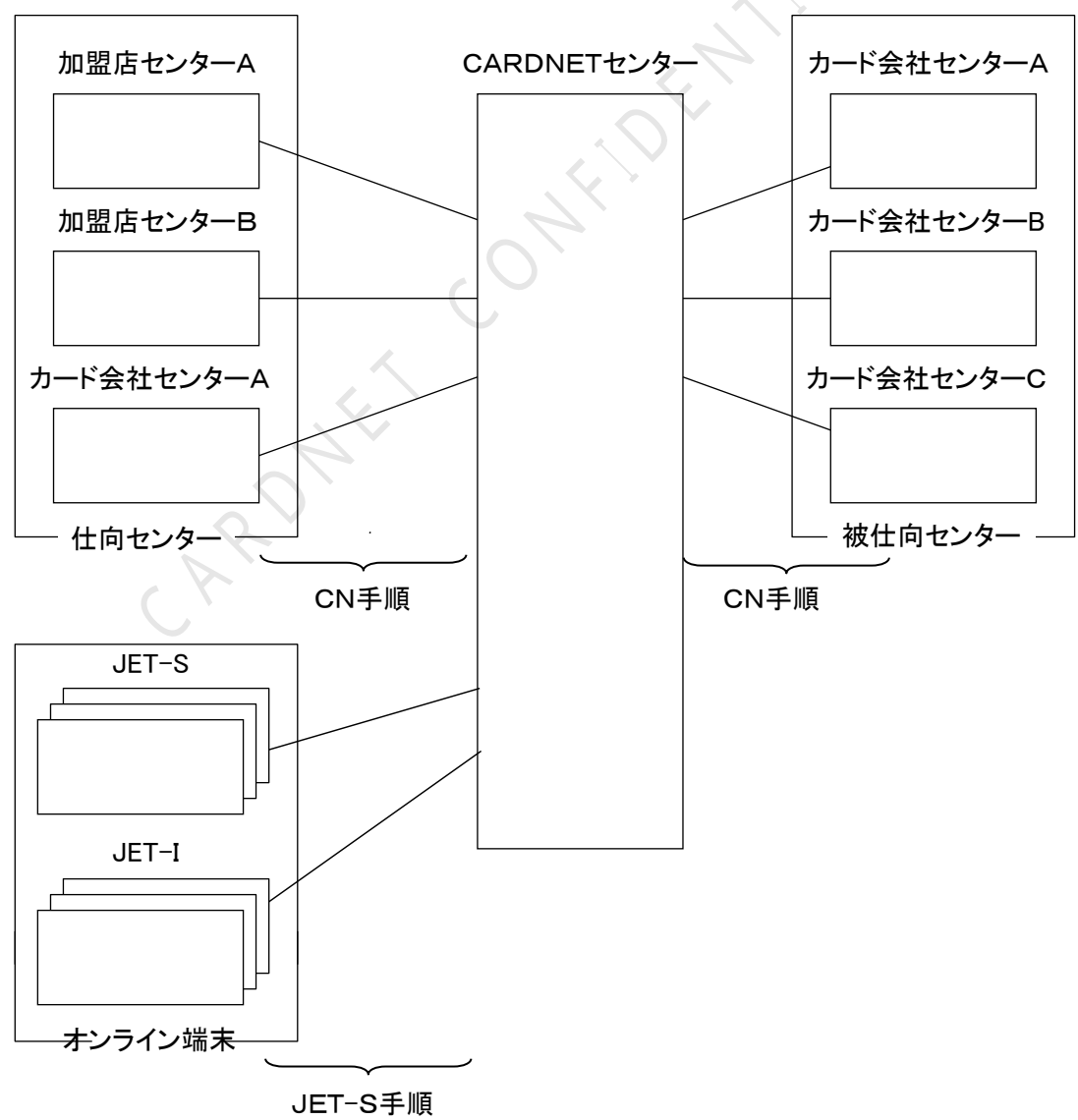


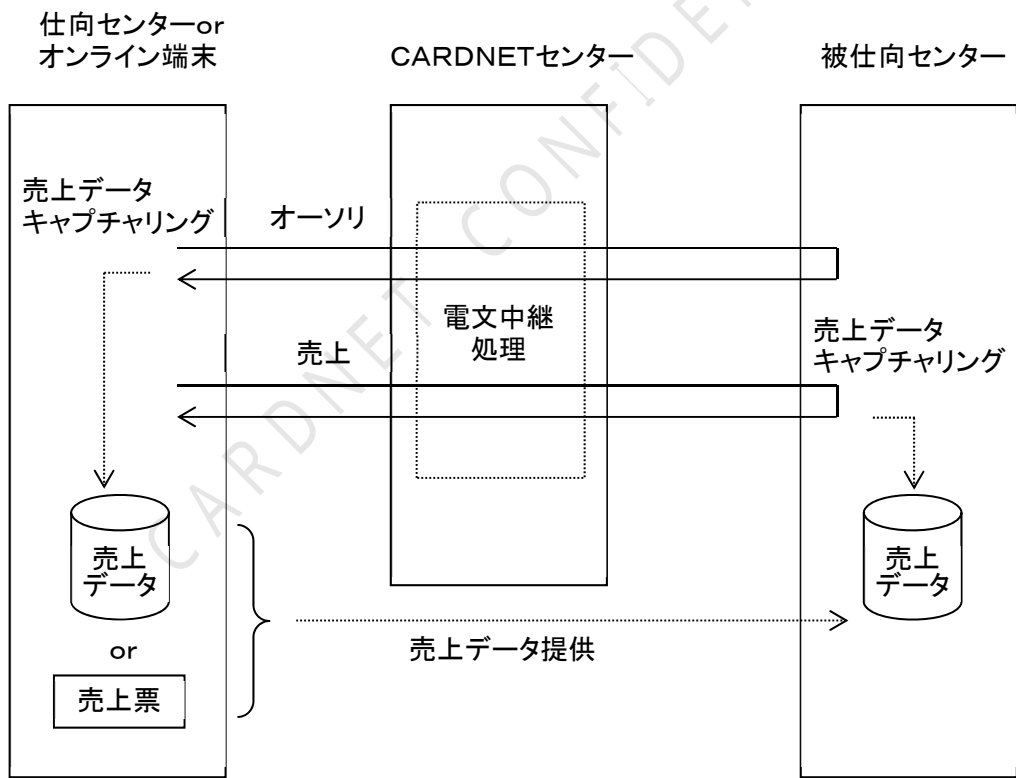
図1-1 ネットワーク構成

1. 1. 2 サービス概要

CARDNETセンターがダイレクト接続により提供する基本サービスの概要を表1-1に示す。

表1-1 基本サービス概要

名称	内容
オーソリ電文中継	加盟店センター、オンライン端末、およびカード会社センターが送信したオーソリ電文を、カード会社センターへ中継する。売上データは、加盟店より直接、各カード会社に持ち込まれる。
売上電文中継	加盟店センターやオンライン端末が送信した売上電文を、カード会社センターへ中継する。売上データのキャプチャリングは、カード会社センターにて行う。ただし、カード会社センターへCAFIS経由にて中継する場合には、CARDNETセンターにて行う。
オンライン精査	オンライン業務における取引金額の整合性を確認する。



<補足説明～オプションサービス>

CARDNETセンターは各接続先センターの選択により、各種オプションサービスを提供する。オプションサービスの詳細は「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

1. 1. 3 接続回線（TCP/IP使用の接続回線契約者向け）

CARDNETセンターとTCP/IPを使用しての接続回線について解説する。（X.25を使用
しての接続回線については2018年5月にサービス提供を終了）

加盟店センターとCARDNETセンターとの接続には、専用回線接続、またはMaster's
ONEもしくはJR-NET/CNの専用回線のいずれかを利用する。

カード会社センターとCARDNETセンターとの接続には、専用回線接続、またはMaster's
ONEの専用回線のいずれかを利用する。

回線種別、およびデータ通信速度は、接続先センターの規模やトランザクション量により
決定する。また、トランザクション量によっては複数回線を使用して接続する。システム
構成を図1-2に示す。

※CARDNETセンターとTCP/IPを使用しての接続に関する詳細は、第2章「伝送
制御仕様」を参照。

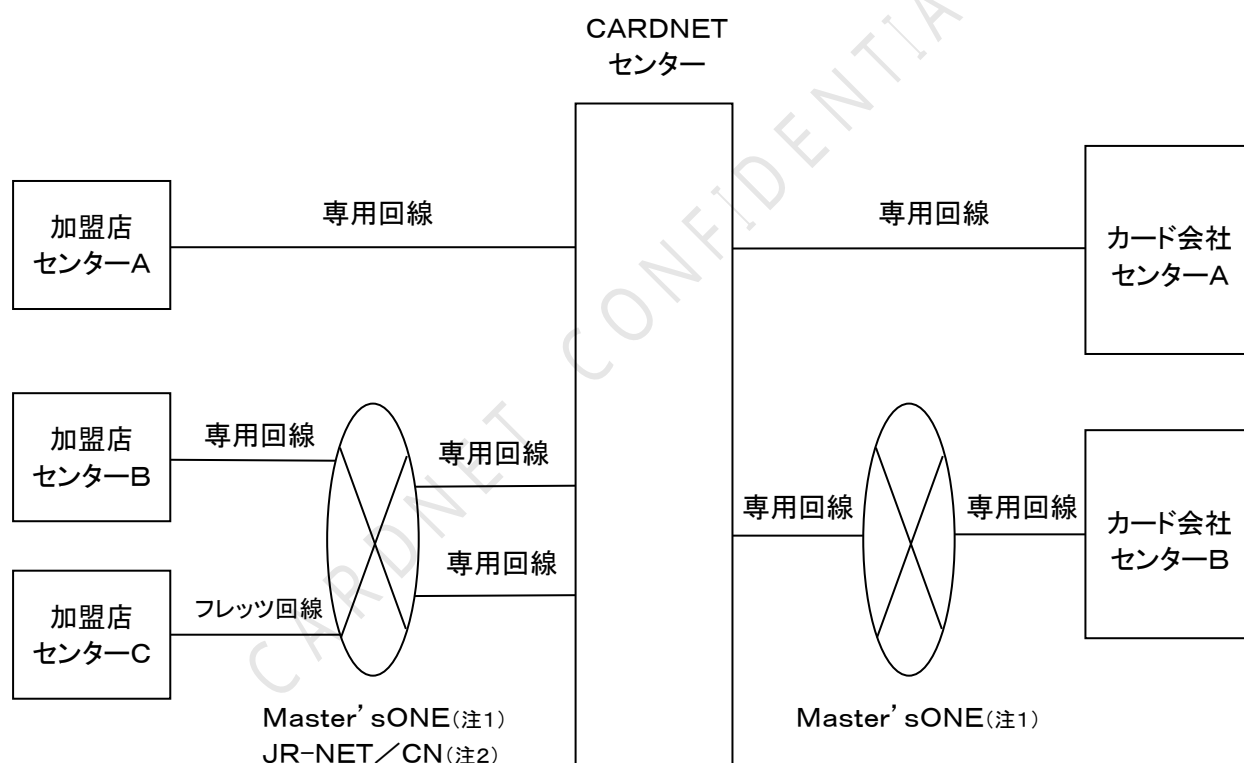


図1-2 接続回線（TCP/IP使用の接続回線契約者向け）

（注1）Master's ONE

NTTPCコミュニケーションズが提供している、ICTトータルソリューションの名称（IP-VPN）。

（注2）JR-NET/CN

センター間接続サービスにおいて使用される接続サービス（IP-VPN）。

※鉄道情報システム株式会社と提携して提供

1. 1. 4 CARDNETセンターID

CARDNETセンターのダイレクト接続におけるセンターIDを図1-3に示す。

会社コード							サブコード			
3	J	0	2	1	0	0	0	0	0	0

図1-3 CARDNETセンターID

CARDNET CONFIDENTIAL

1. 2 CN手順概要

CARDNETセンターと接続先センターとの接続手順にはCN手順を使用する。CN手順は株式会社日本カードネットワークが独自に開発したセンター間接続手順である。CN手順の特徴を表1-2に、また、CN手順で定義する適用範囲を表1-3に示す。

表1-2 CN手順の特徴

特徴	内容
国際標準仕様の採用	電文構成(電文形式、電文体系)は、国際標準であるISO8583(93年度版)に準拠し、国際化へ対応する。
国内業務への対応	国際標準で規定されていない、日本国内独自のカード業務への対応を考慮する。
取引整合性の確認	取引金額の整合性を確保する為に、オンライン精査機能を装備する。
データセキュリティの確保	データの機密保持を目的とした電文の暗号化機能、および電文の改ざん防止を目的とした電文の認証機能を実装する。

表1-3 CN手順の適用範囲

項目	内容
伝送制御仕様	TCP/IPの接続条件を定義。
電文構成仕様	電文形式(電文構成、電文種別、電文項目)、および電文体系を定義。
センター制御仕様	オンライン状態による送受信電文の制御仕様、開閉局の処理仕様、および時間監視の処理仕様を定義。
業務処理仕様	業務系電文の処理仕様、および業務処理上の考慮事項を定義。
オンライン精査仕様	オンライン精査に関するカットオーバー(日替わり)の処理仕様、および精査カウンターの管理仕様を定義。
セキュリティ制御仕様	セキュリティ基準として電文暗号化(電文本体、暗証番号)の処理仕様、および電文認証の処理仕様を定義。

1. 2. 1 業務概要

CN手順がオンライン処理でサポートする業務の概要を表1-4に示す。

表1-4 オンライン処理一覧

処理種別			内容
業務系	オーソリ		売上処理を伴わないカード取引の判定
		オーソリ	カード取引の判定を行う業務
		オーソリ取消／返品	オーソリに対する取消業務
		海外キャッシング	海外キャッシング取引の判定を行う業務 (オーソリとして扱う)
		事前承認	将来的なカード取引を事前に判定し、与信額の枠取りを行う業務
		事前承認取消	事前承認に対する取消／返品業務
		承認後オーソリ	仕向センターにて承認後売上取引をオーソリ処理として中継する業務(オンライン端末では発生しない)
		承認後オーソリ取消／返品	承認後オーソリに対する取消／返品業務
		無効カード照会	カードの有効性を確認する業務
	オーソリアドバイス	オーソリ事後一括送信	売上処理を伴わないカード取引の判定結果通知
	売上		売上処理を伴うカード取引の判定
		売上	カード取引の判定を行う業務
		売上取消／返品	売上に対する取消／返品業務
		承認後売上	電話等でカード会社から承認を得た後に売上処理を行う業務
		承認後売上取消／返品	承認後売上に対する取消／返品業務
	売上アドバイス	売上事後一括送信	売上処理を伴うカード取引の判定結果通知
	障害取消アドバイス		オーソリ、売上取引のシステム的な取消を行う業務
制御系	オンライン精査		取引金額の整合性を確認する業務
	汎用通知	障害電文通知	異常電文受信時に通知を行う業務
		カットオーバー依頼	日替処理の依頼を行う業務
	ネットワーク制御	開局	オンライン業務の開始を行う業務
		閉局	オンライン業務の終了を行う業務
		キー交換	暗号化キーの交換を行う業務
		カットオーバー	日替処理を行う業務
		エコーテスト	相手センターの稼働状況を確認する業務

1. 3 JET-S手順概要

CARDNETセンターとオンライン端末との接続手順にはJET-S手順を使用する。JET-S手順は、株式会社日本カードネットワークが独自に開発したオンライン端末間接続手順であり、CN手順への変換はCARDNETセンターにて行う。

1. 3. 1 業務概要

JET-S手順がオンライン処理でサポートする業務の概要を表1-5に示す。

表1-5 オンライン処理一覧

端末処理種別		内容	CN手順への変換
業務系	オーソリ	オーソリ端末によるカード取引の判定要求	オーソリ
		オーソリ	オーソリ
		オーソリ取消／返品	オーソリ取消／返品
		事前承認	事前承認
		事前承認取消	事前承認取消
		無効カード照会	無効カード照会
	オーソリアドバイス	オーソリ事後一括送信	オーソリアドバイス
	売上	ギャザリング端末によるカード取引の判定要求	売上
		売上	売上
		売上取消／返品	売上取消／返品
		承認後売上	承認後売上
		承認後売上取消／返品	承認後売上取消／返品
	売上アドバイス	売上事後一括送信	売上アドバイス
	自動取消／取引通番リカバリー		障害時の取消やりカバリーをする業務 障害取消

1. 4 ISO8583との関連

ISO8583は、オンラインカード業務における国際標準として電文構造や電文体系、および電文処理仕様などを規定している。CN手順は、ISO8583（93年度版）をその基本体系として、接続の容易性や拡張性、国内業務への対応等を考慮した手順である。ISO8583の適用範囲を以下に示す。

（１）電文形式の定型化

ISO8583電文は、電文のフォーマット、および電文項目のレングスが可変であるため、業務処理場の不可が大きい。CN手順では、取引タイプ毎に電文フォーマットの定型化と電文項目レングスの固定化を必要な限り実施して、接続先センターの対応を容易にした。

（２）国内業務の対応

ISO8583に規定のない日本国内固有のデータ項目は、予備項目である国内使用予約域、国内用追加データおよび個社用追加データの各項目を拡張し定義した。

（３）アクアイアラとイシュアの考え方

CN手順では、国内の業務形態を考慮して、ISOにおけるアクアイアラを仕向センター、イシュアを被仕向センターとして定義した。

（４）ISO8583定義範囲外の機能仕様

ISO8583で定義範囲外の機能仕様については、オンライン業務処理の効率性や拡張性を考慮して、CN手順として独自に定義した。

1. 5 CAFIS手順との関連

CN手順は、CARDNETセンターとのセンター間接続を行うための独自手順である。CAFIS手順とは独立した手順であるが、現行業務との互換性維持や、接続先センターとのCAFISセンター経由接続への対応として、以下の点を考慮した。

(1) センターIDの識別

CN手順においてセンターを識別するコードは、CAFIS手順で使用されているコード体系と同様とする。センターIDは、会社コード7桁+サブコード4桁の合計11桁で構成される。

(2) エラーコードの設定

CN手順における取引結果は、ISO8583体系エラーコードであるアクションコードを基本とする。但し、国内レスポンスコードを補足情報として設定する。

(3) カード業務の関連

CN手順でサポートするカード業務とCAFIS手順電文の関連を表1-6に示す。

表1-6 カード業務の関連

CN手順			CAFIS手順	
電文名称		電文種別コード	電文名称	電文種別
オーソリ／ オーソリアドバイス	オーソリ	C100 C120	売上要求	3210
	オーソリ取消／返品		取消要求	3310
	事前承認		与信要求	3110
	事前承認取消		取消要求	3310
	承認後オーソリ		売上要求	3210
	承認後オーソリ取消／返品		取消要求	3310
	無効カード照会		与信要求	3110
売上／ 売上アドバイス	売上	C200 C220	売上要求	3210
	売上取消／返品		取消要求	3310
	承認後売上		売上要求	3210
	承認後売上取消／返品		取消要求	3310
障害取消アドバイス		C420	取消指令 取消確認指令	8910 8930

注：電文種別コードの詳細は、3. 1. 3「MTI (Message Type ID)」を参照。

第2章 伝送制御仕様

本章では、CN手順におけるTCP/IPの接続条件を定義する。

仕向センター／被仕向センターのCARDNETセンターへの接続条件はTCP/IP接続となる。

※X.25を使用した接続回線は2018年5月でサービス提供を終了し、以降TCP/IPを使用した接続回線へ切換え済。

仕向業務も被仕向業務も行っている場合は、2.2被仕向センター接続を参照ください。

CARDNET CONFIDENTIAL

2. 1 仕向センター接続

2. 1. 1 接続概要

TCP/IPを使用する場合の接続概要について記述します。

2. 1. 1. 1 ネットワーク構成

CARDNETセンターとの接続にTCP/IPを使用する場合には、以下のネットワークのいずれかを利用して接続します。

各ネットワークの詳細につきましては、2. 1. 5以降をご参照ください。

- Master's ONE網(以降「Master's ONE」と記す)
- Master's ONE網+セキュアインターネットVPN(以降「SIV」と記す)
※株式会社NTTPCコミュニケーションズ社が提供
- JR-NET/CN
※鉄道情報システム株式会社が提供

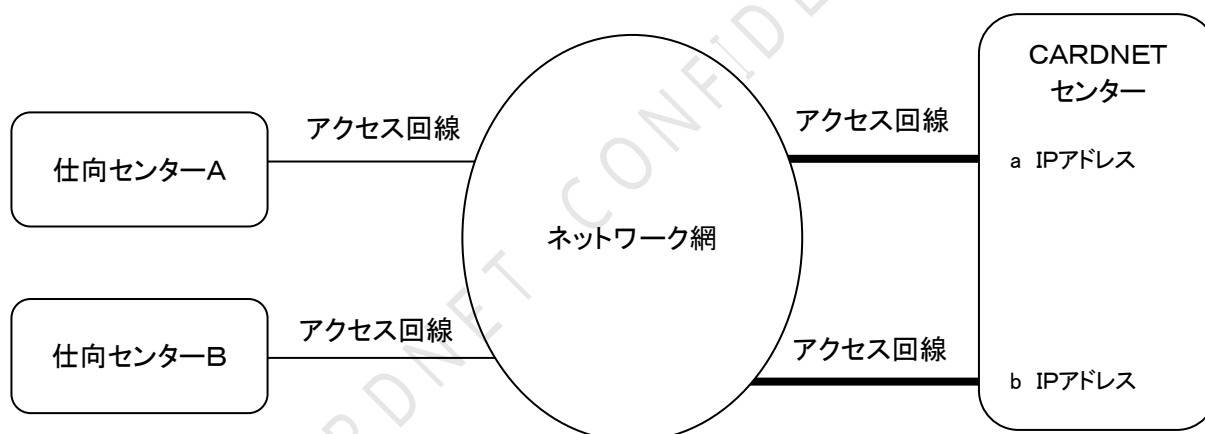


図2-1 TCP/IPを使用する場合のネットワーク構成イメージ

2. 1. 1. 2 接続回線

仕向センターと各ネットワークの接続およびCARDNETセンターと各ネットワークの接続は、各ネットワーク用のアクセス回線をラウンドロビン方式で使用します。

ネットワーク毎に使用可能なアクセス回線につきましては、2. 1. 5以降をご参照ください。

2. 1. 2 プロトコル仕様

TCP/IPを使用してCARDNETセンターと接続する際のプロトコル仕様について記述します。

2. 1. 2. 1 IP(Internet Protocol)レイヤ

IPレイヤにおける仕様は以下のとおりです。

2. 1. 2. 1. 1 仕様基準

IPの仕様については、RFC791に準拠します。

仕様の詳細については、同ドキュメントをご参照ください。

2. 1. 2. 1. 2 IPアドレスの管理

IPアドレスは、各ネットワークより付与されたIPアドレスを使用します。

また、仕向センターとCARDNETセンターはお互いのIPアドレスを事前に交換します。

CARDNETセンターでは、本番業務で使用するIPアドレスとは別に、試験用のIPアドレスを保有しています。

試験を実施する際には仕向センター側で宛先のIPアドレスを変更する必要があります。

CARDNETセンターは各ネットワークとの接続回線障害などに備えて、複数回線で接続し、回線毎に異なるIPアドレスを保有します。

2. 1. 2. 2 TCP(Transmission Control Protocol)レイヤ

TCPレイヤにおける仕様は以下のとおりです。

2. 1. 2. 2. 1 仕様基準

TCPの仕様については、RFC793に準拠します。

仕様の詳細については、同ドキュメントをご参照ください。

2. 1. 2. 2. 2 ポート番号

仕向センター及びCARDNETセンターが使用するポート番号について以下に示します。

(1) 仕向センターがコネクション発行を行う場合

仕向センターからコネクションを発行する場合は、「自ポート番号は任意」、「宛先ポート番号は2200or5100」でコネクション確立を行います。
CARDNETセンターは、待ちポート番号を2200or5100にてコネクション要求を待ちます。

図2-2に「仕向センター発行コネクションのポート番号」を示します。

※CARDNETセンター接続申込時に、2200と5100より宛先ポート番号をご選択いただきます。CARDNETセンターはご選択いただいたポート番号を待ちポート番号に設定します。

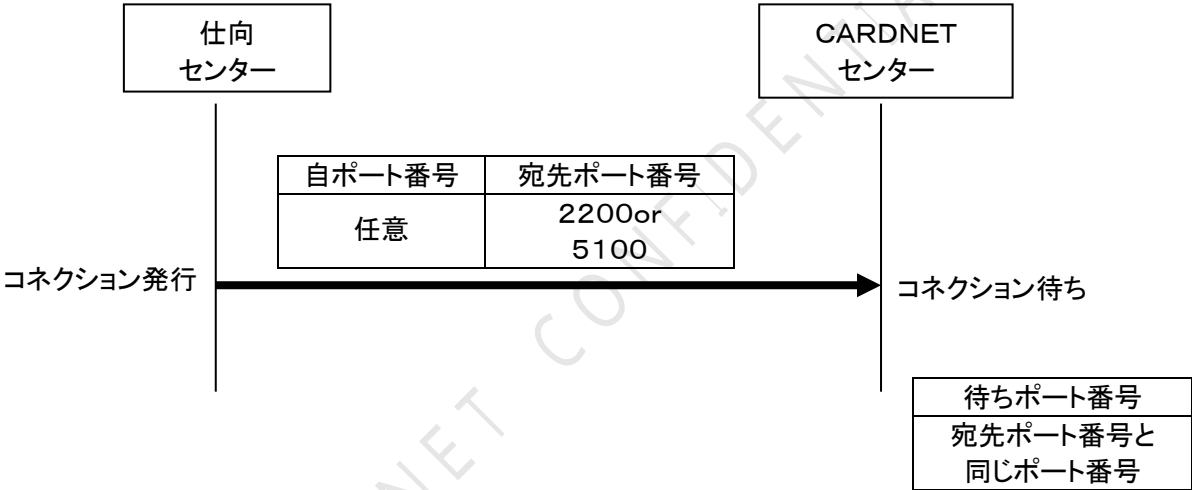


図2-2 仕向センター発行コネクションのポート番号

(2) CARDNETセンターがコネクション発行を行う場合

CARDNETセンターからコネクションを発行する場合は、「自ポート番号は任意」「宛先ポート番号は2200or5100」にてコネクション確立を行います。仕向センターは、待ちポート番号を2200or5100にてコネクション要求を待ちます。

図2-3に「CARDNETセンター発行コネクションのポート番号」を示します。

※仕向センターがCARDNETセンター接続申込時にご選択いただいた、2200 or 5100を宛先ポート番号として使用します。ご選択いただいたポート番号を待ちポート番号に設定してください。



図2-3 CARDNETセンター発行コネクションのポート番号

<ご留意事項>

仕向センターにてCARDNETセンター以外とのTCP/IP接続を実施する場合は、待ちポート番号を「仕向センターが選択した番号以外」を指定するようにご調整ください。

TCPコネクションの確立方式については、「2. 1. 3 コネクション方式」をご参照ください。

2. 1. 2. 3 TCP/IPパケットの送受信方法

パケット送信側および受信側共に、ソケットインターフェースによるストリーム通信を行う仕様とします。

パケット送信側は、CARDNET手順の電文を送信することとし、パケット受信側は、CARDNET手順の共通制御ヘッダ内「全体電文長」によりデータの受信完了を確認します。

「全体電文長」と受信したデータ長を比較した結果、受信した電文長が全体電文長より短い場合には、残るデータの受信を行います。

また、「全体電文長」と受信したデータ長を比較した結果、受信した電文長が全体電文長を超える場合には、「全体電文長」分のデータまでを1つの電文として処理し、継続するデータを2つ目の電文として処理を行います。

CARDNET CONFIDENTIAL

2. 1. 3 コネクションの方式

コネクションの方式について記述します。

2. 1. 3. 1 コネクションの確立

コネクションは、はじめにCARDNETセンターからのコネクションを確立し、その後仕向センターから確立してください。CARDNETコネクションは接続申込書に記載いただいた業務開始日より接続を開始します。

CARDNETセンターは、CARDNETセンターからのコネクションが確立した仕向センターのみ、仕向センターからのコネクションを確立します。よってコネクション確立の際は、CARDNETセンターからのコネクション確立を優先してください。

2. 1. 3. 1. 1 CARDNETセンターからのコネクションの確立

CARDNETセンターから確立したコネクション（以降「CARDNETコネクション」と記す）は、CARDNETセンターから発行する電文、およびKeep Aliveの送信に使用します。CARDNETセンターからCARDNETコネクションを使用して送信する電文を以下に示します。

- ・開局要求
- ・閉局要求
- ・キー交換要求
- ・カットオーバー要求
- ・オンライン精査要求
- ・エコーテスト要求
- ・障害電文通知

CARDNETセンターからの要求電文に対する仕向センターからの応答電文の送信は、CARDNETコネクションおよび仕向コネクションのどちらからでも送信を可能とします。

ただしCARDNETコネクションに、仕向センターより要求電文および通知電文が送信された場合、電文を破棄します。

図2-4に1コネクションでの確立シーケンスを示します。

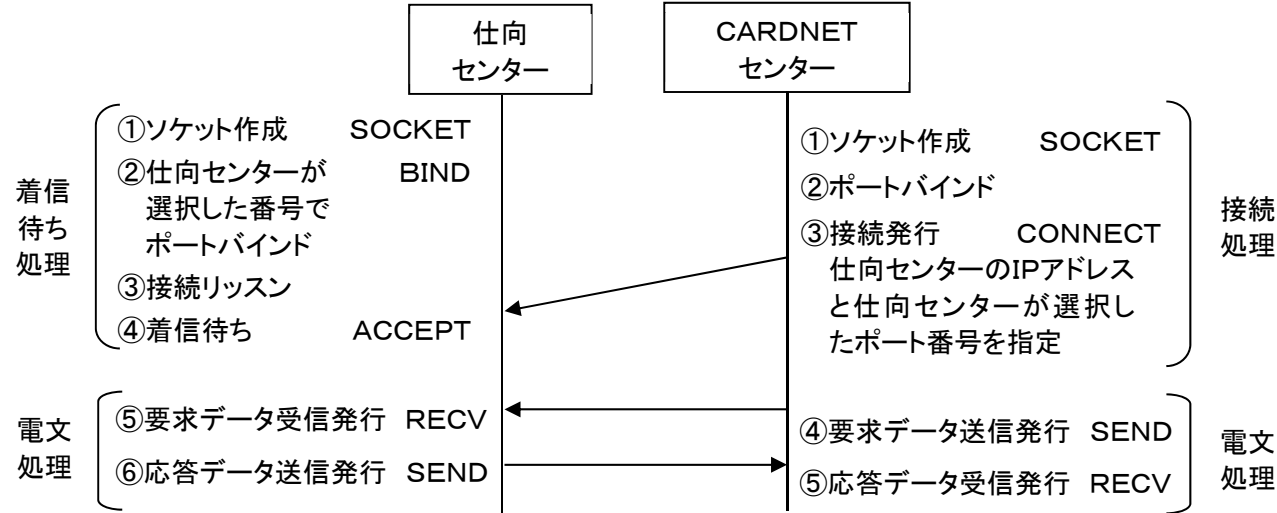


図 2－4 コネクションの確立シーケンス (CARDNETコネクション処理)

CARDNETセンターからのコネクション確立が失敗した場合は、一定間隔毎にConnect要求を送信し、コネクション確立を試みます。

図 2－5 にコネクション確立要求のリトライシーケンスを示します。

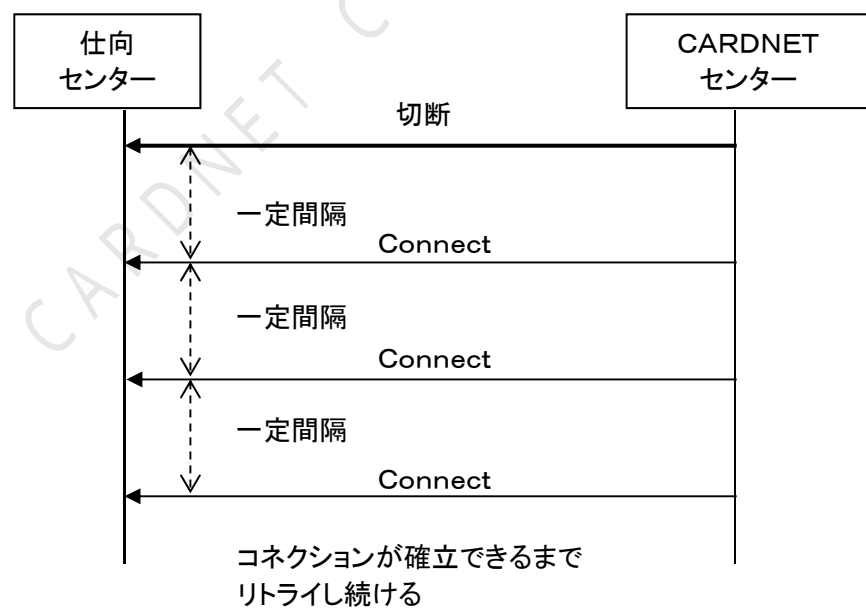


図 2－5 コネクション確立要求のリトライシーケンス

2. 1. 3. 1. 2 仕向センターからのコネクションの確立

仕向センターから確立したコネクション（以降「仕向コネクション」と記す）は、仕向センターから発行する電文の送信に使用します。

仕向コネクションの確立は任意のタイミングで実施することができます。コネクションの確立方式は、取引の発生都度、仕向コネクションを確立する方式および、予め複数のコネクションを確立しておく方式のいずれも可能です。ただし、いずれの場合でも、CARDNETセンターからの応答電文を受信するまでは仕向コネクションの接続を維持してください。

図2-6に1コネクションでの確立シーケンスを示します。

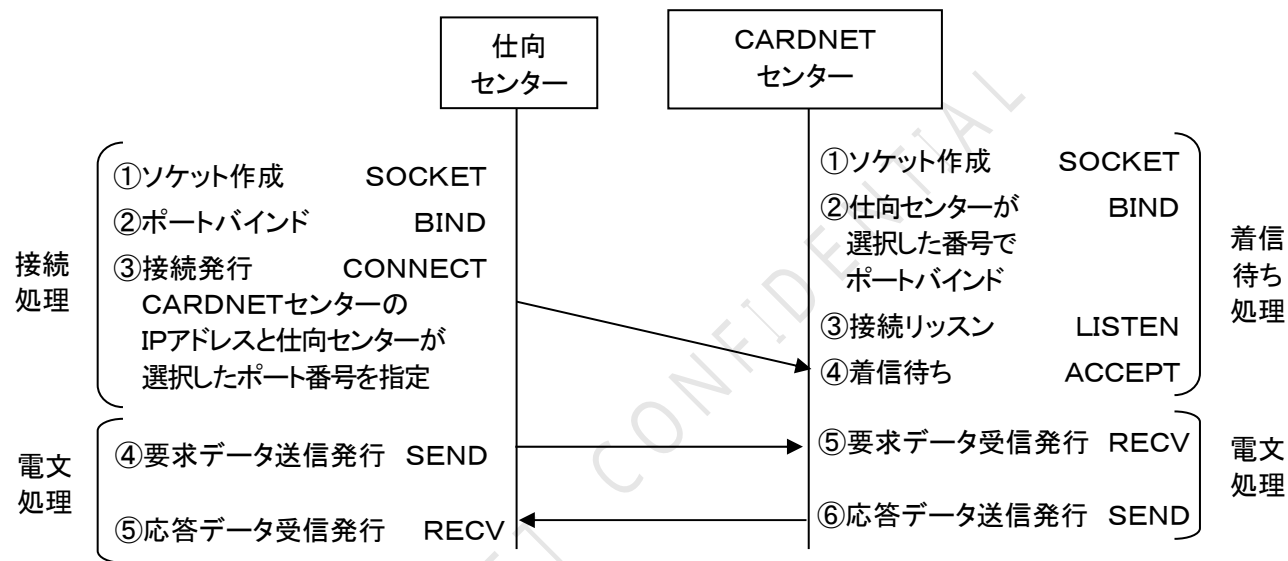


図2-6 コネクションの確立シーケンス（仕向コネクション処理）

2. 1. 3. 2 最大コネクション数

仕向センターおよびCARDNETセンターから確立できる最大コネクション数について以下に示します。

2. 1. 3. 2. 1 CARDNETコネクション数

CARDNETコネクションは、仕向センター側のIPアドレス1つに対してCARDNETセンター側のIPアドレス毎に1コネクションを確立し、合計2コネクションを使用します。

図2-7、図2-8にCARDNETセンターからのコネクションを示します。

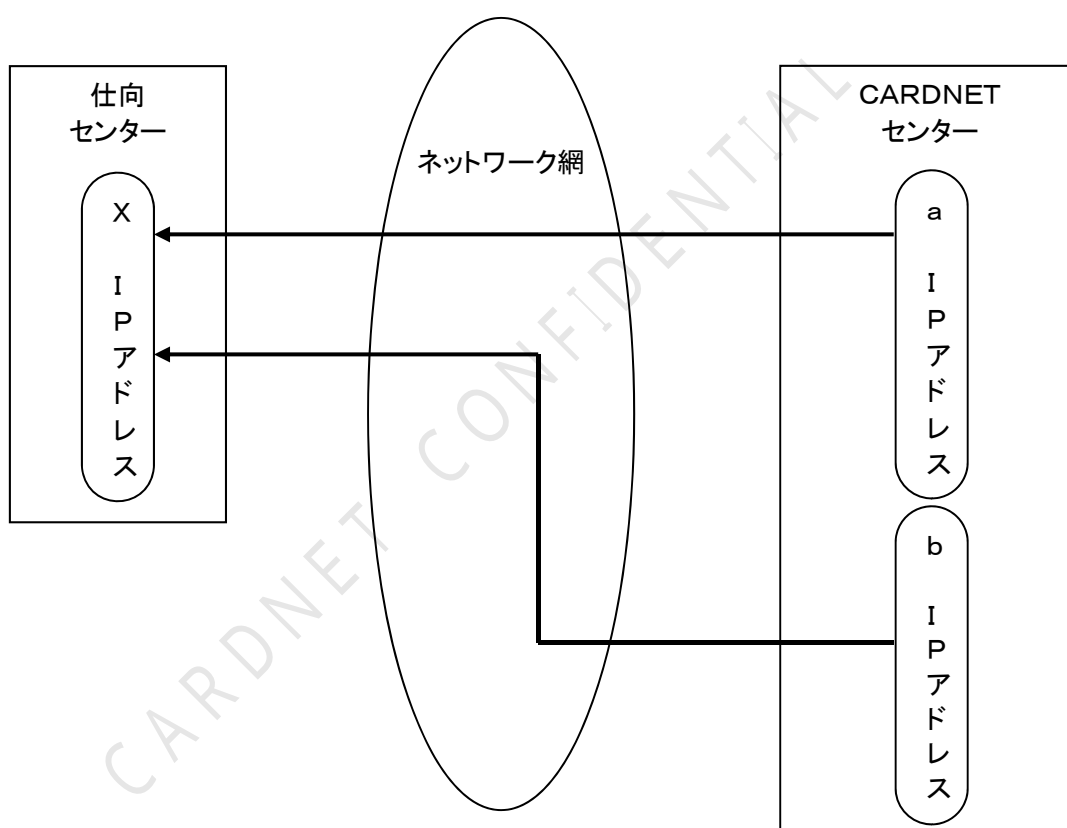


図2-7 CARDNETセンターからのコネクション
(1IPアドレス、2コネクション)

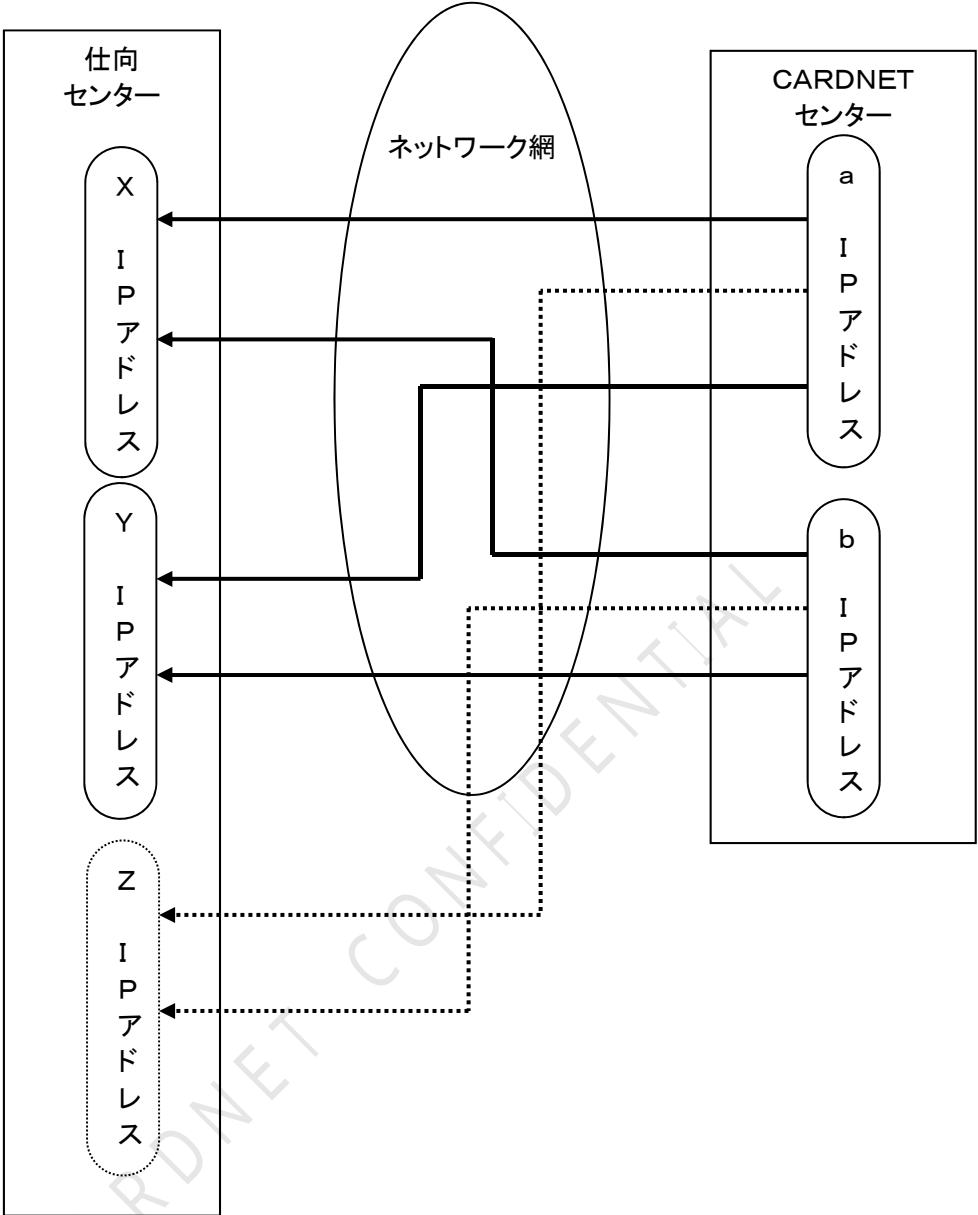


図 2-8 CARDNETセンターからのコネクション
(複数IPアドレス、複数コネクション)

2. 1. 3. 2. 2 仕向コネクション数

仕向コネクションは、トランザクション量に基づきCARDNETセンターと事前に調整の上、最大数を決定します。

IPアドレス設定時は、仕向センター側のIPアドレスがCARDNETセンターの2つのIPアドレスを指定できるようにします。

図2-9に1IPアドレス2コネクション、図2-10に複数IPアドレス複数コネクション時の仕向センターからのコネクションを示します。

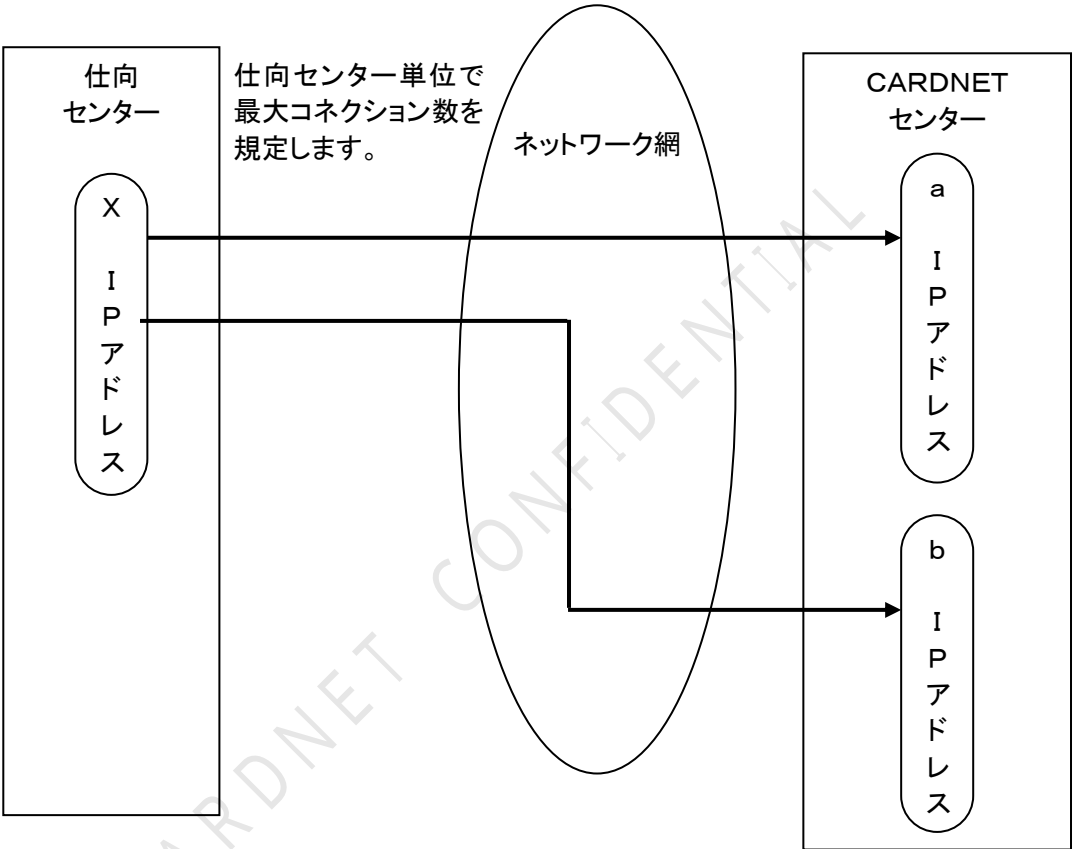


図2-9 仕向センターからのコネクション
(1IPアドレス、2コネクション)

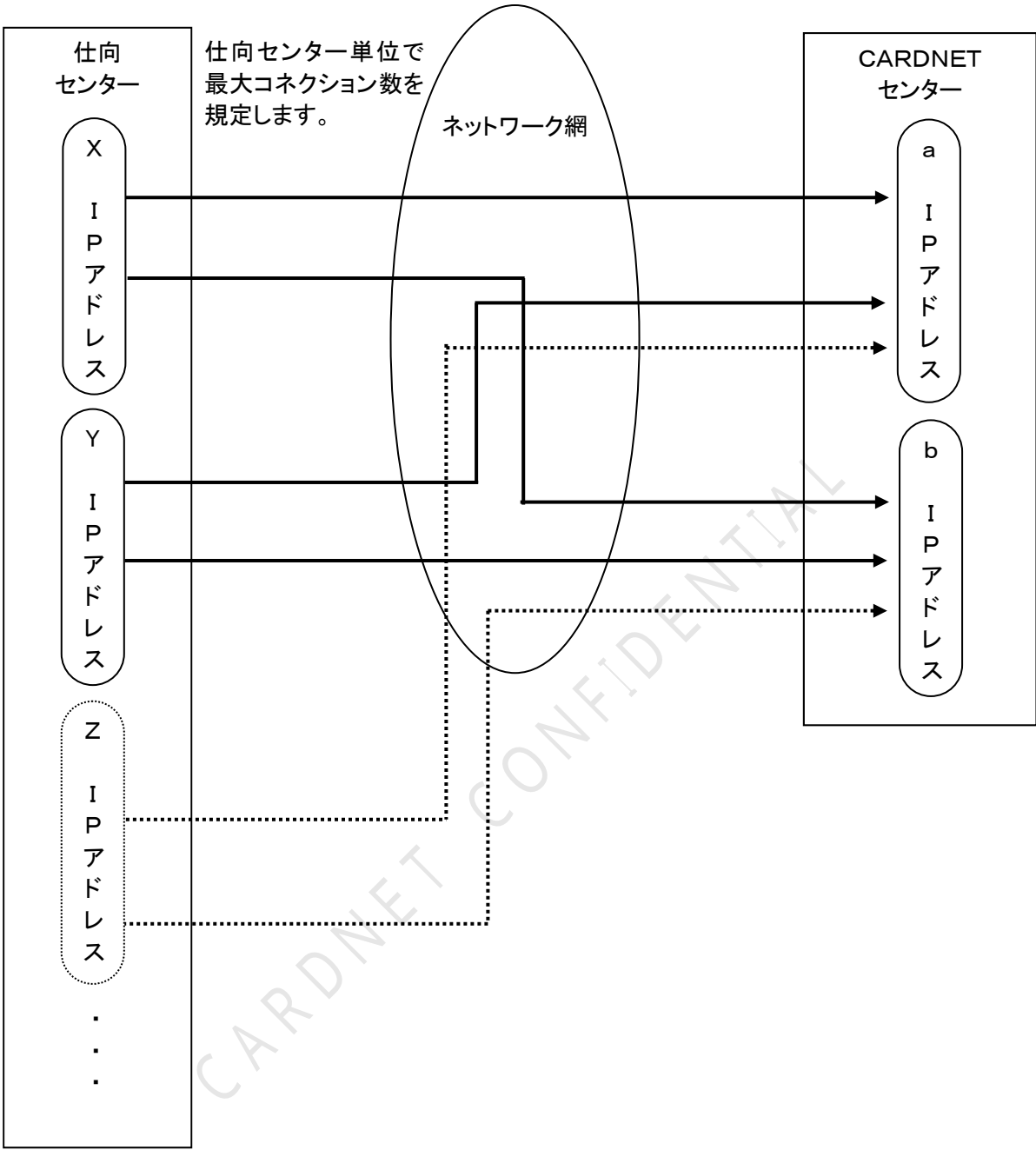


図 2-10 仕向センターからのコネクション
(複数IPアドレス、複数コネクション)

2. 1. 3. 3 コネクション選択

CARDNETセンターでは、要求電文を受信したコネクションと応答電文を送信するコネクションの関連付けを一切いたしません。

従って、仕向センターでの要求と応答の紐付けは、コネクションではなく、CARDNET手順における要求／応答電文の取引特定条件に基づいて行う必要があります。

CARDNETセンターにおける応答電文送信コネクションの選択方式及び仕向コネクション未確立時の処理方式について、以下に示します。

2. 1. 3. 3. 1 コネクション選択方式（CARDNETコネクション）

要求電文は送信可能なCARDNETコネクションをラウンドロビンに使用して送信します。また、仕向センターに複数のIPアドレスが存在する場合においても、仕向センターのIPアドレスを意識せず、ラウンドロビンに使用して送信します。

ラウンドロビン方式によるCARDNETコネクションの選択方式を図2－11に示します。

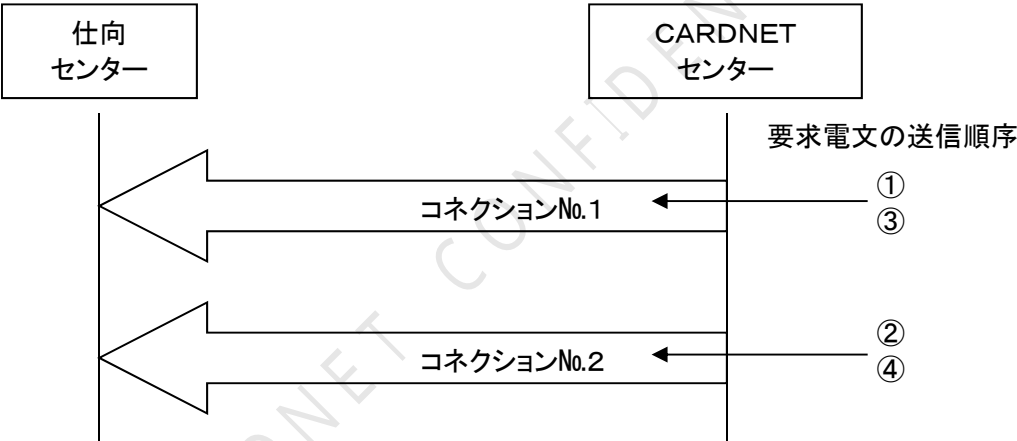


図2－11 ラウンドロビン方式（CARDNETコネクション数が2の場合）

2. 1. 3. 3. 2 コネクション選択方式（仕向コネクション）

仕向センターからCARDNETセンターへの要求電文は、複数コネクション接続の場合、送信可能な仕向コネクションをラウンドロビン方式で送信することを推奨します。仕向コネクションの一部が切断、または未確立の場合、確立済みの仕向コネクションを使用して取引を継続します。

ラウンドロビン方式による仕向コネクションの選択方式を図2-12に示します。

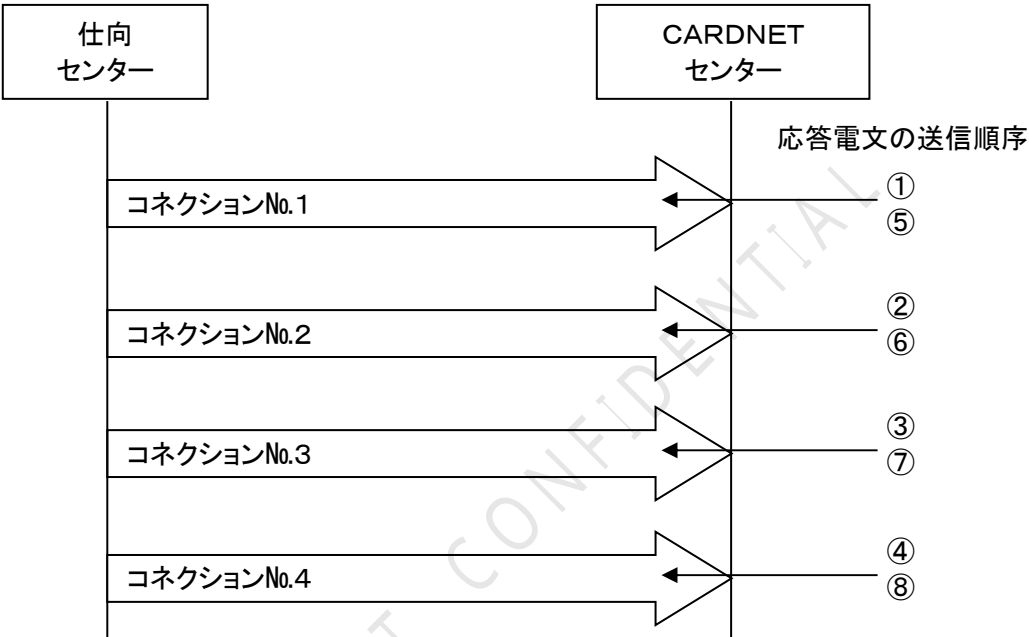


図2-12 ラウンドロビン方式（仕向コネクション数が4の場合）

CARDNETセンターから応答電文を送信する際に、仕向コネクションが全て切断されている場合、CARDNETセンター内にて応答電文を破棄します。
仕向コネクションが全て切断されている場合の処理を図2-13に示します。

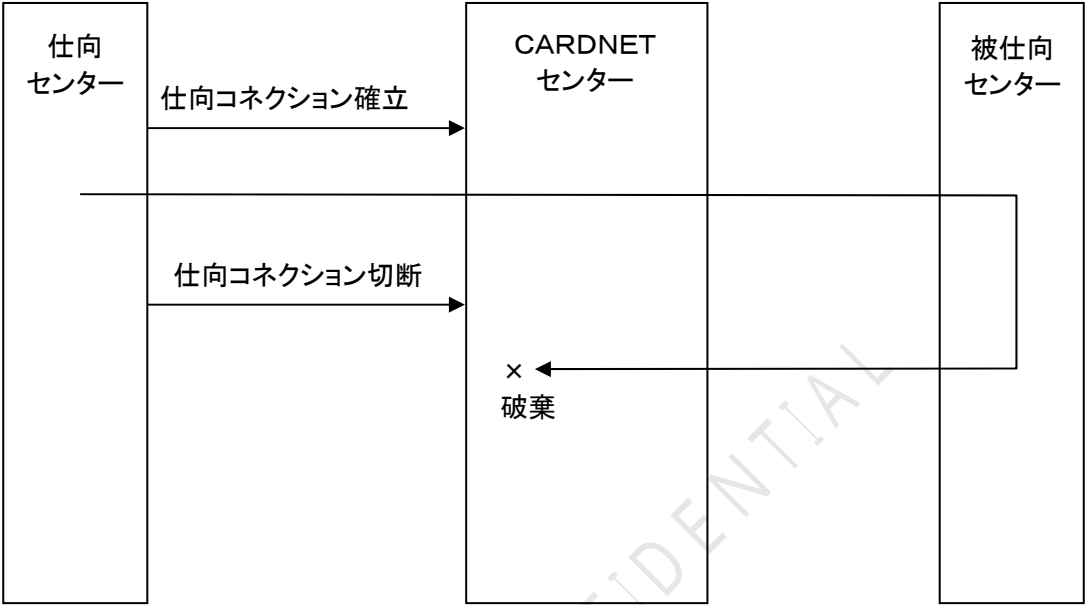


図2-13 応答電文送信時に仕向コネクションが全て切断されている場合

2. 1. 3. 4 コネクション切断方式

コネクションの切断は、コネクションを確立したセンター側にて任意のタイミングで行います。

ただし、CARDNETセンターの計画停止時、およびCARDNETセンターでのKeep Alive監視による回線障害の検知時には、CARDNETセンターから全てのコネクションを切断します。

2. 1. 3. 4. 1 CARDNETセンター計画停止時のコネクション切断方式

CARDNETセンター計画停止時のコネクション切断シーケンスを図2-14に示します。

(例：コネクション数が3の仕向センターの場合)

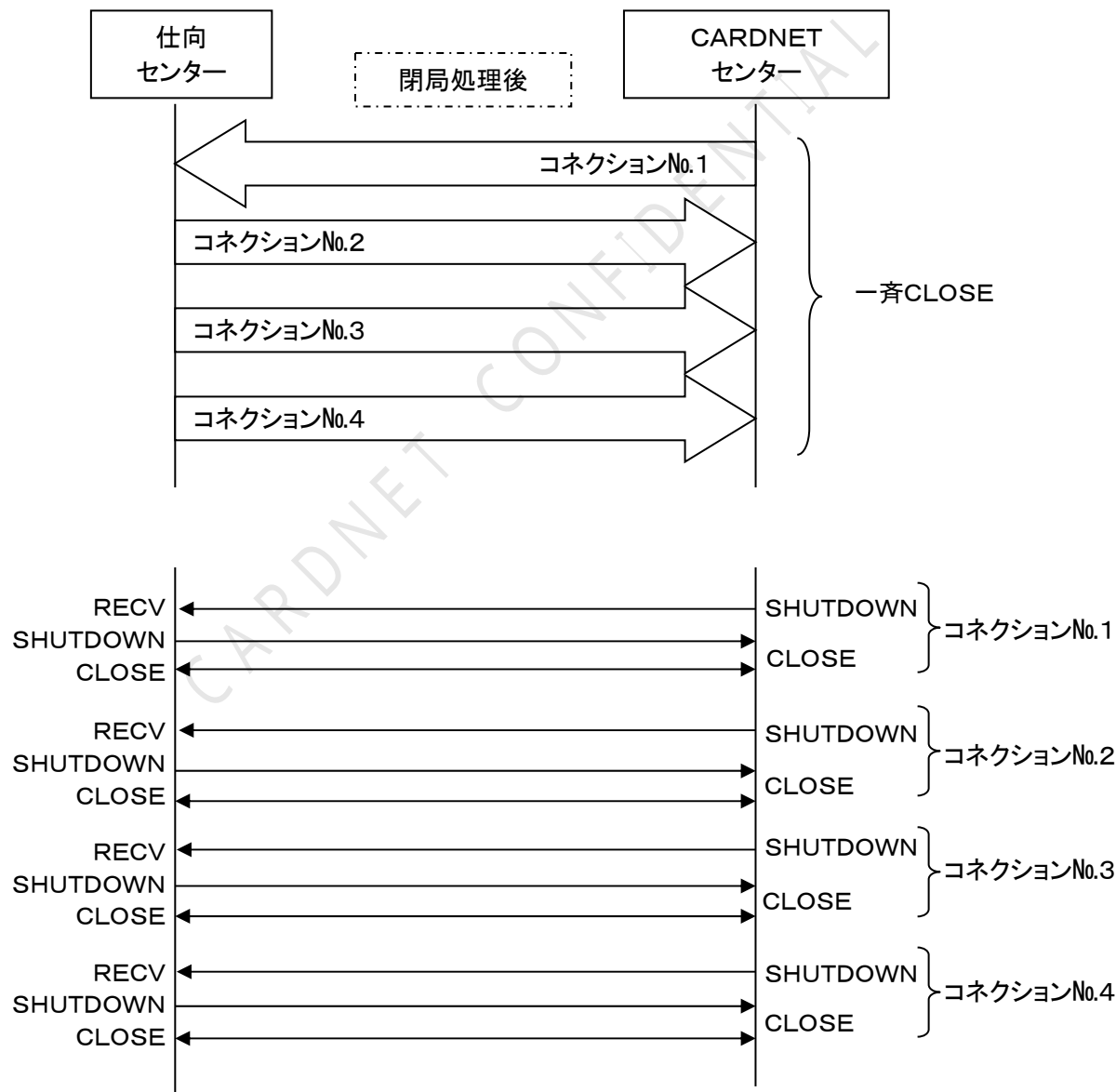


図2-14 CARDNETセンター計画停止時のコネクション切断シーケンス

2. 1. 3. 4. 2 回線障害検知時のコネクション切断方式

CARDNETセンターにてコネクションのエラーが検知された場合のコネクション切断シーケンスを図2-15に示します。

仕向センター側のIPアドレス1つに対してCARDNETコネクションにてエラーが検知された場合、CARDNETコネクションが確立できない仕向センター側のIPアドレスかつCARDNETセンター側のIPアドレス単位で全ての仕向コネクションを切断します。

(例：X IPアドレスの仕向コネクション数が2、Y IPアドレスの仕向コネクション数が2の仕向センターの場合)

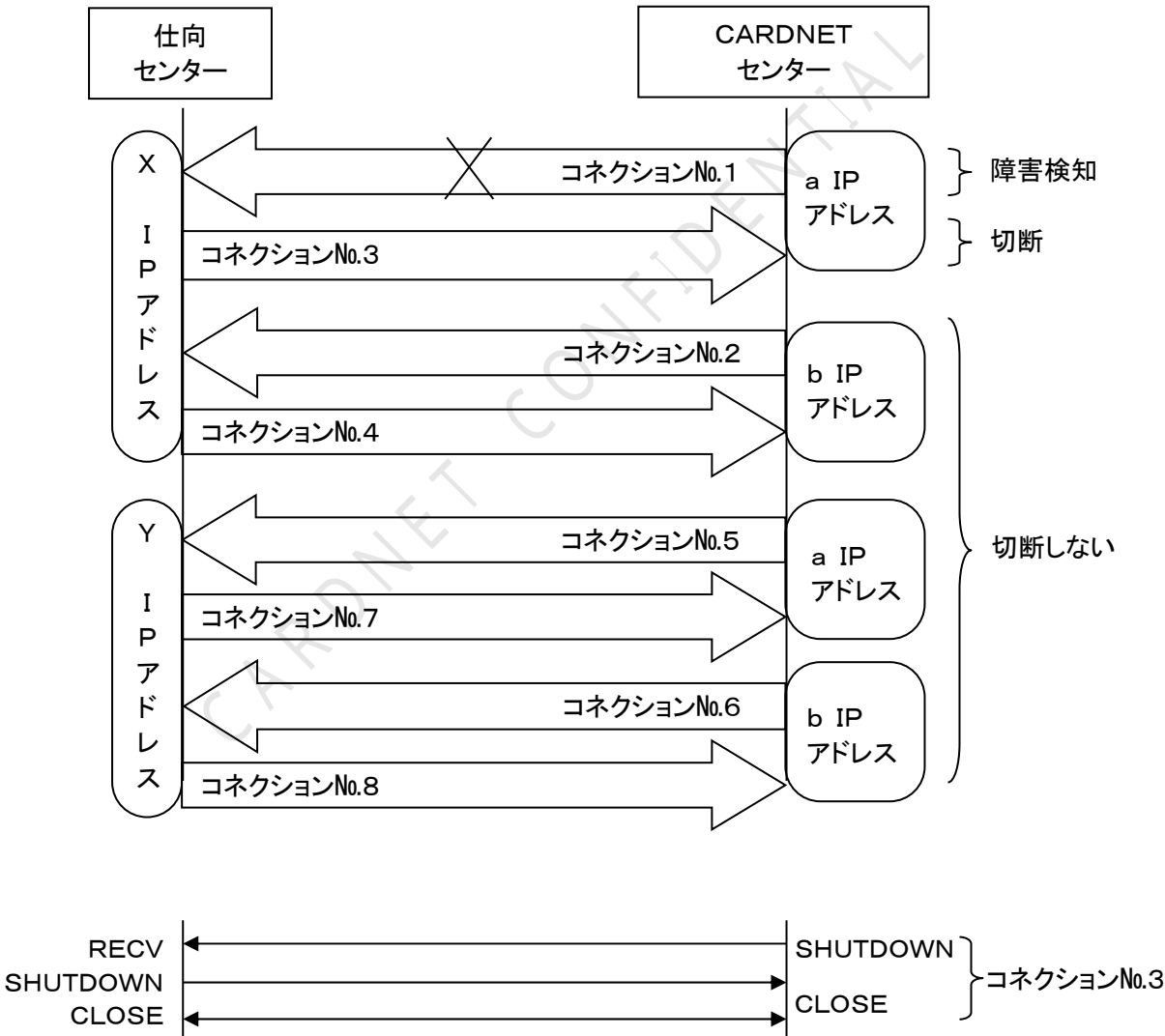


図2-15 CARDNETセンターからコネクションが確立できない場合のコネクション切断シーケンス

2. 1. 3. 5 コネクション数超過時の処理

CARDNETセンターは、事前に取り決めた最大コネクション数を超えるコネクション要求を受信した場合、既存の仕向コネクションを全て切断し、新たに確立されたコネクションで通信を行います。

仕向コネクション数が2つの仕向センターから3つ目のコネクション要求を受信した場合のシーケンスを図2-16に示します。

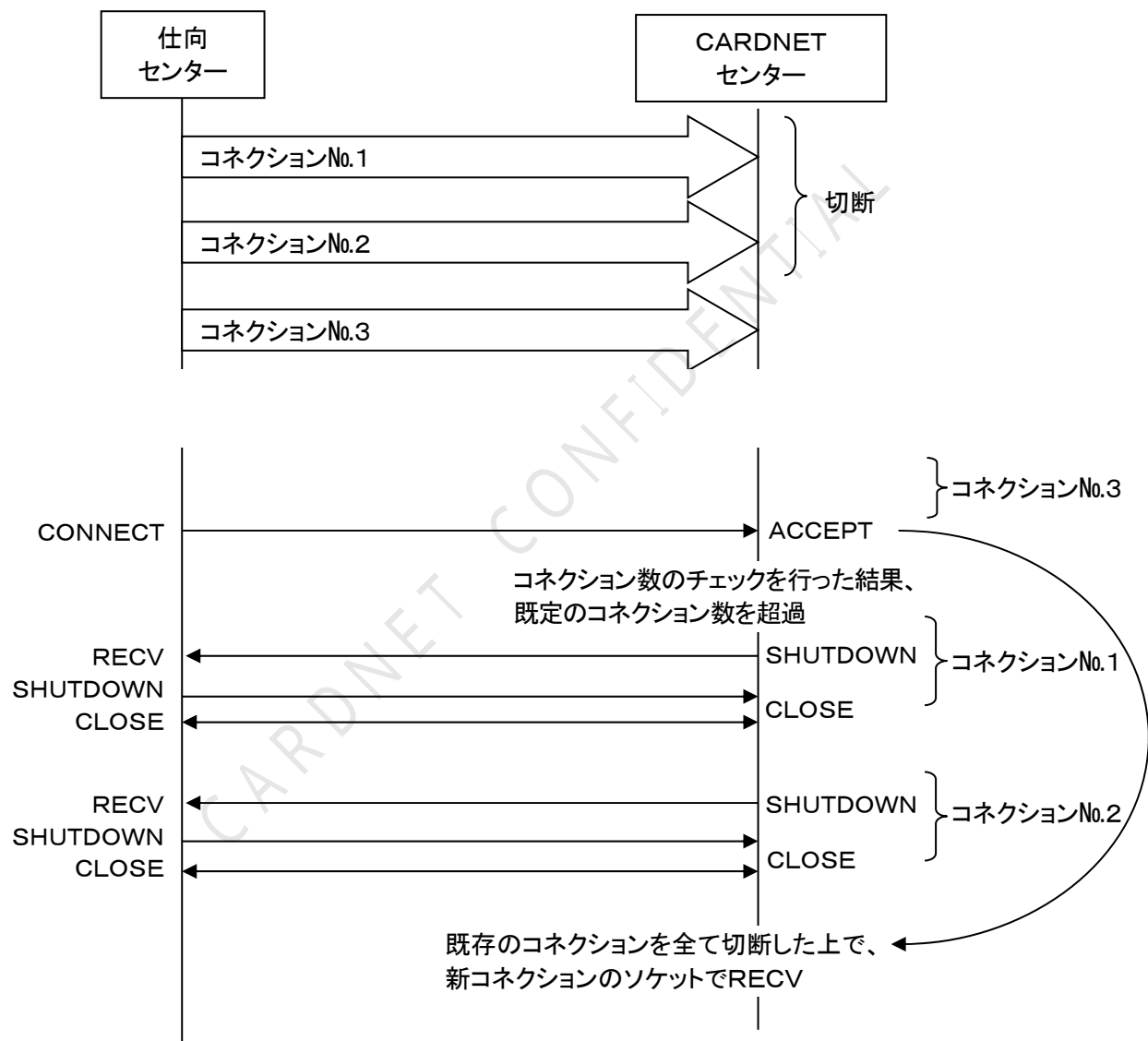


図2-16 コネクション数が2の仕向センターにおけるシーケンス

2. 1. 4 エラー検知

コネクションのエラーが発生した場合の対応について記述します。

2. 1. 4. 1 エラー検知の方法

エラーの検知は、各センターが、それぞれの確立したコネクションについて行うものとし、コネクションからのCLOSE要求受信、RESET要求受信、データ送信リトライ機能およびKeep Alive機能を使用して行います。

Keep Aliveの送信は無通信状態においてのみ行い、データの通信中にはKeep Aliveの送信を行いません。

※Keep Alive機能の詳細については、RFC1122をご参照ください。

2. 1. 4. 1. 1 仕向センターでの状態監視方法

仕向コネクションを長時間にわたって維持する場合は、Keep Alive機能により仕向コネクションの状態監視を行うことができます。Keep Aliveの送信におけるタイマー値およびカウンタ値は仕向センターにて任意に設定できます。

2. 1. 4. 1. 2 CARDNETセンターでの状態監視方法

CARDNETセンターは、Keep Alive機能により、CARDNETコネクションの状態監視を行います。Keep Aliveの送信におけるタイマー値およびカウンタ値を表2-1および表2-2に示します。

表2-1 Keep Aliveの送信タイマー

タイマー名称		内容	タイマー値	タイムアウト時の処理
T011	無通信監視タイマー	直近のAck送受信からの無通信状態監視時間	15秒	Keep Aliveパケットを送信する
T012	Keep AliveのAck応答待ちタイマー	Keep Aliveパケット送信後のAck応答待ち監視時間	15秒	Keep Aliveパケットを再度、送信する

表2-2 Keep Aliveの送信カウンタ

カウンタ名称		内容	カウンタ値	リトライアウト時の処理
C011	Keep Alive送信カウンタ	Keep Aliveパケットの送信回数	3回	コネクションを切断する

Keep Alive送信から45秒間無応答の場合には、コネクションを切断します。

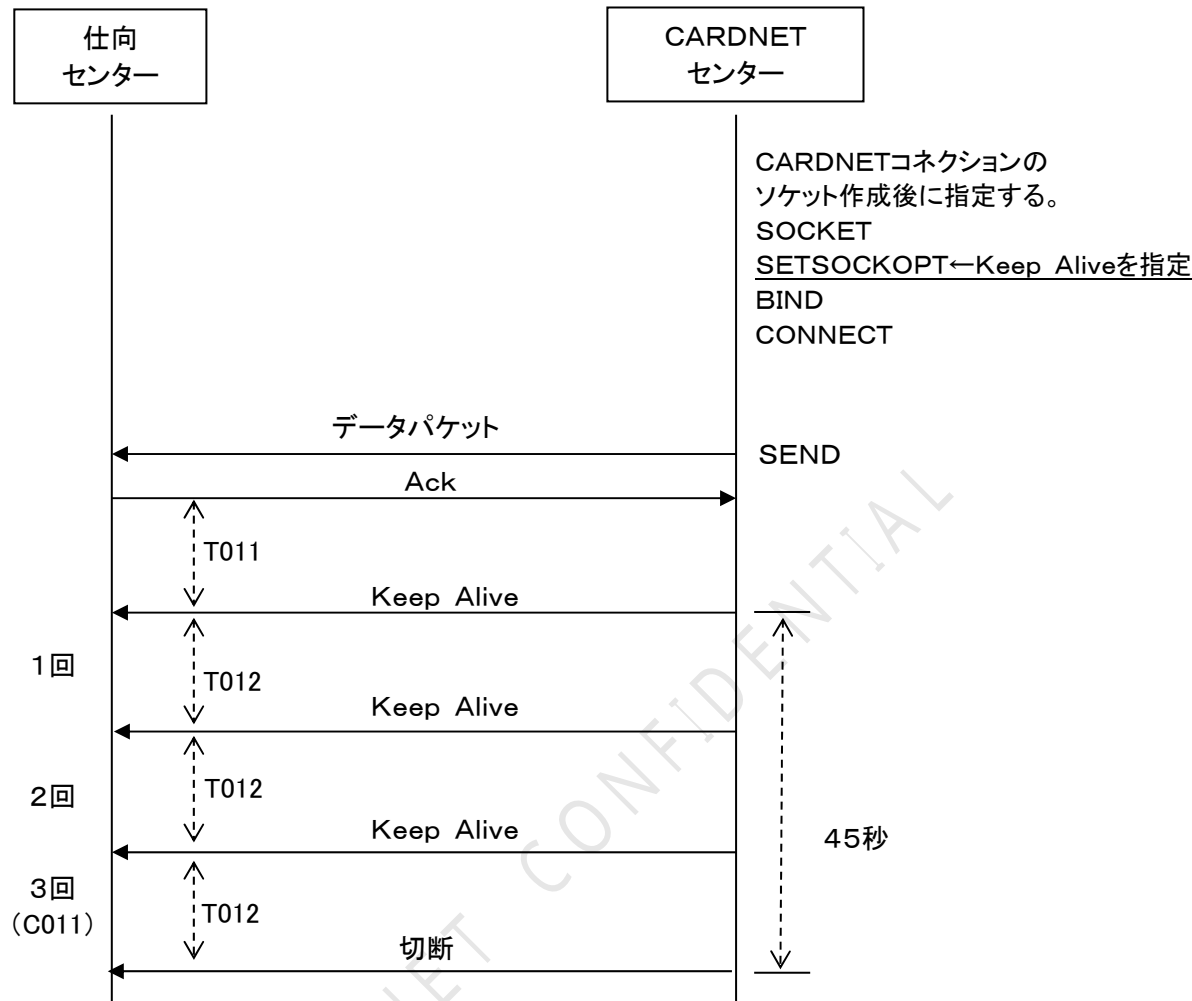


図 2－17 Keep Alive送信処理フロー

2. 1. 4. 2 CARDNETセンターでのエラー検出時の対応

CARDNETセンターから確立したコネクションが切断されたことを検知した場合は、Connect要求を送信しコネクション確立を試みます。

2. 1. 5 Master'sONE接続

CARDNETセンターとの接続にMaster'sONEを使用する場合の補足事項について記述します。

2. 1. 5. 1 ネットワーク構成

Master'sONEを使用する場合のネットワーク構成を図2-18に示します。

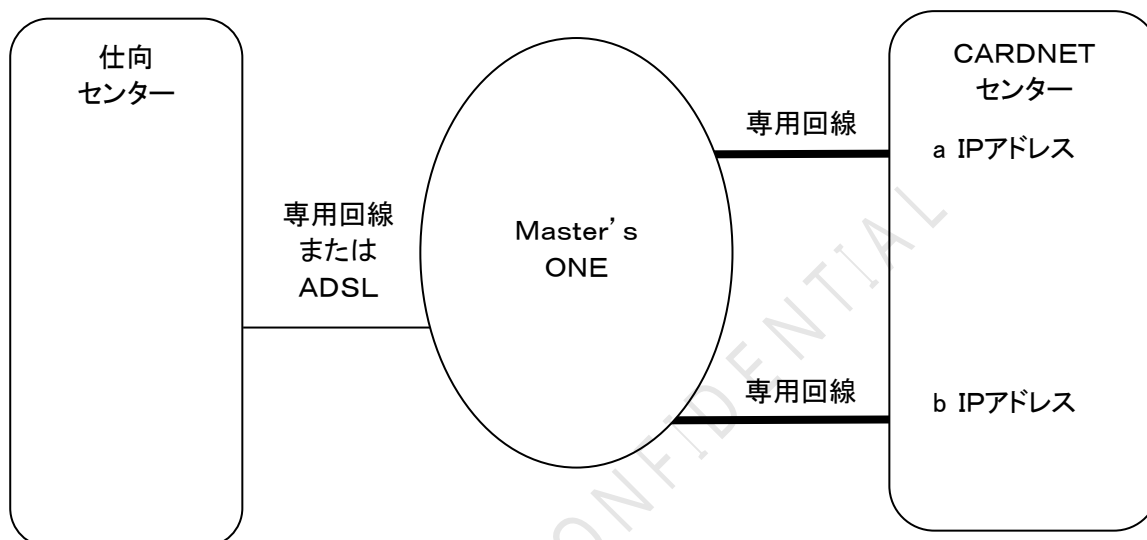


図2-18 Master'sONEを使用する場合のネットワーク構成図

2. 1. 5. 2 接続回線

仕向センターとMaster'sONEとの接続は専用回線またはADSLを使用します。
CARDNETセンターとMaster'sONEとの接続は専用線（2回線）を使用します。

なお、ダイヤルアップ接続が必要となるISDN回線については、CARDNETセンターからのコネクション確立を安定して行うことが出来ないため、使用不可となります。

2. 1. 6 SIV併用接続

CARDNETセンターとの接続にMaster'sONEとSIVを併用する場合の補足事項について記述します。

※SIVによる接続は、Master'sONEとの併用時にのみご利用可能です。

2. 1. 6. 1 ネットワーク構成

Master'sONEとSIVを併用する場合のネットワーク構成を図2-19に示します。

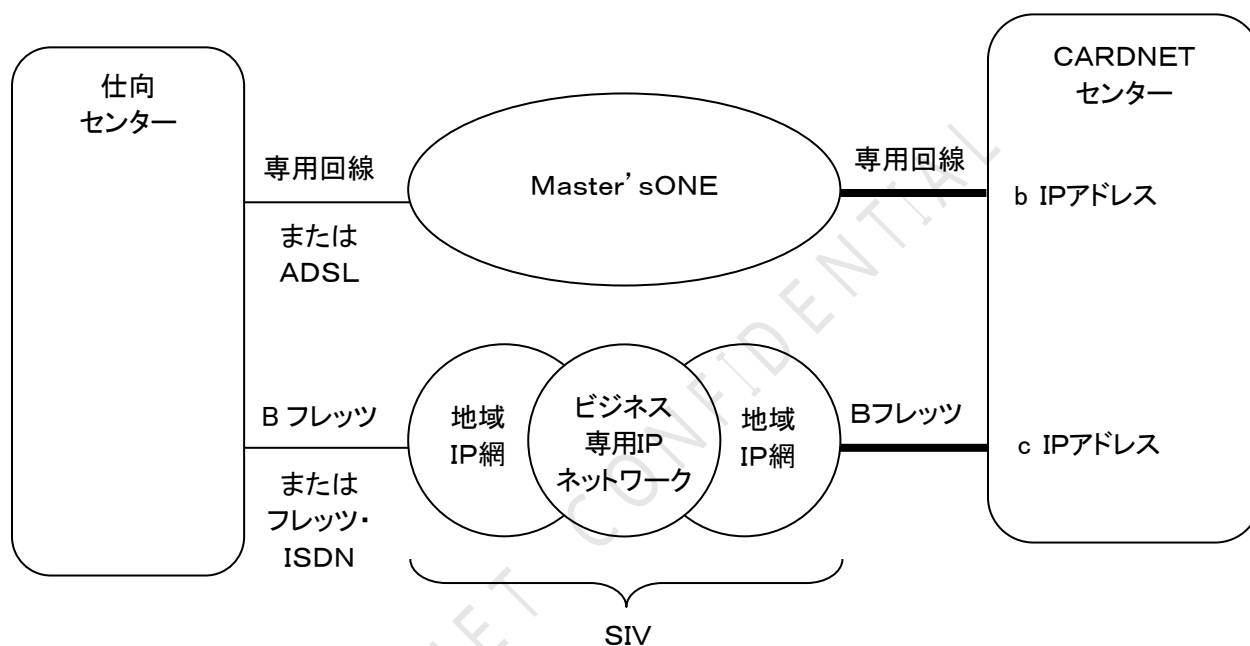


図2-19 Master'sONEとSIVを併用する場合のネットワーク構成図

2. 1. 6. 2 SIVとの接続回線

仕向センターとSIVとの接続はBフレッツまたはフレッツ・ISDNを使用します。
CARDNETセンターとSIVとの接続はBフレッツを使用します。

2. 1. 6. 3 CARDNETコネクション確立

CARDNETコネクションは、仕向センター側のIPアドレス 1 つに対してCARDNET センター側のIPアドレス毎に 1 コネクションを確立し、合計 2 コネクションを使用します。

図 2－20にCARDNETセンターからのコネクションを示します。

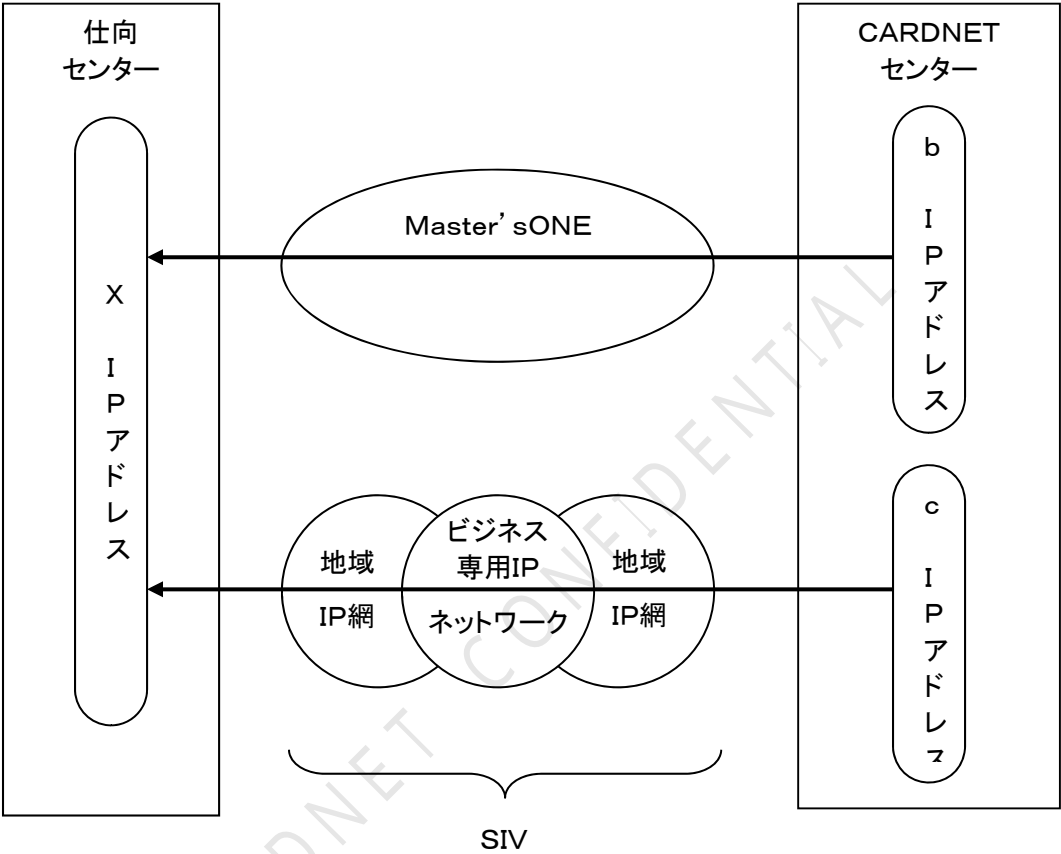


図 2－20 CARDNETセンターからのコネクション
(1 IPアドレス、 2 コネクション)

2. 1. 6. 4 仕向コネクション確立

仕向コネクションは、CARDNETセンター側のIPアドレス2つに対して仕向センター側のIPアドレス毎にMaster's ONEおよびSIVを使用してコネクションを確立できるようにします。

CARDNETセンターから仕向センターへの応答電文は、ネットワークを意識せずに、送信可能な仕向コネクションをラウンドロビンに使用して送信します。

図 2-21に 1 IPアドレス 2 コネクション時の仕向センターからのコネクションを示します。

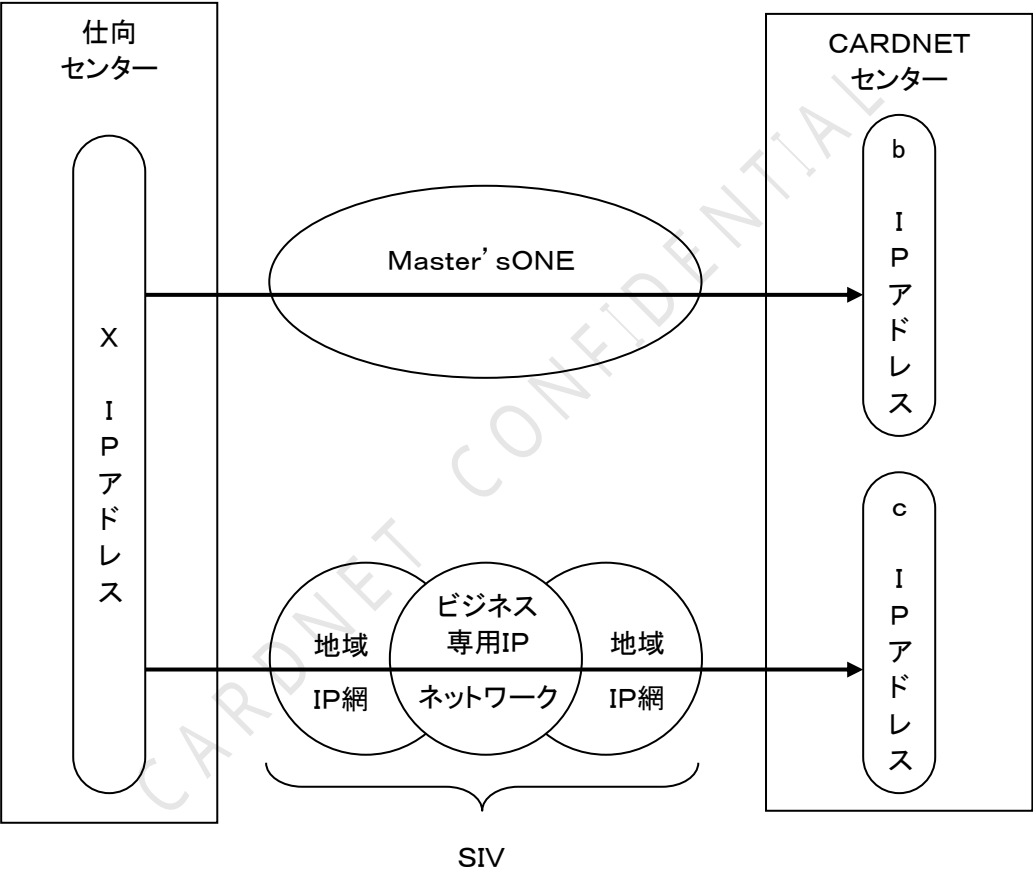


図 2-21 仕向センターからのコネクション
(1 IPアドレス、2 コネクション)

2. 1. 7 JR-NET／CN接続

CARDNETセンターとの接続にJR-NET／CNを使用する場合の補足事項について記述します。

2. 1. 7. 1 ネットワーク構成

JR-NET／CNを使用する場合のネットワーク構成を図2-22に示します。
JR-NET／CNを使用する場合は、バックアップ回線としてINS回線またはデータコネク
トが利用可能です。

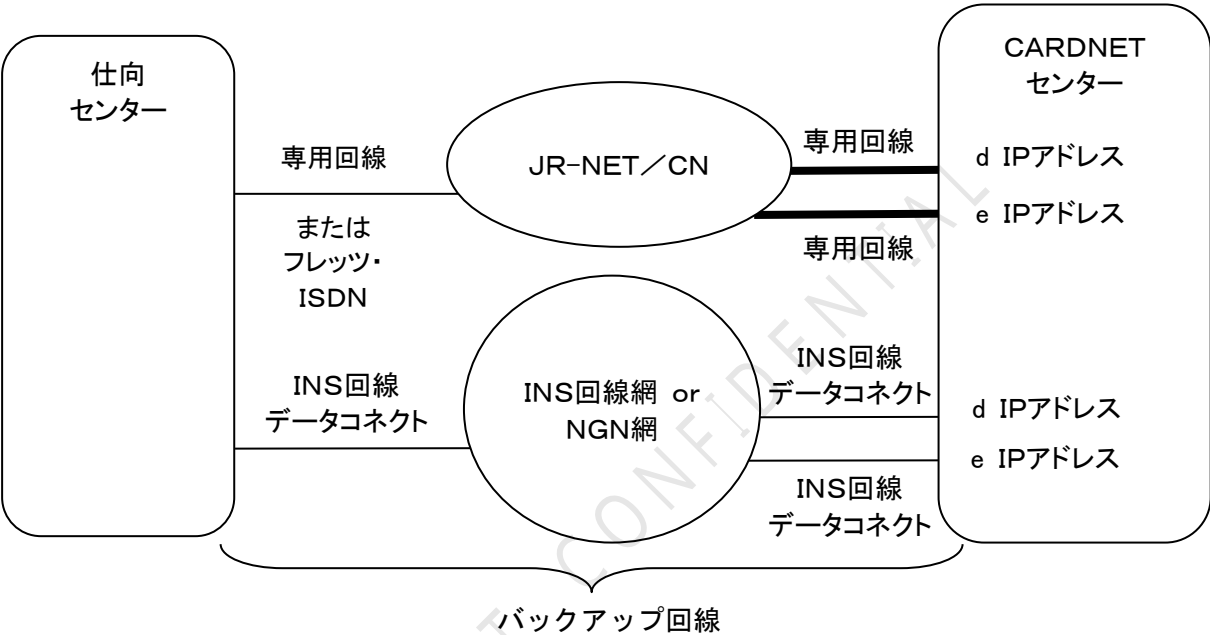


図2-22 JR-NET／CNを使用する場合のネットワーク構成図

2. 1. 7. 2 JR-NET／CNとの接続回線およびバックアップ回線

仕向センターとJR-NET／CNとの接続、CARDNETセンターとJR-NET／CNとの接続にて使用可能な接続回線、およびバックアップ回線の組合せパターンを表2-3に示します。JR-NET／CNとの接続にフレッツ・ISDNを使用される場合、バックアップ回線は同一回線を併用します。

表 2-3 JR-NET/CNとの接続回線およびバックアップ回線の組合せパターン

パターン	仕向センター～JR-NET/CN		JR-NET/CN～CARDNETセンター	
	接続回線	バックアップ回線	接続回線	バックアップ回線
1	専用回線	なし	専用回線(2回線)	なし
2	専用回線	INS回線 データコネク	専用回線(2回線)	INS回線(2回線) データコネク (2回線)
3	フレッツ・ISDN	INS回線 (接続回線と併用) データコネク	専用回線(2回線)	INS回線(1回線) データコネク (1回線)

CARDNET CONFIDENTIAL

2. 1. 7. 3 バックアップ回線切替方式

2. 1. 7. 3. 1 JR-NET／CNとの接続に専用回線を使用する場合

JR-NET／CNからバックアップ回線への切替および切戻しは、仕向センター側のルーターとCARDNETセンター側のルーター間で自動的に実施いたします。
ルーター間での切替および切戻しは、ルーター（IPアドレス）単位で実施いたします。
バックアップ回線のINSまたはデータコネクトの発呼および切断は、仕向センター側のルーターにて実施いたします。

バックアップ回線への切替および切戻しに伴う接続の切断は実施いたしません。

仕向センターおよびCARDNETセンターは、ネットワーク（回線）の切替および切戻しを意識せずに、電文の送受信が可能です。

図 2－23、2－24にJR-NET／CNからバックアップ回線への切替例を示します。

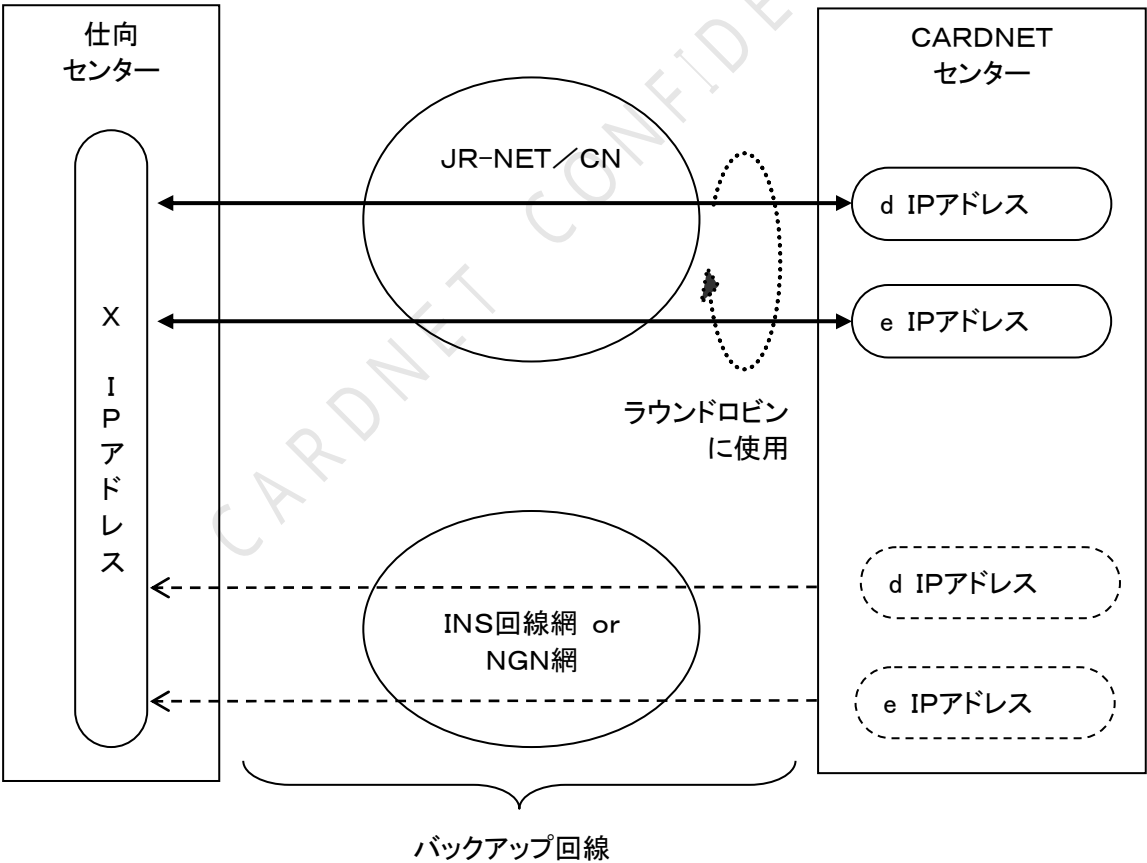


図 2－23 通常時（JR-NET／CN使用時）

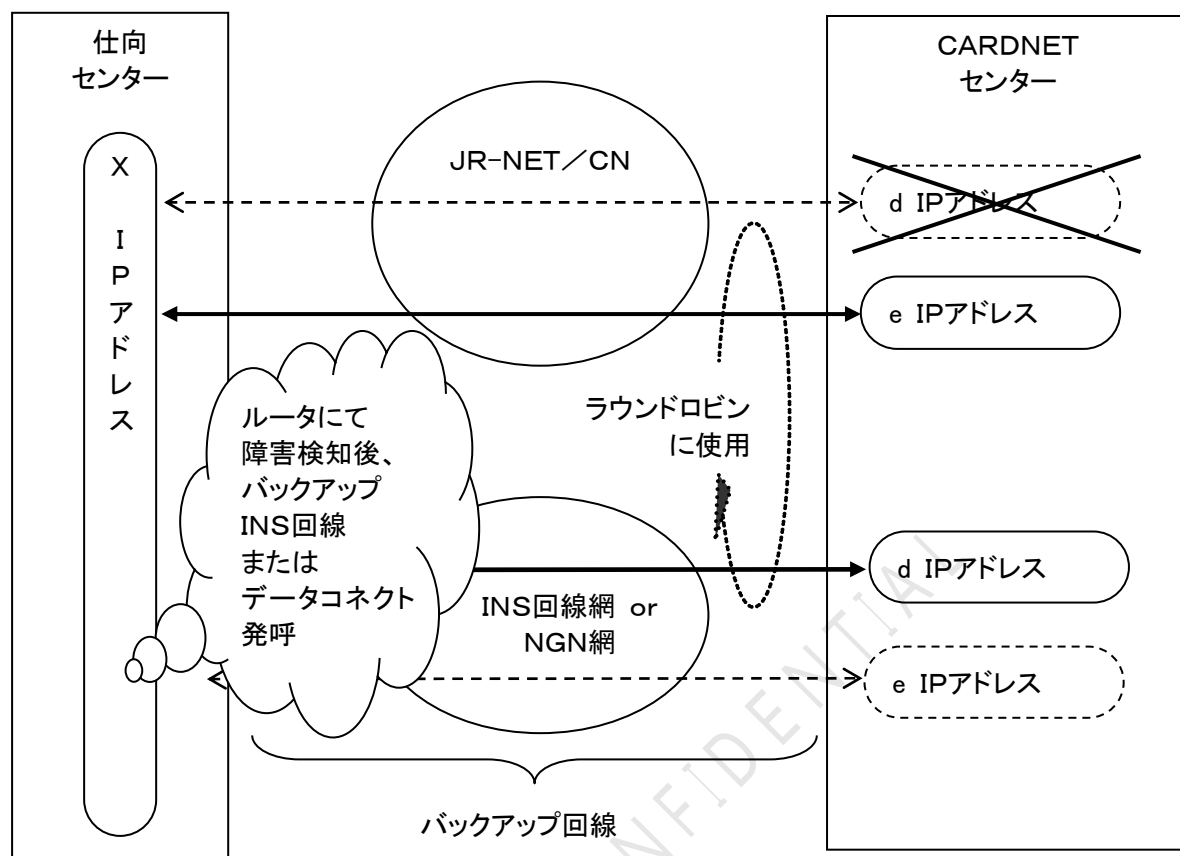


図2-24 バックアップ回線切替時
(例 CARDNETセンター側のJR-NET/CN用片回線障害時)

2. 1. 7. 3. 2 JR-NET／CNとの接続にフレッツ・ISDNを使用する場合

JR-NET／CNからバックアップ回線への切替および切戻しは、仕向センター側のルーターとCARDNETセンター側のルーター間で自動的に実施いたします。
ルーター間での切替および切戻しは、ルーター（IPアドレス）単位で実施いたします。
バックアップ回線への切替は、CARDNETセンター側IPアドレスの1アドレスに対してのみ可能です。
バックアップ回線のINSまたはデータコネクトの発呼および切断は、仕向センター側のルーターにて実施いたします。

バックアップ回線への切替および切戻しに伴うコネクションの切断は実施いたしません。

仕向センターおよびCARDNETセンターは、ネットワーク（回線）の切替および切戻しを意識せずに、電文の送受信が可能です。

図2-25、2-26、2-27、2-28にJR-NET／CNからバックアップ回線への切替例を示します。

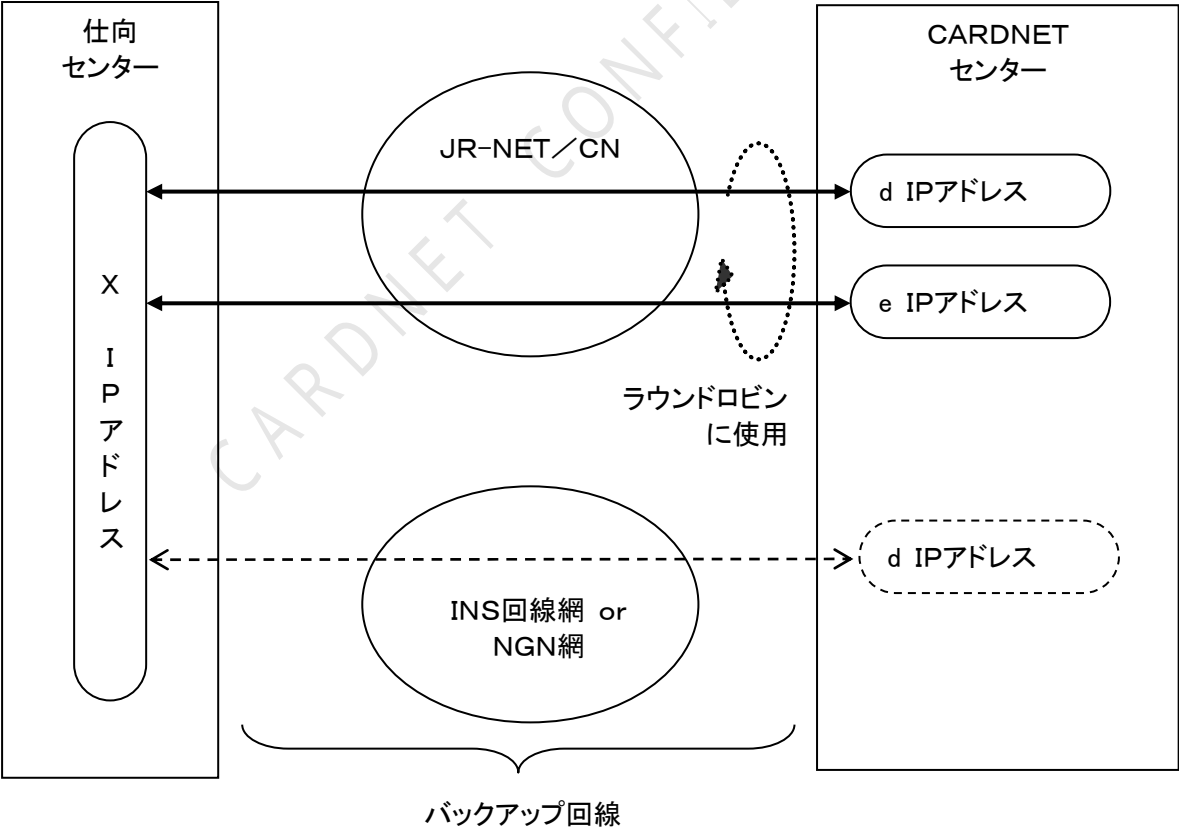


図2-25 通常時（JR-NET／CN使用時）

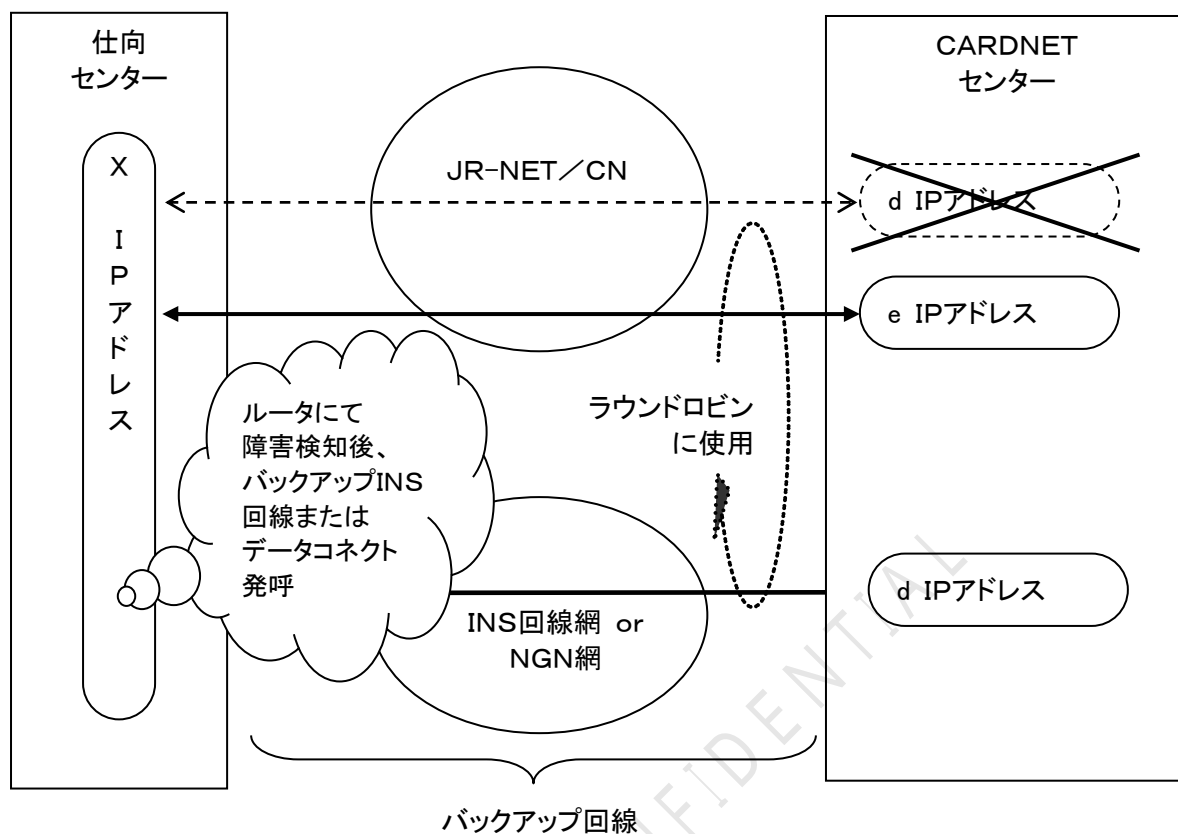


図2-26 バックアップ回線切替時
(例 CARDNETセンター側のJR-NET/CN用片回線障害時)

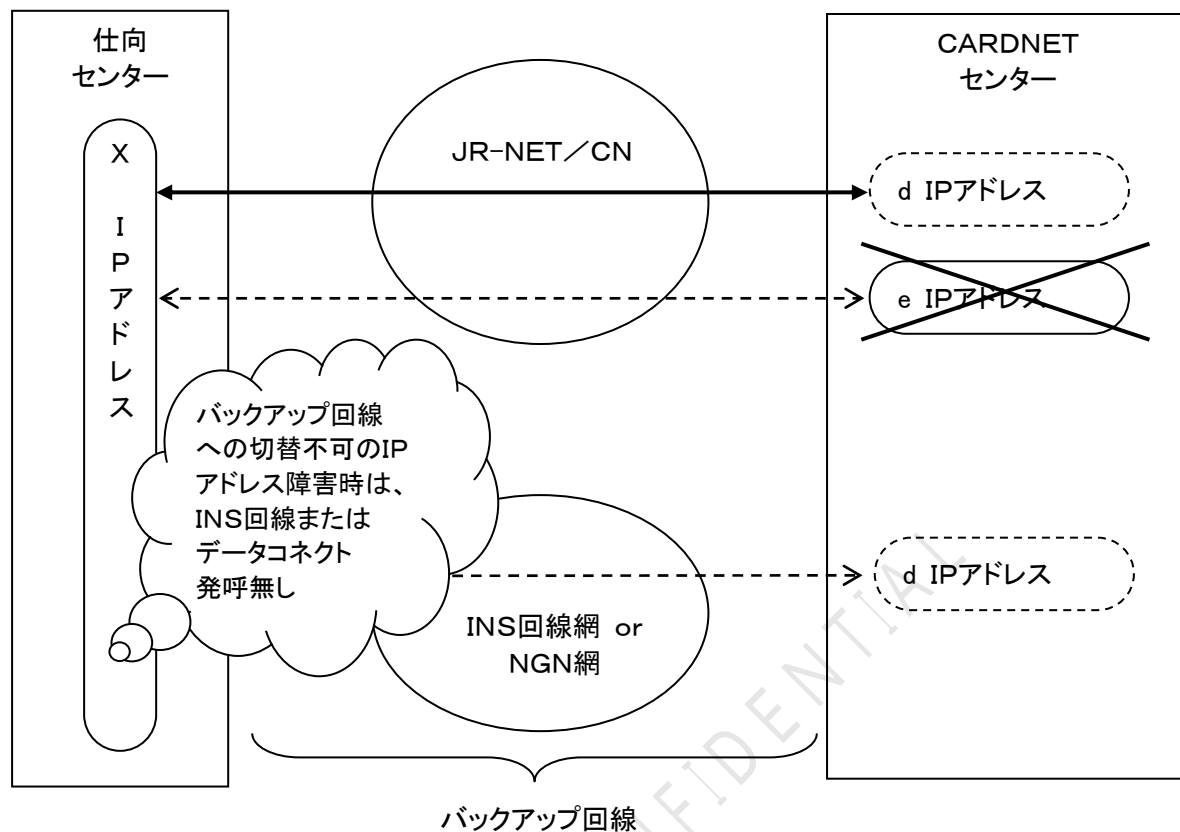


図2-27 バックアップ回線切替不可
(例 CARDNETセンター側のJR-NET/CN用片回線障害時)

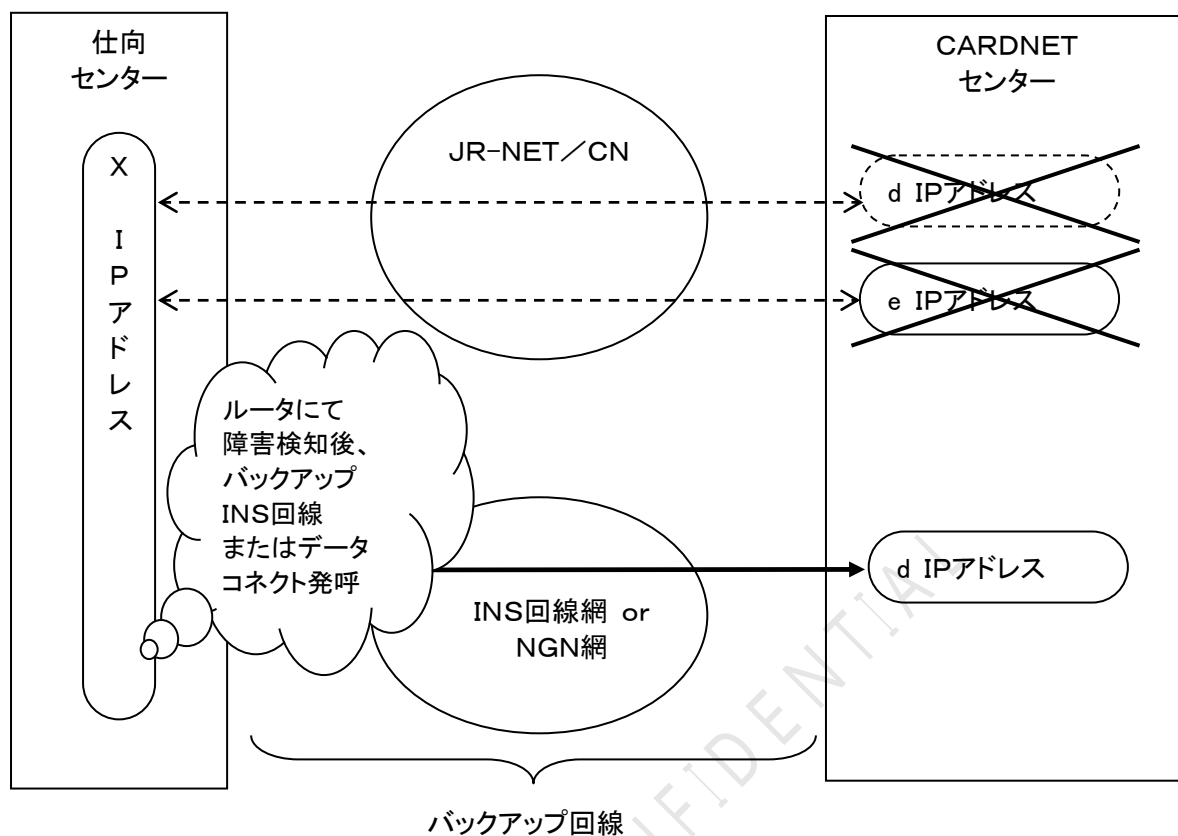


図 2-28 バックアップ回線切替時
(例 CARDNETセンター側のJR-NET/CN用全回線障害時)

2. 2 被仕向センター接続

2. 2. 1 接続概要

TCP/IPを使用する場合の接続概要について記述します。

2. 2. 1. 1 ネットワーク構成

CARDNETセンターとの接続にTCP/IPを使用する場合には、「Master'sONE サービス」を利用して接続します。

TCP/IPを使用する場合のネットワーク構成を図2-29に示します。

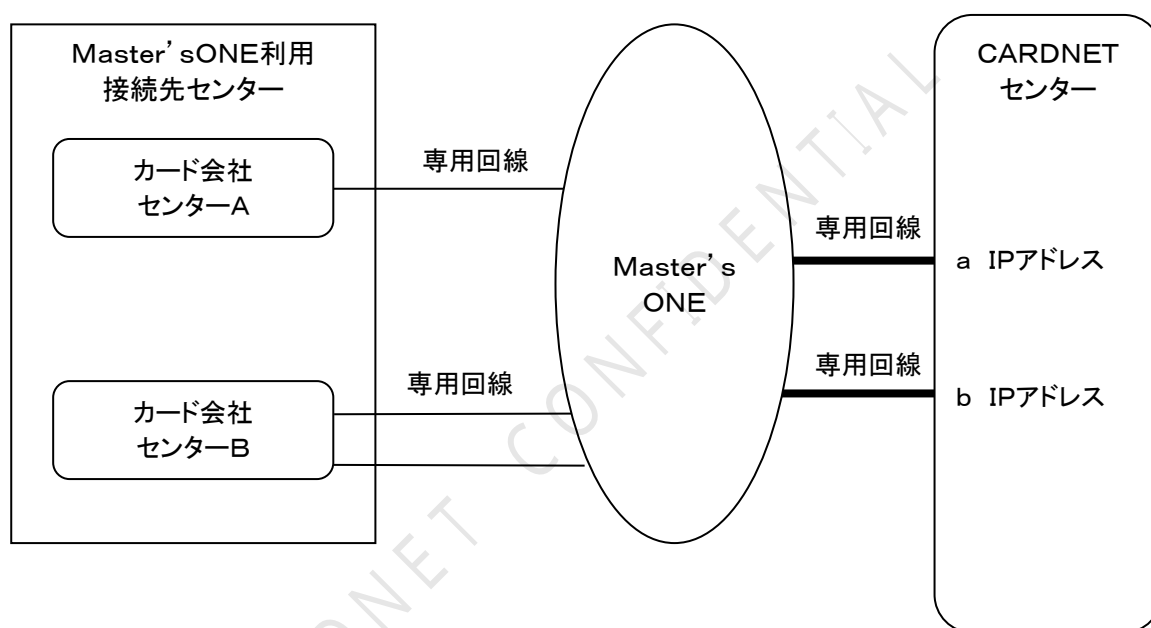


図2-29 TCP/IPを使用する場合のネットワーク構成図

2. 2. 1. 2 接続回線

CARDNETセンターとの接続はMaster'sONEの専用回線を使用します。

カード会社センターとMaster'sONEとの接続はMaster'sONEの専用回線を使用します。

2. 2. 2 プロトコル仕様

TCP/IPを使用してCARDNETセンターと接続する際のプロトコル仕様について記述します。

2. 2. 2. 1 IP (Internet Protocol)レイヤ

IPレイヤにおける仕様は以下のとおりです。

2. 2. 2. 1. 1 仕様基準

IPの仕様については、RFC791に準拠します。

仕様の詳細については、同ドキュメントをご参照ください。

2. 2. 2. 1. 2 IPアドレスの管理

IPアドレスは、Master'sONEより付与されたMaster'sONEグローバルアドレス（ホストIPアドレス）を使用します。

また、カード会社センターとCARDNETセンターはお互いのIPアドレスを事前に交換します。

CARDNETセンターでは、本番業務で使用するIPアドレスとは別に試験用のIPアドレスを保有しています。試験を実施する際にはカード会社センター側で宛先のIPアドレスを変更する必要があります。

CARDNETセンターはMaster'sONEとの接続回線障害などに備えて、Master'sONEと複数回線で接続し、回線毎に異なるIPアドレスを保有します。

2. 2. 2. 2 TCP (Transmission Control Protocol)レイヤ

TCPレイヤにおける仕様は以下のとおりです。

2. 2. 2. 2. 1 仕様基準

TCPの仕様については、RFC793に準拠します。

仕様の詳細については、同ドキュメントをご参照ください。

2. 2. 2. 2. 2 ポート番号

CARDNETセンターからは、「自ポート番号は任意」「宛先ポート番号は2100or5100(※)」にてコネクション確立を行います。

カード会社センターは、待ちポート番号2100or5100でコネクション要求を待ちます。

図2-30にコネクションのポート番号を示します。

※CARDNETセンター接続申込時に、2100と5100より宛先ポート番号をご選択いただけます。ご選択いただいたポート番号を待ちポート番号に設定してください。

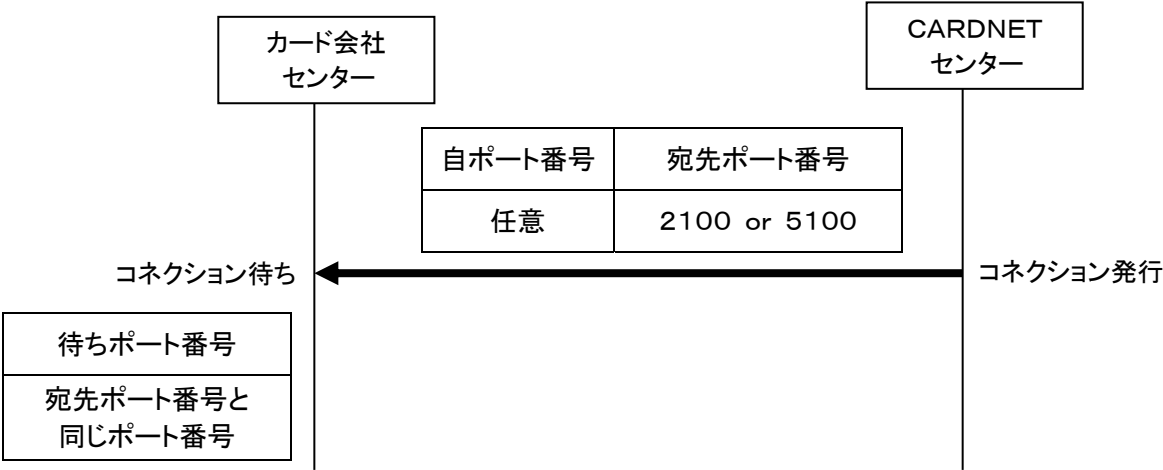


図 2-30 コネクションのポート番号

<ご留意事項>

CARDNETセンター以外とのTCP/IP接続がある場合は、待ちポート番号「2100 or 5100以外」を指定するようカード会社センターにて調整してください。

TCPコネクションの確立方式については、「2. 2. 3 コネクション方式」をご参照ください。

2. 2. 2. 3 TCP/IPパケットの送受信方法

パケット送信側および受信側共に、ソケットインターフェースによるストリーム通信を行う仕様とします。

パケット送信側は、CARDNET手順の電文を送信することとし、パケット受信側は、CARDNET手順の共通制御ヘッダ内「全体電文長」によりデータの受信完了を確認します。

「全体電文長」と受信したデータ長を比較した結果、受信した電文長が全体電文長より短い場合には、残るデータの受信を行います。

また、「全体電文長」と受信したデータ長を比較した結果、受信した電文長が全体電文長を超える場合には、「全体電文長」分のデータまでを1つの電文として処理し、継続するデータを2つ目の電文として処理を行います。

2. 2. 3 コネクションの方式

コネクションの方式について記述します。

2. 2. 3. 1 コネクションの確立

TCPコネクションの確立は、CARDNETセンターからカード会社センターに向けてコネクション確立要求を発行することにより行います。

図 2-31に1コネクションの確立シーケンスを示します。

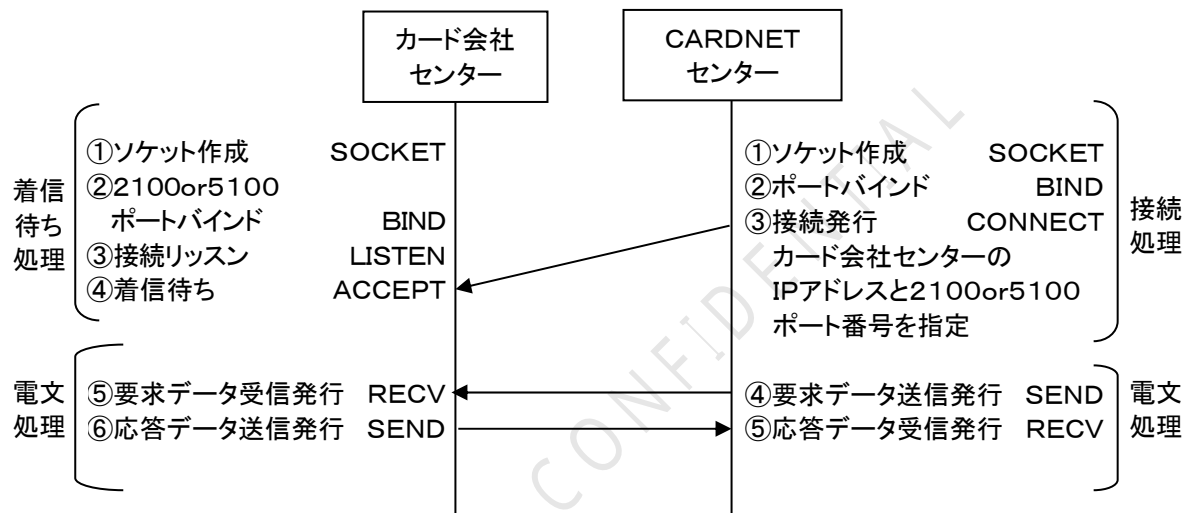


図 2-31 コネクションの確立シーケンス

CARDNETセンターからのコネクション確立が失敗した場合は、一定間隔毎にConnect要求を送信し、コネクション確立を試みます。

図 2 - 32にコネクション確立要求のリトライシーケンスを示します。

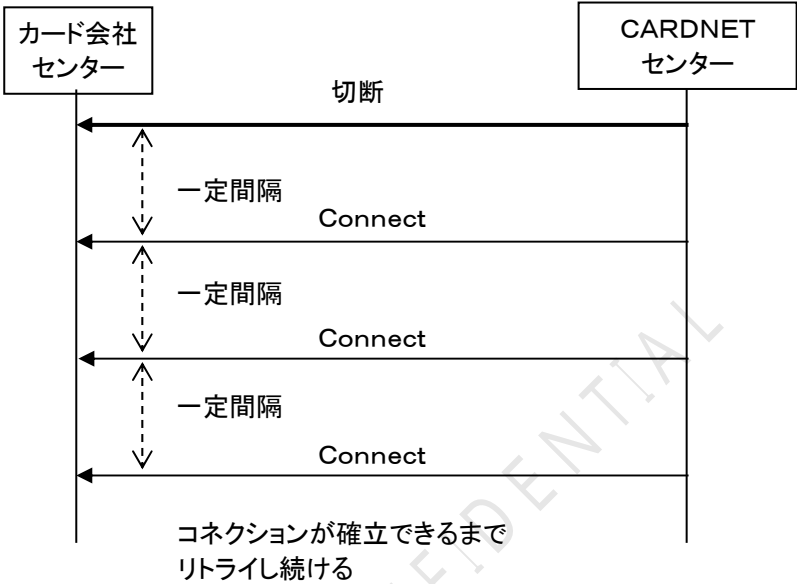


図 2 - 32 コネクション確立要求のリトライシーケンス

2. 2. 3. 2 最大コネクション数

コネクション数は、トランザクション量に基づきCARDNETセンターと事前に調整の上、最大数を決定します。

図2-33に1IPアドレス4コネクション、図2-34に複数IPアドレス複数コネクション時のCARDNETセンターからのコネクションを示します。

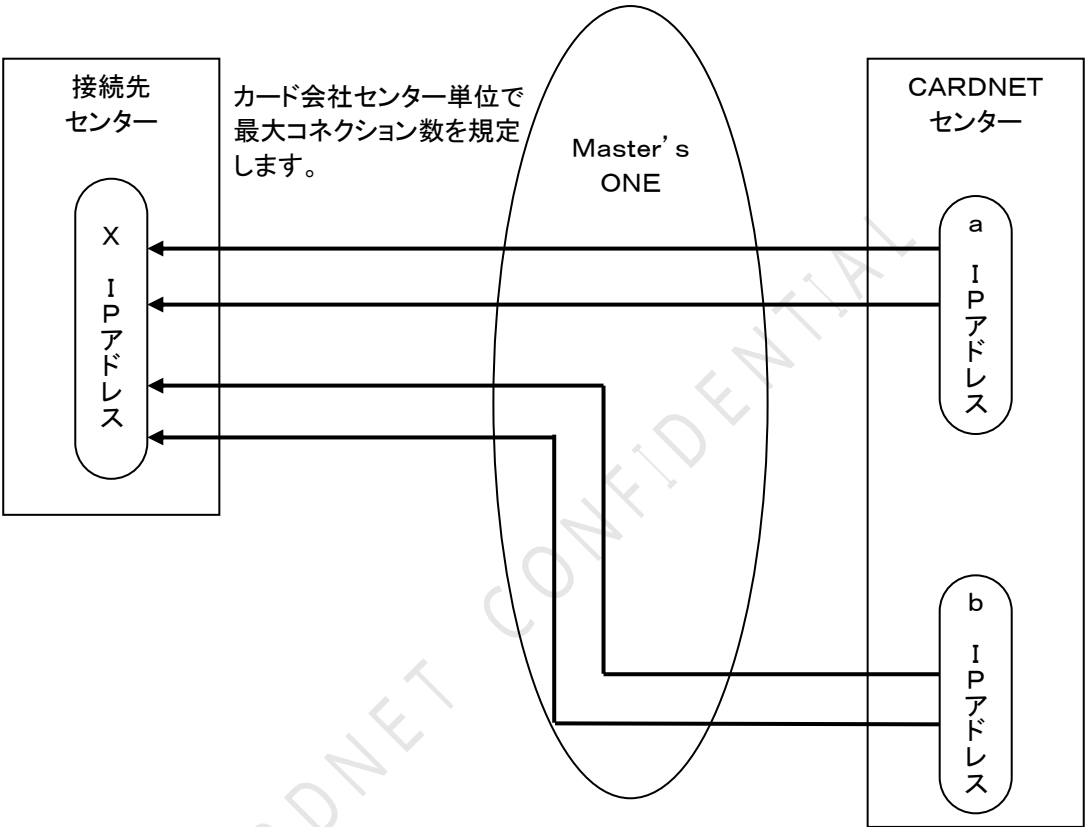


図2-33 1IPアドレス、4コネクション

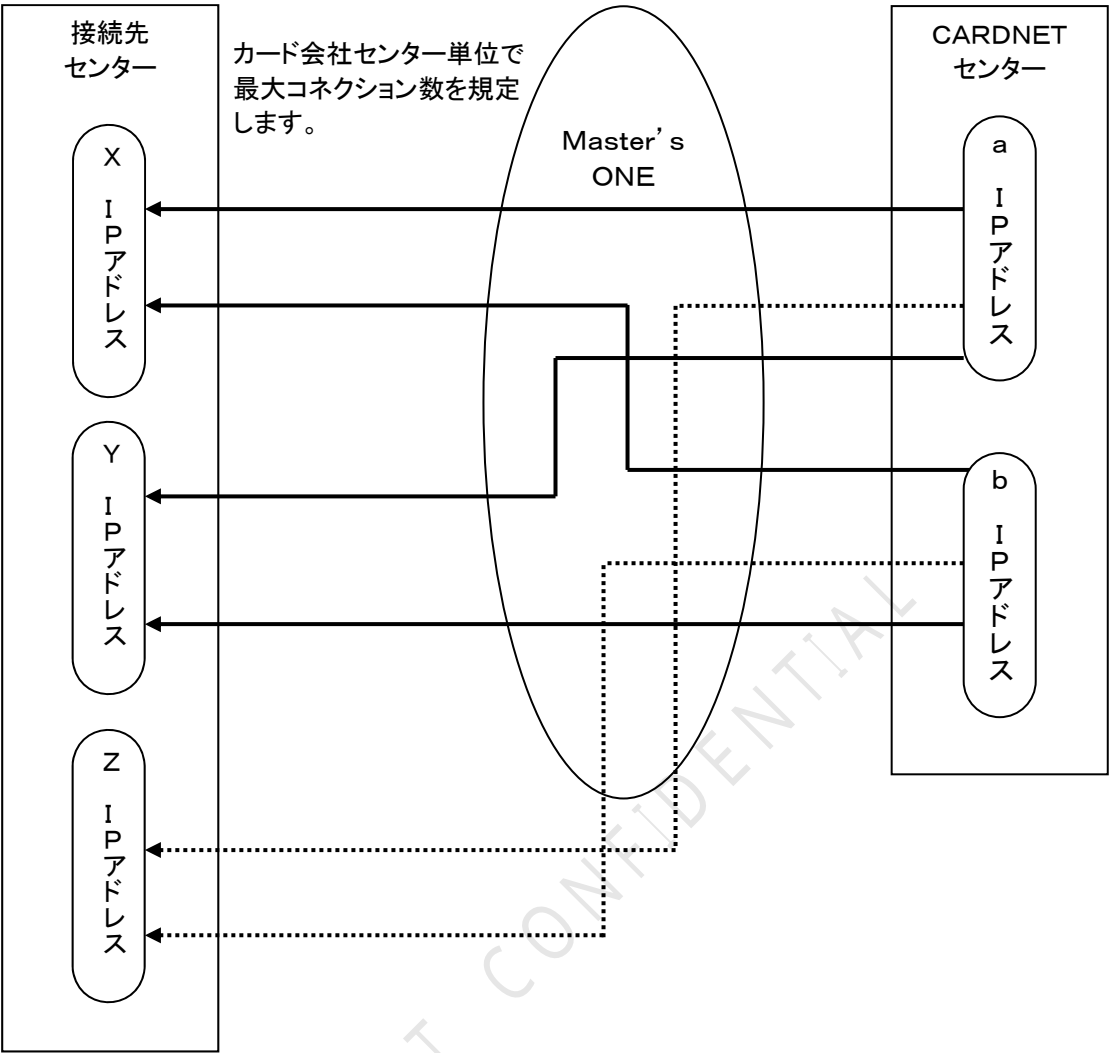


図 2-34 複数IPアドレス、複数コネクション

2. 2. 3. 3 コネクション選択

CARDNETセンター及びカード会社センターは、送信可能なコネクションをラウンドロビンに使用して電文を送信します。
送信先センターに複数のIPアドレスが存在する場合においても、送信先センターのIPアドレスを意識せずコネクションをラウンドロビンに使用して送信します。

ラウンドロビン方式によるコネクションの選択方式を図2-35に示します。

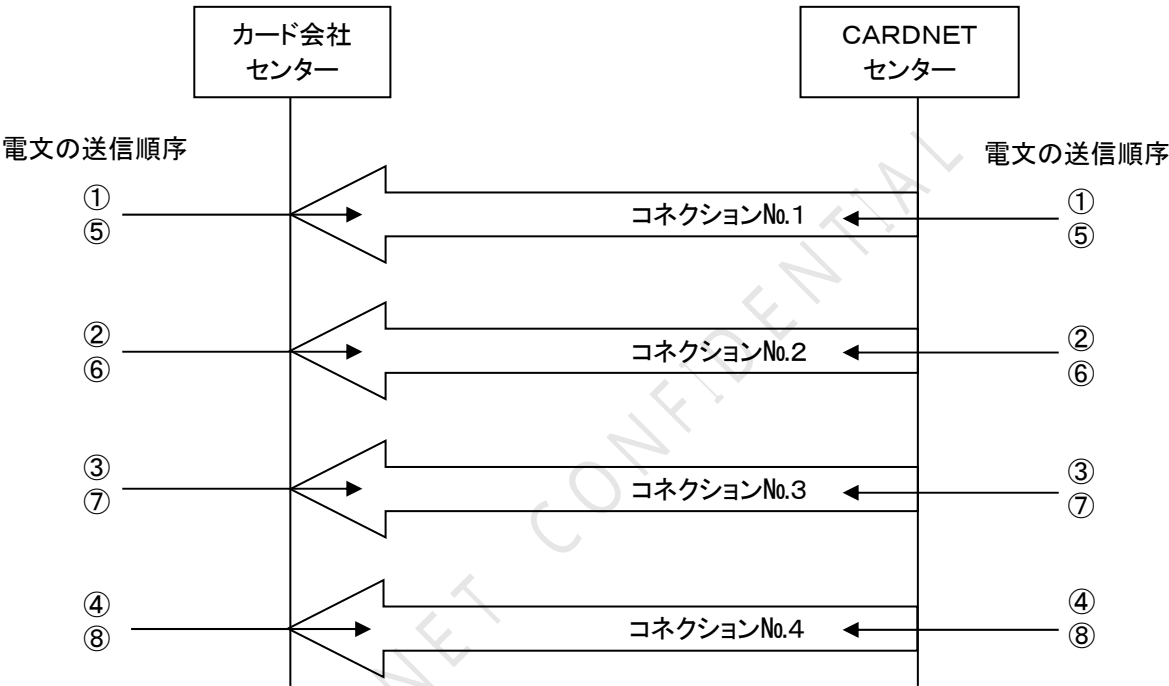


図2-35 ラウンドロビン方式（コネクション数が4の場合）

2. 2. 3. 4 コネクションの切断

カード会社センターからコネクションの切断が行われた場合には、CARDNETセンターから新たなコネクションの確立を行います。

また、CARDNETセンターの計画停止時、およびCARDNETセンターでのKeep Alive監視による全回線障害の検知時には、CARDNETセンターから全てのコネクションを切断します。

CARDNETセンター計画停止時のコネクション切断シーケンスを図2-36に示します。
(例：コネクション数が2の場合)

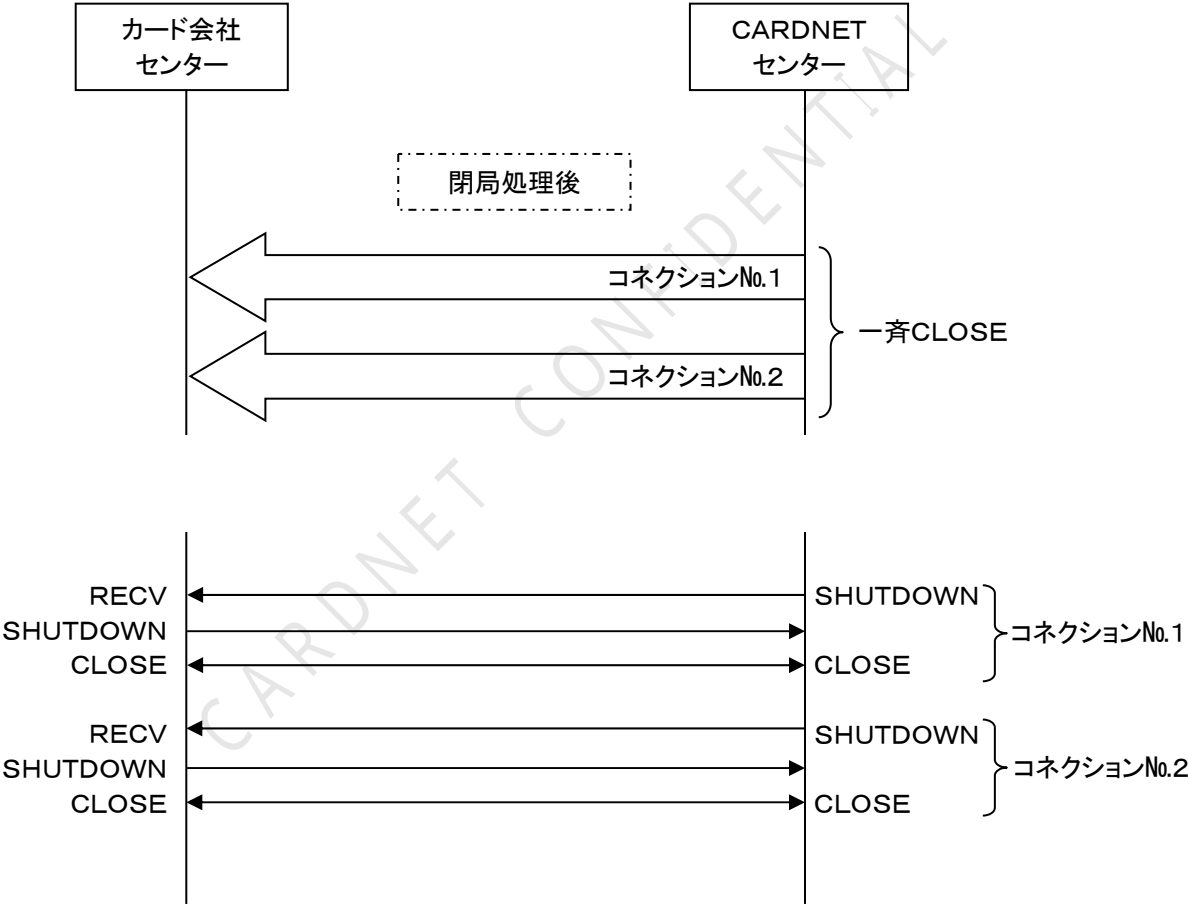


図2-36 CARDNETセンター計画停止時のコネクション切断シーケンス

2. 2. 3. 5 コネクション数超過時の処理

カード会社センターは、事前に取り決めた最大コネクション数を超えるコネクション要求を受信した場合、該当IPアドレスにおける既存のコネクションを全て切断し、新たに確立されたコネクションで通信を行います。
従って、カード会社センター側では決められた数nに対して、(n+1)コネクションまで受け付けることが必要となります。

コネクション数が2つの取り決めに対して、CARDNETセンターから3つ目のコネクション要求を受信した場合のシーケンスを図2-37に示します。

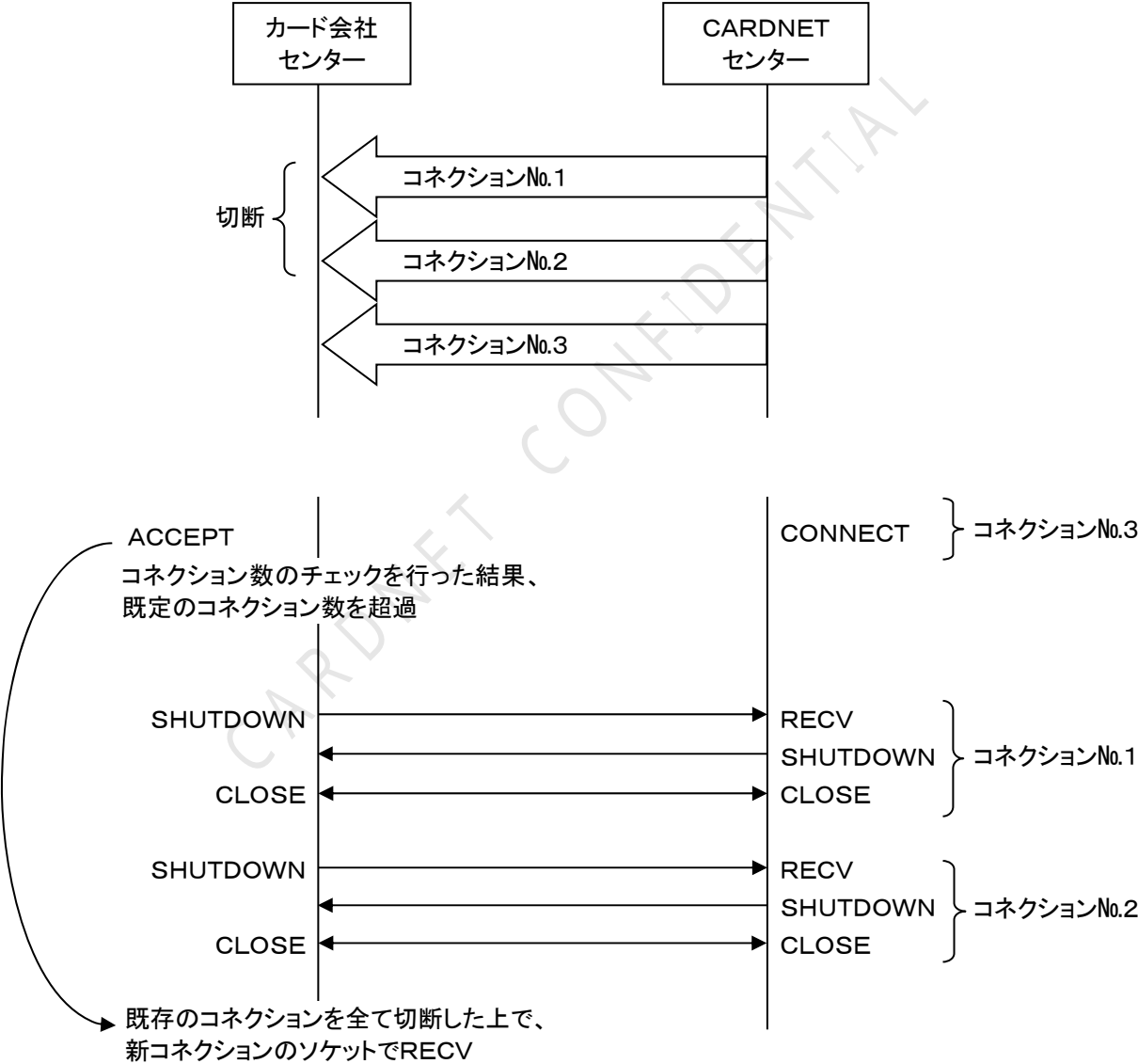


図2-37 コネクション数が2のカード会社センターにおけるシーケンス

2. 2. 4 エラー検知

コネクションのエラーが発生した場合の対応について記述します。

2. 2. 4. 1 エラー検知の方法

エラーの検知は、各センターが行うものとし、コネクションからのCLOSE要求受信、RESET要求受信、データ送信リトライ機能およびKeep Alive機能を使用して行います。Keep Aliveの送信は無通信状態においてのみ行い、データの通信中にはKeep Aliveの送信を行いません。

※Keep Alive機能の詳細については、RFC1122をご参照ください。

2. 2. 4. 1. 1 カード会社センターでの状態監視方法

Keep Alive機能によりコネクションの状態監視を行うことができます。
Keep Aliveの送信におけるタイマー値およびカウンター値はカード会社センターにて任意に設定できます。

2. 2. 4. 1. 2 CARDNETセンターでの状態監視方法

CARDNETセンターは、Keep Alive機能により、コネクションの状態監視を行います。
Keep Aliveの送信におけるタイマー値およびカウンター値を表2-4および表2-5に示します。

表2-4 Keep Aliveの送信タイマー

タイマー名称		内容	タイマー値	タイムアウト時の処理
T011	無通信監視タイマー	直近のAck送受信からの無通信状態監視時間	15秒	Keep Aliveパケットを送信する
T012	Keep AliveのAck応答待ちタイマー	Keep Aliveパケット送信後のAck応答待ち監視時間	15秒	Keep Aliveパケットを再度、送信する

表2-5 Keep Aliveの送信カウンター

カウンター名称		内容	カウンター値	リトライアウト時の処理
C011	Keep Alive送信カウンター	Keep Aliveパケットの送信回数	3回	コネクションを切断する

Keep Alive送信から45秒間無応答の場合には、コネクションを切断します。

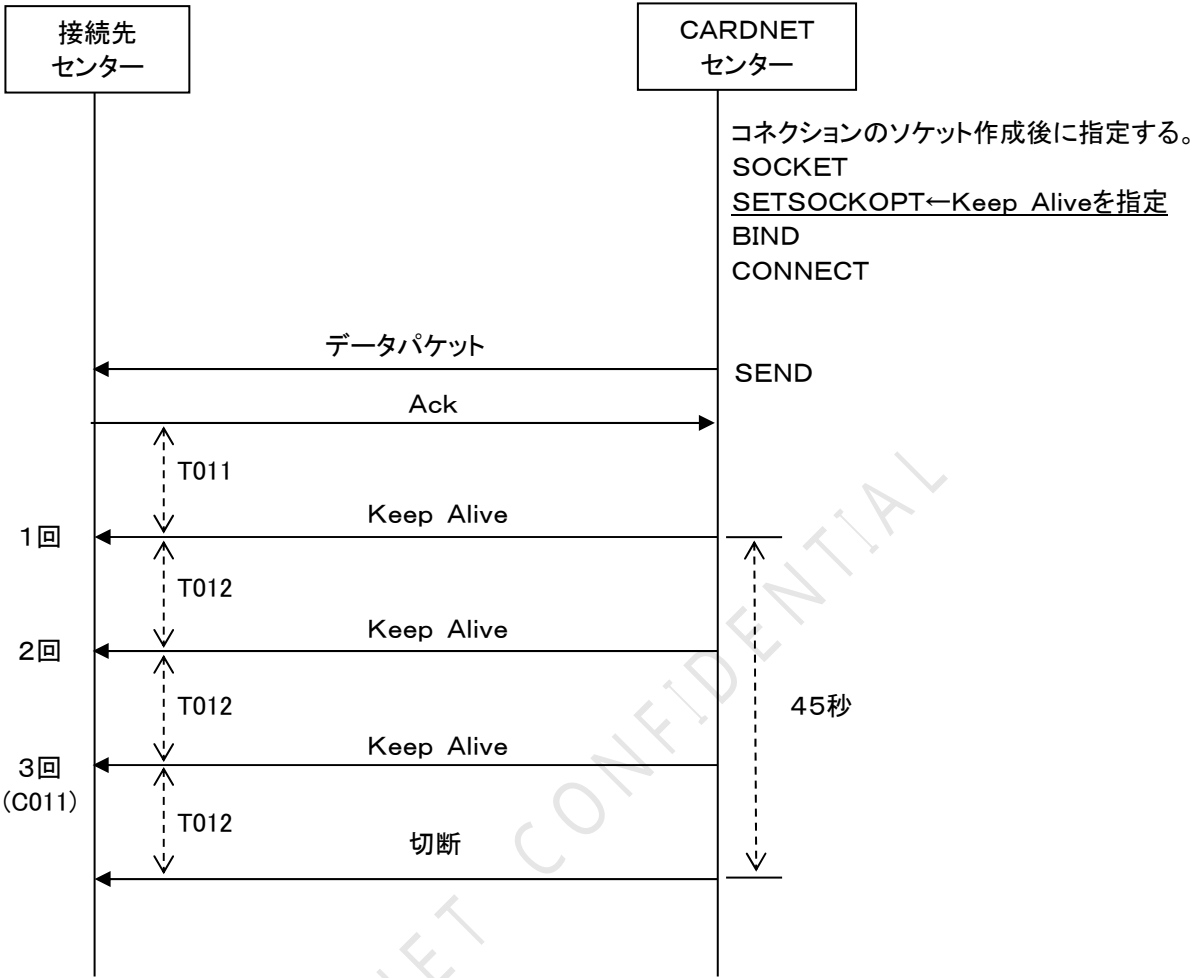


図 2－38 Keep Alive送信処理フロー

2. 2. 4. 2 CARDNETセンターでのエラー検出時の対応

CARDNETセンターでコネクションが切断されたことを検知した場合は、Connect要求を送信しコネクション確立を試みます。

第3章 電文構成仕様

本章では、CN手順で使用する電文について、電文形式、電文体系、データコード、および表記方法を定義する。

3. 1 電文形式

CN手順で定義するメッセージは、ヘッダー部とBODY部より構成される。ヘッダー部は、共通制御ヘッダーと業務共通ヘッダーにて構成する。BODY部は、ISO8583('93年度版)で規定されたMTI（電文タイプ）、ビットマップ、およびデータエレメントにて構成する。

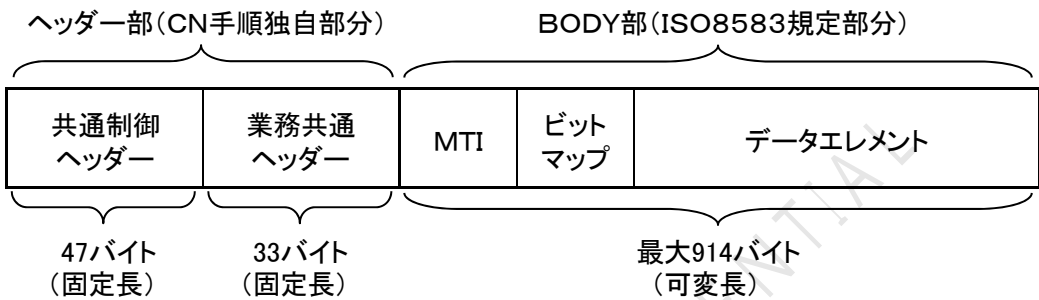


図3-1 電文形式

3. 1. 1 共通制御ヘッダー

共通制御ヘッダーは、ルーティング情報やレングス情報等が設定される。共通制御ヘッダーの形式および各フィールドの内容を表3-1に定義する。

表3-1 共通制御ヘッダー形式

項番	項目	属性・桁数	説明
1	ヘッダータイプ	JIS8, an2 2バイト	ヘッダー形式とバージョン情報。 ヘッダータイプによりヘッダーレイアウトが決定。
2	全体電文長	BCD, n4 2バイト	暗号化後の送信電文全体の長さ。
3	差出センターID	JIS8, anp11 11バイト	電文の送信元センターID。 ただし、オンライン端末取引の要求電文の場合は カードネットセンターID固定となる。
4	宛先センターID	JIS8, anp11 11バイト	電文の送信先センターID。
5	加盟店契約 会社コード	JIS8, anp11 11バイト	加盟店が加盟契約をしているカード会社を識別する コード。
6	送信日時	BCD, n14 7バイト	電文を送信した時間(YYYYMMDDhhmmss)。
7	モードフラグ	BCD, n2 1バイト	システムの稼働モード(本番モード／試験モード)。
8	予備	JIS8, anp2 2バイト	予備フィールド。

注1:各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照。

注2:各項目の詳細説明は、第8章「電文項目説明」を参照。

3. 1. 2 業務共通ヘッダー

業務共通ヘッダーは、電文種別、暗号化情報、認証情報、ユーザ情報等が設定される。
業務共通ヘッダーの形式および各フィールドの内容を表3-2に定義する。

表3-2 業務共通ヘッダー形式

項番	項目	属性・桁数	説明
1	ヘッダータイプ	JIS8, an2 2バイト	ヘッダー形式とバージョン情報。ヘッダータイプによりヘッダーレイアウトが決定。
2	電文種別コード	JIS8, an4 4バイト	送信電文の種別を識別するコード。上1桁目の" C "、" E "でCN手順の電文を表す。
3	電文認証値	32ビット列 4バイト	電文の認証値。メッセージの改ざん防止に使用。
4	チェック ディジット	32ビット列 4バイト	電文暗号化および認証値算出キーに対するチェックディジット。キーの妥当性確認に使用。
5	仕向区分	BCD, n2 1バイト	電文仕向元の接続形態(端末／センター間接続)。
6	カット対象日付	BCD, n8 4バイト	電文送信時のカットオーバー日付(YYYYMMDD)。
7	BODY部電文長	BCD, n4 2バイト	暗号化前のBODY部の長さ。電文内容の有効電文長判別に使用。
8	カードネット 取引識別	BCD, n4 2バイト	送信電文のCARDNETセンターでの処理を識別するコード。
9	カードネット 取引通番	BCD, n12 6バイト	CARDNETセンターの取引通番。CARDNETセンターより送信する取引毎にユニーク。
10	カードネット 使用域	16ビット列 2バイト	CARDNETセンターで使用するフィールド。
11	予備	JIS8, anp2 2バイト	予備フィールド。

注1：各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

注2：各項目の詳細説明は、第8章「電文項目説明」を参照のこと。

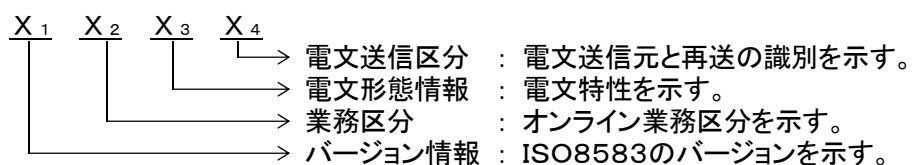
3. 1. 3 MTI(Message Type ID)

CN手順におけるISO8583('93年度版)の規約に準拠したMTI(電文タイプ)の一覧を表3-3に、コード体系を表3-4に定義する。CN手順では、MTIに対応した独自のコードを業務共通ヘッダ一部の電文種別コードとして採用する。

表3-3 電文タイプ一覧

MTI	内容		電文種別コード
1100	オーソリ	要求	C100
1110		応答	C110
1120(1121)	オーソリアドバイス	要求	C120(C121)
1130		応答	C130
1200	売上	要求	C200
1210		応答	C210
1220(1221)	売上アドバイス	要求	C220(C221)
1230		応答	C230
1420(1421)	障害取消アドバイス	要求	C420(C421)
1430		応答	C430
1522	オンライン精査	仕向精査 要求	C522
1532		仕向精査 応答	C532
1520		被仕向精査 要求	C520
1530		被仕向精査 応答	C530
1604	DCCLレート変換	要求	C600
1614		応答	C610
1644	汎用通知	カットオーバー依頼	C644
1644		障害電文通知	E644
1804	ネットワーク制御	要求	C804
1814		応答	C814

表 3-4 MTIコード体系



項目	コード値	内容	備考
バージョン情報 (X ₁)	1	ISO8583・'93年度版	CN手順では "1" 固定
	0	ISO8583・'87年度版	
業務区分 (X ₂)	1	オーソリ業務(売上処理を伴わないオーソリゼーション)	
	2	売上業務(売上処理を伴うオーソリゼーション)	
	4	障害取消業務(オーソリ、売上に対する障害取消)	
	5	オンライン精査業務(CARDNETセンターとのカウンター交換)	
	6	汎用通知業務(カットオーバー依頼、障害電文通知)	
	8	ネットワーク制御業務(センター間のシステム制御)	
電文形態情報 (X ₃)	0	要求(被仕向側に取り引の判定を要求)	
	1	要求に対する応答	
	2	アドバイス要求(被仕向側に取り引結果を報告)	
	3	アドバイス要求に対する応答	
	4	通知(被仕向側への通知、応答は無し)	
電文送信区分 (X ₄)	0	仕向側送信(オーソリ、売上、被仕向精査)	
	1	仕向側再送信(アドバイス)	
	2	被仕向側送信(仕向精査)	
	4	仕向／被仕向側送信(汎用通知、ネットワーク制御)	

3. 1. 4 ビットマップ

(1) ビットマップ形式

ビットマップは、データエレメントのフィールドレイアウトを表すビット列で、各ビットがデータエレメント内の各フィールドと1対1に対応する。ビットがオン(“1”)の場合、対応するフィールドが存在する。プライマリビットマップ(64ビット列)でBIT 2~64、セカンダリビットマップ(64ビット列)でBIT65~128の存在を表す。

セカンダリビットマップはBIT65以降のフィールドが存在する場合のみ設定される。BIT 1がオン(“1”)の場合、セカンダリビットマップが存在する。ビットマップの形式を図3-2に定義する。

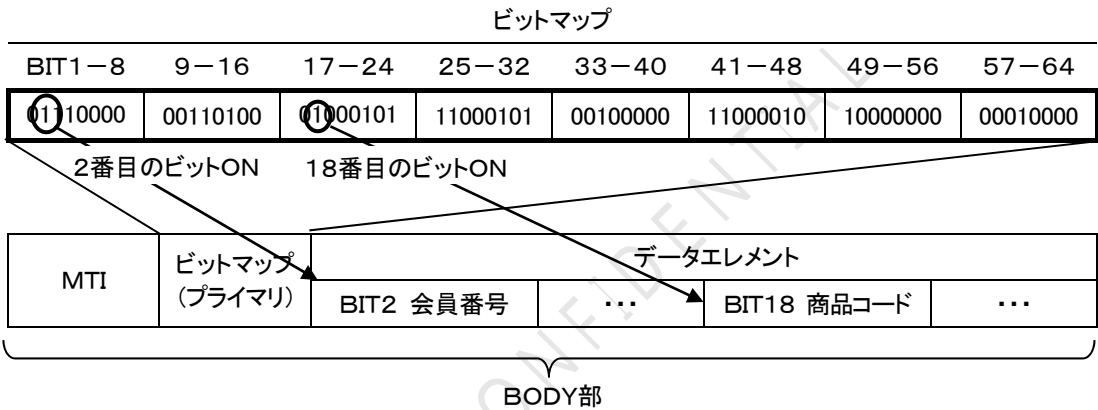


図3-2-1 ビットマップ形式 (プライマリのみ)

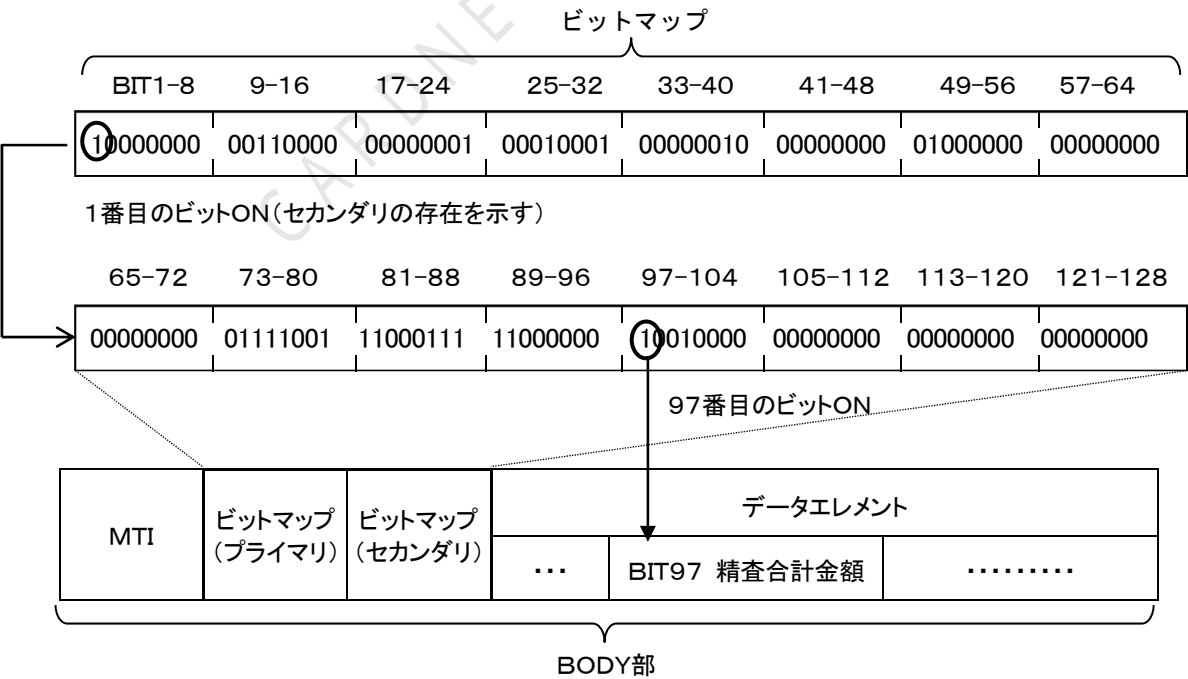


図3-2-2 ビットマップ形式 (プライマリ&セカンダリ)

(2) 電文フォーマット

ヘッダー部は、全ての電文種別において共通な固定フォーマットで構成される。
BODY部は、電文種別、カード入力の種別、暗証番号の設定有無により、ビットマップパターンが決定される。ヘッダー部のフォーマットを表3-5に、BODY部のビットマップパターンを表3-6に示す。

表3-5 ヘッダー部・共通

			属性		桁数 (バイト)	仕向側		被仕向側	
						要求	応答	要求	応答
ヘッ ダ ー 部	共 通 制 御	ヘッダータイプ	JIS8	an2	2	M	M	M	M
		全体電文長	BCD	n4	2	M	M	M	M
		差出センターID	JIS8	anp11	11	M	M	M	M
		宛先センターID		anp11	11	M	M	M	M
		加盟店契約会社コード	BCD	anp11	11	M	M	M	ME
		送信日時		n14	7	M	M	M	M
		モードフラグ		n2	1	M	M	M	M
		予備		anp2	2	M	M	M	M
	業 務 共 通	ヘッダータイプ	JIS8	an2	2	M	M	M	M
		電文種別コード	b	an4	4	M	M	M	M
		電文認証値		b32	4	M	M	M	M
		チェックディジット		b32	4	M	M	M	M
		仕向区分	BCD	n2	1	M	M	M	ME
		カット対象日付		n8	4	M	M	M	M
		BODY部電文長		n4	2	M	M	M	M
		カードネット取引識別		n4	2	M	M	M	ME
		カードネット取引通番		n12	6	M	M	M	ME
		カードネット使用域	b	b16	2	M	M	M	ME
		予備	JIS8	anp2	2	M	M	M	M
B O D Y 部		「表3－6・BODY部 ビットマップパターン参照」							

注：各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

表3-6-1 BODY部・オーソリ <暗証番号入力なし>

		属性		桁数 (バイト)	JIS1ストライプ 読み取り時		JIS2ストライプ 読み取り時		マニュアル 入力	
					要求	応答	要求	応答	要求	応答
MTI		JIS8	n4	4	1100	1110	1100	1110	1100	1110
ビットマップ(プライマリ)		b	b64	8	M	M	M	M	M	M
BIT2	会員番号	JIS8	n..19 LLVAR	Max21	M	ME	M	ME	M	ME
3	プロセッシングコード		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
4	取引金額		n12	12	M	M	M	M	M	M
11	システムトレースオーディットナンバー		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
12	現地取引日時		n12 YYMMDDhhmmss	12	M	ME	M	ME	M	ME
14	有効期限		n4 YYMM	4					M	
18	商品コード		n4	4	M	ME	M	ME	M	ME
22	POSデータコード		an12	12	M		M		M	
24	ファンクションコード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
25	メッセージ理由コード		n4	4	M		M		M	
26	加盟店業種コード	JIS8	n4	4	M		M		M	
28	精査日		n6 YYMMDD	6		M		M		M
30	オリジナル金額		n24	24	M	ME	M	ME	M	ME
32	加盟店会社コード		anp11 LLVAR	13	M	ME	M	ME	M	ME
35	JIS I 第2トラック情報		ans..37 LLVAR	Max39	M					
37	リトリバリティファレンスナンバー		anp12	12		M		M		M
38	承認コード		anp6	6		M		M		M
39	アクションコード		n3	3		M		M		M
41	加盟店端末番号		n8	8	M		M		M	
42	加盟店番号		anp15	15	M	M	M	M	M	M
47	JIS IIトラック情報	JIS8	ans69 LLLVAR	72			M			
48	国内レスポンスコード		anp5 LLLVAR	8		M		M		M
49	取引通貨コード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
58	オーソリ判定センターID		anp11 LLVAR	13		M		M		M
59	端末出力データ		ans147 LLLVAR	150		M		M		M
60	国内使用予約域		ans..121 LLLVAR	Max124	M		M		M	
62	個社使用予約域		b.. 968 LLLVAR	Max124	O	O	O	O	O	O
63	カードネット拡張使用域(注2)		b.. 1576 LLLVAR	Max200	O		O		O	

注1：各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

注2：タグ「A03」（3-D Secure関連情報）および、タグ「A07」（3-D Secure2. 0関連情報）は、マニュアル入力電文（取消および返品を除く）のみ設定可能。タグ「A04」（iD取引用情報データ（オンライン／許可／ネット決済オンライン））は、マニュアル入力電文のみ設定可能。また桁数については、外貨取引決済タグ「DXX」使用時またはタグ「A07」使用時のみMax200バイトまで利用可能とし、その他取引の場合はMax124バイトまで利用可能とする。

表3-6-2 BODY部・オーソリ <暗証番号入力あり>

		属性		桁数 (バイト)	JIS1ストライプ 読み取り時		JIS2ストライプ 読み取り時		マニュアル 入力	
					要求	応答	要求	応答	要求	応答
MTI		JIS8	n4	4	1100	1110	1100	1110	1100	1110
ビットマップ(プライマリ)		b	b64	8	M	M	M	M	M	M
BIT2	会員番号	JIS8	n..19 LLVAR	Max21	M	ME	M	ME	M	ME
3	プロセッシングコード		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
4	取引金額		n12	12	M	M	M	M	M	M
11	システムトレースオーディットナンバー		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
12	現地取引日時		n12 YYMMDDhhmmss	12	M	ME	M	ME	M	ME
14	有効期限		n4 YYMM	4					M	
18	商品コード		n4	4	M	ME	M	ME	M	ME
22	POSデータコード		an12	12	M		M		M	
24	ファンクションコード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
25	メッセージ理由コード		n4	4	M		M		M	
26	加盟店業種コード		n4	4	M		M		M	
28	精査日		n6 YYMMDD	6		M		M		M
30	オリジナル金額		n24	24	M	ME	M	ME	M	ME
32	加盟店会社コード		anp11 LLVAR	13	M	ME	M	ME	M	ME
35	JIS I 第2トラック情報		ans..37 LLVAR	Max39	M					
37	リトリバブルファレンスナンバー		anp12	12		M		M		M
38	承認コード		anp6	6		M		M		M
39	アクションコード		n3	3		M		M		M
41	加盟店端末番号		n8	8	M		M		M	
42	加盟店番号		anp15	15	M	M	M	M	M	M
47	JIS IIトラック情報		ans69 LLLVAR	72			M			
48	国内レスポンスコード		anp5 LLLVAR	8		M		M		M
49	取引通貨コード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
52	入力暗証番号	b	b64	8	M		M		M	
53	セキュリティ関連制御情報	JIS8	an14 LLVAR	16	M		M		M	
58	オーソリ判定センターID	b	anp11 LLVAR	13		M		M		M
59	端末出力データ		ans147 LLLVAR	150		M		M		M
60	国内使用予約域		ans..121 LLLVAR	Max124	M		M		M	
62	個社使用予約域		b.. 968 LLLVAR	Max124	O	O	O	O	O	O
63	カードネット拡張使用域(注2)		b.. 1576 LLLVAR	Max200	O		O		O	

注1：各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

注2：タグ「A03」（3-D Secure関連情報）および、タグ「A07」（3-D Secure2. 0関連情報）は、マニュアル入力電文（取消および返品を除く）のみ設定可能。タグ「A04」（iD取引用情報データ（オンライン／許可／ネット決済オンライン））は、マニュアル入力電文のみ設定可能。また桁数については、外貨取引決済タグ「DXX」使用時またはタグ「A07」使用時のみMax200バイトまで利用可能とし、その他取引の場合はMax124バイトまで利用可能とする。

表3-6-3 BODY部・オーソリアドバイス

		属性		桁数 (バイト)	JIS1ストライプ 読み取り時		JIS2ストライプ 読み取り時		マニュアル 入力	
					要求	応答	要求	応答	要求	応答
MTI		JIS8	n4	4	1120 1121	1130	1120 1121	1130	1120 1121	1130
ビットマップ(プライマリ)		b	b64	8	M	M	M	M	M	M
BIT2	会員番号	JIS8	n..19 LLVAR	Max21	M	ME	M	ME	M	ME
3	プロセッシングコード		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
4	取引金額		n12	12	M	M	M	M	M	M
11	システムトレースオーディットナンバー		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
12	現地取引日時		n12 YYMMDDhhmmss	12	M	ME	M	ME	M	ME
14	有効期限		n4 YYMM	4					M	
18	商品コード		n4	4	M	ME	M	ME	M	ME
22	POSデータコード		an12	12	M		M		M	
24	ファンクションコード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
25	メッセージ理由コード		n4	4	M		M		M	
26	加盟店業種コード		n4	4	M		M		M	
28	精査日		n6 YYMMDD	6	M	ME	M	ME	M	ME
30	オリジナル金額		n24	24	M	ME	M	ME	M	ME
32	加盟店会社コード		anp11 LLVAR	13	M	ME	M	ME	M	ME
35	JIS I 第2トラック情報		ans..37 LLVAR	Max39	M					
37	リトリバリティファレンスナンバー	b	anp12	12	M	ME	M	ME	M	ME
38	承認コード		anp6	6	M	ME	M	ME	M	ME
39	アクションコード		n3	3	M	M	M	M	M	M
41	加盟店端末番号		n8	8	M		M		M	
42	加盟店番号		anp15	15	M	M	M	M	M	M
47	JIS IIトラック情報		ans69 LLLVAR	72			M			
48	国内レスポンスコード		anp5 LLLVAR	8	M	M	M	M	M	M
49	取引通貨コード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
58	オーソリ判定センターID		anp11 LLVAR	13	M		M		M	
60	国内使用予約域		ans..121 LLLVAR	Max124	M		M		M	
62	個社使用予約域		b.. 968 LLLVAR	Max124	O		O		O	
63	カードネット拡張使用域(注2)		b.. 1576 LLLVAR	Max200	O		O		O	

注1：各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

注2：タグ「A03」（3-D Secure関連情報）および、タグ「A07」（3-D Secure2. 0関連情報）は、マニュアル入力電文（取消および返品を除く）のみ設定可能。タグ「A04」（iD取引用情報データ（オンライン／許可／ネット決済オンライン））は、マニュアル入力電文のみ設定可能。また桁数については、外貨取引決済タグ「DXX」使用時またはタグ「A07」使用時のみMax200バイトまで利用可能とし、その他取引の場合はMax124バイトまで利用可能とする。

表3-6-4 BODY部・売上 <暗証番号入力なし>

		属性		桁数 (バイト)	JIS1ストライプ 読み取り時		JIS2ストライプ 読み取り時		マニュアル 入力	
					要求	応答	要求	応答	要求	応答
MTI		JIS8	n4	4	1200	1210	1200	1210	1200	1210
ビットマップ(プライマリ)		b	b64	8	M	M	M	M	M	M
BIT2	会員番号	JIS8	n..19 LLVAR	Max21	M	ME	M	ME	M	ME
3	プロセッシングコード		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
4	取引金額		n12	12	M	M	M	M	M	M
11	システムトレスオーディットナンバー		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
12	現地取引日時		n12 YMMDDhhmmss	12	M	ME	M	ME	M	ME
14	有効期限		n4 YYMM	4					M	
17	収集日		n4 MMDD	4	M	ME	M	ME	M	ME
18	商品コード		n4	4	M	ME	M	ME	M	ME
22	POSデータコード		an12	12	M		M		M	
24	ファンクションコード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
25	メッセージ理由コード		n4	4	M		M		M	
26	加盟店業種コード		n4	4	M		M		M	
28	精査日		n6 YYMMDD	6		M		M		M
30	オリジナル金額		n24	24	M	ME	M	ME	M	ME
32	加盟店会社コード		anp11 LLVAR	13	M	ME	M	ME	M	ME
35	JIS I 第2トラック情報		ans..37 LLVAR	Max39	M					
37	リトリバブルファレンスナンバー		anp12	12		M		M		M
38	承認コード		anp6	6		M		M		M
39	アクションコード		n3	3		M		M		M
41	加盟店端末番号		n8	8	M		M		M	
42	加盟店番号		anp15	15	M	M	M	M	M	M
43	加盟店名/所在地		anp40 LLVAR	42	M		M		M	
47	JIS IIトラック情報		ans69 LLLVAR	72			M			
48	国内レスポンスコード		anp5 LLLVAR	8		M		M		M
49	取引通貨コード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
58	オーソリ判定センターID		anp11 LLVAR	13		M		M		M
59	端末出力データ		ans147 LLLVAR	150		M		M		M
60	国内使用予約域		ans..121 LLLVAR	Max124	M		M		M	
62	個社使用予約域		b.. 968 LLLVAR	Max124	O	O	O	O	O	O
63	カードネット拡張使用域(注2)		b.. 1576 LLLVAR	Max200	O		O		O	

注1：各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

注2：タグ「A03」（3-D Secure関連情報）および、タグ「A07」（3-D Secure2. 0関連情報）は、マニュアル入力電文（取消および返品を除く）のみ設定可能。タグ「A04」（iD取引用情報データ（オンライン/許可/ネット決済オンライン））は、マニュアル入力電文のみ設定可能。また桁数については、外貨取引決済タグ「DXX」使用時またはタグ「A07」使用時のみMax200バイトまで利用可能とし、その他取引の場合はMax124バイトまで利用可能とする。

表 3-6-5 BODY部・売上 <暗証番号入力あり>

	属性		桁数 (バイト)	JIS1ストライプ 読み取り時		JIS2ストライプ 読み取り時		マニュアル 入力	
				要求	応答	要求	応答	要求	応答
MTI	JIS8	n4	4	1200	1210	1200	1210	1200	1210
ビットマップ(プライマリ)	b	b64	8	M	M	M	M	M	M
BIT2 会員番号	JIS8	n..19 LLVAR	Max21	M	ME	M	ME	M	ME
3 プロセッシングコード		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
4 取引金額		n12	12	M	M	M	M	M	M
11 システムトレースオーディットナンバー		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
12 現地取引日時		n12 YYMMDDhhmmss	12	M	ME	M	ME	M	ME
14 有効期限		n4 YYMM	4					M	
17 収集日		n4 MMDD	4	M	ME	M	ME	M	ME
18 商品コード		n4	4	M	ME	M	ME	M	ME
22 POSデータコード		an12	12	M		M		M	
24 ファンクションコード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
25 メッセージ理由コード	JIS8	n4	4	M		M		M	
26 加盟店業種コード		n4	4	M		M		M	
28 精査日		n6 YYMMDD	6		M		M		M
30 オリジナル金額		n24	24	M	ME	M	ME	M	ME
32 加盟店会社コード		anp11 LLVAR	13	M	ME	M	ME	M	ME
35 JIS I 第2トラック情報		ans..37 LLVAR	Max39	M					
37 リトリナールレファレンスナンバー		anp12	12		M		M		M
38 承認コード		anp6	6		M		M		M
39 アクションコード		n3	3		M		M		M
41 加盟店端末番号		n8	8	M		M		M	
42 加盟店番号	JIS8	anp15	15	M	M	M	M	M	M
43 加盟店名/所在地		anp40 LLVAR	42	M		M		M	
47 JIS IIトラック情報		ans69 LLLVAR	72			M			
48 国内レスポンスコード		anp5 LLLVAR	8		M		M		M
49 取引通貨コード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
52 入力暗証番号		b64	8	M		M		M	
53 セキュリティ関連制御情報		an14 LLVAR	16	M		M		M	
58 オーソリ判定センターID		anp11 LLVAR	13		M		M		M
59 端末出力データ		ans147 LLLVAR	150		M		M		M
60 国内使用予約域		ans..121 LLLVAR	Max124	M		M		M	
62 個社使用予約域	b	b.. 968 LLLVAR	Max124	O	O	O	O	O	O
63 カードネット拡張使用域(注2)		b.. 1576 LLLVAR	Max200	O		O		O	

注1：各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

注2：タグ「A03」（3-D Secure関連情報）および、タグ「A07」（3-D Secure2. 0関連情報）は、マニュアル入力電文（取消および返品を除く）のみ設定可能。タグ「A04」（iD取引用情報データ（オンライン/許可/ネット決済オンライン））は、マニュアル入力電文のみ設定可能。また桁数については、外貨取引決済タグ「DXX」使用時またはタグ「A07」使用時のみMax200バイトまで利用可能とし、その他取引の場合はMax124バイトまで利用可能とする。

表 3-6-6 BODY部・売上アドバイス

		属性		桁数 (バイト)	JIS1ストライプ 読み取り時		JIS2ストライプ 読み取り時		マニュアル 入力	
					要求	応答	要求	応答	要求	応答
MTI		JIS8	n4	4	1220 1221	1230	1220 1221	1230	1220 1221	1230
ビットマップ(プライマリ)		b	b64	8	M	M	M	M	M	M
BIT2	会員番号	JIS8	n..19 LLVAR	Max21	M	ME	M	ME	M	ME
3	プロセッシングコード		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
4	取引金額		n12	12	M	M	M	M	M	M
11	システムトレースオーディットナンバー		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
12	現地取引日時		n12 YYMMDDhhmmss	12	M	ME	M	ME	M	ME
14	有効期限		n4 YYMM	4					M	
17	収集日		n4 MMDD	4	M	ME	M	ME	M	ME
18	商品コード		n4	4	M	ME	M	ME	M	ME
22	POSデータコード		an12	12	M		M		M	
24	ファンクションコード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
25	メッセージ理由コード		n4	4	M		M		M	
26	加盟店業種コード		n4	4	M		M		M	
28	精査日		n6 YYMMDD	6	M	ME	M	ME	M	ME
30	オリジナル金額		n24	24	M	ME	M	ME	M	ME
32	加盟店会社コード		anp11 LLVAR	13	M	ME	M	ME	M	ME
35	JIS I 第2トラック情報		ans..37 LLVAR	Max39	M					
37	リトリバブルリファレンスナンバー		anp12	12	M	ME	M	ME	M	ME
38	承認コード		anp6	6	M	ME	M	ME	M	ME
39	アクションコード		n3	3	M	M	M	M	M	M
41	加盟店端末番号		n8	8	M		M		M	
42	加盟店番号		anp15	15	M	M	M	M	M	M
43	加盟店名/所在地		anp40 LLVAR	42	M		M		M	
47	JIS IIトラック情報		ans69 LLLVAR	72			M			
48	国内レスポンスコード		anp5 LLLVAR	8	M	M	M	M	M	M
49	取引通貨コード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
58	オーソリ判定センターID	b	anp11 LLVAR	13	M		M		M	
60	国内使用予約域		ans..121 LLLVAR	Max124	M		M		M	
62	個社使用予約域		b.. 968 LLLVAR	Max124	O		O		O	
63	カードネット拡張使用域(注2)		b.. 1576 LLLVAR	Max200	O		O		O	

注1：各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

注2：タグ「A03」（3-D Secure関連情報）および、タグ「A07」（3-D Secure2. 0関連情報）は、マニュアル入力電文（取消および返品を除く）のみ設定可能。タグ「A04」（iD取引用情報データ（オンライン/許可/ネット決済オンライン））およびタグ「A05」（iD取引用情報データ（拒否））は、マニュアル入力電文のみ設定可能。また桁数については、外貨取引決済タグ「DXX」使用時またはタグ「A07」使用時のみMax200バイトまで利用可能とし、その他取引の場合はMax124バイトまで利用可能とする。

表 3-6-7 BODY部・障害取消アドバイス <対オーソリノオーソリアドバイス>

		属性		桁数 (バイト)	JIS1ストライプ 読み取り時		JIS2ストライプ 読み取り時		マニュアル 入力	
					要求	応答	要求	応答	要求	応答
MTI		JIS8	n4	4	1420 1421	1430	1420 1421	1430	1420 1421	1430
ビットマップ(プライマリ)		b	b64	8	M	M	M	M	M	M
BIT2	会員番号	JIS8	n..19 LLVAR	Max21	MS	ME	MS	ME	MS	ME
3	プロセッシングコード		n6	6	MS	ME	MS	ME	MS	ME
4	取引金額		n12	12	M	M	M	M	M	M
11	システムトレスオーディットナンバー		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
12	現地取引日時		n12 YYMMDDhhmmss	12	M	ME	M	ME	M	ME
24	ファンクションコード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
25	メッセージ理由コード		n4	4	M		M		M	
28	精査日		n6 YYMMDD	6	M	ME	M	ME	M	ME
30	オリジナル金額		n24	24	MS	ME	MS	ME	MS	ME
32	加盟店会社コード(注2)		anp11 LLVAR	13	MS	ME	MS	ME	MS	ME
35	JIS I 第2トラック情報		ans..37 LLVAR	Max39	MS					
38	承認コード		anp6	6	M		M		M	
39	アクションコード		n3	3		M		M		M
41	加盟店端末番号		n8	8	MS		MS		MS	
42	加盟店番号		anp15	15	MS(注3)	M	MS(注3)	M	MS(注3)	M
47	JIS IIトラック情報		ans69 LLLVAR	72			MS			
48	国内レスポンスコード		anp5 LLLVAR	8		M		M		M
49	取引通貨コード		n3	3	MS		MS		MS	
56	オリジナルデータエレメント		anp35 LLVAR	37	M		M		M	
60	国内使用予約域		ans..121 LLLVAR	Max124	MS		MS		MS	

注1：各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

注2：CARDNETセンターがタイムアウトを検知して被仕向センターへ障害取消電文を送信する場合は、加盟店会社コード（BIT32）にCARDNETセンターIDを設定する（元取引の値を保証しない）。

注3：MSであるが、障害発生箇所によっては元取引の応答電文の値を設定する。詳細については第8章「電文項目説明」を参照。

表 3-6-8 BODY部・障害取消アドバイス <対売上／売上アドバイス>

		属性		桁数 (バイト)	JIS1ストライプ 読み取り時		JIS2ストライプ 読み取り時		マニュアル 入力	
					要求	応答	要求	応答	要求	応答
MTI		JIS8	n4	4	1420 1421	1430	1420 1421	1430	1420 1421	1430
ビットマップ(プライマリ)		b	b64	8	M	M	M	M	M	M
BIT2	会員番号	JIS8	n..19 LLVAR	Max21	MS	ME	MS	ME	MS	ME
3	プロセッシングコード		n6	6	MS	ME	MS	ME	MS	ME
4	取引金額		n12	12	M	M	M	M	M	M
11	システムトレスオーディットナンバー		n6	6	M	ME	M	ME	M	ME
12	現地取引日時		n12 YYMMDDhhmmss	12	M	ME	M	ME	M	ME
24	ファンクションコード		n3	3	M	ME	M	ME	M	ME
25	メッセージ理由コード		n4	4	M		M		M	
28	精査日		n6 YYMMDD	6	M	ME	M	ME	M	ME
30	オリジナル金額		n24	24	MS	ME	MS	ME	MS	ME
32	加盟店会社コード(注2)		anp11 LLVAR	13	MS	ME	MS	ME	MS	ME
35	JIS I 第2トラック情報	JIS8	ans..37 LLVAR	Max39	MS					
38	承認コード		anp6	6	M		M		M	
39	アクションコード		n3	3		M		M		M
41	加盟店端末番号		n8	8	MS		MS		MS	
42	加盟店番号		anp15	15	MS(注3)	M	MS(注3)	M	MS(注3)	M
43	加盟店名／所在地		anp40 LLVAR	42	MS		MS		MS	
47	JIS IIトラック情報		ans69 LLLVAR	72			MS			
48	国内レスポンスコード		anp5 LLLVAR	8		M		M		M
49	取引通貨コード		n3	3	MS		MS		MS	
56	オリジナルデータエレメント		anp35 LLVAR	37	M		M		M	
60	国内使用予約域		ans..121 LLLVAR	Max124	MS		MS		MS	

注1：各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

注2：CARDNETセンターがタイムアウトを検知して被仕向センターへ障害取消電文を送信する場合は、加盟店会社コード（BIT32）にCARDNETセンターIDを設定する（元取引の値を保証しない）。

注3：MSであるが、障害発生箇所によっては元取引の応答電文の値を設定する。詳細については第8章「電文項目説明」を参照。

表 3-6-9 BODY部・オンライン精査

		属性		桁数 (バイト)	仕向精査		被仕向精査	
					要求	応答	要求	応答
MTI		JIS8	n4	4	1522	1532	1520	1530
ビットマップ(プライマリ)		b	b64	8	M	M	M	M
ビットマップ(セカンダリ)			b64	8	M	M	M	M
BIT11	システムトレースオーディットナンバー	JIS8	n6	6	M	ME	M	ME
12	現地取引日時		n12 YYMMDDhhmmss	12	M	ME	M	ME
24	ファンクションコード		n3	3	M	ME	M	ME
28	精査日		n6 YYMMDD	6	M	ME	M	ME
32	加盟店会社コード		anp11 LLVAR	13	M	ME	M	ME
39	アクションコード		n3	3		M		M
50	精査通貨コード		n3	3	M	ME	M	ME
74	売上取消／返品件数		n10	10	M	M	M	M
75	売上障害取消件数		n10	10	M	M	M	M
76	売上件数		n10	10	M	M	M	M
77	売上取消／返品障害取消件数		n10	10	M	M	M	M
80	照会件数		n10	10	M	M	M	M
81	オーソリ件数		n10	10	M	M	M	M
82	照会障害取消件数		n10	10	M	M	M	M
86	売上取消／返品金額		n16	16	M	M	M	M
87	売上障害取消金額		n16	16	M	M	M	M
88	売上金額		n16	16	M	M	M	M
89	売上取消／返品障害取消金額		n16	16	M	M	M	M
90	オーソリ障害取消件数		n10	10	M	M	M	M
97	精査合計金額		a+n16	17	M	M	M	M
100	精査対象センターID		anp11 LLVAR	13	M	ME	M	ME

表 3-6-10 BODY部・汎用通知

		属性		桁数 (バイト)	カットオーバー依頼／ 障害電文通知
MTI		JIS8	n4	4	1644
ビットマップ(プライマリ)		b	b64	8	M
ビットマップ(セカンダリ)			b64	8	M
BIT11	システムトレースオーディットナンバー	JIS8	n6	6	M
12	現地取引日時		n12 YYMMDDhhmmss	12	M
24	ファンクションコード		n3	3	M
39	アクションコード		n3	3	M
72	通知レコード		ans..340 LLLVAR	Max343	M
93	電文送信先センターID		anp11 LLVAR	13	M
94	電文送信元センターID	anp11 LLVAR	13	M	

注：各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

表3-6-11 BODY部・ネットワーク制御

	属性	桁数 (バイト)	開局／閉局 エコーテスト		カット オーバー	
			要求	応答	要求	応答
MTI	JIS8	n4	4	1804 1814	1804 1814	
ビットマップ(プライマリ)	b	b64	8	M M	M M	
ビットマップ(セカンダリ)		b64	8	M M	M M	
BIT11 システムトレースオーダーナンバー	JIS8	n6	6	M ME	M ME	
12 現地取引日時		n12 YYMMDDhhmmss	12	M ME	M ME	
24 ファンクションコード		n3	3	M ME	M ME	
28 精査日		n6 YYMMDD	6		M M	
39 アクションコード		n3	3	M	M	
93 電文送信先センターID		anp11 LLVAR	13	M ME	M ME	
94 電文送信元センターID		anp11 LLVAR	13	M ME	M ME	

	属性	桁数 (バイト)	キー交換	
			KC/KMAC	
			要求	応答
MTI	JIS8	n4	4	1804 1814
ビットマップ(プライマリ)	b	b64	8	M M
ビットマップ(セカンダリ)		b64	8	M M
BIT11 システムトレースオーダーナンバー	JIS8	n6	6	M ME
12 現地取引日時		n12 YYMMDDhhmmss	12	M ME
24 ファンクションコード		n3	3	M ME
39 アクションコード		n3	3	M
93 電文送信先センターID		anp11 LLVAR	13	M ME
94 電文送信元センターID		anp11 LLVAR	13	M ME
96 キーマネージメントデータ	JIS8+b	a3+b64(注2) or a3+b128(注3) LLLVAR	14(注2) or 22(注3)	M M

	属性	桁数 (バイト)	キー交換	
			KPE	
			要求	応答
MTI	JIS8	n4	4	1804 1814
ビットマップ(プライマリ)	b	b64	8	M M
ビットマップ(セカンダリ)		b64	8	M M
BIT11 システムトレースオーダーナンバー	JIS8	n6	6	M ME
12 現地取引日時		n12 YYMMDDhhmmss	12	M ME
24 ファンクションコード		n3	3	M ME
39 アクションコード		n3	3	M
53 セキュリティ関連制御情報		an14 LLVAR	16	M ME
93 電文送信先センターID		anp11 LLVAR	13	M ME
94 電文送信元センターID	b	anp11 LLVAR	13	M ME
96 キーマネージメントデータ		b64(注2) or b128(注3) LLLVAR	11(注2) or 19(注3)	M M

注1：各項目の属性は、3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

注2：暗号化方式がSingle-DES方式の場合。

注3：暗号化方式がTriple-DES方式の場合。

3. 1. 5 データエレメント

データエレメントの項目は、固定長項目と可変長項目より構成される。データエレメントの項目形式を図3-3に示す。

(1) 固定長項目

固定長項目は、データ部のみで構成される。

ex.) プロセッシングコード (BIT3) : オーソリ取消/返品の場合

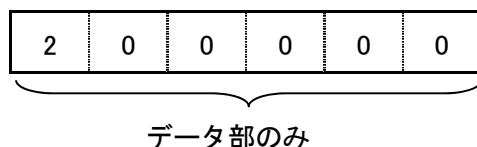


圖 3-3-1 固定長項目形式

(2) 可變長項目

可変長項目は、レングス部+データ部で構成される。レングス部には、データ部のバイト長が設定される。

ex.) 会員番号 (BIT2) : 16桁会員番号の場合

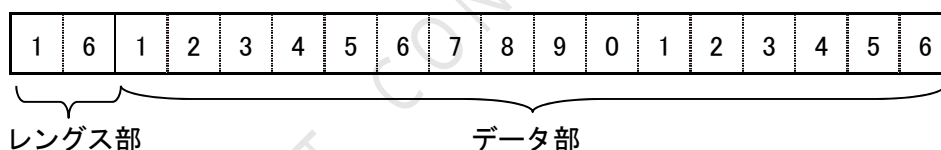


圖 3-3-2 可變長項目形式

＜補足説明～可変長項目＞

- ・ CN手順では、業務処理のオーバーヘッドを極小化するために、可変長項目についても可能な限りレングスを固定化した。
- ・ 可変長項目は、“LLVAR”（レングス部2桁、データ部0～99桁の可変長項目）と“LLLVAR”（レングス部3桁、データ部0～999桁の可変長項目）で構成される。

3. 2 電文体系

CN手順にてオンライン処理でサポートする業務は、電文種別コード、MTI（電文タイプ）、プロセッシングコード（BIT3）、ファンクションコード（BIT24）を組み合わせで表現される。オンライン処理と電文体系を表3-7に定義する。

表3-7 オンライン処理と電文体系

処理種別		電文種別 コード	MTI	プロセッシング コード	ファンクション コード
オーソリ	オーソリ	C100/C110	1100/1110	000000	100
	オーソリ取消／返品			200000	100
	海外キャッシング			010000	100
	事前承認			000000	101
	事前承認取消			200000	101
	承認後オーソリ			000000	100
	承認後オーソリ取消／返品			200000	100
	無効カード照会			360000	108
オーソリアドバイス	オーソリ事後一括送信	C120(C121) /C130	1120(1121) /1130	(オーソリと同体系)	
売上	売上	C200/C210	1200/1210	000000	200
	売上取消／返品			200000	200
	承認後売上			000000	201
	承認後売上取消／返品			200000	201
売上アドバイス	売上事後一括送信	C220(C221) /C230	1220(1221) /1230	(売上と同体系)	
障害取消アドバイス		C420(C421) /C430	1420(1421) /1430	(元取引と同一)	400
オンライン精査		C520/C530 C522/C532	1520/1530 1522/1532		500
汎用通知	障害電文通知	E644	1644		650
	カットオーバー依頼	C644			821
ネットワーク制御	開局	C804/C814	1804/1814		801
	閉局				802
	キー交換				811
	カットオーバー				821
	エコーテスト				831

3. 3 取引特定条件

送受信される電文の要求と応答の関連付けや、障害取消電文における元取引特定をする場合、CARDNETでは下記①～⑤の項目を組み合わせで判断する。

- ①MTI
- ②システムトレースオーディットナンバー (BIT11)
- ③現地取引日時 (BIT12)
- ④加盟店会社コード (BIT32)
- ⑤差出センターID (共通制御ヘッダー) の3桁目～7桁目までの5バイト

また、電文送信元のセンターは、上記②～⑤の項目の組み合わせがユニークになるように設定する必要がある。

※CARDNETセンターへの取引に関する照会については、業務共通ヘッダーのカードネット取引通番が使用される。

3. 4 データコード

オンライン業務で使用する電文のデータコードは、①バイナリー、②BCDコード、③JIS8コード混在型とする。BCDコードは“0”～“9”を有効範囲とする。電文項目の文字コードは、JIS8コードを基本とし、有効範囲は下記の定義に従う。コード表を図3-4に示す。

図3-4 データコード表

		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
		0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
		0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1
		0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0000	0	NUL	TC7(DLE)	SP	0	@	P	`	p	未定義	SP	
0001	1	TC1(SOH)	DC1	!	1	A	Q	a	q		。	
0010	2	TC2(STX)	DC2	”	2	B	R	b	r		「	
0011	3	TC3(ETX)	DC3	#	3	C	S	c	s		」	
0100	4	TC4(EOT)	DC4	\$	4	D	T	d	t		、	
0101	5	TC5(ENQ)	TC8(NAK)	%	5	E	U	e	u		・	
0110	6	TC6(ACK)	TC9(SYN)	&	6	F	V	f	v		ヲ	
0111	7	BEL	TC10(ETB)	'	7	G	W	g	w		ア	
1000	8	FE0(BS)	CAN	(8	H	X	h	x		イ	
1001	9	FE1(HT)	EM)	9	I	Y	i	y		ウ	
1010	10	FE2(LF)	SUB	*	:	J	Z	j	z		エ	
1011	11	FE3(VT)	ESC	+	;	K	[k	{		オ	
1100	12	FE4(FF)	IS4(FS)	,	<	L	¥	l			ヤ	
1101	13	FE5(CR)	IS3(GS)	-	=	M]	m	}		ユ	
1110	14	SO	IS2(RS)	.	>	N	^	n	~		ヨ	
1111	15	SI	IS1(US)	/	?	O	—	o	DEL		ツ	

		1	1	1	1	1
		0	1	1	1	1
		1	0	0	1	1
		1	0	1	0	1
		11	12	13	14	15
0000	0	一	夕	ミ	未定義	
0001	1	ア	チ	ム		
0010	2	イ	ツ	メ		
0011	3	ウ	テ	モ		
0100	4	エ	ト	ヤ		
0101	5	オ	ナ	ユ		
0110	6	カ	ニ	ヨ		
0111	7	キ	ヌ	ラ		
1000	8	ク	ネ	リ		
1001	9	ケ	ノ	ル		
1010	10	コ	ハ	レ		
1011	11	サ	ヒ	ロ		
1100	12	シ	フ	ワ		
1101	13	ス	ヘ	ン		
1110	14	セ	ホ	ン		
1111	15	ソ	マ	°		

注1：囲み部分を有効範囲とする。項目単位での数字、英字、パッド文字、特殊文字設定可否は、項目属性の表記に従う。

注2：数字=0～9、英字=A～Z、a、s、パッド文字（スペース）=SP、特殊文字=数字、英字以外の有効範囲とする（パッド文字“SP”含む）。

注3：英字属性項目の英小文字（“a”、“s”）は、センターIDや会社コード関連項目のIDマークでのみ使用可能とする。

注4：特殊文字属性項目のカナ文字は、BODY部の端末出力データ（BIT59）でのみ使用可能とする。

3. 5 表記方法

オンライン業務で使用する電文項目の表記方法を図3-5に定義する。

図3-5 表記方法

分類	記号	意味	備考
電文構成	M	該当項目を必須で設定	
	ME	要求の項目値を設定	
	MS	元取引要求の項目値を設定	
	O	設定は電文送信システムで任意に設定	
	無印	該当項目の設定無し(ビットオフ)	
項目属性 (注1)	b	データコードがバイナリー(ビット列)	
	BCD	" BCDコード(0~9)	
	JIS8	" JIS8コード	
	a	英字(A~Z, a, s)	JIS8コードの属性
	n	数字(0~9)	
	p	パッド文字(スペース)	
	s	特殊文字	
	an	英字、数字	
	anp	英字、数字、パッド文字	
	ans	英字、数字、特殊文字	
項目構成	LLVAR	可変長項目(項目長 1~99)	BODY部項目の形式
	LLLVAR	" (項目長 1~999)	
	無印	固定長項目	
	LL	可変長項目のレングス部(01~99)	
	LLL	" レングス部(001~999)	
	VAR	" データ部	
項目桁数	3	3桁の固定長	
	..9	最大9桁の可変長	

注1：カードネットセンターでは以下の項目属性のみチェックを行う。

“n”：ニューメリックチェック(数字チェック)

“an”：アルファベット／ニューメリックチェック(英数字チェック)

その他の項目属性のチェックは行わないため、本仕様書の記載に従わない値が中継される可能性がある。

また、BODY部項目のうち、サブフィールドを設ける項目に関しては、全体の属性のみをチェックの対象とし、サブフィールド単位の属性のチェックは行わない。

第 4 章 センター制御仕様

本章では、オンライン状態管理、開局および閉局手順、時間監視の処理仕様を定義する。

4. 1 オンラインステータス管理

CARDNETセンターと接続先センターは、それぞれオンライン状態を示すステータスを管理し、電文送受信の制御を行う。オンラインステータス管理は、システムが稼働中で電文の送受信が可能な状態での制御を対象とする。したがって、下位レイヤーの回線ステータスとは非同期に管理される。
オンラインステータスの一覧を表 4－1 に示す。

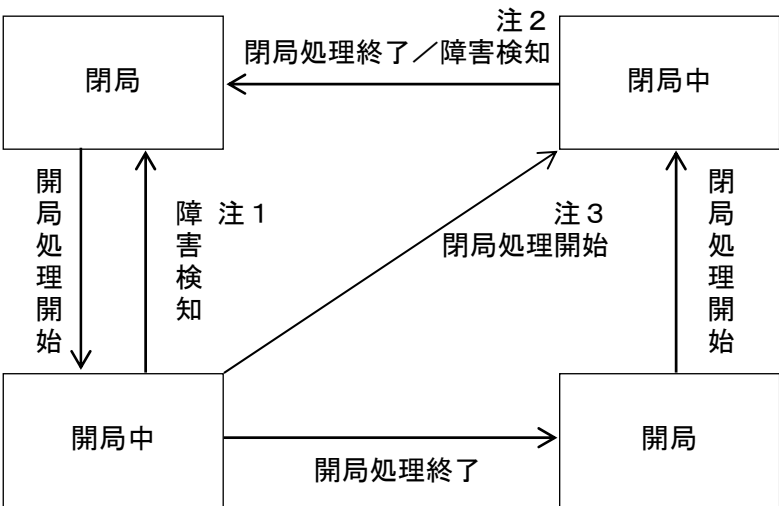
表 4－1 オンラインステータス一覧

ステータス	説明	
開局中	オンラインサービス開始処理中	開局処理が仕掛中でサービス不可の状態
開局	オンラインサービス中	サービス可能な状態
閉局中	オンラインサービス終了処理中	閉局処理が仕掛中で新たなサービスは不可の状態
閉局	オンラインサービス停止中	サービス不可の状態

4. 1. 1 オンラインステータス遷移

オンラインステータスは、開局電文と閉局電文の送受信により遷移される。オンラインステータスの遷移条件を以下に示す。

- (1) 開局中 : 相手センターに開局要求を送信した時点、または相手センターから開局要求を受信した時点でステータスを開局中に遷移する。
- (2) 開局 : 相手センターに開局応答を送信した時点、または相手センターから開局応答を受信した時点でステータスを開局に遷移する。
- (3) 閉局中 : 相手センターに閉局要求を送信した時点、または相手センターから閉局要求を受信した時点でステータスを閉局中に遷移する。
- (4) 閉局 : 相手センターに閉局応答を送信した時点、または相手センターから閉局応答を受信した時点でステータスを閉局に遷移する。
ただし、相手センターから開局、閉局の拒否応答を受信した場合、または開局、閉局応答がタイムアウトした場合は、ステータスを強制的に閉局に遷移する。



注 1：開局拒否応答受信、または開局応答タイムアウト時
注 2：閉局拒否応答受信、または閉局応答タイムアウト時
注 3：開局中に閉局要求受信時

図 4－1 オンラインステータス遷移図

4. 1. 2 開閉局処理

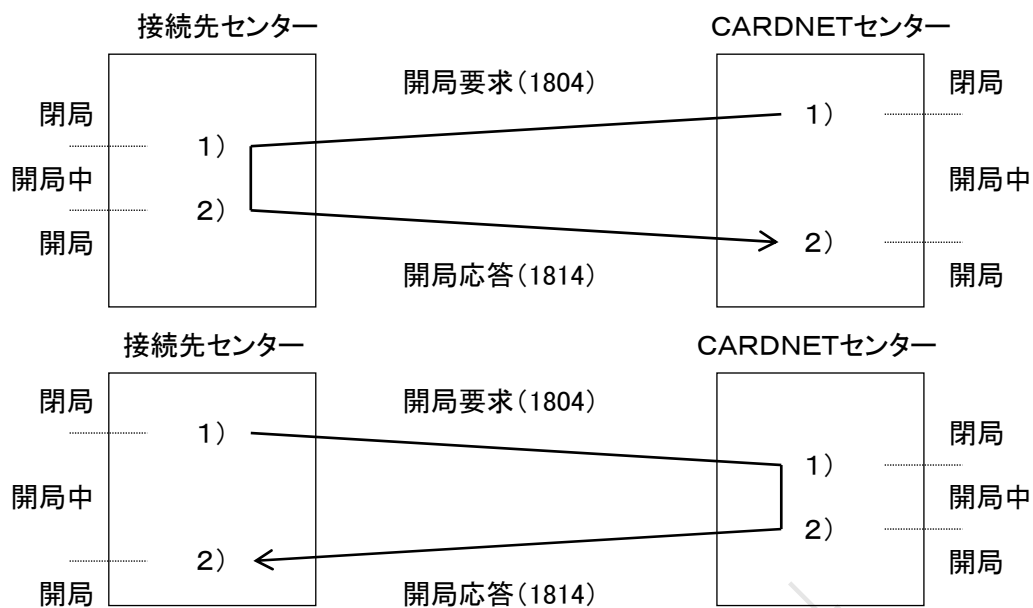
開閉局はCARDNETセンターと接続先センターの隣接 2 センター間で行われる。開閉局処理にて遷移されるオンラインステータスについても 2 センター間においてのみ有効とする。開閉局の処理フローとオンラインステータスの遷移を図 4－2～図 4－8 に定義する。

表 4－2 開閉局処理フロー一覧

項番	内容	図番
1	通常開局	図 4－2
2	通常閉局	図 4－3
3	開局タイムアウト・拒否応答	図 4－4
4	閉局タイムアウト・拒否応答	図 4－5
5	開局競合	図 4－6
6	閉局競合	図 4－7
7	開閉局競合	図 4－8

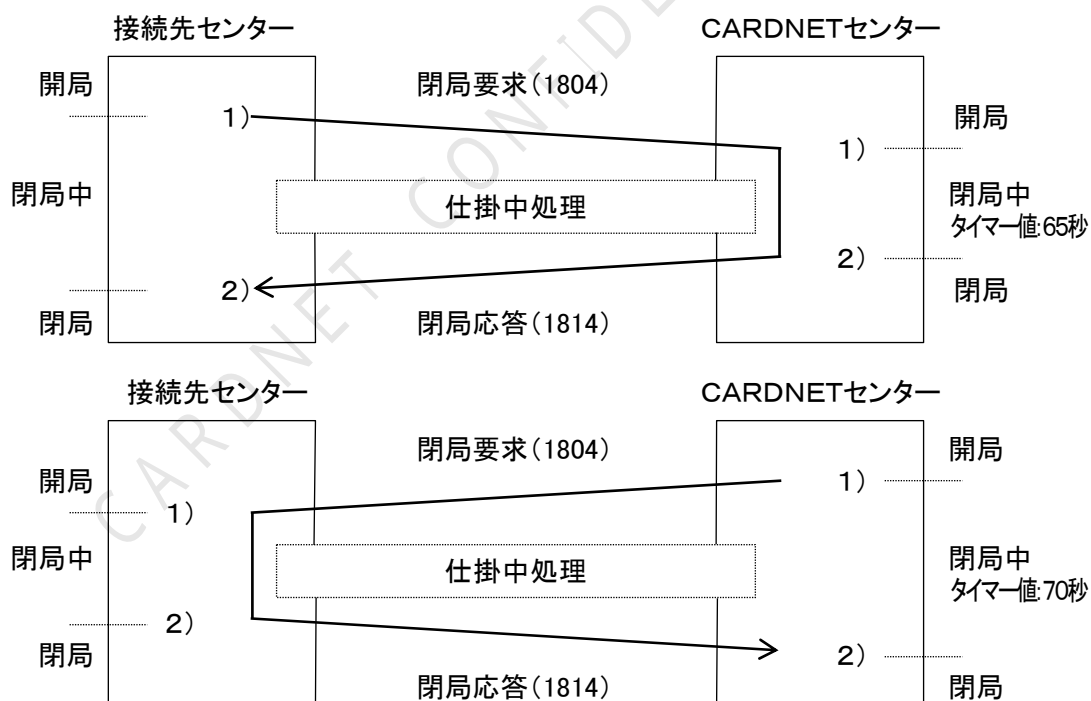
<補足説明～運用上の考慮事項>

- ・開閉局処理は、接続先センターより行う事を基本とする。
- ・24時間運用を行う接続先センターは、日次運用として開閉局処理を実施する必要は無い。
- ・CARDNETセンターの計画停止による運用対処として、CARDNETセンターより強制的に開閉局を行う場合がある。



- 1) 開局要求を送信した時点、または開局要求を受信した時点で、開局中に移行する。
 2) 開局応答を送信した時点、または開局応答を受信した時点で、開局に移行する。

図4-2 通常開局



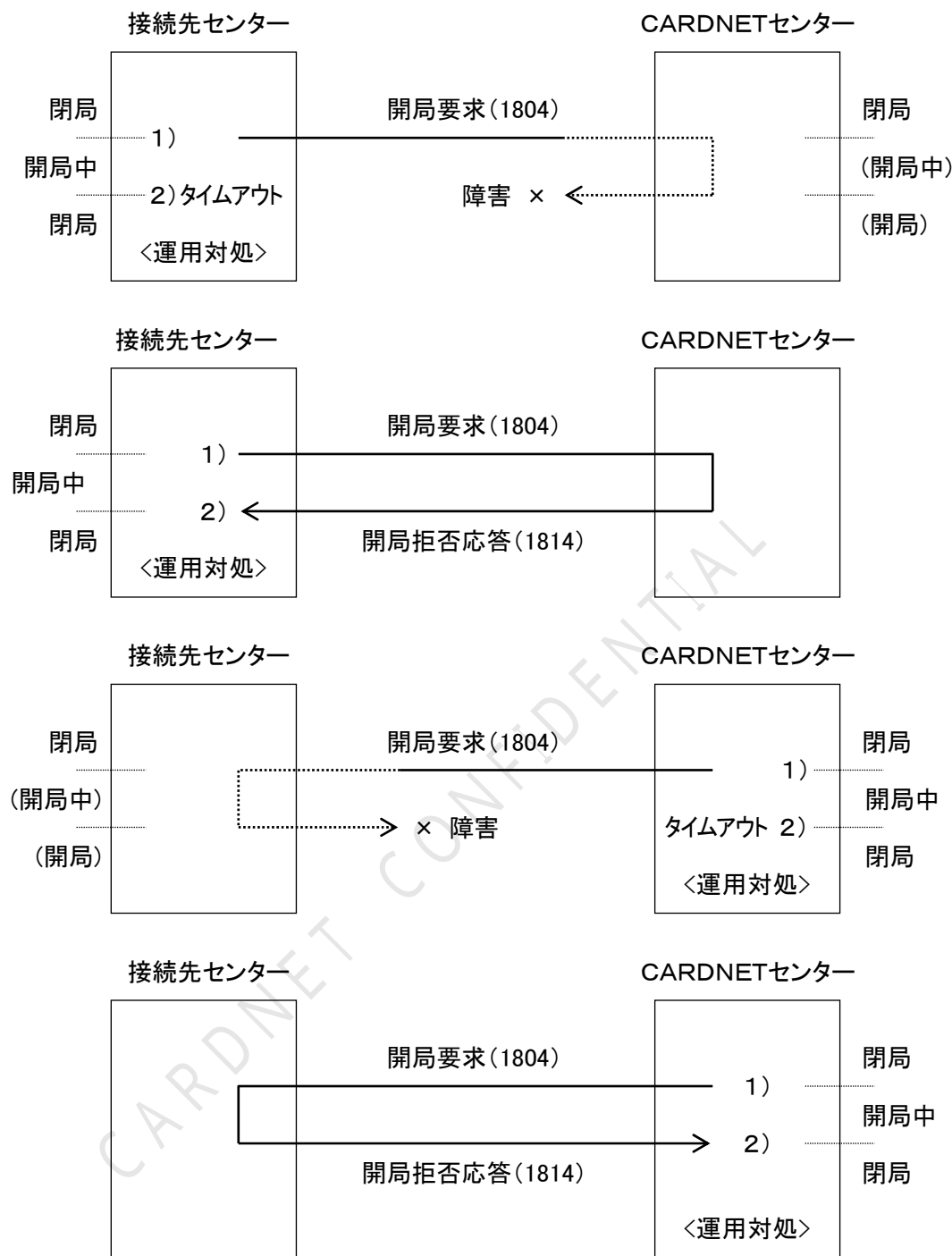
- 1) 閉局要求を送信した時点、または閉局要求を受信した時点で、閉局中に移行する。
 2) 閉局応答を送信した時点、または閉局応答を受信した時点で、閉局に移行する。

図4-3 通常閉局

<補足説明～仕掛中処理>

CARDNETセンターは、閉局処理時に仕掛中取引が行われている場合に取引を完了する為、閉局要求受信と閉局応答送信の間にインターバルを設定する。応答電文監視タイマーの最大値より長いインターバルをおくことで、全ての仕掛中取引が完了する。

※タイマーに関しては表4-7、表4-8参照

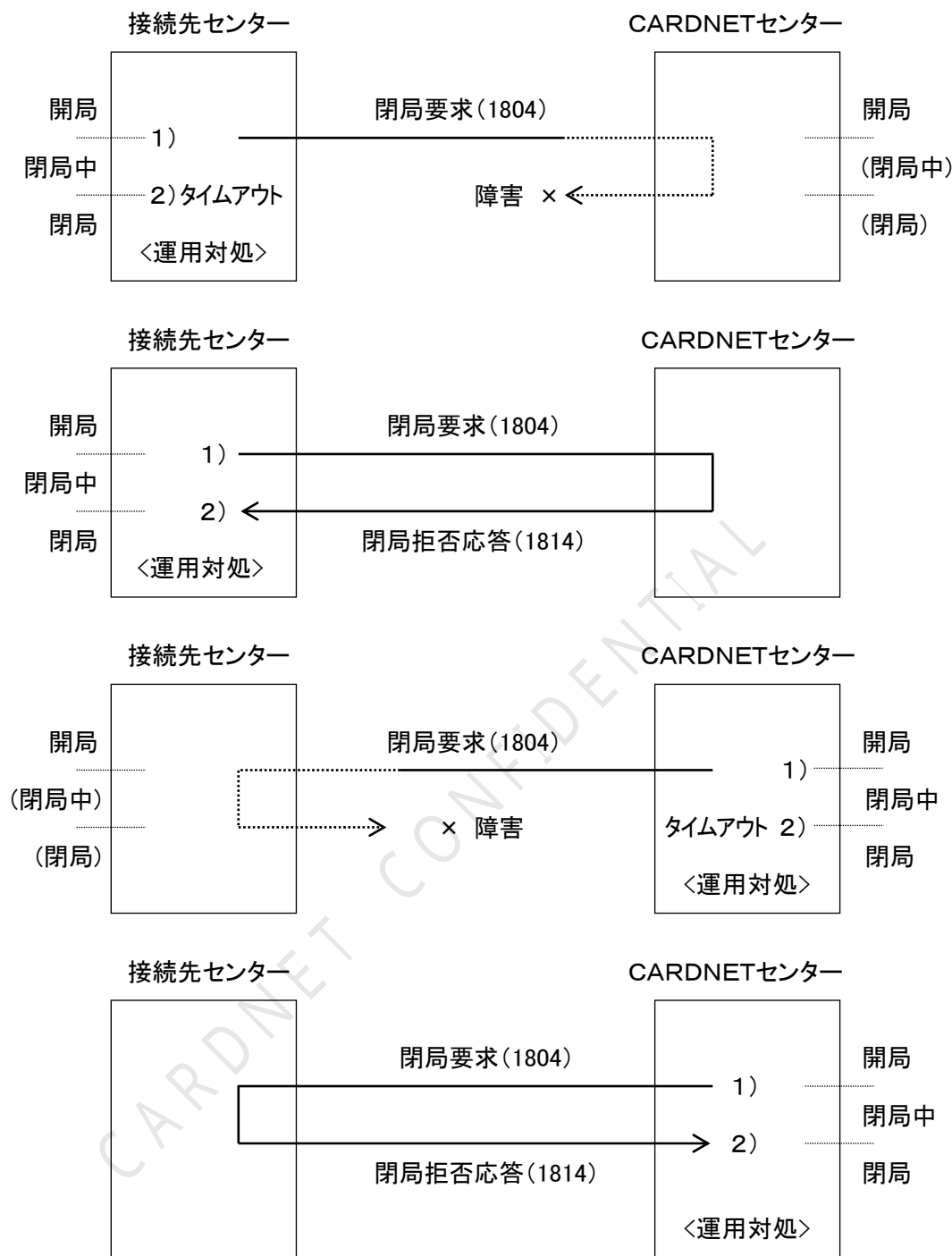


- 1) 開局要求を送信した時点で、開局中に遷移する。
- 2) 開局応答がタイムアウトした時点、または開局拒否応答を受信した時点で、閉局に遷移し運用対処を行う。

図 4-4 開局タイムアウト・拒否応答

＜補足説明～運用対処＞

タイムアウト、拒否応答による開局処理の失敗時は、接続先センターとCARDNETセンター間でオンラインステータスが不一致となる可能性がある。運用対処として、再度開局処理を実施し、ステータスの同期を回復する。

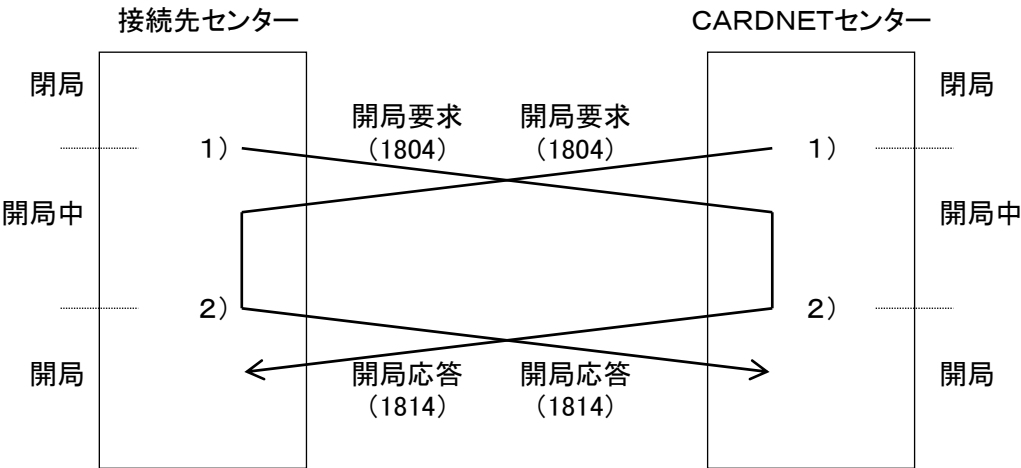


- 1) 閉局要求を送信した時点で、閉局中に遷移する。
- 2) 閉局応答がタイムアウトした時点、または閉局拒否応答を受信した時点で、閉局に遷移し運用対処を行う。

図 4-5 閉局タイムアウト・拒否応答

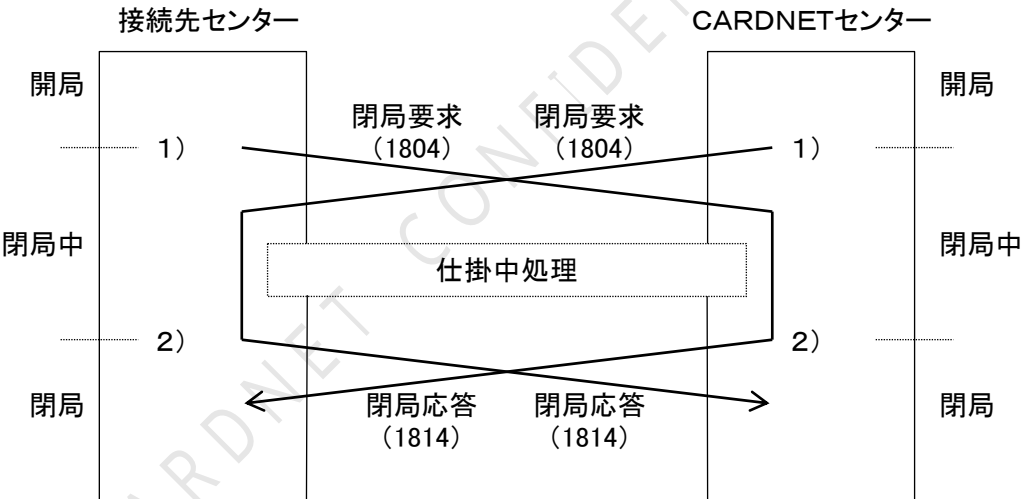
＜補足説明～運用対処＞

タイムアウト、拒否応答による閉局処理の失敗時は、接続先センターとCARDNETセンター間でオンラインステータスが不一致となる可能性がある。運用対処として、再度閉局処理を実施し、ステータスの同期を回復する。



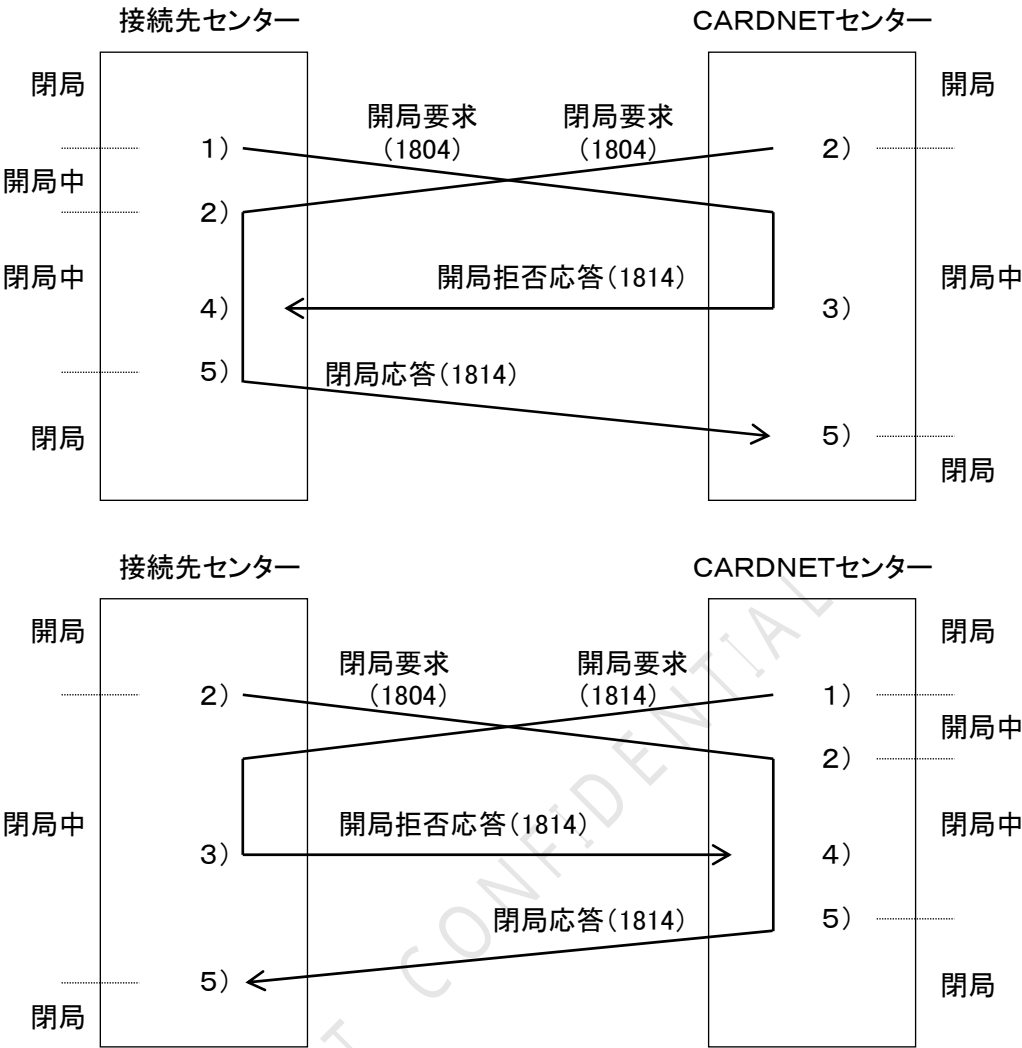
- 1) 開局要求を送信した時点で、開局中に遷移する。
- 2) 開局応答を送信した時点で、開局に遷移する。

図 4－6 開局競合



- 1) 閉局要求を送信した時点で、閉局中に遷移する。
- 2) 閉局応答を送信した時点で、閉局に遷移する。

図 4－7 閉局競合



- 1) 閉局要求を送信した時点で、閉局中に遷移する。
- 2) 閉局要求を送信した時点、または閉局要求を受信した時点で、閉局中に遷移する。
- 3) 閉局中に閉局要求を受信した場合は、拒否応答を行い閉局処理を継続する。
- 4) 閉局中に閉局拒否応答を受信した場合は、閉局処理を継続する（ステータスは遷移しない）。
- 5) 閉局応答を送信した時点、または閉局応答を受信した時点で、閉局に遷移する。

図 4－8 閉局および閉局競合

4. 1. 3 オンラインステータス制御

CARDNETセンターと接続先センターは、オンラインステータスにより電文送受信の制御を行う。制御仕様を定義する前提として、CN手順におけるオンライン処理方式と対象電文の一覧を表4-3に示す。各センターは処理方式と対象電文毎に、ステータスによる制御を実施する。

表 4-3 オンライン処理方式

処理方式		電文送信元	対象電文
制 御 系	折返型	CARDNETセンター	開局、閉局、エコーテスト、キー交換、 カットオーバー、オンライン精査
		接続先センター	開局、閉局、エコーテスト
	通知型	CARDNETセンター	障害電文通知
		接続先センター	障害電文通知、カットオーバー依頼
業 務 系	同期中継型		オーソリ、売上
	非同期中継型		オーソリアドバイス、売上アドバイス、 障害取消アドバイス

(1) CARDNETセンターの制御仕様

CARDNETセンターは、①要求電文送信時、②要求電文受信時、③応答電文送信時、④応答電文受信時に、オンラインステータスにより制御を行う。処理方式毎の制御ポイントを図4-9に、各ポイント毎の制御仕様を表4-4に定義する。

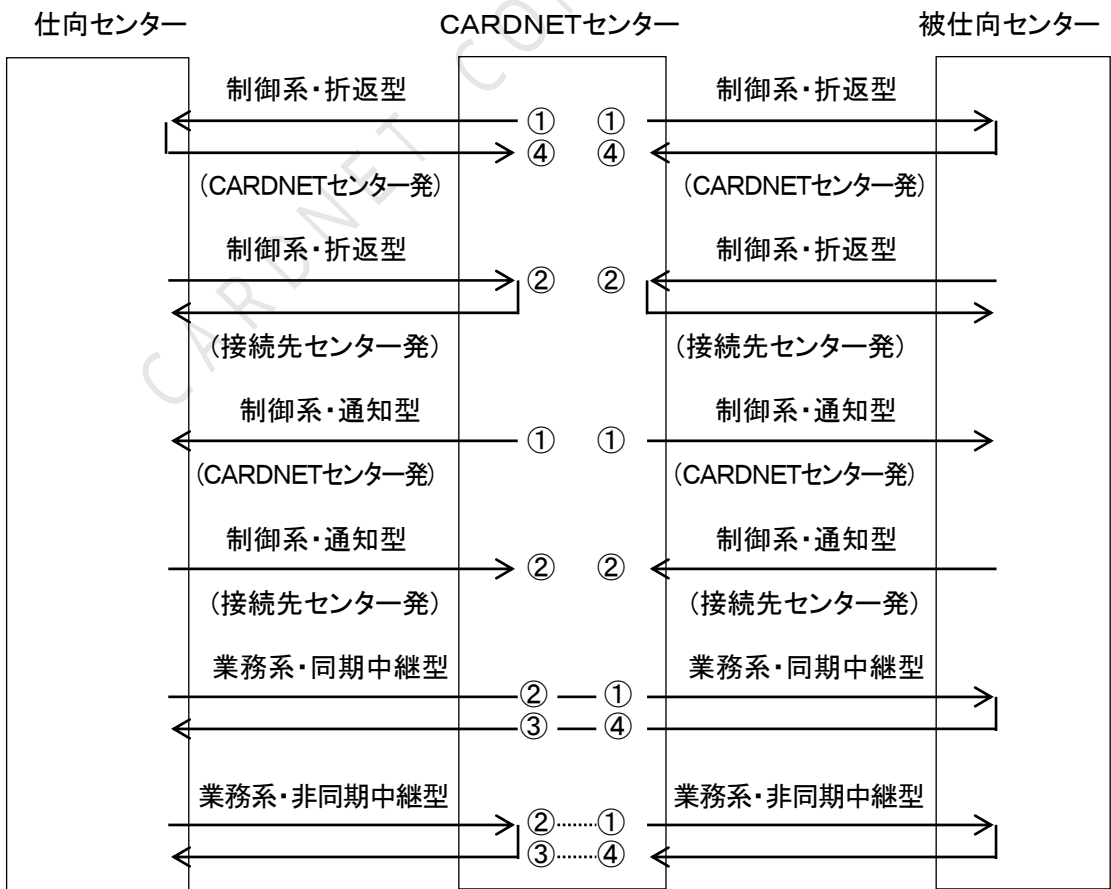


図 4-9 オンラインステータス制御 (CARDNETセンター)

表 4-4-1 要求送信制御 (CARDNETセンター)

①要求電文送信時

CARDNETセンターが 送信する 電文 CARDNET センターが認識している 接続先センターのステータス 注1		開局 1804	閉局 1804	エコーテスト 1804	キー交換 1804	カットオーバー 1804	オンライン精査 1520/ 1522
開局中	S1	○	○	—	—	—	—
開局	S2	—	○	○	○	○	○
閉局中	S3	—	—	—	—	—	—
閉局	S4	○	○	—	—	—	—

CARDNETセンターが 送信する 電文 CARDNET センターが認識している 接続先センターのステータス 注1		障害電文通知 1644	同期中継型 1100/1200	非同期中継型 1120/1121/1220/ 1221/1420/1421
開局中	S1	○	— 注2	— 注3
開局	S2	○	○	○
閉局中	S3	○	— 注2	— 注3
閉局	S4	○	— 注2	— 注3

凡例：○：送信する場合あり、—：送信しない

注1：制御系電文送信時は、接続先センター（仕向／被仕向センター）のステータスを示す。

業務系電文送信時は、被仕向センターのステータスを示す。

注2：仕向センターからの要求電文受信時には、被仕向センターへの中継は行わず、仕向センターへ拒否応答を行う。

注3：保留電文として、次回開局時に被仕向センターへ送信される。

表 4-4-2 要求受信制御 (CARDNETセンター)

②要求電文受信時

CARDNETセンターが 受信する 電文 CARDNET センターが認識している 接続先センターのステータス 注1		開局 1804	閉局 1804	エコーテスト 1804	障害電文通知 1644	カットオーバー 依頼 1644
開局中	S1	○	○	△	○	×
開局	S2	○	○	○	○	○
閉局中	S3	△	○	△	○	×
閉局	S4	○	○	△	○	×

CARDNETセンターが 受信する 電文 CARDNET センターが認識している 接続先センターのステータス 注1		同期中継型 1100/1200	非同期中継型 1120/1121/1220/1221/1420/1421
開局中	S1	△	×
開局	S2	○	○
閉局中	S3	△	×
閉局	S4	△	×

凡例：○：正常受信、△：拒否応答、×：電文破棄

注1：制御系電文受信時は、接続先センター（仕向／被仕向センター）のステータスを示す。

業務系電文受信時は、仕向センターのステータスを示す。

表 4-4-3 応答送信制御 (CARDNETセンター)

③応答電文送信時

CARDNETセンターが 送信する 電文 CARDNET センターが認識している 仕向センターのステータス		同期中継型 1110/1210	非同期中継型 1130/1230/1430
開局中	S1	－ 注1	－ 注2
開局	S2	○	○
閉局中	S3	○	○
閉局	S4	－ 注1	－ 注2

凡例：○：送信する場合あり、－：送信しない

注1：被仕向センターからの応答電文受信時には、仕向センターへの中継は行わず、電文を破棄する。

注2：仕向センターからの要求電文受信時には、電文を破棄する。

表 4-4-4 応答受信制御 (CARDNETセンター)

④応答電文受信時

CARDNETセンターが 受信する 電文 CARDNET センターが認識している 接続先センターのステータス 注1		開局 1814	閉局 1814	エコーテスト 1814	キー交換 1814	カットオーバー 1814	オンライン精査 1530/ 1532
開局中	S1	○	×	×	×	×	×
開局	S2	○	×	○	○	○	○
閉局中	S3	×	○	○	○	○	○
閉局	S4	×	×	×	×	×	×

CARDNETセンターが 受信する 電文 CARDNET センターが認識している 接続先センターのステータス 注1		同期中継型 1110/1210	非同期中継型 1130/1230/1430
開局中	S1	×	×
開局	S2	○	○
閉局中	S3	○	○
閉局	S4	×	×

凡例：○：正常受信、×：電文破棄

注1：制御系電文受信時は、接続先センター（仕向／被仕向センター）のステータスを示す。

業務系電文受信時は、被仕向センターのステータスを示す。

(2) 仕向センターの制御仕様

仕向センターは、①要求電文送信時、②要求電文受信時、③応答電文受信時に、オンラインステータスにより制御を行う。①～③の制御ポイントを図4-10に、制御仕様を表4-5に定義する。

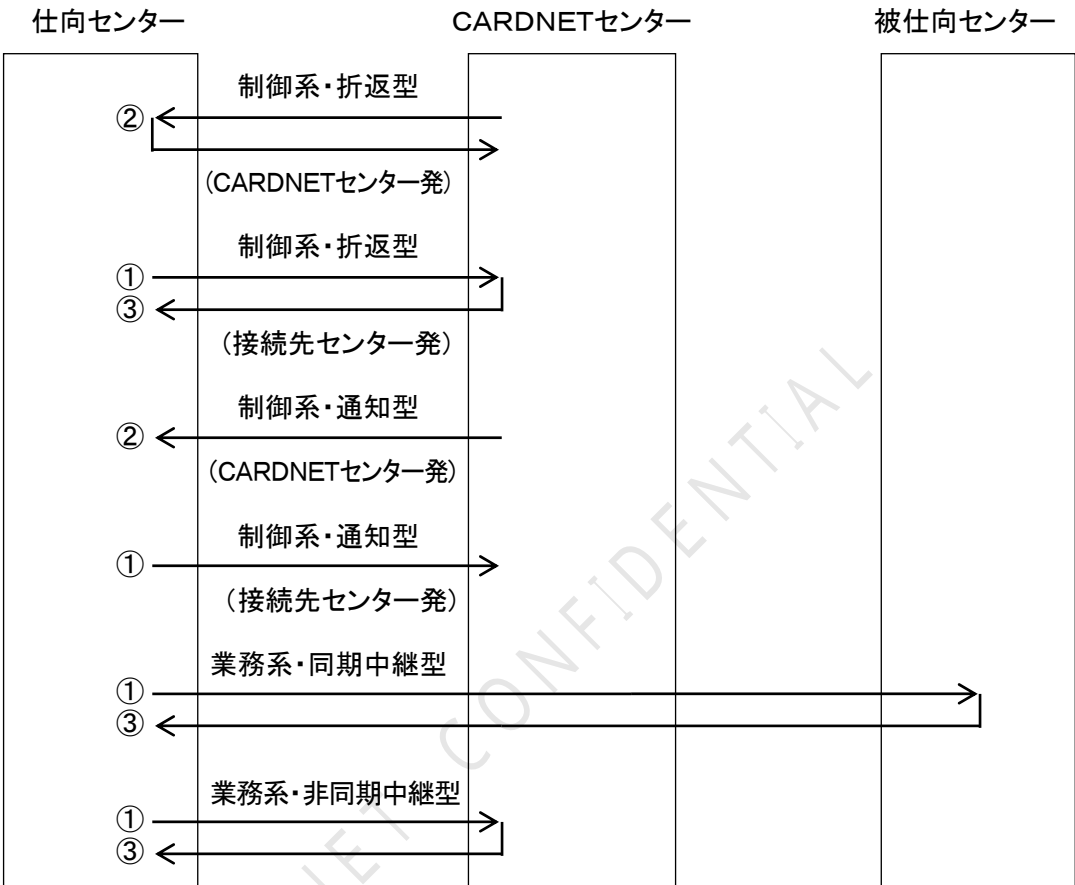


図4-10 オンラインステータス制御（仕向センター）

表 4-5-1 要求送信制御（仕向センター）

①要求電文送信時

仕向センターが送信する電文 仕向センターのステータス		開局 1804	閉局 1804	エコーテスト 1804	障害電文通知 1644	カットオーバー 依頼 1644
開局中	S1	(○)	(○)	—	○	—
開局	S2	(○)	○	(○)	○	○
閉局中	S3	—	—	—	○	—
閉局	S4	○	(○)	—	○	—

仕向センターが送信する電文 仕向センターのステータス		同期中継型 1100/1200	非同期中継型 1120/1121/1220/ 1221/1420/1421
開局中	S1	—	— 注
開局	S2	○	○
閉局中	S3	—	— 注
閉局	S4	—	— 注

凡例：○、(○)：送信可能、—：送信不可

○、—の機能仕様サポートは、接続先にて必須とする。

(○)の機能仕様サポート有無は、接続先にて任意とする。

注：仕向センターは、電文を一旦保留し、次回開局時に送信する。

表 4-5-2 要求受信制御（仕向センター）

②要求電文受信時

仕向センターが受信する電文 仕向センターのステータス		開局 1804	閉局 1804	エコーテスト 1804	キー交換 1804	カットオーバー 1804	オンライン精査 1522
開局中	S1	○	○	△	△	△	△
開局	S2	○	○	○	○	○	○
閉局中	S3	△	○	△	△	△	△
閉局	S4	○	○	△	△	△	△

仕向センターが受信する電文 仕向センターのステータス		障害電文通知 1644
開局中	S1	(○)
開局	S2	○
閉局中	S3	(○)
閉局	S4	(○)

凡例：○、(○)：正常受信、△：拒否応答

○、△の機能仕様サポートは、接続先にて必須とする。

(○)の機能仕様サポート有無は、接続先にて任意とする。

表 4－5－3 応答受信制御（仕向センター）

③応答電文受信時

仕向センターが受信する電文 仕向センターのステータス		開局 1814	閉局 1814	エコーテスト 1814	同期中継型 1110/1210	非同期中継型 1130/1230/ 1430
開局中	S1	○	×	×	×	×
開局	S2	○	×	(○)	○	○
閉局中	S3	×	○	(○)	○	○
閉局	S4	×	×	×	×	×

凡例：○、(○)：正常受信、×：電文破棄
(○)の機能仕様サポート有無は、接続先にて任意とする。

CARDNET CONFIDENTIAL

(3) 被仕向センターの制御仕様

被仕向センターは、①要求電文送信時、②要求電文受信時、③応答電文送信時、④応答電文受信時に、オンラインステータスにより制御を行う。処理方式毎の制御ポイントを図4-11に、各ポイント毎の制御仕様を表4-6に定義する。

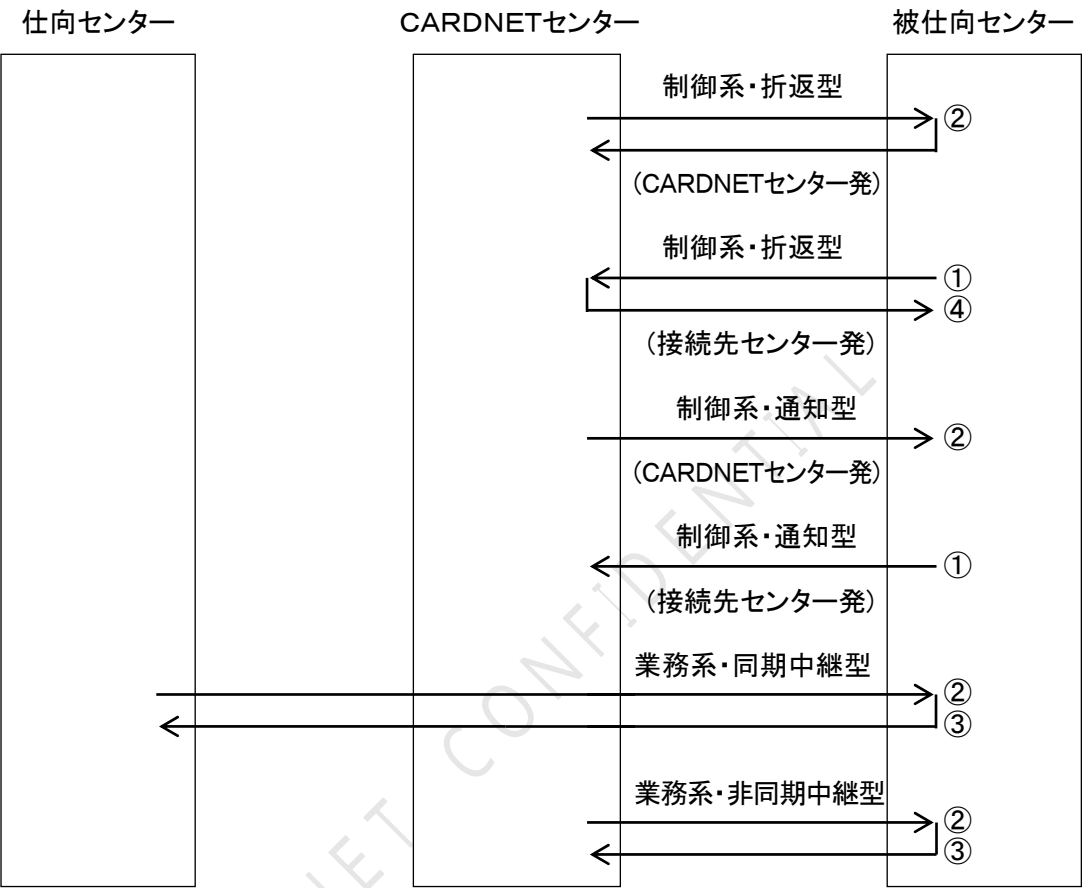


図4-11 オンラインステータス制御（被仕向センター）

表4-6-1 要求送信制御（被仕向センター）

①要求電文送信時

被仕向センターが送信する電文 被仕向センターのステータス		開局 1804	閉局 1804	エコーテスト 1804	障害電文通知 1644	カットオーバー 依頼 1644
開局中	S1	(○)	(○)	—	○	—
開局	S2	(○)	○	(○)	○	○
閉局中	S3	—	—	—	○	—
閉局	S4	○	(○)	—	○	—

凡例：○、(○)：送信可能、—：送信不可
○、—の機能仕様サポートは、接続先にて必須とする。
(○)の機能仕様サポート有無は、接続先にて任意とする。

表 4-6-2 要求受信制御（被仕向センター）

②要求電文受信時

被仕向センターが受信する電文 被仕向センターのステータス		開局 1804	閉局 1804	エコーテスト 1804	キー交換 1804	カットオーバー 1804	オンライン 精査 1520
開局中	S1	○	○	△	△	△	△
開局	S2	○	○	○	○	○	○
閉局中	S3	△	○	△	△	△	△
閉局	S4	○	○	△	△	△	△

被仕向センターが受信する電文 被仕向センターのステータス		障害電文通知 1644	同期中継型 1100/1200	非同期中継型 1120/1121/1220/ 1221/1420/1421
開局中	S1	(○)	△	×
開局	S2	○	○	○
閉局中	S3	(○)	△	×
閉局	S4	(○)	△	×

凡例：○、(○)：正常受信、△：拒否応答、×：電文破棄
 ○、△、×、－の機能仕様サポートは、接続先にて必須とする。
 (○)の機能仕様サポート有無は、接続先にて任意とする。

表 4-6-3 応答送信制御（被仕向センター）

③応答電文送信時

被仕向センターが送信する電文 被仕向センターのステータス		同期中継型 1110/1210	非同期中継型 1130/1230/1430
開局中	S1	－	－
開局	S2	○	○
閉局中	S3	○	○
閉局	S4	－	－

凡例：○：送信可能、－：送信不可

表 4-6-4 応答受信制御（被仕向センター）

④応答電文受信時

被仕向センターが受信する電文 被仕向センターのステータス		開局 1814	閉局 1814	エコーテスト 1814
開局中	S1	○	×	×
開局	S2	○	×	(○)
閉局中	S3	×	○	(○)
閉局	S4	×	×	×

凡例：○：正常受信、×：電文破棄

4. 2 エコーテスト処理

エコーテストは、相手先システムと一定時間内に無通信状態の場合、相手先システムの稼働状況を確認する為に使用される。エコーテストに対して無応答の場合、その相手先は障害状況と判断される。電文フローを図4-12に示す。

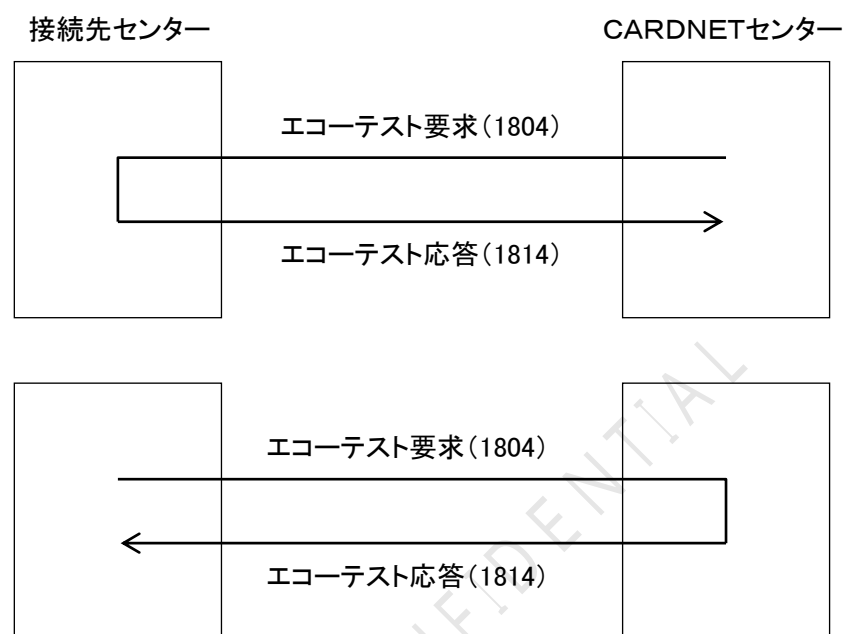


図4-12 エコーテスト電文フロー

<補足説明～エコーテスト送信契機>

- ・CARDNETセンターは、任意のタイミングでエコーテストを送信する場合がある。
- ・接続先センターのエコーテスト送信有無は、各接続先で任意とする。

4. 3 タイマー監視

CN手順における電文監視タイマーとインターバルタイマーの設定基準を以下に定義する。

4. 3. 1 電文監視タイマー

仕向センターおよびCARDNETセンターは、要求電文の送信を契機として、応答電文を受信するまでのタイマー監視を行う。電文タイプ毎の電文監視タイマー値を表4-7に定義する。

表4-7 電文監視タイマー

タイマー名称	内 容	対象MTI	仕向センター 設定値	CARDNET センター設定値
T100	オーソリ応答待ちタイマー	1110	60秒	58秒
T120	オーソリアドバイス応答待ちタイマー	1130	30秒	30秒
T200	売上応答待ちタイマー	1210	60秒	58秒
T220	売上アドバイス応答待ちタイマー	1230	30秒	30秒
T420	障害取消アドバイス応答待ちタイマー	1430	30秒	30秒
T500	オンライン精査応答待ちタイマー	1530/1532	—	30秒
T800	制御応答待ちタイマー (閉局、キー交換、カットオーバー)	1814	45秒	45秒
T801	閉局応答待ちタイマー	1814	70秒	70秒
T802	エコーテスト応答待ちタイマー	1814	90秒	90秒

4. 3. 2 インターバルタイマー

CARDNETセンターは、オンライン精査および閉局の仕掛中処理の為に、タイマー監視を行う。各処理毎のインターバルタイマー値を表4-8に定義する。

表4-8 インターバルタイマー

タイマー名称	内 容		対象MTI	タイマー値
T501	オンライン精査 インターバルタイマー	CARDNETセンターで設定。 カットオーバー応答受信(リトライ アウト)からオンライン精査要求 送信の間。	1520/1522	5分
T803	閉局 インターバルタイマー	CARDNETセンターで設定。 閉局要求受信から閉局応答 送信の間。	1804	65秒

第5章 業務処理仕様

本章では、オーソリ／売上業務（MTI 11XX/12XX）および障害取消業務（MTI 14XX）について、業務処理方式およびオンライン処理方式を定義する。

5. 1 オーソリ／売上業務

(1) オーソリ業務（MTI 11XX）

オーソリ業務は、売上処理を伴わないカード取引の判定要求および結果通知を行う際に使用し、オーソリ電文（MTI 1100/1110）およびオーソリアドバイス電文（MTI 1120/1130）が使用される。
売上データのキャプチャリングは、仕向センターにて行う。処理フローを図5－1に示す。

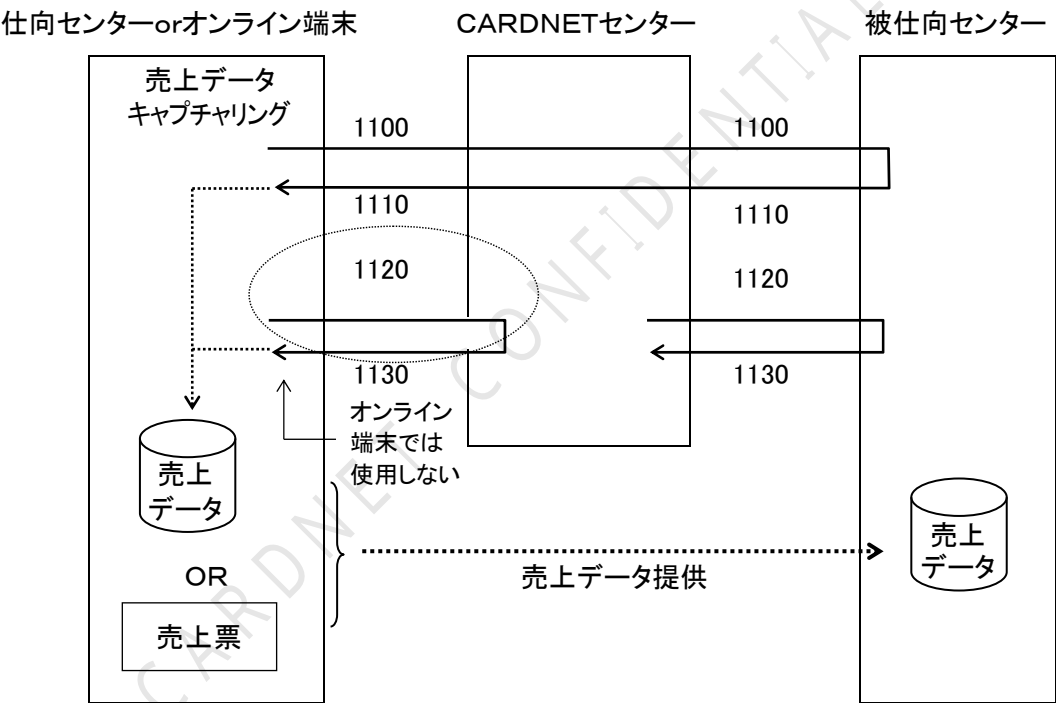
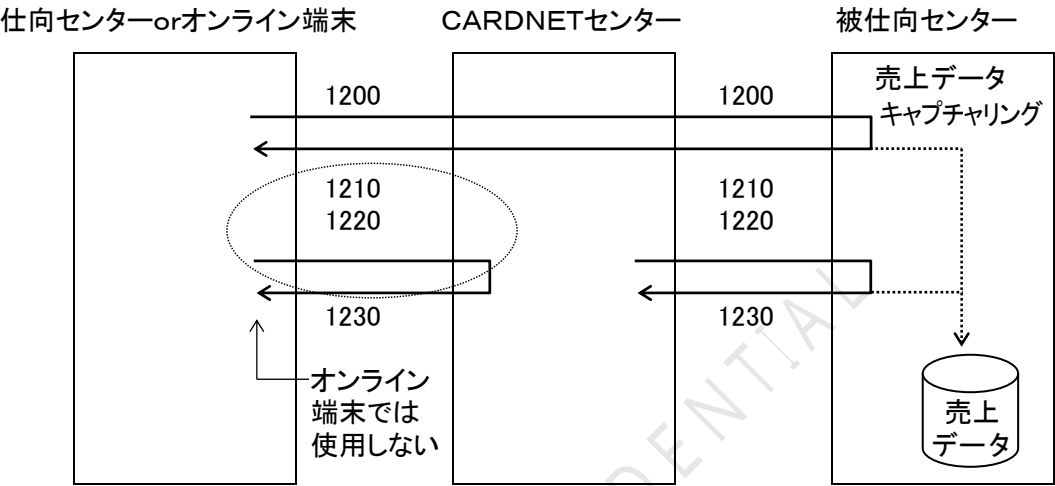


図5－1 オーソリ業務処理フロー

(2) 売上業務 (MTI 12XX)

売上業務は、売上処理を伴うカード取引の判定要求および結果通知を行う際に使用し、売上電文 (MTI 1200/1210) および売上アドバイス電文 (MTI 1220/1230) が使用される。
売上データのキャプチャリングは、被仕向センターにて行う。処理フローを図5-2に示す。



<補足説明～CAFIS経由接続>

売上業務において、被仕向センターがCAFIS経由接続の場合は、CARDNETセンターにて売上データのキャプチャリングを行う。

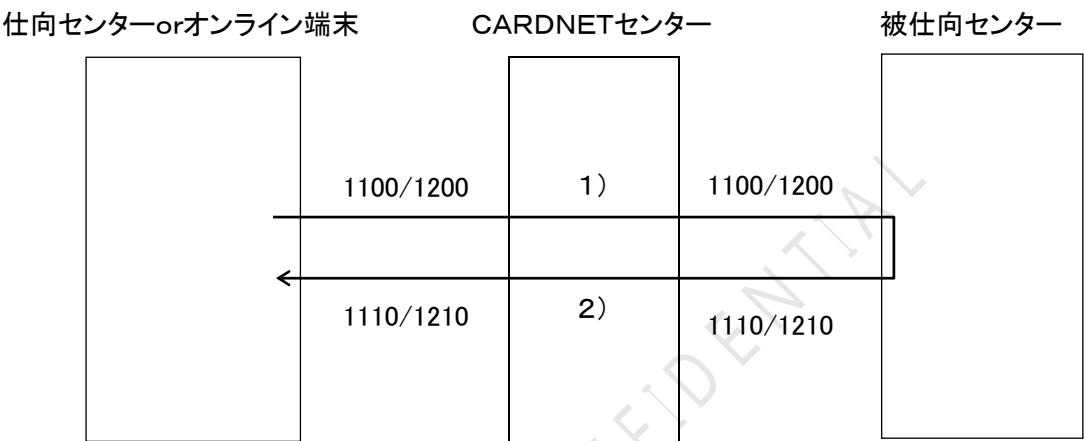
図5-2 売上業務処理フロー

5. 1. 1 オーソリ／売上電文

オーソリ電文（MTI 1100/1110）および売上電文（MTI 1200/1210）は、カード会社（カード会社の代行会社含む）に対してリアルタイムにてカード取引の判定を要求する場合に使用し、同期中継型処理方式で処理される。
オーソリ／売上電文の処理フロー例を以下に示す。

（1）電文中継時

オーソリ／売上電文の電文中継時処理フローを図5－3に示す。

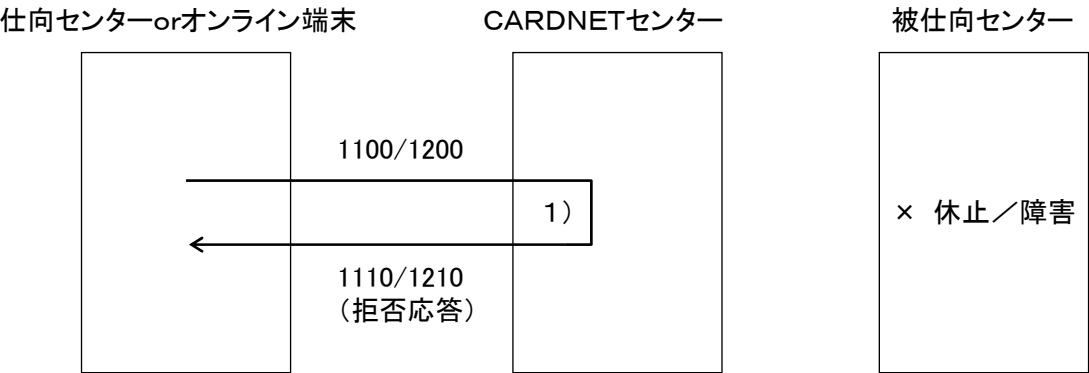


- 1) CARDNETセンターは、仕向センターまたはオンライン端末からの要求電文（MTI 1100/1200）を被仕向センターへ中継する。
- 2) CARDNETセンターは、被仕向センターからの応答電文（MTI 1110/1210）を仕向センターまたはオンライン端末へ中継する。

図5－3 電文中継時

(2) 休止／障害時

オーソリ／売上電文における休止／障害時（被仕向センター休止／障害）の処理フローを図5－4に示す。



1) CARDNETセンターは、仕向センターまたはオンライン端末からの要求電文（MTI 1100/1200）を被仕向センターへ中継不可の場合、拒否応答電文（MTI 1110/1210）を折り返す。

<補足説明～休止／障害代行>

上記のケースで被仕向センターに休止・障害代行契約がある場合は、CARDNETセンターが、オーソリ代行処理を行う。また、送信先切替の契約がある場合は、送信先切替処理を行う。
CARDNETセンターの代行処理機能の詳細については、「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

図5－4 休止／障害時(被仕向センター休止／障害)

5. 1. 2 オーソリアドバイス／売上アドバイス電文

オーソリアドバイス電文（MTI 1120/1130）および売上アドバイス電文（MTI 1220/1230）は、カード会社（カード会社の代行会社含む）に対して、カード取引の代行判定結果を事後に通知する場合に使用し、非同期中継型処理方式で処理される。

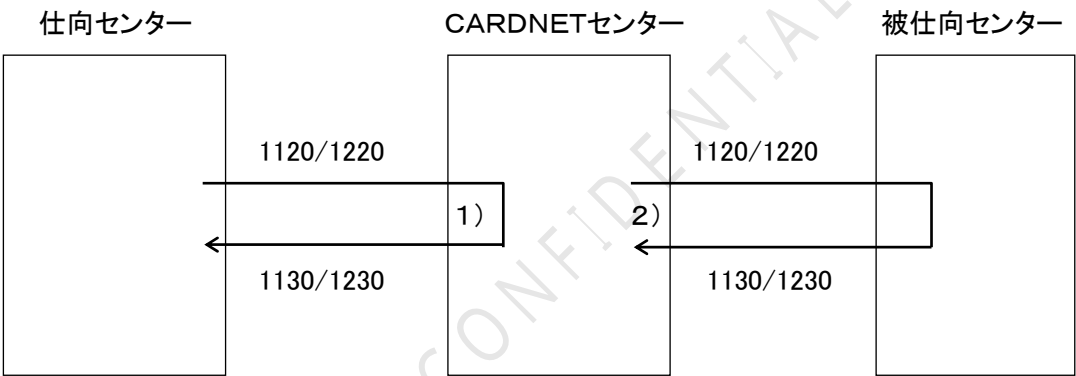
オーソリアドバイス／売上アドバイス電文（MTI 1120/1220）に対して拒否応答を行なうことはできない。

なお、オンライン端末は、オーソリアドバイス／売上アドバイス電文（MTI 1120/1220）を使用しない。

オーソリアドバイス／売上アドバイス電文の処理フロー例を以下に示す。

（1）電文中継時

オーソリアドバイス／売上アドバイス電文の電文中継時処理フローを図5－5に示す。



- 1) CARDNETセンターは、仕向センターからのオーソリアドバイス／売上アドバイス要求電文（MTI 1120/1220）に対して応答電文（MTI 1130/1230）を折り返す。
- 2) CARDNETセンターは、オーソリアドバイス／売上アドバイス要求電文（MTI 1120/1220）を被仕向センターへ中継する。

<補足説明～オーソリ代行処理分のオンライン端末取引の中継処理>

CARDNETセンターが、オンライン端末取引のオーソリ代行処理を行った場合、被仕向センターへの結果通知には、オーソリアドバイス／売上アドバイス電文を使用する。

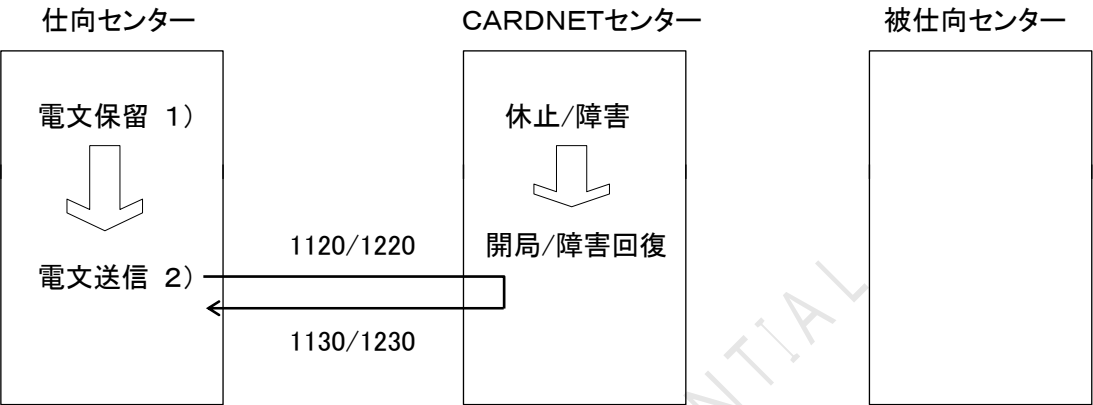
CARDNETセンターの代行処理機能の詳細については、「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

図5－5 電文中継時

(2) 休止／障害時

オーソリアドバイス／売上アドバイス電文における休止／障害時（CARDNETセンターまたは被仕向センターの休止／障害）の処理フローを図5－6～図5－7に示す。

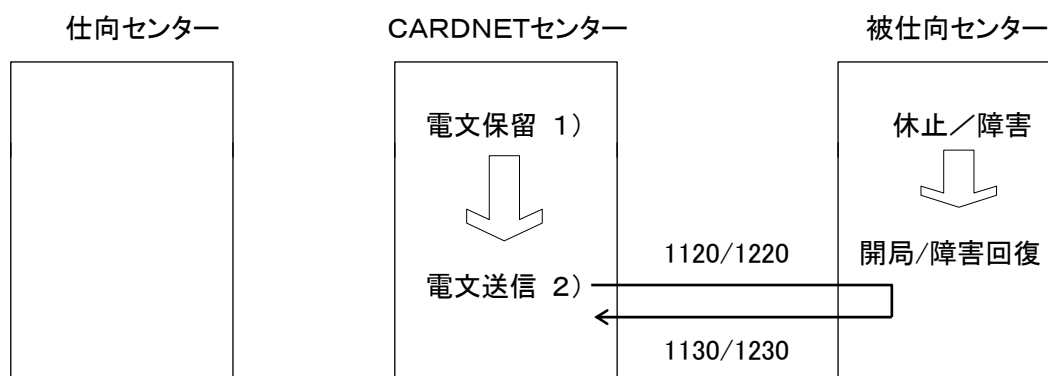
①CARDNETセンター休止／障害



- 1) 仕向センターは、CARDNETセンターが休止中、または障害中の場合、アドバイス電文を保留する。
- 2) CARDNETセンターが開局、または障害回復後、アドバイス電文を送信する。

図5－6 休止／障害時 (CARDNETセンター休止／障害)

②被仕向センター休止／障害



1) CARDNETセンターは、被仕向センターが休止中、または障害中の場合、アドバイス電文を保留する。

2) 被仕向センターが開局、または障害回復後、アドバイス電文を送信する。

<補足説明～アドバイス電文の保留期間>

被仕向センターへのアドバイス電文の送信処理における電文保留期間は、CARDNETセンターが仕向センターからのアドバイス電文を処理した日を含む3日間とする。

電文保留期間を過ぎたアドバイス電文は、別途バッチデータにて被仕向センターへ通知される。

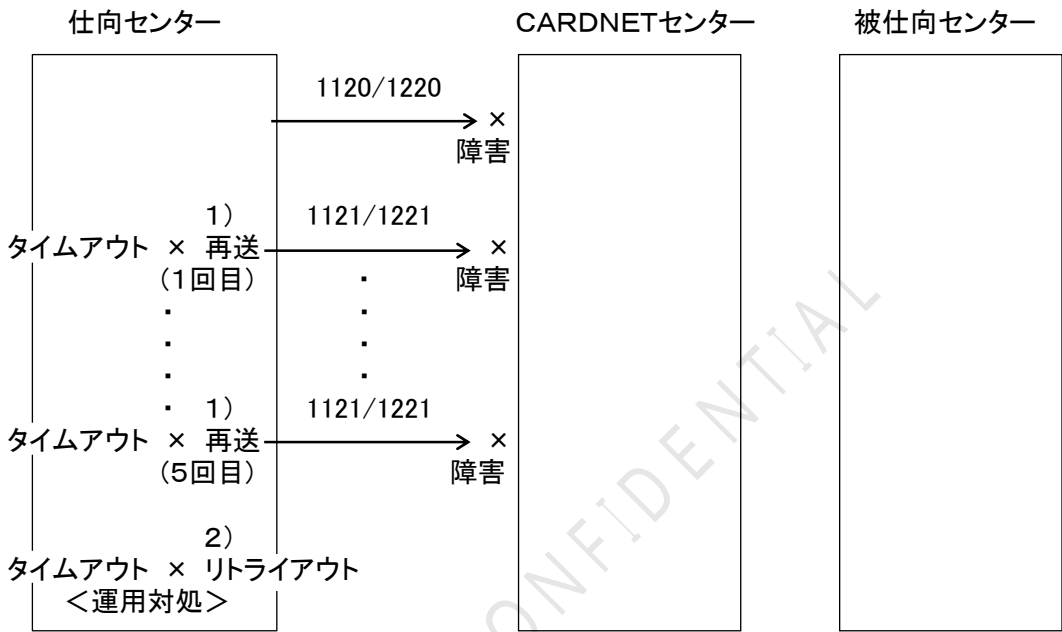
バッチデータによるアドバイス保留電文の提供方法の詳細については、「CARDNET接続条件書（バッチ機能編）」を参照。

図5-7 休止／障害時(被仕向センター休止／障害)

(3) 応答電文タイムアウト時

オーソリアドバイス／売上アドバイス電文の応答電文タイムアウト時（仕向センター側またはCARDNETセンター側の応答電文タイムアウト）の処理フローを図5－8～図5－9に示す。

①仕向センター側応答電文タイムアウト



- 1) アドバイス応答電文がタイムアウトした場合、要求電文（MTI 1121/1221）を再送する。
- 2) アドバイス再送電文がリトライアウト（再送5回）した場合は、送信を停止し運用対処を行う。

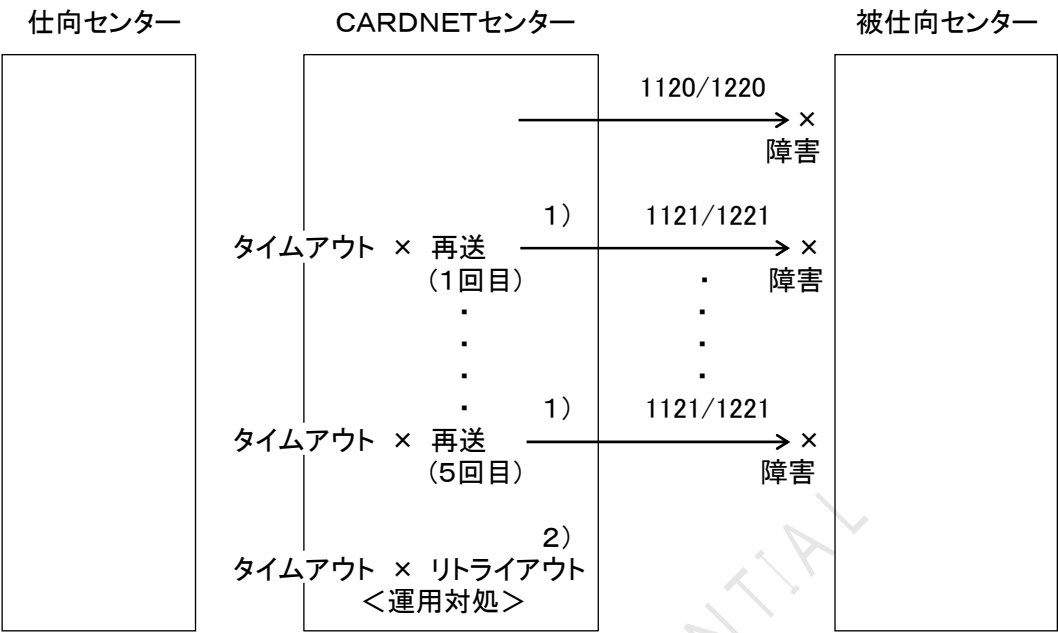
<補足説明～アドバイス再送電文>

アドバイス再送電文は、基本的に元電文と同一内容であるが、以下の項目は再度設定する。

- ①共通制御ヘッダーの送信日時
- ②業務共通ヘッダーの電文種別コード、電文認証値、チェックディジット
- ③BODY部のMTI

図5－8 応答電文タイムアウト時(仕向センター側応答電文タイムアウト)

②CARDNETセンター側応答電文タイムアウト



- 1) アドバイス応答電文がタイムアウトした場合、要求電文（MTI 1121/1221）を再送する。
- 2) アドバイス再送電文がリトライアウト（再送5回）した場合は、送信を停止し運用対処を行う。

図5－9 応答電文タイムアウト時（CARDNETセンター側応答電文タイムアウト）

5. 2 障害取消業務

障害取消業務は、オーソリ／売上電文（MTI 1100/1200）および、オーソリアドバイス／売上アドバイス電文（MTI 1120/1220）のシステム的な取消を行う際に使用し、障害取消アドバイス電文（MTI 1420）が使用される。

なお、オンライン端末では、障害取消アドバイス電文（MTI 1420）を使用せず、代わりに自動取消電文を使用する。CARDNETセンターでは、オンライン端末からの自動取消電文を障害取消アドバイス電文（MTI 1420）に変換し、被仕向センターへ送信する。

5. 2. 1 CARDNETセンターにおける障害取消アドバイス電文の処理方式

CARDNETセンターは、障害取消アドバイス電文を処理する場合、過去の取引履歴を参照し、取消対象元取引の処理結果に応じた対処を行う。

CARDNETセンターにおける取引履歴保有期間および障害取消アドバイス電文に対する対処について、以下に示す。

（１）CARDNETセンターにおける取引履歴保有期間

CARDNETセンターにおける取引履歴保有期間について、図5-10に示す。

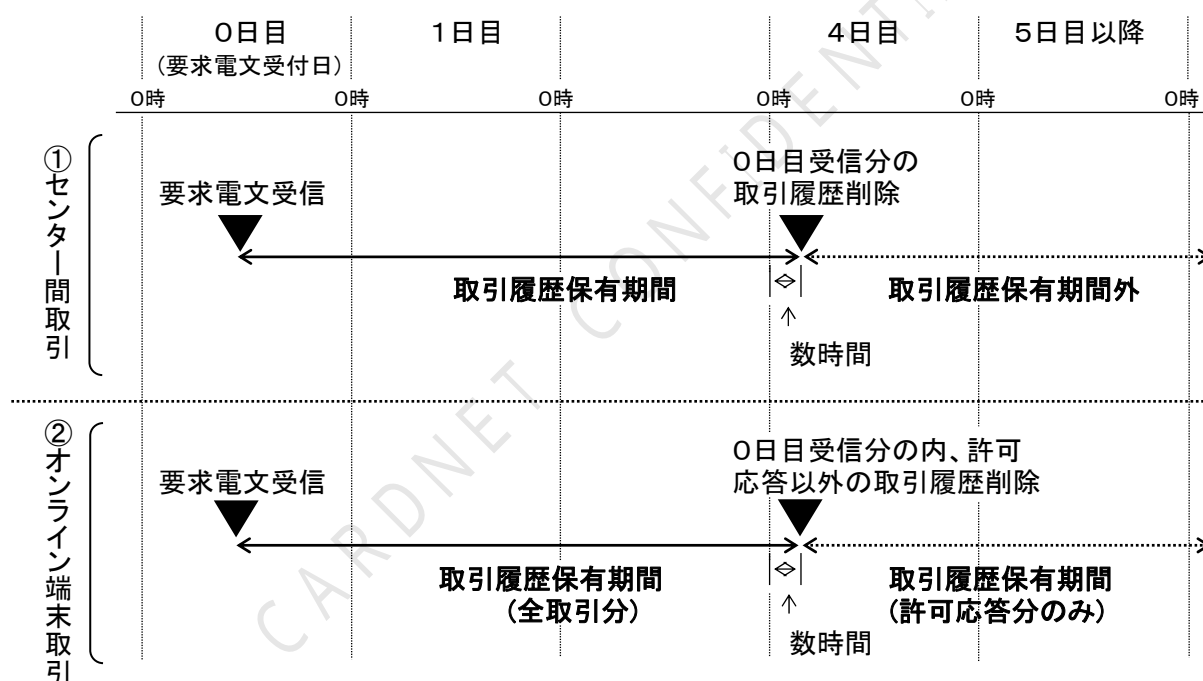


図5-10 CARDNETセンターにおける取引履歴保有期間

① センター間取引

センター間取引におけるCARDNETセンターの取引履歴保有期間は、CARDNETセンターでの要求電文受付日を基準として当日分を含む3日間とする。

3日間を過ぎた取引履歴は、4日目の未明のバッチ処理にて削除する。

② オンライン端末取引

オンライン端末取引におけるCARDNETセンターの取引履歴は、各端末毎に直前取引を保有する。ただし、CARDNETセンターでの要求電文受付日を基準として当日を含む3日間を経過した取引履歴は、被仕向センターからの応答が「許可」の取引履歴のみ保有する。

被仕向センターからの応答が「許可以外」の取引履歴は、4日目の未明のバッチ処理にて削除する。

(2) CARDNETセンターにおける障害取消アドバイス電文に対する対処

①取消対象元取引がCARDNETセンターの取引履歴保有期間内の場合

CARDNETセンターは、過去の取引履歴を参照した上で、以下のとおり仕向センターへ応答する。

- ・取消対象元取引にて金額カウンターの計上をした場合：
「アクションコード 400」を応答電文中に設定
- ・取消対象元取引にて金額カウンターの計上をしなかった場合：
「アクションコード 480」を応答電文中に設定

注1：金額カウンターの計上対象については、6. 3. 5「カウンター項目集計方法」を参照。

注2：「アクションコード 400および480」は、障害取消の結果を示すために障害取消アドバイス電文にて使用するコードであり、以下のとおり設定する。

- ・アクションコード 400：取消完了（元取引が金額カウンターの計上有り）
 - ・アクションコード 480：取消完了（元取引が金額カウンターの計上無し）
- アクションコードの詳細は、8. 3. 2「BIT39：アクションコード」を参照。

②元取引が特定出来ない場合

取消対象元取引をCARDNETセンターが受信していない場合、または取消対象元取引がCARDNETセンターの取引履歴保有期間外である場合には、CARDNETセンターは以下のとおり仕向センターへ応答または対処を行う。

- ・オーソリ／売上電文（同期中継型）に対する障害取消：
拒否応答
- ・オーソリアドバイス／売上アドバイス電文（非同期中継方）に対する障害取消：
電文破棄

5. 2. 2 仕向センターにおける障害取消アドバイス電文の処理方式

(1) 仕向センターにおける障害取消アドバイス電文送信可能期間

センター間取引における仕向センターからCARDNETセンターへの障害取消アドバイス電文の送信可能期間は、CARDNETセンターでの要求電文受付日を基準として当日分を含む3日間とする。

(2) 仕向センターにおける障害取消アドバイス電文に対する対処

仕向センターは、CARDNETセンターから障害取消アドバイス電文に対する拒否応答を受信した場合、およびリトライアウトした場合には、別途、運用対処を行う。

5. 2. 3 被仕向センターにおける障害取消アドバイス電文の処理方式

被仕向センターは、CARDNETセンターから障害取消アドバイス電文（MTI 1420）を受信した場合には、被仕向センターにて保有する過去の取引履歴を参照し、取消対象元取引の処理結果に応じた対処を行う。

被仕向センターにおける取引履歴保有期間および障害取消アドバイス電文に対する対処について、以下に示す。

（１）被仕向センターにおける取引履歴保有期間

被仕向センターは、障害取消アドバイス電文（MTI 1420）を受信した場合には、被仕向センターにて保有する過去の取引履歴を参照し、取消対象元取引の金額カウンター計上結果に応じたアクションコードを応答電文中に設定する必要がある。したがって、被仕向センターは、CARDNETセンターにおける取引履歴保有期間を超える期間（最低４日間）の取引履歴を保有する必要がある。

（２）CARDNETセンターから被仕向センターへの障害取消アドバイス電文送信期間

①センター間取引

センター間取引における障害取消アドバイス電文は、CARDNETセンターでの取引履歴保有期間内の電文のみ被仕向センターへ送信する。

②オンライン端末取引

オンライン端末取引における障害取消アドバイス電文は、取消対象元取引の要求電文受付日に関わらず被仕向センターへ送信する。

ただし、取消対象元取引が要求電文受付日から４日目以降（CARDNETセンターでの許可応答分のみの取引履歴保有期間内）の場合には、取消対象元取引に対する被仕向センターからの応答が「許可」の取引についてのみ、被仕向センターへ障害取消アドバイス電文を送信する。

（３）被仕向センターにおける障害取消アドバイス電文受信時の対処

①取消対象元取引が被仕向センターの取引履歴保有期間内の場合

被仕向センターは、過去の取引履歴を参照した上で、以下のとおりCARDNETセンターへ応答する。

- ・ 取消対象元取引にて金額カウンターの計上をした場合：
「アクションコード 400」を応答電文中に設定
- ・ 取消対象元取引にて金額カウンターの計上をしなかった場合：
「アクションコード 480」を応答電文中に設定

②元取引が特定出来ない場合

取消対象元取引を被仕向センターが受信していない場合、または取消対象元取引が被仕向センターの取引履歴保有期間外である場合には、被仕向センターは以下のとおりCARDNETセンターへ応答、または対処を行う。

<センター間取引>

- ・ オーソリ／売上電文（同期中継方）に対する障害取消：
「アクションコード 480」を応答電文中に設定
- ・ オーソリアドバイス／売上アドバイス電文（非同期中継方）に対する障害取消：
電文破棄

<オンライン端末取引>

- ・ オーソリ／売上電文（同期中継方）に対する障害取消
（被仕向センターの取引履歴保有期間内）：
「アクションコード 480」を応答電文中に設定
- ・ オーソリ電文（同期中継方）に対する障害取消
（被仕向センターの取引履歴保有期間外）：
「アクションコード 480」を応答電文中に設定
- ・ 売上電文（同期中継方）に対する障害取消
（被仕向センターの取引履歴保有期間外）：
「アクションコード 400」を応答電文中に設定

注1：金額カウンターの計上対象については、6. 3. 5「カウンター項目集計方法」を参照。

注2：「アクションコード 400および480」は、障害取消の結果を示すために障害取消アドバイス電文にて使用するコードであり、以下のとおり設定する。

- ・ アクションコード 400：取消完了（元取引が金額カウンターの計上有り）
 - ・ アクションコード 480：取消完了（元取引が金額カウンターの計上無し）
- アクションコードの詳細は、8. 3. 21「BIT39：アクションコード」を参照。

注3：CARDNETセンターが、オンライン端末取引のオーソリ代行処理を行った場合、被仕向センターへの結果通知には、オーソリアドバイス／売上アドバイス電文を使用する。

この時、元取引が特定出来ない場合には、被仕向センターは、以下のとおりCARDNETセンターへ応答または対処を行う。

- ・ オーソリアドバイス／売上アドバイス電文（非同期中継方）に対する障害取消
（被仕向センターの取引履歴保有期間内）：
電文破棄
- ・ オーソリアドバイス電文（非同期中継方）に対する障害取消
（被仕向センターの取引履歴保有期間外）：
「アクションコード 480」を応答電文中に設定
- ・ 売上アドバイス電文（非同期中継型）に対する障害取消
（被仕向センターの取引履歴保有期間外）：
「アクションコード 400」を応答電文中に設定

CARDNETセンターの代行処理機能の詳細については、「CARDNET接続条件書(代行機能編)」を参照。

CARDNET CONFIDENTIAL

5. 2. 4 元取引特定条件

CARDNETでは、障害取消電文における元取引（オリジナル）特定の際は、下記の2つの項目を組み合わせで判断する。

- ①オリジナルデータエレメント（BIT56）
- ②差出センターID（共通制御ヘッダー）の3桁目～7桁目までの5バイト

上記のうち、①については下記の4つの項目で構成される。

- ・元取引のMTI
- ・ “ システムトレースオーディットナンバー（BIT11）
- ・ “ 現地取引日時（BIT12）
- ・ “ 加盟店会社コード（BIT32）

元取引（オリジナル）特定のイメージを以下に示す。
図5－11記載の障害取消電文と、元取引（オリジナル）の各項目を引き当てて、特定を行う。

		共通制御 ヘッダー		BODY部			
障害取消電文	...	差出 センターID	...	オリジナルデータエレメント(BIT56) ※取消対象元取引の各項目と同一の値を設定			...
				MTI	システムトレース オーディット ナンバー (BIT11)	現地取引 日時 (BIT12)	加盟店 会社コード (BIT32)

元取引 (オリジナル)	...	差出 センターID	...	MTI	...	システムトレース オーディット ナンバー (BIT11)	現地取引 日時 (BIT12)	...	加盟店 会社コード (BIT32)	...
----------------	-----	--------------	-----	-----	-----	---------------------------------------	-----------------------	-----	-------------------------	-----

図5－11 障害取消電文による取消対象元取引の特定

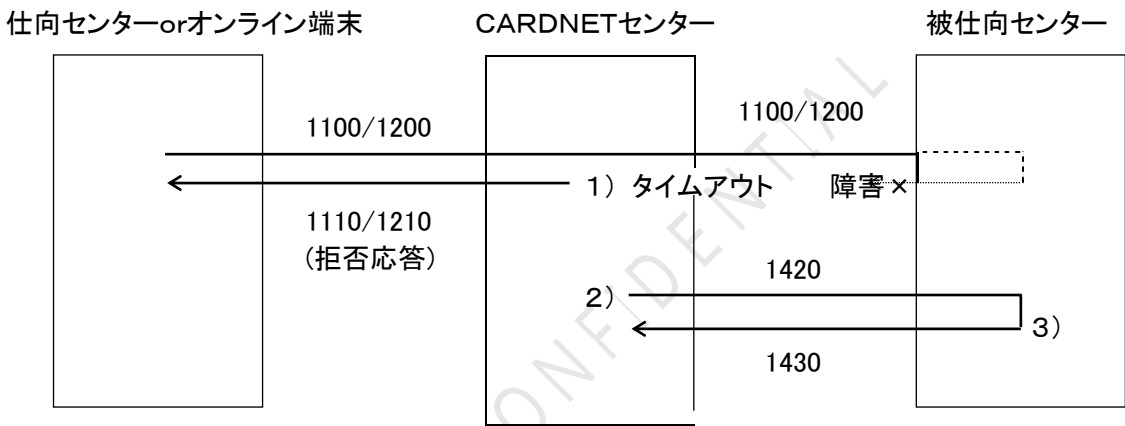
5. 2. 5 障害取消アドバイス電文／自動取消電文

障害取消アドバイス電文（MTI 1420）は、カード会社（カード会社の代行会社を含む）に対して、送信済みの要求電文をシステム的に取り消す場合に使用し、非同期中継処理方式で処理される。障害取消アドバイス電文の処理フロー例を以下に示す。

（1）オーソリ／売上電文に対する電文中継時

オーソリ／売上電文に対する障害取消アドバイス電文（MTI 1420/1430）、および自動取消電文の電文中継時処理フローを図5－12～図5－13に示す。

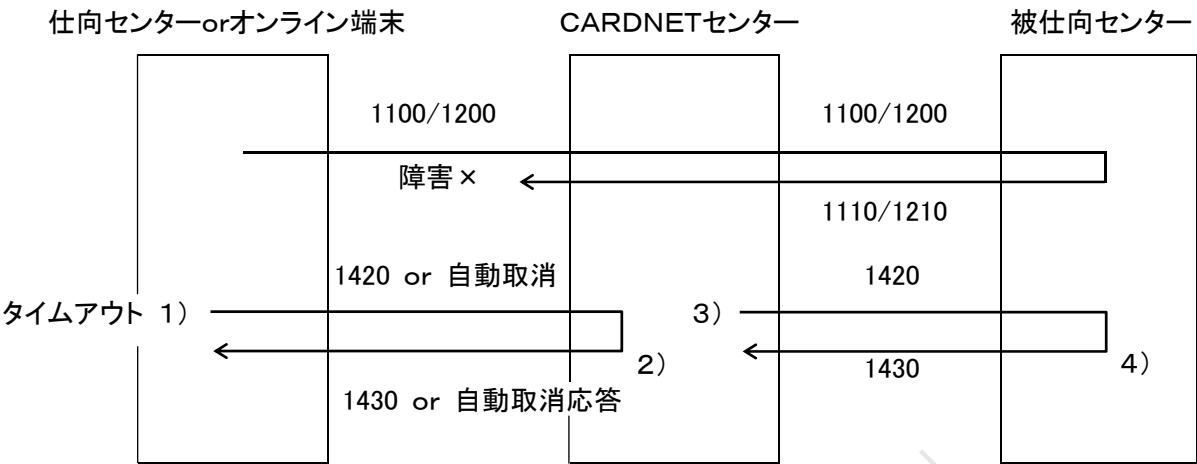
①元取引の要求電文に対する応答電文タイムアウト時（CARDNETセンター検知）



- 1) CARDNETセンターは、被仕向センターからの応答電文（MTI 1110/1210）がタイムアウトした場合、仕向センター、またはオンライン端末へ拒否応答電文（MTI 1110/1210）を送信する。
- 2) CARDNETセンターは、被仕向センターへ障害取消アドバイス電文（MTI 1420）を送信し、元取引の取消を行う。
- 3) 被仕向センターは、取消対象元取引の金額カウンター計上結果に応じた応答を送信する。この場合、拒否応答をすることはできない。

図5－12 元取引の要求電文に対する応答電文タイムアウト時（CARDNETセンター検知）

②元取引の要求電文に対する応答電文タイムアウト時（仕向センター、またはオンライン
端末検知）

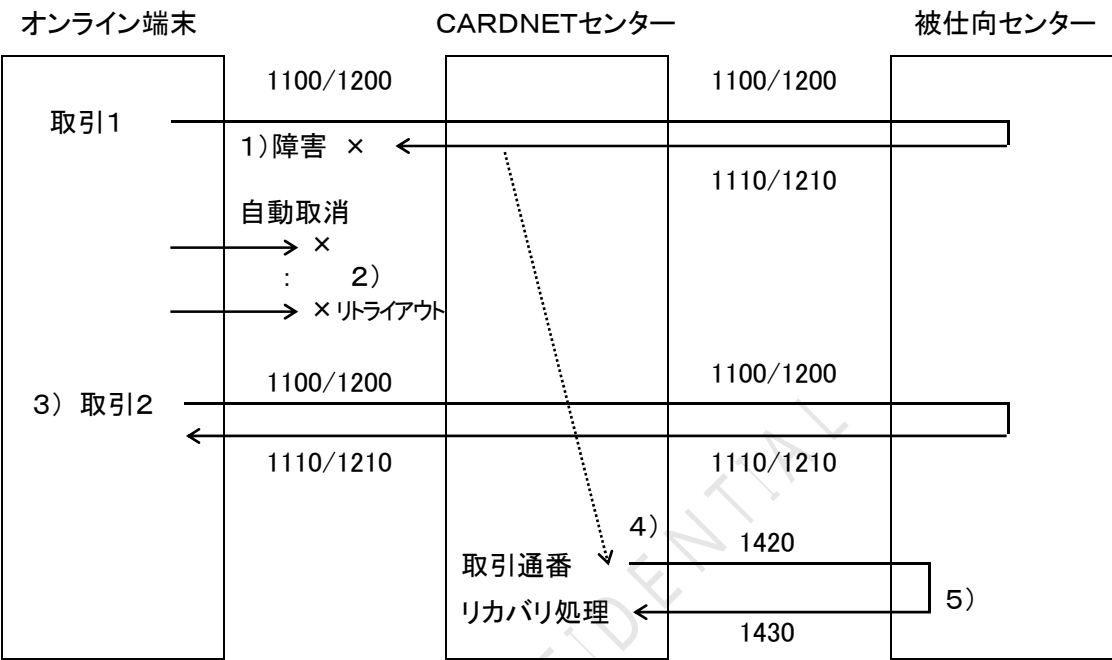


- 1) 仕向センターは、CARDNETセンターからの応答電文（MTI 1110/1210）がタイムアウトした場合、CARDNETセンターへ障害取消アドバイス電文(MTI 1420)を送信し、元取引の取消を行う。
オンライン端末の場合は、自動取消電文を送信する。
- 2) CARDNETセンターは、仕向センターまたはオンライン端末からの障害取消アドバイス要求電文(MTI 1420)または自動取消電文に対して応答電文(MTI 1430または自動取消応答)を折り返す。
- 3) CARDNETセンターは、障害取消アドバイス要求電文（MTI 1420）を被仕向センターへ中継し、元取引の取消を行う。
- 4) 被仕向センターは、取消対象元取引の金額カウンター計上結果に応じた応答を送信する。この場合、拒否応答をすることはできない。

図 5－13 元取引の要求電文に対する応答電文タイムアウト時
（仕向センター、またはオンライン端末検知）

③取引通番管理を契機とした障害取消処理時（オンライン端末のみ）

オンライン端末において自動取消電文がタイムアウトした場合に行う、取引通番リカバリによる障害取消アドバイス電文の処理フローを図5－14に示す。



- 1) オンライン端末からのオーソリ／売上要求電文（取引1）に対して、CARDNETセンターでは応答電文を送信し取引が成立したが、オンライン端末側では応答電文タイムアウトが発生した場合、オンライン端末側での取引は不成立となる。
- 2) オンライン端末は、不成立となった要求電文に対する自動取消電文を送信するが、CARDNETセンターからの応答が無くリトライアウトが発生した場合、自動取消電文の送信を中止する。
- 3) オンライン端末は、次取引（取引2）の要求電文を送信する際、直前取引（取引1）が不成立であったため取引通番をカウントアップせずに、オーソリ／売上要求電文（取引2）をCARDNETセンターへ送信する。
- 4) CARDNETセンターは、オンライン端末からオーソリ／売上要求電文（取引2）を受信した場合に、電文中の取引通番をチェックし、直前取引の整合性をチェックする。
CARDNETセンターは、取引通番チェックにより、直前取引が不成立であることを検知した場合、直前取引（取引1）に対する障害取消アドバイス要求電文(MTI 1420)を被仕向センターへ中継する。
なお、取引通番はオンライン端末単位にて管理するため、取引1と取引2の電文送信先となる被仕向センターは、同一とは限らない。

5) 被仕向センターは、取消対象元取引の金額カウンター計上結果に応じた応答を送信する。この場合、拒否応答をすることはできない。ただし、取消対象元取引が特定出来ない場合には、以下のとおり応答する。

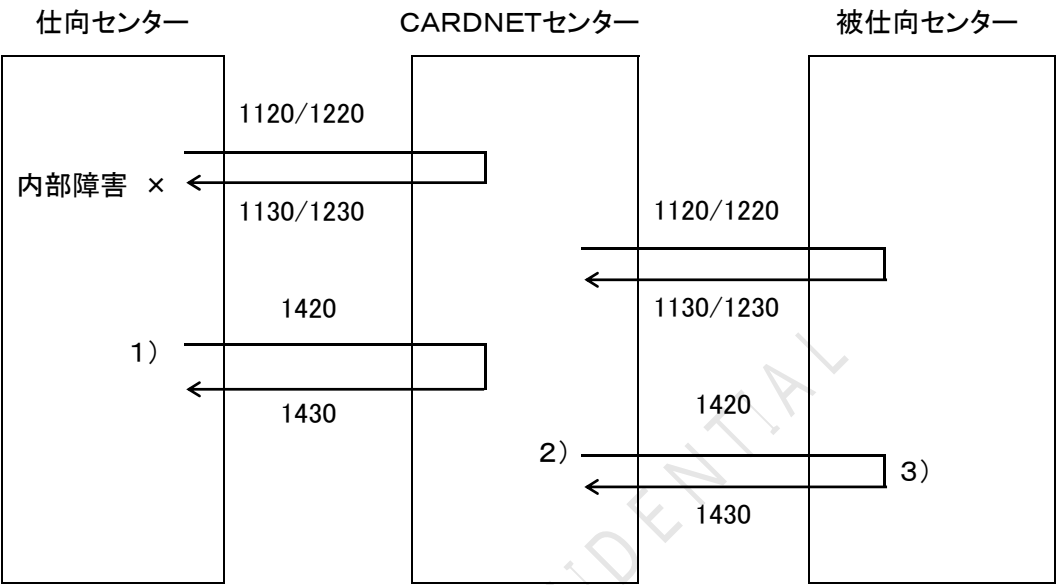
- ・ オーソリ／売上電文（同期中継方）に対する障害取消
（被仕向センターの取引履歴保有期間内）：
「アクションコード 480」を応答電文中に設定
- ・ オーソリ電文（同期中継方）に対する障害取消
（被仕向センターの取引履歴保有期間外）：
「アクションコード 480」を応答電文中に設定
- ・ 売上電文（同期中継方）に対する障害取消
（被仕向センターの取引履歴保有期間外）：
「アクションコード 400」を応答電文中に設定

図5-14 取引通番管理を契機とした障害取消処理時（オンライン端末のみ）

(2) オーソリアドバイス／売上アドバイス電文に対する電文中継時

オーソリアドバイス／売上アドバイス電文に対する障害取消アドバイス電文(MTI 1420/1430)の電文中継時処理フローを図5-16に示す。

①仕向センター内部障害

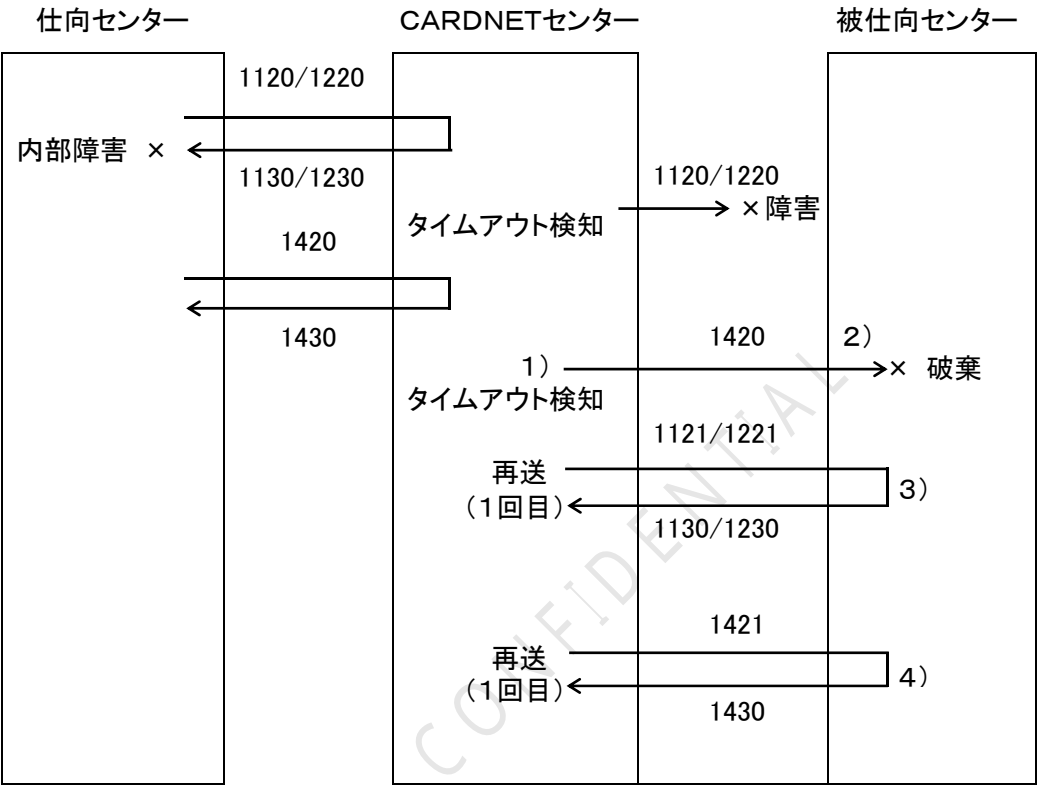


- 1) 仕向センターは、アドバイス応答電文の正常受信後、仕向センター内部障害により元取引をシステム的に取り消す必要が発生した場合、障害取消アドバイス電文(MTI 1420)を送信する。
- 2) CARDNETセンターは、障害取消アドバイス電文(MTI 1420)を被仕向センターへ中継し、元取引の取消を行う。
- 3) 被仕向センターは、取消対象元取引の応答結果に応じた応答を送信する。この場合、拒否応答をすることはできない。

図5-15 仕向センター内部障害

＜補足説明～取消対象元取引が特定出来ない場合＞

元取引のリトライなどが発生し、障害取消アドバイス電文のほうを先に受信したため、元取引が特定出来ない場合には、障害取消アドバイス電文を一旦破棄し、元取引の受信を待ってから処理する。



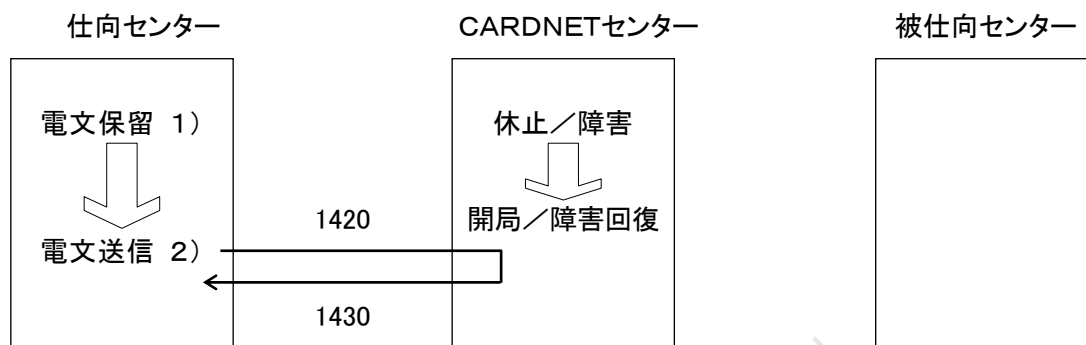
- 1) CARDNETセンターは、被仕向センターへアドバイス要求電文（MTI 1120/1220）を中継後、仕向センターより障害取消アドバイス電文（MTI 1420）を受信したため、被仕向センターへ障害取消アドバイス電文を中継する。
- 2) 被仕向センターは、障害取消アドバイス電文を受信したが、取消対象元取引を特定できないため、電文を破棄する。CARDNETセンターはタイムアウトを検知する。
- 3) 被仕向センターは、アドバイス要求再送電文（MTI 1121/1221）に対して応答電文（MTI 1130/1230）を折り返す。
- 4) 被仕向センターは、障害取消アドバイス再送電文（MTI 1421）に対して応答電文（MTI 1430）を折り返す。

図5－16 仕向センター内部障害時の電文中継時処理フロー

(3) 休止／障害時

障害取消アドバイス電文の休止／障害時（CARDNETセンター、または被仕向センター休止／障害）の処理フローを図5-17～図5-18に示す。

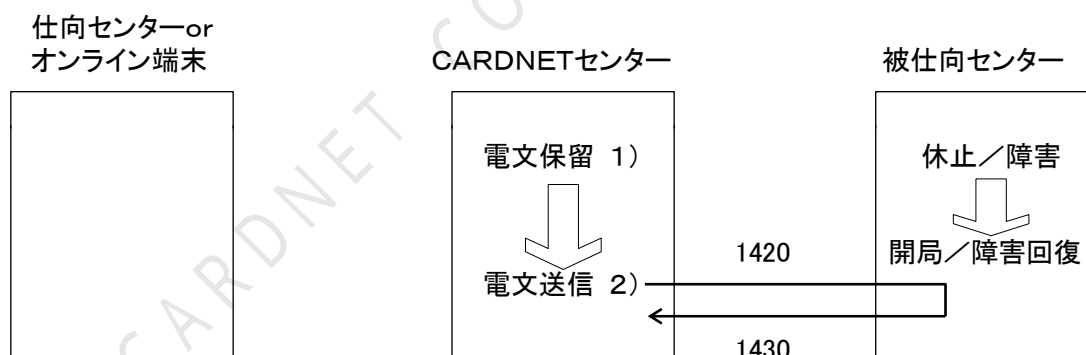
①CARDNETセンター休止／障害



- 1) 仕向センターは、CARDNETセンターが休止中、または障害中の場合、アドバイス電文を保留する。
- 2) CARDNETセンターが開局、または障害回復後、アドバイス電文を送信する。

図5-17 休止／障害時（CARDNETセンター休止／障害）

②仕向センター休止／障害



- 1) CARDNETセンターは、被仕向センターが休止中、または障害中の場合、アドバイス電文を保留する。
- 2) 被仕向センターが開局、または障害回復後、アドバイス電文を送信する。

＜補足説明～アドバイス保留期間＞

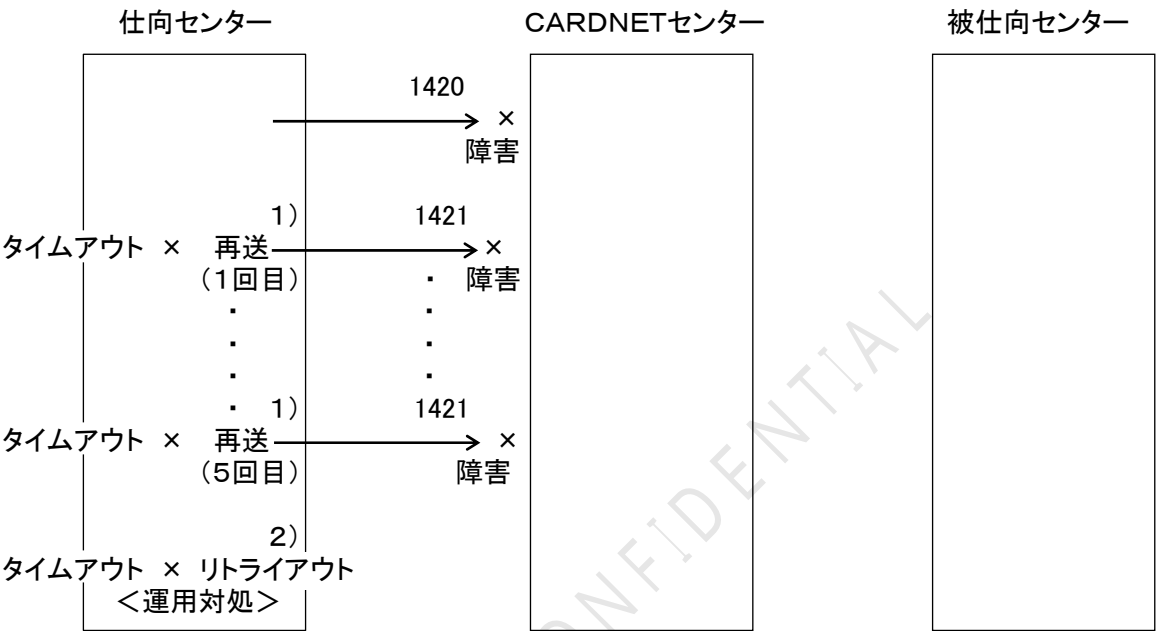
被仕向センターへのアドバイス電文の送信処理における電文保留期間は、CARDNETセンターが仕向センターからのアドバイス電文を処理した日を含む3日間とする。電文保留期間を過ぎたアドバイス電文は、別途バッチデータにて被仕向センターへ通知される。バッチデータによるアドバイス保留電文の提供方法の詳細については、「CARDNET接続条件書(バッチ機能編)」を参照。

図5-18 休止／障害時（被仕向センター休止／障害）

(4) 応答電文タイムアウト時

障害取消アドバイス電文の応答電文タイムアウト時（仕向センター、またはCARDNETセンター側応答電文タイムアウト時）の処理フローを図5-19～図5-20に示す。

①仕向センター側応答電文タイムアウト



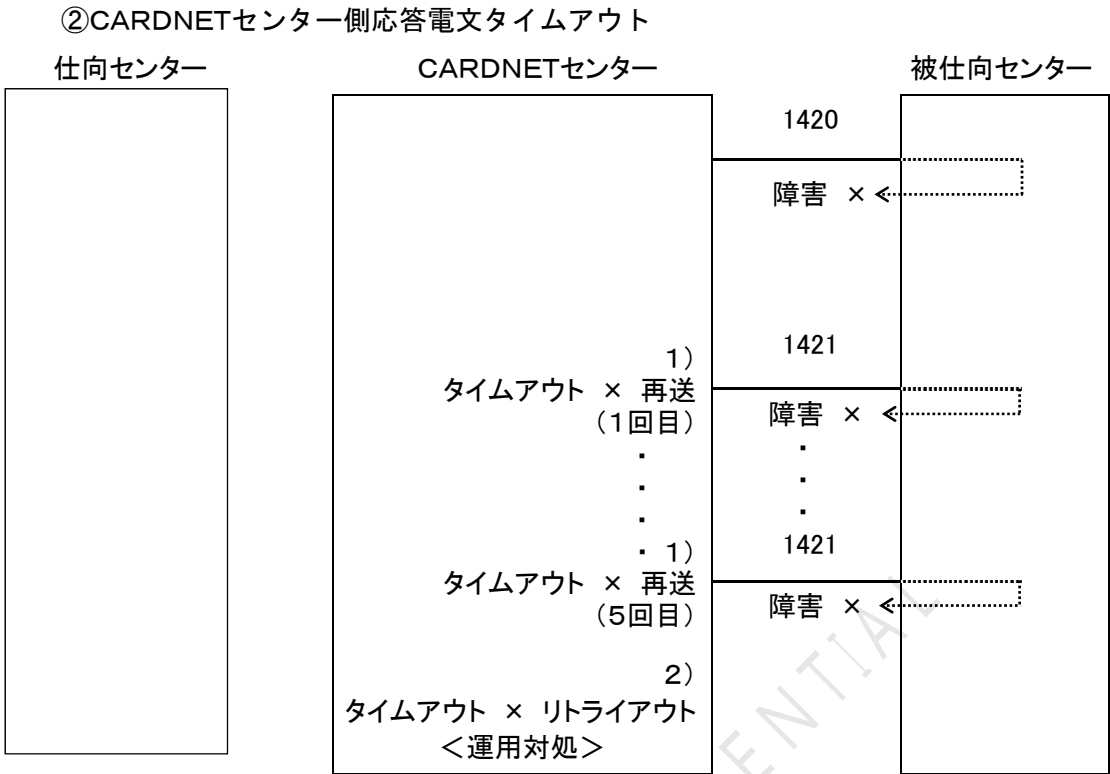
- 1) アドバイス応答電文がタイムアウトした場合、要求電文（MTI 1421）を再送する。
- 2) アドバイス再送電文がリトライアウト（再送5回）した場合は、送信を停止し運用対処を行う。

<補足説明～アドバイス再送電文>

アドバイス再送電文は、基本的に元電文と同一内容であるが、以下の項目は再度設定する。

- ①共通制御ヘッダーの送信日時
- ②業務共通ヘッダーの電文種別コード、電文認証値、チェックディジット
- ③BODY部のMTI

図5-19 応答電文タイムアウト時（仕向センター側応答電文タイムアウト）



- 1) アドバイス応答電文がタイムアウトした場合、要求電文（MTI 1421）を再送する。
- 2) アドバイス再送電文がリトライアウト（再送 5 回）した場合は、送信を停止し運用対処を行う。

＜補足説明～アドバイス再送電文＞

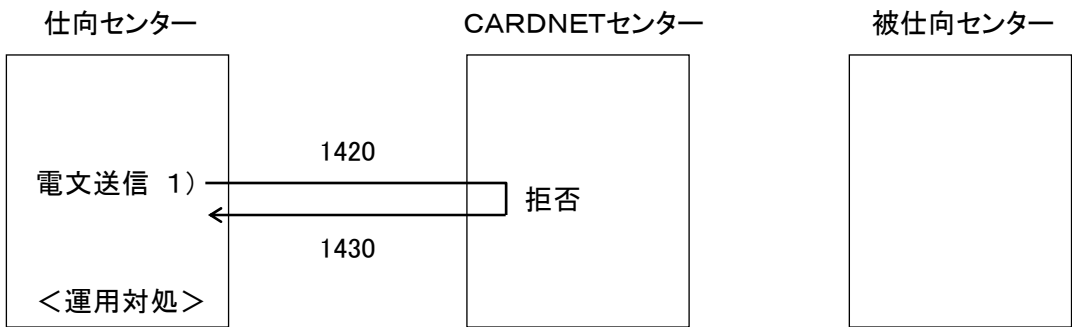
アドバイス再送電文は、基本的に元電文と同一内容であるが、以下の項目は再度設定する。

- ①共通制御ヘッダーの送信日時
- ②業務共通ヘッダーの電文種別コード、電文認証値、チェックディジット
- ③BODY部のMTI

図 5－20 応答電文タイムアウト時（CARDNETセンター側応答電文タイムアウト）

(5) CARDNETセンターからの拒否応答受信時

障害取消アドバイス電文に対するCARDNETセンターからの拒否応答受信時の処理フローを図5-21に示す。



1) 仕向センターは、CARDNETセンターから拒否応答を受信した場合には、運用対処を行う。

図5-21 CARDNETセンターからの拒否応答受信時

<補足説明～障害取消アドバイス電文の中継方式>

CARDNETセンターは、障害取消アドバイス電文（MTI 1420）の中継を、以下の条件を全て満たした場合のみ実施する。

- ①取消対象元取引が特定出来、かつ応答電文が送信済みである場合
- ②取消対象元取引が、障害取消済みでない場合
- ③取消対象元取引が、障害取消中でない場合

これらの条件を満たさない場合、CARDNETセンターは、仕向センターに対して、以下のとおり応答、または対処を行う。

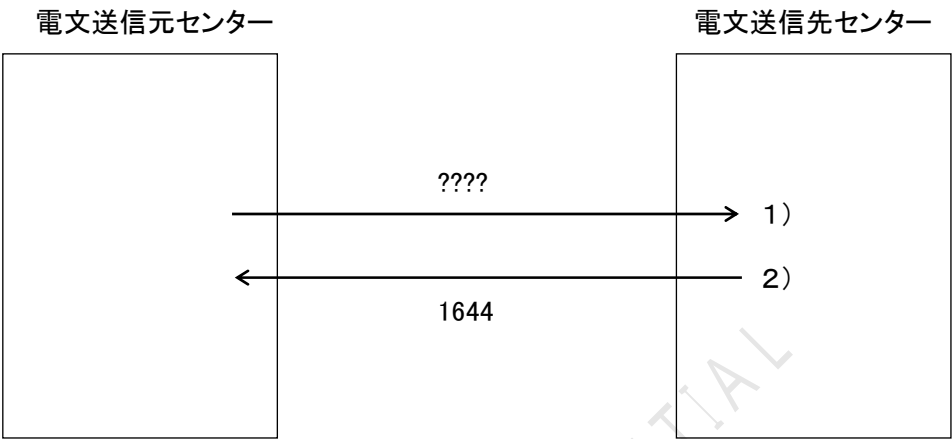
表5-1 障害取消対応表

受信電文 取消対象取引の状態(ステータス)	同期中継に対する		アドバイス電文に対する	
	障害取消	障害取消 再送	障害取消	障害取消 再送
元取引無し	×	×	▲	▲
応答待ち、応答受信済(処理中)	▲	▲	—	—
処理済	○	○	○	○
別トランザクションにより取り消し済	×	×	×	×
内部取消済	○	○	—	—

<凡例>
(○：正常応答、×：拒否応答（アクションコード914）、▲：破棄、—：処理なし)

5. 3 障害電文通知処理

CN手順では、異常電文を受信した場合は、相手先センターに対して障害電文通知（MTI 1644）の送信を行う。受信した異常電文は、BODY部の通知レコード（BIT72）に設定し通知される。障害電文通知の処理フローを図5－22に示す。



- 1) 相手先センターからの受信電文に異常があった場合、該当電文を破棄する。
- 2) 相手先センターに対して障害電文通知（MTI 1644）を送信する。

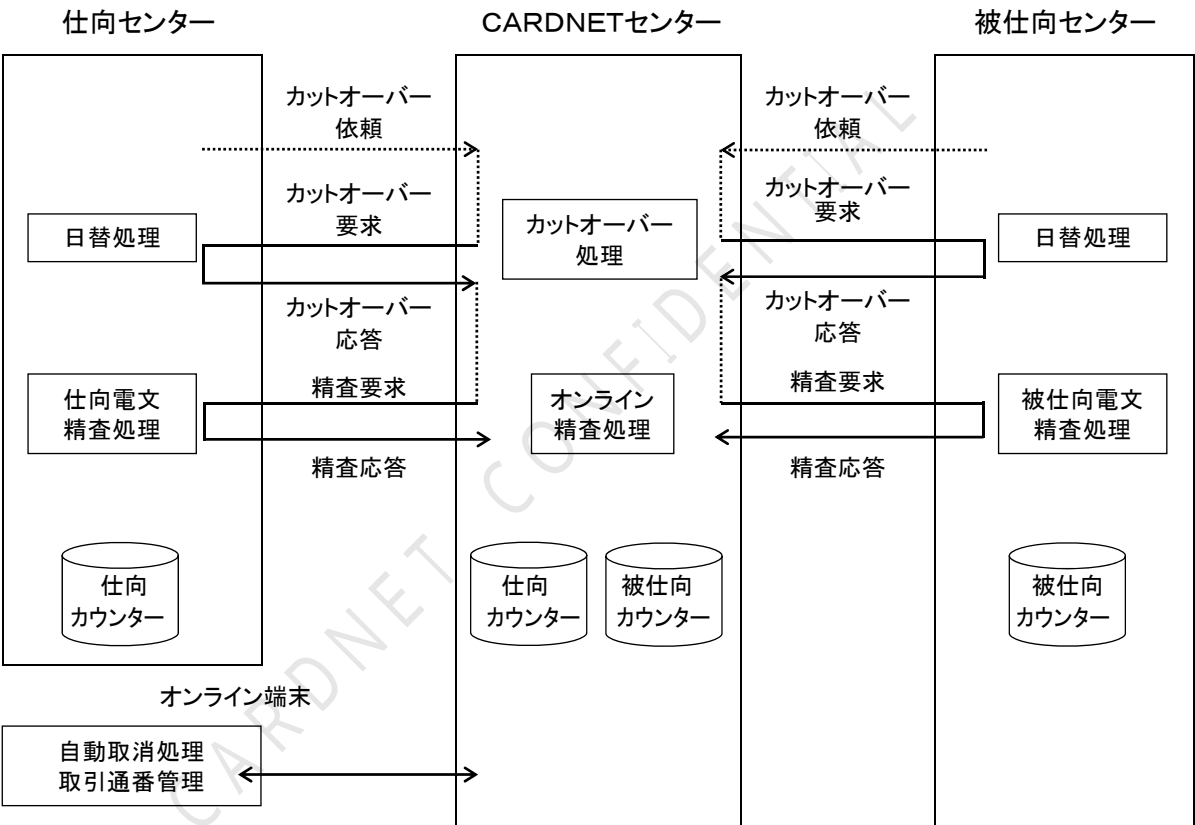
図5－22 障害電文通知フロー

第6章 オンライン精査仕様

本章では、CN手順におけるオンライン精査について、カットオーバーによる日替処理、およびカウンター管理の処理仕様を定義する。

6. 1 オンライン精査処理

オンライン精査は、接続先センターとCARDNETセンターの2センター間で売上取引に関する金額の整合性を確認するために実施される。オンライン精査処理は、カットオーバー処理に連動して1日1回実施される。カットオーバー処理からオンライン精査処理までの処理フローを図6-1に示す。



注1：仕向処理、かつ被仕向処理を行う接続先センターは、仕向精査処理、および被仕向精査処理を両方実施する。

注2：仕向センター精査処理と被仕向センター精査処理は連動しない。オンライン精査は、あくまで各接続先センター毎に設定された時間、もしくは接続先センターからのカットオーバー依頼を契機として実施される。

注3：オンライン端末とCARDNETセンター間は、自動取消機能、取引通番管理機能にて、取引の整合性を確認するためオンライン精査は行わない。被仕向センターとの被仕向カウンターでは仕向センターとの取引、オンライン端末との取引とを合算して計上される。

図6-1 オンライン精査処理フロー

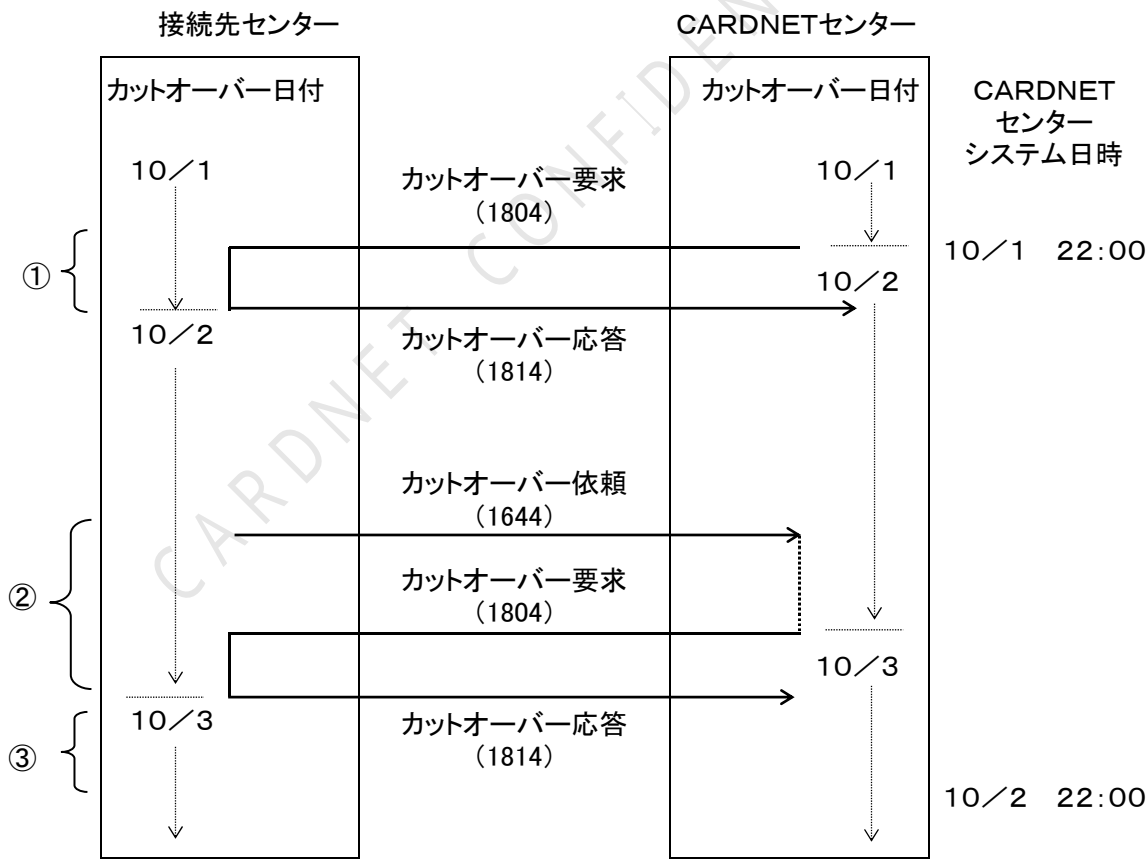
6. 2 カットオーバー処理

接続先センターとCARDNETセンターは、オンライン精査時の対象電文を特定するためにカットオーバー日付を管理する。カットオーバー日付は、CARDNETセンターから送信するカットオーバー電文にて更新、および通知される。

6. 2. 1 カットオーバー日付更新

カットオーバー日付の更新を伴うカットオーバー処理は、各接続先センター毎に設定されたカットオーバー時間を1日の境界として、1日1回実行される。以下にその手順を示す。

- 1) 接続先センターからのカットオーバー依頼電文 (MTI 1644)、あるいは各接続先センター毎に設定された時間を契機に、CARDNETセンターはカットオーバー処理を行う。
- 2) CARDNETセンターは、カットオーバー要求電文 (MTI 1804) を接続先センターへ送信するタイミングで、カットオーバー日付を更新する。
- 3) 接続先センターは、カットオーバー応答電文 (MTI 1814) をCARDNETセンターへ送信するタイミングでカットオーバー日付を更新する。



注：カットオーバー設定時間が22:00の場合

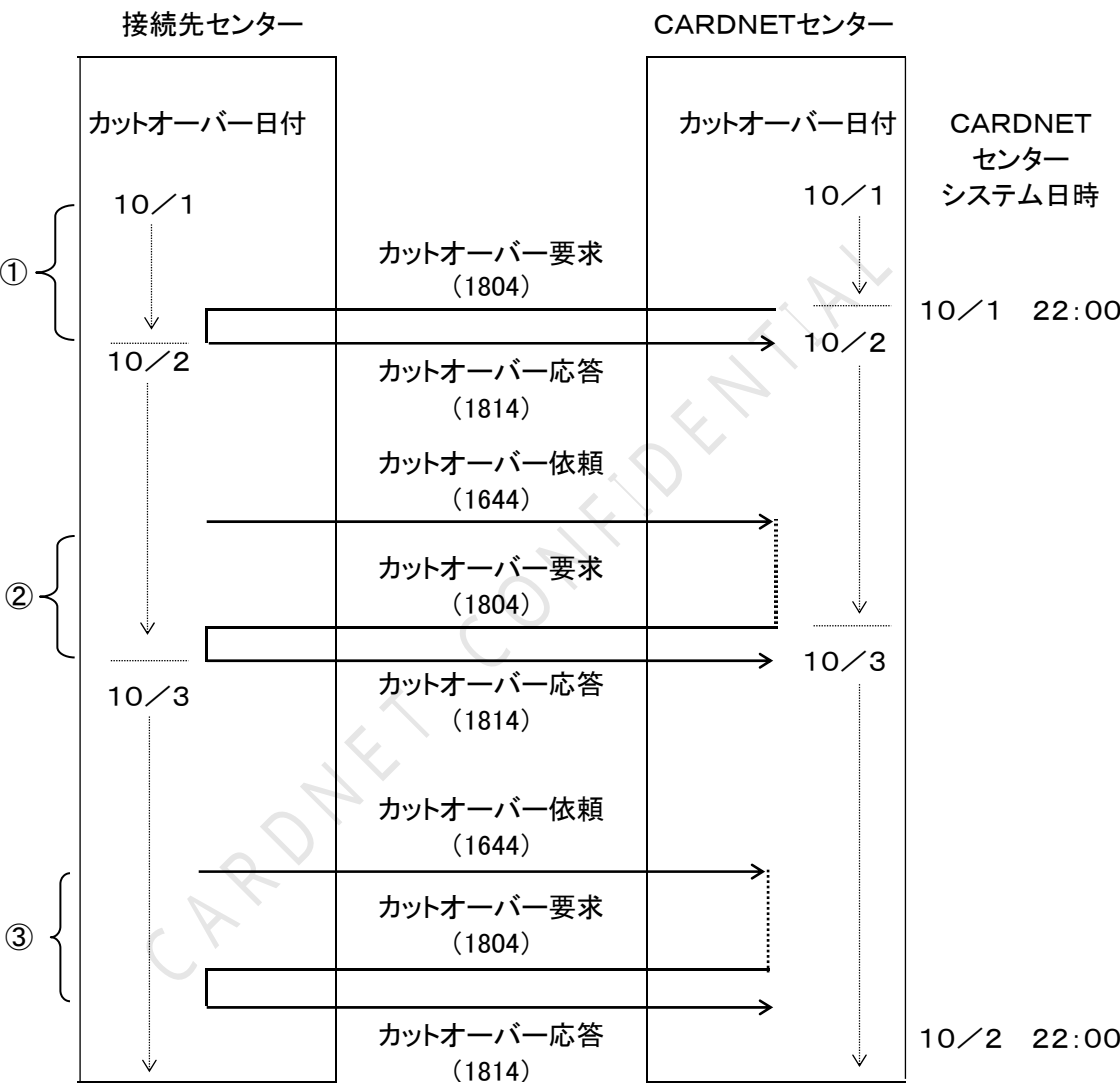
- ①設定時間を契機としたCARDNETセンター起動によるカットオーバー日付の更新処理。
- ②接続先センターからのカットオーバー依頼を契機としたカットオーバー日付の更新処理。
- ③カットオーバー日付の更新処理が完了しているため、設定時間を契機としたCARDNETセンター起動によるカットオーバー日付の更新処理は行わない。

図 6-2 カットオーバー日付更新処理

6. 2. 2 カットオーバー日付通知

カットオーバー日付の通知を目的としたカットオーバー処理は、1日複数回実行可能とする。

- 1) 接続先センターからのカットオーバー依頼電文 (MTI 1644) を契機に、CARDNETセンターはカットオーバー要求電文 (MTI 1804) を送信し、カットオーバー日付を通知する。



注：カットオーバー設定時間が22:00の場合

- ①設定時間を契機としたCARDNETセンター起動によるカットオーバー日付の更新処理。
②接続先センターからのカットオーバー依頼を契機としたカットオーバー日付の更新処理。
③カットオーバー日付の更新を伴わないカットオーバー日付の通知処理。②にて1日1回のカットオーバー更新処理を実施している為、接続先センターからの以降のカットオーバー依頼に対しては通知の形式をとる。

図6-3 カットオーバー日付通知処理

6. 2. 3 カットオーバー要求リトライ

CARDNETセンターは、カットオーバー要求のタイムアウト時に、要求電文をリトライする。ただし、カットオーバー日付は更新している為、カットオーバー日付通知の形式をとる。リトライ上限値（5回）を越えた場合は、送信を停止し強制的に精査処理を行う。

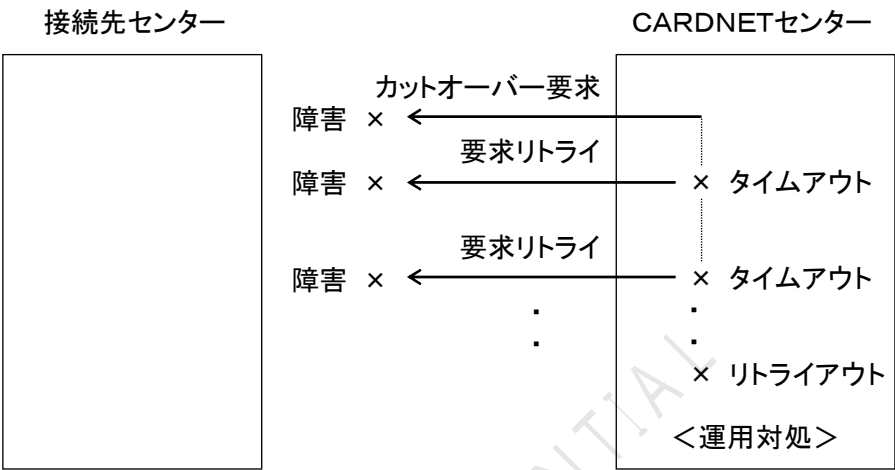


図6－4 カットオーバー要求リトライ

6. 2. 4 カットオーバー日付設定基準

CARDNETセンターが、接続先センターへの更新、または通知を行なうカットオーバー日付は、カットオーバー要求電文（MTI 1804）の精査日（BIT28）フィールドへ設定される。カットオーバー更新処理、および通知処理時のカットオーバー電文（MTI 1804）に関する日付け設定基準を表6－1に示す。

表6－1 カットオーバー日付設定

処理種別 項目名	カットオーバー更新処理	カットオーバー通知処理
精査日 (BIT28)	更新後のカットオーバー日付	現在のカットオーバー日付

<補足説明～カット対象日付の設定基準>

各センターにて電文を送信する場合、業務共通ヘッダー部のカット対象日付には各センターで管理するカット対象日付を設定する。上記のカットオーバー電文を送信する場合、①カットオーバー更新処理時は更新前のカットオーバー日付（精査日フィールド設定日より1日前）を、②カットオーバー通知処理時には現在のカットオーバー日付（精査日フィールド設定日と同一）が設定される。

6. 2. 5 カット対象日付設定基準

オンライン精査の対象となる業務電文は、業務共通ヘッダー内のカット対象日付で特定される。業務電文送信時におけるカット対象日付の設定基準を以下に定義する。

- ・ カット対象日付は全ての送信電文に対して、要求／応答の区別なく電文送信時のカットオーバー日付を設定する。ただし、アドバイス要求、および応答の再送電文は再送中にカットオーバー日付が更新した場合も元要求、および元応答電文を送信した時点での日付をセットする。
- ・ 応答電文のカット対象日付を精査対象日とする。ただし、応答電文がタイムアウトした場合は要求電文のカット対象日付を精査日とする。

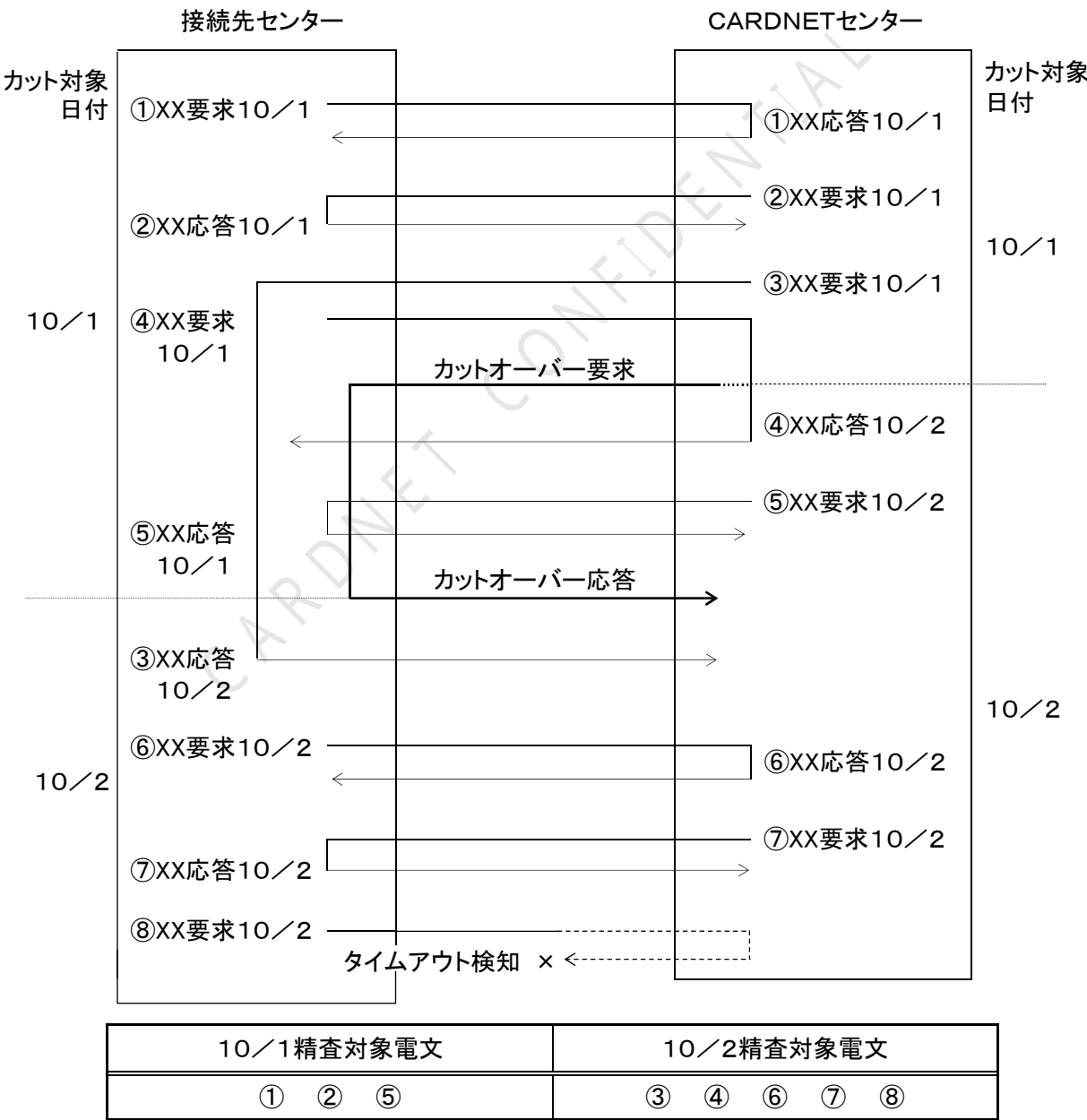


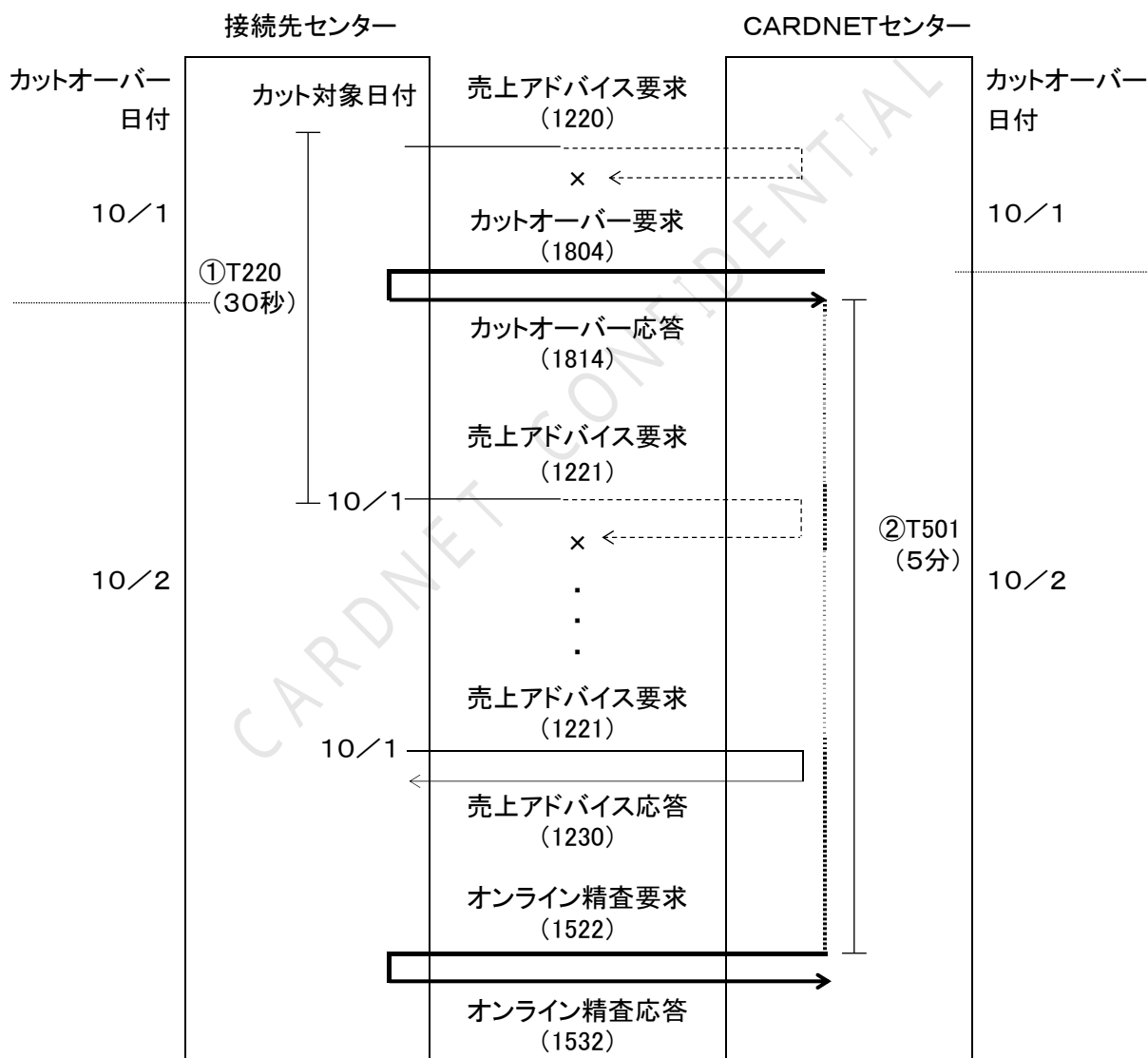
図 6－5 カット対象日付設定

6. 2. 6 カットオーバーインターバル

オンライン精査処理では、CARDNETセンターと、接続先センターで、精査対象電文の特定が一致する必要がある。カットオーバー日付更新処理のタイミングによって、以下のケースの場合にCARDNETセンターと接続先センターの間に不整合が発生する。

- ・ アドバイス電文再送中にカットオーバーが発生した場合
- ・ 複数回線（論理チャネル）を使用して接続している場合

したがって、精査対象電文を正確に特定し確実なオンライン精査を成立させる為に、カットオーバー処理とオンライン精査処理の間にインターバル（5分）を設定する。
インターバルによりアドバイス再送を含む全ての仕掛処理が完了する。



CARDNETセンターは、カットオーバー応答電文受信、またはカットオーバー要求電文リトライアウト後、5分間のインターバルを置いてオンライン精査要求電文を送信する。

①アドバイス応答待ちタイマー（30秒）×リトライ回数<②インターバルタイマー（5分）

図 6-6 カットオーバーインターバル

6. 3 カウンター管理処理

接続先センターとCARDNETセンターは、カットオーバー処理に連動して、各種精査カウンターを管理する。仕向精査電文（MTI 1522）にて仕向センターの仕向カウンターを、被仕向精査電文（MTI 1520）にて被仕向センターの被仕向カウンターを交換する。

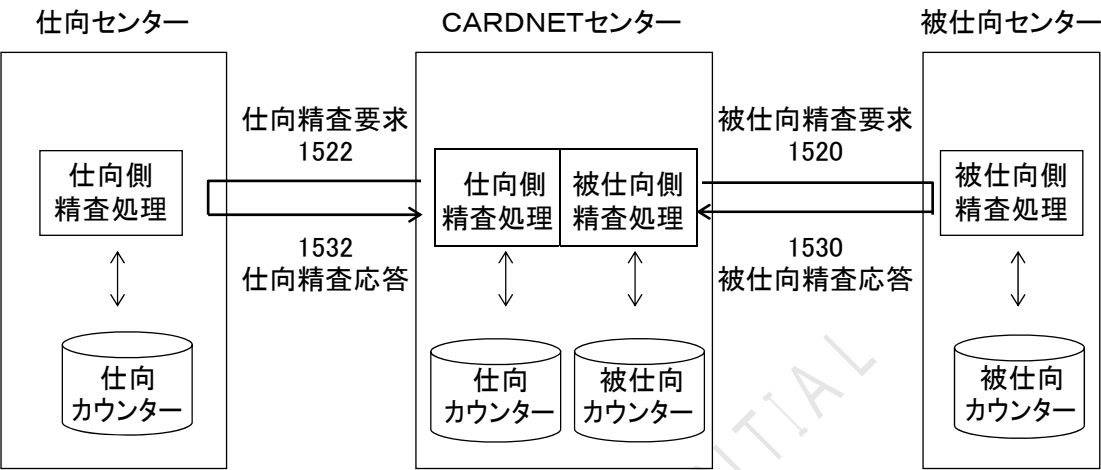


図6-7 オンライン精査処理

6. 3. 1 精査対象電文種別

オンライン精査の対象となる電文種別はオーソリ、売上に関連する全トランザクションとする。精査対象の電文種別と対象精査項目（件数、金額）を表6-2に定義する。

表6-2 精査対象電文種別

電文種別		対象精査項目	
対象業務	MTI	件数	金額
オーソリ	1100/1110	対象	対象外
オーソリアドバイス	1120(1121)/1130	対象	対象外
売上	1200/1210	対象	対象
売上アドバイス	1220(1221)/1230	対象	対象
障害取消アドバイス (対オーソリ、オーソリアドバイス)	1420(1421)/1430	対象	対象外
障害取消アドバイス (対売上、売上アドバイス)	1420(1421)/1430	対象	対象

6. 3. 2 精査カウンター内容

オンライン精査処理にて管理される、精査カウンターの内容を表6-3に定義する。

表6-3 精査カウンター内容

項番	カウンター名称		BIT	内容
1	精査合計金額		97	精査金額総計(項番2~5)の相殺金額
2	金額	売上金額	88	売上、承認後売上の金額
3		売上取消／返品金額	86	売上取消／返品、承認後売上取消／返品の金額
4		売上障害取消金額	87	売上、承認後売上の障害取消金額
5		売上取消／返品障害取消金額	89	売上取消／返品、承認後売上取消／返品の障害取消金額
6	件数	オーソリ件数	81	オーソリ、オーソリ取消／返品、海外キャッシング事前承認、事前承認取消の件数
7		照会件数	80	無効カード照会の件数
8		売上件数	76	売上、承認後売上の件数
9		売上取消／返品件数	74	売上取消／返品、承認後売上取消／返品の件数
10		オーソリ障害取消件数	90	オーソリ、オーソリ取消／返品、海外キャッシング事前承認、事前承認取消の障害取消件数
11		照会障害取消件数	82	無効カード照会の障害取消件数
12		売上障害取消件数	75	売上、承認後売上の障害取消件数
13		売上取消／返品障害取消件数	77	売上取消／返品、承認後売上取消／返品の障害取消件数

6. 3. 3 件数カウンター計上条件

オンライン精査での件数カウンターの計上における基本条件を以下に定義する。

- ・ 件数カウンターはトランザクション単位で計上する。つまり、要求と応答の組み合わせで1件として計上する。
- ・ トランザクションの成立・不成立を問わず、発生ベースで計上する。したがって拒否応答電文の送受信時や応答電文のタイムアウト時も1件として計上する。
- ・ 元取引に対する取消／返品や障害取消が発生した場合も、それぞれ1件として計上する。
- ・ アドバイス電文は再送が発生した場合も1件と計上する。
- ・ アドバイス電文は再送リトライアウトした場合も1件と計上する。

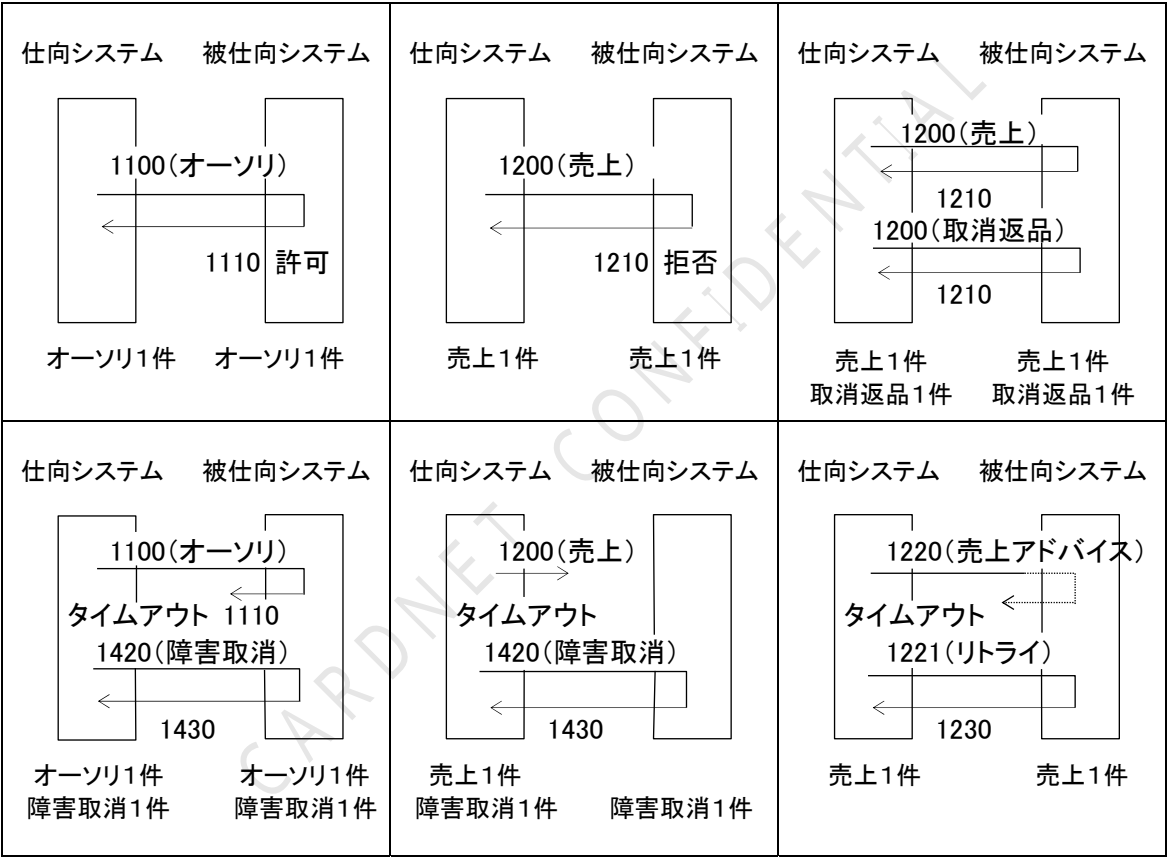


図 6－8 件数カウンター計上方法

6. 3. 4 金額カウンター計上条件

オンライン精査での金額カウンターの計上における基本条件を以下に定義する。金額カウンターの計上は、売上／売上アドバイス電文、および売上／売上アドバイス電文に対する障害取消電文を対象とする。

したがって、オーソリ／オーソリアドバイス電文、およびオーソリ／オーソリアドバイス電文に対する障害取消は対象外とする。

(1) 仕向システム側の金額計上条件 (図6-9参照)

- ・許可応答電文の受信時には、応答電文の取引金額 (BIT4) を使用し、要求電文のタイムアウト時には、要求電文の取引金額 (BIT4) を使用してカウンターの計上を行う。要求電文がタイムアウト時は、障害取消電文を送信する為、精査合計金額は相殺される。(図6-9①～⑤参照)
- ・アドバイス電文のタイムアウト時に再送を行った場合 (再送リトライアウト含む) は、初回送信分のみ金額カウンターを計上する (リトライ分は金額カウンターを計上しない)。(図6-9⑥参照)
- ・アドバイス電文のリトライアウト時および、拒否応答受信時には金額計上の対象とし、別途運用対処を行う。(図6-9⑦～⑧参照)

(2) 被仕向システム側の金額計上条件 (図6-10参照)

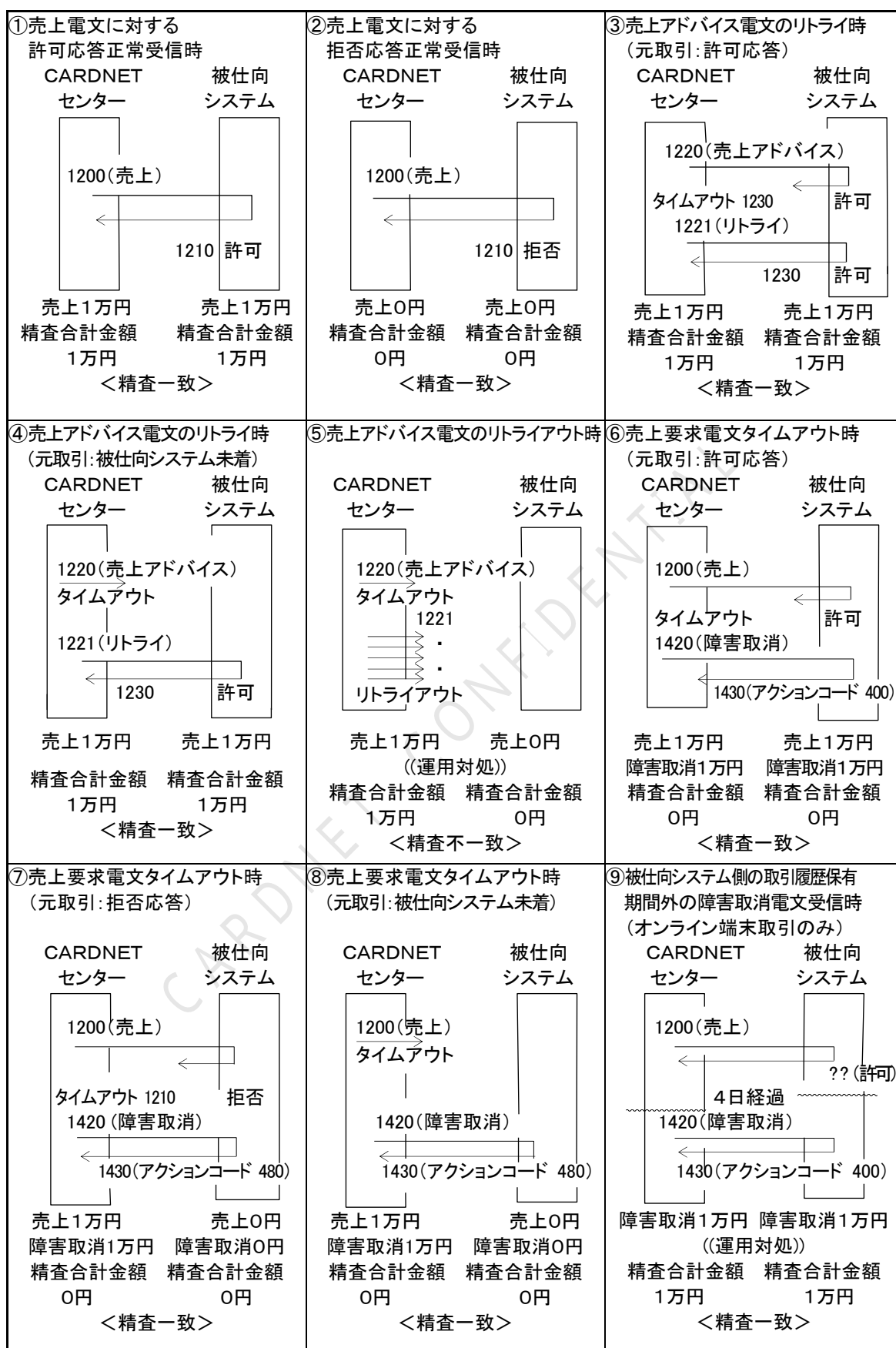
- ・取引の成立、つまり許可応答電文を送信した場合に、応答電文の取引金額 (BIT4) を使用して金額カウンターを計上する。(図6-10①～②参照)
- ・アドバイス電文の再送を受信した場合は、初回受信分のみ金額カウンターを計上する (リトライ受信分は金額カウンターを計上しない)。(図6-10③～④参照)
- ・アドバイス電文のリトライアウト時には金額計上の対象とし、別途運用対処を行う。(図6-10⑤参照)
- ・障害取消電文においては、元取引の履歴を参照する必要がある。元取引の履歴を参照した結果により、以下のとおり対処する。
 - a. 元取引にて金額の計上をしている場合 (図6-10⑥参照)
金額を計上する (アクションコード 400で応答する)。
 - b. 元取引にて金額の計上をしていない場合 (図6-10⑦参照)
金額を計上しない (アクションコード 480で応答する)。
 - c. 元取引を受信していないため元取引が特定できない場合 (図6-10⑧参照)
金額を計上しない (以下のとおり対処)。
 - ・元取引がオーソリ／売上電文の場合：アクションコード 480で応答
 - ・元取引がオーソリアドバイス／売上アドバイス電文の場合：電文破棄
 - d. 元取引が被仕向システムの取引履歴保有期間外であるため元取引の履歴を参照できない場合 (オンライン端末取引のみ) (図6-10⑨参照)
 - ・元取引が金額計上対象の場合
：金額を計上する (アクションコード 400で応答する)
 - ・元取引が金額計上対象外の場合
：金額を計上しない (アクションコード 480で応答する)

ただし、上記のいずれの場合にも、被仕向システム側にて運用対処が必要。

<div>①売上電文に対する 許可応答正常受信時</div> <div><div>仕向システム CARDNET センター</div><div><div>1200(売上)</div><div>1210 許可</div></div></div> <div>売上1万円 売上1万円</div> <div>精査合計金額 精査合計金額 1万円 1万円 ＜精査一致＞</div>	<div>②売上電文に対する 拒否応答正常受信時</div> <div><div>仕向システム CARDNET センター</div><div><div>1200(売上)</div><div>1210 拒否</div></div></div> <div>売上0円 売上0円</div> <div>精査合計金額 精査合計金額 0円 0円 ＜精査一致＞</div>	<div>③売上要求電文タイムアウト時 (元取引:許可応答)</div> <div><div>仕向システム CARDNET センター</div><div><div>1200(売上)</div><div>タイムアウト</div><div>1420(障害取消)</div><div>1430</div><div>許可</div></div></div> <div>売上1万円 売上1万円 障害取消1万円 障害取消1万円 精査合計金額 精査合計金額 0円 0円 ＜精査一致＞</div>
<div>④売上要求電文タイムアウト時 (元取引:拒否応答)</div> <div><div>仕向システム CARDNET センター</div><div><div>1200(売上)</div><div>タイムアウト</div><div>1210 拒否</div><div>1420(障害取消)</div><div>1430</div></div></div> <div>売上1万円 売上0円 障害取消1万円 障害取消0円 精査合計金額 精査合計金額 0円 0円 ＜精査一致＞</div>	<div>⑤売上要求電文タイムアウト時 (元取引: CARDNETセンター未着)</div> <div><div>仕向システム CARDNET センター</div><div><div>1200(売上)</div><div>タイムアウト</div><div>1420(障害取消)</div><div>1430</div><div>拒否</div></div></div> <div>売上1万円 売上0円 障害取消1万円 障害取消0円 精査合計金額 精査合計金額 0円 0円 ＜精査一致＞</div>	<div>⑥売上アドバイス電文のリトライ時</div> <div><div>仕向システム CARDNET センター</div><div><div>1220(売上アドバイス)</div><div>タイムアウト</div><div>1221(リトライ)</div><div>1230</div><div>許可</div></div></div> <div>売上1万円 売上1万円</div> <div>精査合計金額 精査合計金額 1万円 1万円 ＜精査一致＞</div>
<div>⑦売上アドバイス電文の リトライアウト時</div> <div><div>仕向システム CARDNET センター</div><div><div>1220(売上アドバイス)</div><div>タイムアウト</div><div>1221</div><div>・</div><div>・</div><div>・</div><div>リトライアウト</div></div></div> <div>売上1万円 売上0円 ((運用対処))</div> <div>精査合計金額 精査合計金額 1万円 0円 ＜精査不一致＞</div>	<div>⑧売上アドバイス電文に対する 拒否応答受信時</div> <div><div>仕向システム CARDNET センター</div><div><div>1220(売上アドバイス)</div><div>1230 拒否</div></div></div> <div>売上1万円 売上0円 ((運用対処))</div> <div>精査合計金額 精査合計金額 1万円 0円 ＜精査不一致＞</div>	

注：売上要求電文の取引金額（BIT4）が1万円の場合を想定。

図6－9 仕向システム側との精査



注：売上要求電文の取引金額（BIT4）が1万円の場合を想定。

図6-10 被仕向システム側との精査

6. 3. 5 カウンター項目集計方法

オンライン精査での各カウンター項目単位の集計方法を、仕向システムと被仕向システムそれぞれについて定義する。各集計項目は、MTI、プロセシングコード（BIT3）、アクションコード（BIT39）毎に、表6-4の定義に従って各カウンター項目に計上される。

なお、仕向側システムとは、仕向精査処理時は仕向センターを示し、被仕向精査処理時は、CARDNETセンターを示す。また、被仕向側システムとは、仕向精査処理時はCARDNETセンターを示し、被仕向精査処理時は被仕向センターを示す。

表6-4-1 仕向側システム集計方法

MTI	プロセシングコード	アクションコード	対象カウンター項目		
			BIT	名称	操作
1100&1110 1120&1130	000000 010000 200000	すべて	81	オーソリ件数 海外キャッシング	件数加算
1100&1110 1120&1130	360000	すべて	80	照会件数	件数加算
1200&1210	000000	000 タイムアウト	76	売上件数	件数加算
			88	売上金額	金額加算
			97	精査合計金額	金額減算
	200000	000 タイムアウト	76	売上件数	件数加算
			74	売上取消／返品件数	件数加算
			86	売上取消／返品金額	金額加算
1220&1230	000000	すべて	97	精査合計金額	金額加算
			74	売上取消／返品件数	件数加算
			86	売上取消／返品金額	金額加算
	200000	すべて	97	精査合計金額	金額加算
			74	売上取消／返品件数	件数加算
			86	売上取消／返品金額	金額加算
1420&1430 (元要求が 1200番台)	000000	すべて	75	売上障害取消件数	件数加算
			87	売上障害取消金額	金額加算
			97	精査合計金額	金額加算
	200000	すべて	77	売上取消／返品障害取消件数	件数加算
			89	売上取消／返品障害取消金額	金額加算
			97	精査合計金額	金額減算
1420&1430 (元要求が 1100番台)	000000 010000 200000	すべて	90	オーソリ障害取消件数 海外キャッシング	件数加算
	360000	すべて	82	照会障害取消件数	件数加算

表 6-4-2 被仕向側システム集計方法

MTI	プロセシング コード	アクション コード	対象カウンター項目		
			BIT	名称	操作
1110 1130	000000 010000 200000	すべて	81	オーソリ件数 海外キャッシング	件数加算
1110 1130	360000	すべて	80	照会件数	件数加算
1210 1230	000000	000	76 88 97	売上件数 売上金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額減算
		上記以外	76	売上件数	件数加算
1210 1230	200000	000	74 86 97	売上取消／返品件数 売上取消／返品金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額加算
		上記以外	74	売上取消／返品件数	件数加算
1430 (元要求が 1200番台)	000000	400	75 87 97	売上障害取消件数 売上障害取消金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額加算
		上記以外	75	売上取消／返品障害取消件数	件数加算
	200000	400	77 89 97	売上取消／返品障害取消件数 売上取消／返品障害取消金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額減算
		上記以外	77	売上取消／返品障害取消件数	件数加算
1430 (元要求が 1100番台)	000000 010000 200000	すべて	90	オーソリ障害取消件数 海外キャッシング	件数加算
	360000	すべて	82	照会障害取消件数	件数加算

6. 3. 6 精査成立条件

オンライン精査の成立は、精査合計金額の一致により判断する。CN手順ではシステム障害によるタイムアウト時に、仕向システム側で障害取消電文を送信し、元取引を相殺する為、各カウンター項目に不一致発生した場合でも、結果として精査金額は一致する。精査成立条件と精査不成立時の対応を表 6-5 に定義する。

表 6-5 精査成立条件

	精査条件	精査結果
1	精査合計金額一致	金額一致により精査成立
2	精査合計金額不一致	精査不成立、オフライン精査により運用対処

第7章 セキュリティ制御仕様

本章では、CN手順におけるセキュリティ基準について、電文の暗号化・認証に関する処理仕様を定義する。

7. 1 セキュリティ制御機能

「接続条件書（ダイレクト編）別冊 電文暗号化仕様」を参照。

7. 2 対象電文種別

各セキュリティ制御機能における対象MTI（電文種別）、および対象データ項目を表7-1に定義する。PIN暗号化の対象は暗証番号付きオーソリ／売上電文、また、電文暗号化、および電文認証の対象は業務系の全電文と制御系の精査電文とする。制御系電文は、当該機能の対象外とする。

表7-1 対象電文種別・対象データ項目

セキュリティ機能	対象MTI	対象データ項目	備考
PIN暗号化	1100 1200	PINデータ (BIT52)	暗証番号有りの電文のみが対象
電文暗号化	1100/1110 1120(1121)/1230 1200/1210 1220(1221)/1230	BODY部 (MTI、ビットマップ、データエレメント)	入力暗証番号は暗号化済の状態
電文認証	1420(1421)/1430 1520/1530 1522/1532 1604/1614		

※1604/1614（DCCレート変換MTI）について詳細は「接続条件書別冊DCC拡張仕様」を参照。

7. 3 暗号化キー管理

CN手順のセキュリティ制御処理は、秘密キーによる暗号化方式を採用する。
CARDNETセンターと接続先センターは、オンライン業務のセキュリティ制御機能で使用する暗号化キーを管理する。CN手順で使用する暗号化キーの一覧を表 7-2 に定義する。

表 7-2 暗号化キー一覧

項番	キー名称		内容
1	KPE	PIN Encryption KEY	入力暗証番号 (BIT52) の暗号化に使用
2	KC	DATA Encryption KEY	電文本体 (BODY部) の暗号化に使用
3	KMAC	Message Authentication Control KEY	電文本体 (BODY部) の認証に使用
4	KEK	KEY Exchange KEY	キー交換時に、暗号化キー (項番1~3) 自体の暗号化に使用
5	MFK	Master File KEY	暗号化キーの管理マスターとして内部的に使用

<補足説明~暗号化キーの適用範囲>

暗号化キーは、CARDNETセンターと各接続先センターの隣接 2 センターにおいてそれぞれユニークに管理される。暗号化キーの適用範囲を図 7-2 に示す。

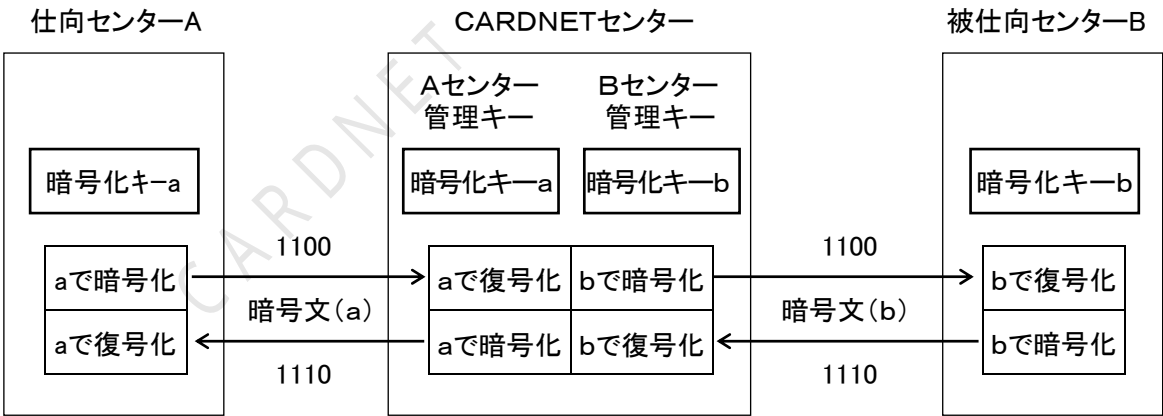


図 7-2 暗号化キー適用範囲

7. 3. 1 暗号化キー作成基準

「CARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）別冊 電文暗号化仕様」を参照。

7. 3. 2 暗号化キー交換方法／サイクル

「CARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）別冊 電文暗号化仕様」を参照。

7. 3. 3 キー交換電文識別方法

「CARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）別冊 電文暗号化仕様」を参照。

7. 3. 4 チェックディジット設定基準

「CARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）別冊 電文暗号化仕様」を参照。

7. 3. 5 チェックディジット算出方法

「CARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）別冊 電文暗号化仕様」を参照。

7. 3. 6 チェックディジットエラー処理

それぞれの暗号化キーについて、チェックディジットエラーを検出した場合の通知方法を表 7-6 に定義する。KPEの同期エラーは業務電文の拒否応答、KCとKMACの同期エラーは障害電文通知の形式で処理される。

表 7-6 チェックディジットエラー処理

暗号化キー	チェックディジットエラー時の処理	アクションコード(BIT 39)
PIN暗号化キー(KPE)	拒否応答(MTI 1110 or 1210)	919(暗号化キー同期エラー)
電文暗号化キー(KC)	障害電文通知(MTI 1644)	919(暗号化キー同期エラー)
電文認証キー(KMAC)	障害電文通知(MTI 1644)	917(MACキー同期エラー)

<補足説明～障害検知>

チェックディジットエラーを検知した場合は、CARDNETセンターより自動でキー交換要求が送信され、回復処理を行う。

その後、チェックディジットエラーが連続 5 回に到達すると、接続先センターは障害状態と判断される。

CARDNETセンターは、該当接続先センターに対し運用対処にて障害対応を行う。

7. 4 キー交換処理仕様

キー交換処理時における各センターの処理仕様を定義する。キー交換電文前後の暗号化、および認証対象電文は以下のルールに基づいて処理される。また、契約変更時のキー交換処理についても以下のルールが適用される。

(1) CARDNETセンターのキー交換ルール

- ①電文受信時に有効なキー
 - ・キー交換要求を送信した時点で新旧2つのキーを有効とする。
 - ・キー交換承認応答を受信した時点で新キーを有効とする。但し、電文送信のタイミングにより旧キーの電文を受信する可能性がある為、一定時間は、2世代のキーを有効とする。
→キー交換拒否応答を受信した場合、またはキー交換応答がタイムアウトした場合は旧キーを有効とし新キーを無効にする。
- ②電文送信時に適用するキー
 - ・キー交換の承認応答を受信した時点で新キーを適用する。
→キー交換拒否応答を受信した場合、またはキー交換応答がタイムアウトした場合は適用するキーは旧キーのままとする。
- ③キー交換失敗時の処理
 - ・キー交換失敗時は、キー交換サイクルの処理件数カウンターおよび経過時間タイマーをリセットする。
 - ・キー交換失敗時は、自動でキー交換要求が送信される。また、キー交換の失敗は、セキュリティ上重大な障害がシステム間に発生している可能性がある為、運用監視端末へキー交換失敗のメッセージと自動でキー交換要求を送信した結果を出力する。
 - ・キー交換を連続5回失敗した場合は障害状態とみなし、アラームをCARDNETシステム管理者へ鳴動し、運用対応を行う。

(2) 接続先センターのキー交換ルール

- ①電文受信時に有効なキー
 - ・キー交換承認応答を送信した時点で新キーを有効とする。但し、電文送信のタイミングにより旧キーの電文を受信する可能性がある為、一定時間は、2世代のキーを有効とする。
- ②電文送信時に適用するキー
 - ・キー交換の要求電文を受信した時点で新キーを適用する。

表 7-7 キー交換処理フロー一覧

項番	内容		図番
1	キー交換正常処理	接続先センター要求送信時	図7-4
2		CARDNETセンター要求送信時	図7-5
3	キー交換異常処理		図7-6

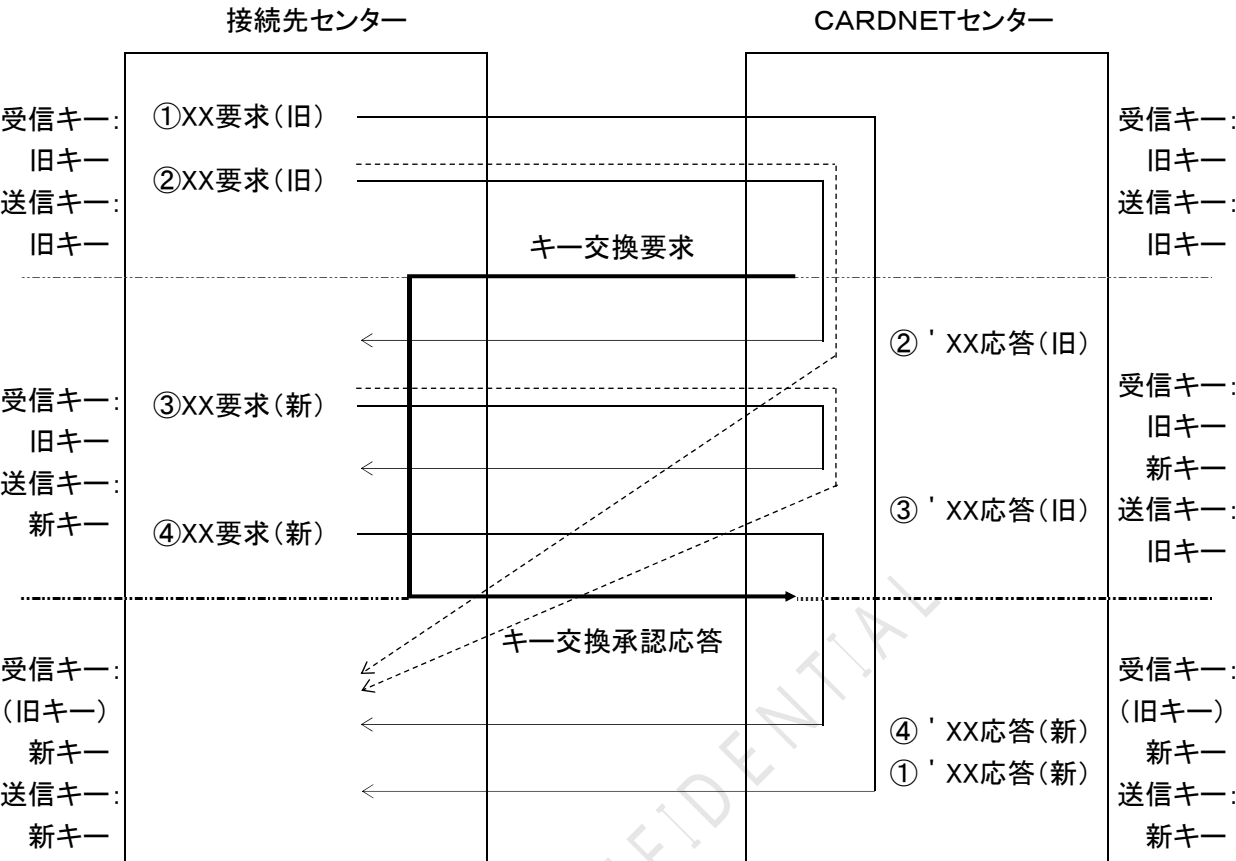


図 7-4 キー交換正常処理 (接续先センター要求送信分)

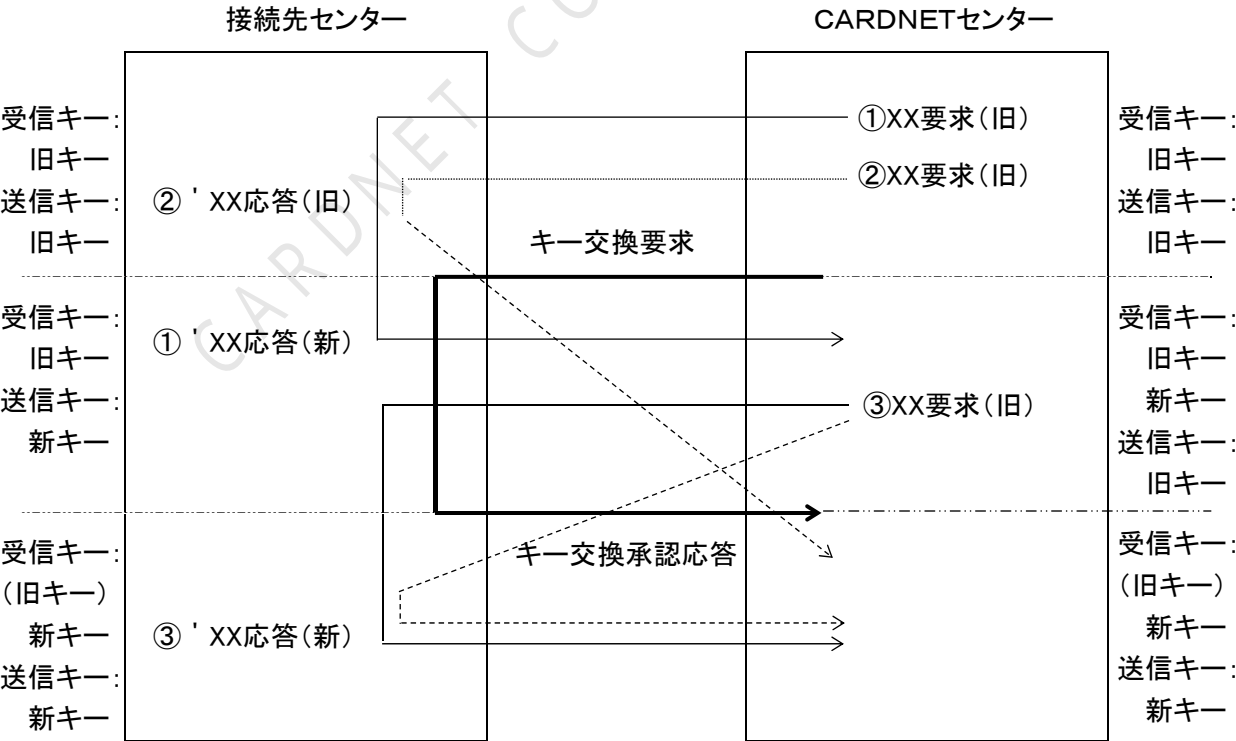


図 7-5 キー交換正常処理 (CARDNETセンター要求送信分)

注: 各センターは、電文送受信のタイミングにより、キー交換承認応答を送信後も旧キーの暗号電文を受信する可能性がある。よって、キー交換応答送信から一定時間経過後に、受信有効キーの旧キーを無効にする。

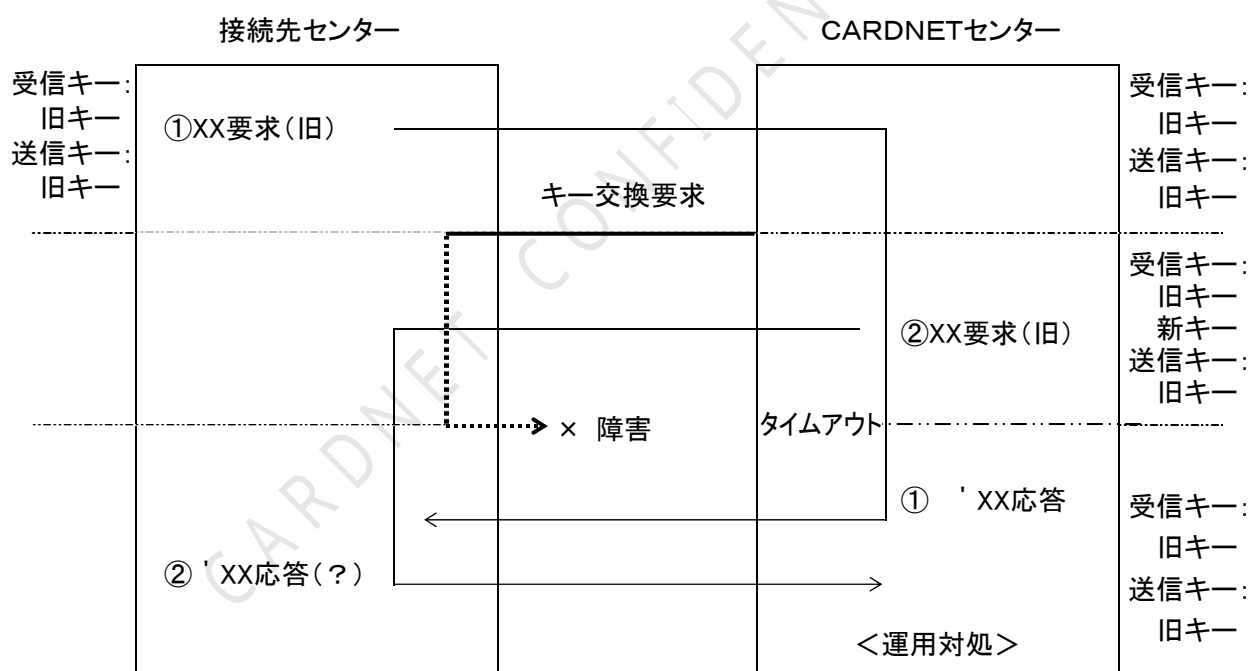
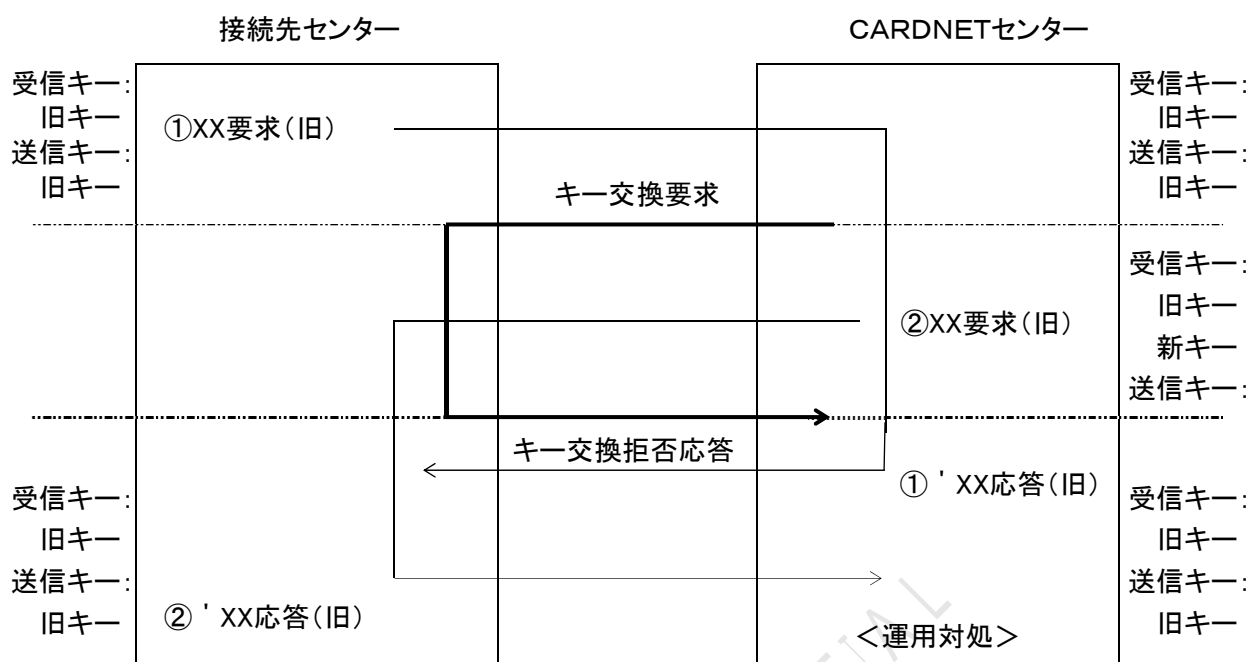


图 7-6 卡-交换异常处理

＜補足説明～運用対処＞

拒否応答、タイムアウトによるキー交換処理の失敗時は、セキュリティ上重大なシステム障害が発生している可能性がある為、システム管理者へアラームを上げ運用対処を行う。また、接続先センターがキー交換応答を送信後に障害が発生した場合は、2センター間でキーが不一致となる為、再度キー交換を実施しキーの同期を回復する。

7. 5 電文暗号化処理

「CARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）別冊 電文暗号化仕様」を参照。

7. 6 電文認証処理

「CARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）別冊 電文暗号化仕様」を参照。

7. 7 PIN暗号化処理

「CARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）別冊 電文暗号化仕様」を参照。

CARDNET CONFIDENTIAL

第8章 電文項目説明

本章では、共通制御ヘッダー、業務共通ヘッダー、およびBODY部の各項目について、項目内容、設定基準を定義する。

8. 1 共通制御ヘッダー

共通制御ヘッダーに関する各項目の内容、および設定基準を定義する。

8. 1. 1 ヘッダータイプ

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
ヘッダータイプ	ヘッダー形式とバージョン情報	JIS8, an2, 2バイト

②本手順での規定

共通制御ヘッダーの形式とバージョンを示す。ヘッダータイプによりヘッダーレイアウトが決定される。

コード値

F1 → CN手順・共通制御ヘッダー バージョン1。

<補足説明>

ヘッダータイプは、将来的にフィールドの追加等で、ヘッダーレイアウトが拡張された場合の考慮として定義する。現状では、サポートするヘッダータイプは、上記のコード値のみとする。

8. 1. 2 全体電文長

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
全体電文長	送信電文のレングス情報	BCD, 4n, 2バイト

②本手順での規定

ヘッダー部+BODY部の実際に送信する電文全体の長さを設定する。暗号化対象の電文は、暗号化済みのBODY部を対象とする。

<補足説明>

電文暗号化処理方式についての詳細は、第7章「セキュリティ制御仕様」を参照。

8. 1. 3 差出センターID

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
差出センターID	電文送信元センターID	JIS8, anp11, 11バイト

②本手順での規定

センター間取引

要求電文送信時に仕向センターIDが設定される。応答電文送信時に被仕向センターIDが設定される。会社コード7桁+サブコード4桁の合計11桁で構成される。

オンライン端末取引

要求電文送信時に " 3J021000000 " がセットされる。応答電文送信時は、被仕向センターIDが設定される。会社コード7桁+サブコード4桁の合計11桁で構成される。

3桁目～7桁目までの5バイトが取引特定キー（トランザクションID）の1項目として使用される。

8. 1. 4 宛先センターID

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
宛先センターID	電文送信先センターID	JIS8, anp11, 11バイト

②本手順での規定

要求電文送信時に被仕向センターIDが設定される。応答電文送信時に仕向センターIDが設定される。会社コード7桁+サブコード4桁の合計11桁で構成される。

<補足説明>

仕向センターにて要求電文送信時のデフォルト値は、 " 3J021000000 "（CARDNETセンターID）を設定する。

8. 1. 5 加盟店契約会社コード

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
加盟店契約会社コード	加盟店契約カード会社コード	JIS8, anp11, 11バイト

②本手順での規定

加盟店が支払契約をしているカード会社を識別するコードが設定される。会社コード7桁＋サブコード4桁の合計11桁で構成される。

サブコードは、デフォルト値として常にALL "0" を設定する（サブコードは使用しない）。

制御系電文（MTI 15XX, 16XX, 18XX）を送信する場合は、デフォルト値として、"ALL 0" を設定する。

<補足説明>

- ・加盟店センターにてアクアイアラ判定代行サービスを利用する場合、デフォルト値として "3J021000000"（CARDNETセンターID）を設定する。
- ・マニュアル入力の業務電文を送信する場合、加盟店センターにて判定した加盟店契約カード会社コードを設定する。
- ・アクアイアラ判定代行サービスの詳細については「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

8. 1. 6 送信日時

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
送信日時	電文送信日時	BCD, n14, 7バイト

②本手順での規定

各センターで電文を送信した日時を設定する。YYYYMMDDhhmmssの形式とする。

8. 1. 7 モードフラグ

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
モードフラグ	システムの稼働モード	BCD, n2, 1バイト

②本手順での規定

システム稼働モードを示す。本番モードと試験モードを識別する。

コード値

00 → 本番モード

10 → 試験モード

8. 1. 8 予備

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
予備	予備フィールド	JIS8, anp2, 2バイト

②本手順での規定

共通制御ヘッダーの予備フィールド。デフォルト値としてスペースを設定する。

8. 2 業務共通ヘッダー

業務共通ヘッダーに関する各項目の内容、および設定基準を定義する。

8. 2. 1 ヘッダータイプ

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
ヘッダータイプ	ヘッダー形式とバージョン情報	JIS8, an2, 2バイト

②本手順での規定

業務共通ヘッダーの形式とバージョンを示す。ヘッダータイプによりヘッダーレイアウトが決定される。

コード値

A1 → CN手順・業務共通ヘッダー バージョン1。

<補足説明>

ヘッダータイプは、将来的にフィールドの追加等で、ヘッダーレイアウトが拡張された場合の考慮として定義する。現状では、サポートするヘッダータイプは、上記のコード値のみとする。

8. 2. 2 電文種別コード

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
電文種別コード	CN手順の電文識別情報	JIS8, an4, 4バイト

②本手順での規定

電文種別を識別するコード。上1桁目の“C”と“E”は、CN手順で規定した電文を示す。
“C”は通常電文を表す。また、“E”は障害通知電文を表す。

表8-1 電文種別コード一覧

コード値	内容		コード値	内容		
C100	オーソリ	要求	C522	オンライン精査	仕向精査	要求
C110		応答	C532			応答
C120(C121)	オーソリアドバイス	要求	C520		被仕向精査	要求
C130		応答	C530			応答
C200	売上	要求	C644	汎用通知	カットオーバー依頼	通知
C210		応答	E644		障害電文通知	
C220(C221)	売上アドバイス	要求	C804	ネットワーク制御		要求
C230		応答	C814			応答
C420(C421)	障害取消アドバイス	要求				
C430		応答				

8. 2. 3 電文認証値

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
電文認証値	送信電文の認証値	32ビット列, 4バイト

②本手順での規定

業務系電文（11XX, 12XX, 14XX, 15XX）送信時に、DES CBC方式にて算出した電文認証値を設定する。

制御系電文（16XX, 18XX）送信時には、デフォルト値として、LOW VALUE（Hex 00000000）を設定する。

<補足説明>

電文認証方式の詳細については、第7章「セキュリティ制御仕様」を参照。

8. 2. 4 チェックディジット

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
チェックディジット	電文暗号化キー／電文認証キーのチェックディジット	32ビット列, 4バイト

②本手順での規定

業務系電文（11XX, 12XX, 14XX, 15XX）送信時に、電文暗号化、および電文認証で使用するKC、KMACのチェックディジットを設定する。

キー交換電文送信時に、交換する暗号化キー自体のチェックディジットを設定する。交換対象キー以外のチェックディジットは、デフォルト値として、LOW VALUE（Hex 0000）を設定する。

- ・電文暗号化キー（KC）のチェックディジットは、1ビット～16ビットに設定される。
- ・電文認証キー（KMAC）のチェックディジットは、17ビット～32ビットに設定される。

キー交換電文以外の制御系電文（16XX, 18XX）送信時は、デフォルト値として、LOW VALUE（Hex 00000000）を設定する。

<補足説明>

チェックディジット算出方式の詳細は、第7章「セキュリティ制御仕様」を参照。

8. 2. 5 仕向区分

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
仕向区分	電文送信元センターの接続形態	BCD, n2, 1バイト

②本手順での規定

加盟店センターまたはオンライン端末の識別を示す。

コード値

- 10 : 【予備】
 11 : オンライン端末取引
 20 : センター間取引（送信先判定代行なし）
 21 : センター間取引（送信先判定代行あり）
 30 : 【予備】
 31 : 情報処理センター間接続のCCT取引
 40 : 【予備】
 41 : 情報処理センター間接続のセンター間取引

<補足説明>

仕向区分「31」および「41」の仕様については、CARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）別冊「情報処理センター接続仕様」を参照。

8. 2. 6 カット対象日付

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
カット対象日付	カットオーバー日付	BCD, n8, 4バイト

②本手順での規定

要求／応答の区別無く、各センターにて認識しているカットオーバー日付を設定する。YYYYMMDDの形式とする。ただし、アドバイス要求・応答の再送電文は、再送中にカットオーバー日付が更新した場合でも、元要求・元応答を送信した時点での日付を設定する。

<補足説明>

カット対象日付設定基準の詳細は、第6章「オンライン精査仕様」を参照。

8. 2. 7 BODY部電文長

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
BODY部電文長	BODY部のレンジス情報	BCD, n4, 2バイト

②本手順での規定

BODY部の長さを設定する。暗号化対象電文については、暗号化前（平文）のBODY部を対象とする。

CARDNET CONFIDENTIAL

8. 2. 8 カードネット取引識別

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
カードネット取引識別	CARDNETセンターの処理識別情報	BCD, n4, 2バイト

②本手順での規定

CARDNETセンターの処理内容（電文中継処理、各種代行処理等）を識別するコードとして処理形態と処理方式の組み合わせによる4桁のコード値が設定される。カード会社にてCARDNETセンターの各種代行サービスを利用する場合は、上記コード値の識別が必要になる。仕向センターが要求電文に設定する値は"0000"とする。

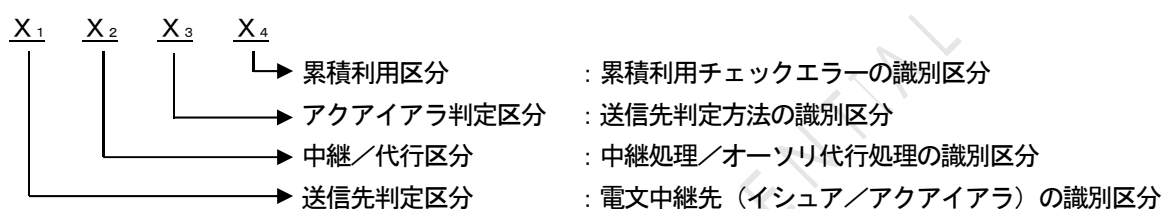


表8-2-1 カードネット取引識別・コード体系

項目	コード値	内容	備考
送信先判定区分(X_1)	0	送信先判定処理無し	
	1	通常中継処理のアクアイアラ向け電文	
	2	イシュアダイレクト処理のイシュア向け電文 注1	
	3	" アクアイアラ向け電文 注1	
	4	送信先切替処理のアクアイアラ向け電文 注1	
	5	" イシュア向け電文 注1	
中継代行区分(X_2)	0	同期中継処理(要求電文)	
	1	非同期中継処理(アドバイス電文)	
	2	フロアリミット判定代行処理 注1	
	3	イシュアリミット判定代行処理 注1	
	4	被仕向センター休止代行処理 注1	
	5	被仕向センター障害代行処理 注1	
アクアイアラ判定区分(X_3)	0	送信先判定処理無し	
	1	加盟店センターでアクアイアラを指定 注1	
	2	CARDNETセンターでアクアイアラを判定 注1	
累積利用区分(X_4)	0	デフォルト値	
	1	累積利用チェックエラー(フロアリミット判定代行) 注1	
	2	" (イシュアリミット判定代行) 注1	

注1：送信先判定処理、オーソリ代行処理の詳細については「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

表 8-2-2 カードネット取引識別とコード値一覧

処理形態 処理方式			送信先 判定無	アクアイ アラ 中継	イシュアダイレクト		送信先切替	
					イシュア中継	アクアイアラ中継	アクアイアラ中継	イシュア中継
同期 中継	送信先判定無		0000	-	-	-	-	-
	送信先 判定有	加盟店指定	-	1010	2010	3010	4010	5010
		CARDNET 判定	-	1020	2020	3020	4020	5020
非同期 中継	送信先判定無		0100	-	-	-	-	-
	送信先 判定有	加盟店指定	-	1110	2110	3110	-	-
		CARDNET 判定	-	1120	2120	3120	-	-
フロア リミット 代行	送信先 判定有	加盟店指定	-	1210 (1211)	2210 (2211)	3210 (3211)	- (4211)	- (5211)
		CARDNET 判定	-	1220 (1221)	2220 (2221)	3220 (3221)	- (4221)	- (5221)
イシュア リミット 代行	送信先 判定有	加盟店指定		1310 (1312)	2310 (2312)	3310 (3312)	- (4312)	- (5312)
		CARDNET 判定		1320 (1322)	2320 (2322)	3320 (3322)	- (4322)	- (5322)
休止代行	送信先判定無		0400	-	-	-	-	-
	送信先 判定有	加盟店指定	-	1410 (141X)	2410 (241X)	3410 (341X)	4410 (441X)	5410 (541X)
		CARDNET 判定	-	1420 (142X)	2420 (242X)	3420 (342X)	4420 (442X)	5420 (542X)
障害代行	送信先判定無		0500	-	-	-	-	-
	送信先 判定有	加盟店指定	-	1510 (151X)	2510 (251X)	3510 (351X)	4510 (451X)	5510 (551X)
		CARDNET 判定	-	1520 (152X)	2520 (252X)	3520 (352X)	4520 (452X)	5520 (552X)

注： 内コード値の設定基準および各種代行処理の詳細については「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

8. 2. 9 カードネット取引通番

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
カードネット取引通番	CARDNETセンターの処理通番	BCD, n12, 6バイト

②本手順での規定

CARDNETセンターにて処理通番を設定する。CARDNETセンターへの取引に関する問い合わせ、照会時に使用される。

仕向センターにて要求電文送信時のデフォルト値は、ALL 0 (Hex 000000000000) とする。

8. 2. 10 カードネット使用域

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
カードネット使用域	CARDNETセンターの使用フィールド	16ビット列, 2バイト

②本手順での規定

CARDNETセンターで使用するフィールドとする。

仕向センターにて要求電文送信時のデフォルト値は、LOW VALUE (Hex 0000) とする。

8. 2. 11 予備

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
予備	予備フィールド	JIS8, anp2, 2バイト

②本手順での規定

業務共通ヘッダーの予備フィールド。デフォルト値としてスペースを設定する。

8. 3 BODY部

BODY部のMTI、ビットマップ、およびデータエレメントに関する各項目の内容および設定基準を定義する。

8. 3. 1 MTI (Message Type ID)

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
MTI	ISO8583の電文識別情報	JIS8, n4, 4バイト

②本手順での規定

ISO8583（93年度版）に準拠した電文種別を識別するコードが設定される。
取引特定キー（トランザクションID）の1項目として使用される。

表8－3 MTI一覧

コード値	内容		コード値	内容		
1100	オーソリ	要求	1522	オンライン精査	仕向精査	要求
1110		応答	1532			応答
1120(1121)	オーソリ アドバイス	要求	1520		被仕向精査	要求
1130		応答	1530			応答
1200	売上	要求	1644	汎用通知	カットオーバー依頼	通知
1210		応答	1644		障害電文通知	
1220(1221)	売上アドバイス	要求	1804	ネットワーク制御		要求
1230		応答	1814			応答
1420(1421)	障害取消 アドバイス	要求				
1430		応答				

8. 3. 2 ビットマップ

①データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
ビットマップ	ビットマップ	b, b64(or b128), 8バイト(or 16バイト)

②本手順での規定

データエレメントのフィールドレイアウトを表すビット列で、プライマリービットマップとセカンダリービットマップにて構成される。

<補足説明>

ビットマップ形式の詳細については、第3章「電文構成仕様」を参照。

8. 3. 4 BIT3 : プロセシングコード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
3	プロセシングコード	取消／返品識別コード	JIS8, n6, 6バイト

②本手順での規定

オーソリ、売上、障害取消業務において取消／返品の見別を示す。CN手順では、以下に示すコード値のみを有効とする。

障害取消業務においては、取消対象の元取引（オリジナル）と同一コードを設定する。

表8-4 プロセシングコード一覧

MTI	オンライン業務	コード値	MTI	取消対象 MTI	取消対象 オンライン業務	コード値
11XX	オーソリ、承認後オーソリ	000000	14XX	11XX	オーソリ、承認後オーソリ	000000
	オーソリ取消／返品、 承認後オーソリ取消／返品	200000			オーソリ取消／返品、 承認後オーソリ取消／返品	200000
	海外キャッシング	010000			海外キャッシング	010000
	事前承認	000000			事前承認	000000
	事前承認取消	200000			事前承認取消	200000
	無効カード照会	360000			無効カード照会	360000
12XX	売上	000000	12XX	12XX	売上	000000
	売上取消／返品	200000			売上取消／返品	200000
	承認後売上	000000			承認後売上	000000
	承認後売上／返品	200000			承認後売上／返品	200000

8. 3. 5 BIT4 : 取引金額

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
4	取引金額	取引金額	JIS8, n12, 12バイト

②本手順での規定

オーソリ、売上、障害取消業務において取扱金額を設定する。日本円で税・送料を含む金額を設定する。設定可能な金額桁数はMax 8 桁（上 4 桁はALL " 0 " 固定）とする。

a) 要求電文の指定事項

- ・対象取引の取扱金額を設定する。
- ・無効カード照会業務では、0円を設定する。
- ・オーソリ／売上アドバイス業務では、仕向側システムの代行処理による承認金額を、設定する。拒否結果のアドバイス電文では、0円を設定する。
- ・障害取消業務では、取消対象元取引の応答電文の金額を設定する。但し、元取引がタイムアウトした場合は、元取引の要求電文の金額を設定する。

b) 応答電文の指定事項

- ・承認応答の場合は、承認した金額を設定する。
- ・拒否応答の場合は、0円を設定する。

<売上データ 120バイトご利用時の桁数に関するご留意事項>

仕向センターにて8桁以上の金額を設定された場合、CARDNETセンターの売上データ提供（フォーマット：120バイト）をご利用される接続先センターにおいては、売上データの売上金額・売上合計がMax 7桁であることにより、桁数オーバーとなり該当の売上データが作成されずエラーとなります。エラーとなった場合は、仕向センターと被仕向センターにて個別にご調整が必要となりますのでご注意ください。

※CARDNETセンターから提供する売上データがエラーとなった場合は、「売上データ作成エラーリスト」を被仕向センターに送付させていただきます。

詳細は「CARDNET接続条件書（バッチ機能編）別冊 売上データ提供仕様」をご参照ください。

8. 3. 6 BIT11：システムトレースオーディットナンバー

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
11	システムトレースオーディットナンバー	仕向センターの処理通番	JIS8, n6, 6バイト

②本手順での規定

センター間取引

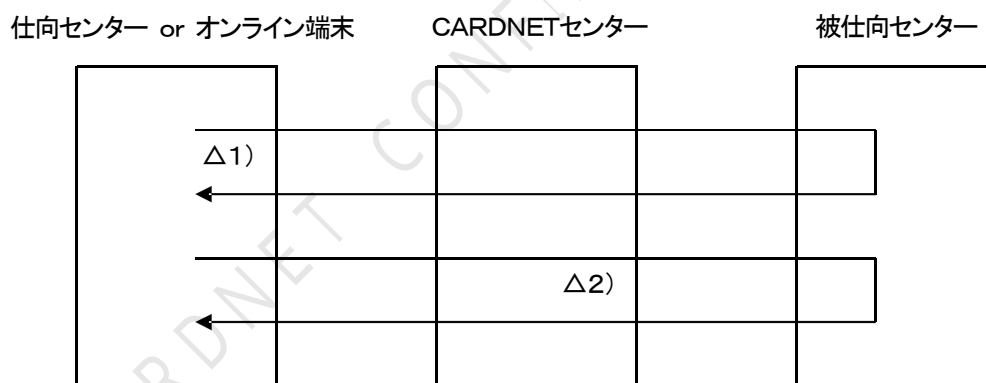
仕向センターにて、加盟店会社コード（BIT32）毎、現地取引日時（BIT12）毎にユニークに採番し設定される。（下図1）

オンライン端末取引

CARDNETセンターで採番し設定される。（下図2）

取引特定キー（トランザクションID）の1項目として使用され、要求・応答・再送・結果通知といった一連の取引を通して、フィールド値は変化しない。

”000000”は使用不可とする。



- 1) センター間取引の採番箇所
- 2) オンライン端末取引の採番箇所

図8-3 システムトレースオーディットナンバー採番箇所

8. 3. 7 BIT12 : 現地取引日時

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
12	現地取引日時	仕向センターのシステム日時	JIS8, n12, 12バイト

②本手順での規定

センター間取引

仕向センターにてシステム日時を設定する。日本時間を標準とし、YYMMDDhhmmssの形式（YYは西暦の下2桁）とする。

オンライン端末取引

CARDNETセンターのシステム日時を設定する。

取引特定キー（トランザクションID）の1項目として使用され、要求・応答・再送・結果通知といった一連の取引を通して、フィールド値は変化しない。

8. 3. 8 BIT14 : 有効期限

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
14	有効期限	カードの有効期限	JIS8, n4, 4バイト

②本手順での規定

マニュアル入力によるオーソリ、売上業務において、入力有効期限を設定する。YYMMの形式（YYは西暦の下2桁）とする。

8. 3. 9 BIT17 : 収集日**①データ定義**

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
17	収集日	取引売上日	JIS8, n4, 4バイト

②本手順での規定

売上業務において、取引の売上日情報としてカードが使用された日（会員控えの印字日）を設定する。MMDDの形式とする。

<補足説明>

イシュアダイレクト処理時、およびオーソリ代行処理時は、CARDNETセンターにて当項目を編集する。仕様詳細については「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

8. 3. 10 BIT18 : 商品コード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
18	商品コード	商品コード	JIS8, n4, 4バイト

②本手順での規定

オーソリ、売上業務において、入力された商品コードを設定する。商品コード一覧を表8-5に示す。なお、表8-5に規定のないコードを使用する場合は、仕向センターと被仕向センターとで事前に調整することとする（ただし先頭1桁は0とする）。

表8-5 商品コード一覧

コード値	商品名・サービス名	コード値	商品名・サービス名	コード値	商品名・サービス名
00XX	海外利用	0231	国際パッケージ旅行	0655	エアコン
0000	海外一般利用	0240	レンタカー・タクシー・ハイヤー	0656	DVDプレーヤー
0010	海外キャッシュサービス	0250	引越代金	0657	液晶テレビ
0020	海外通販1(電話)	03XX	サービス(1)	0660	照明器具
0021	〃 旅行・運輸	0300	宿泊	0670	携帯電話、PHS
0022	〃 サービス	0310	食事・宴会	0680	OA機器
0023	〃 物品(1)	0320	飲食	0681	パソコン
0024	〃 物品(2)	0330	施設利用料・結婚式場	0682	OA周辺機器
0025	〃 物品流通券	0331	ゴルフプレー	0683	ノート型パソコン
0030	海外通販2(郵便)	0332	入場料(テーマパーク)	07XX	物品(3)
0031	〃 旅行・運輸	0333	カラオケ	0710	自動車・自動二輪
0032	〃 サービス	0340	入浴(サウナ)	0720	自動車
0033	〃 物品(1)	0350	不動産	0730	中古車
0034	〃 物品(2)	0351	リフォーム	0750	ガソリン類
0035	〃 物品流通券	04XX	サービス(2)	0760	タイヤ、カーエアコン、 その他自動車用品
0040	海外医療	0400	修理・営繕(含車検)	0770	カーナビ
0050	海外学費	0410	理容・美容	0790	メガネ、コンタクト
0060	海外宿泊	0411	エステティックサロン	08XX	物品(4)
0070	海外レンタカー	0412	ネイルサロン	0810	薬・化粧品
0080	海外交通費	0420	医療	0820	家庭用雑貨
0090	海外飲食	0421	マッサージ・カイロプラクティック	0830	衣服
01XX	ローン・C/S	0430	通話料	0831	毛皮・生地
0100	C/S	0431	国内通話料	0832	呉服
0110	ローン	0432	国際通話料	0840	バッグ・カバン
0120	通販	0433	携帯電話、PHS通話料	0850	靴
0121	〃 旅行・運輸	0440	受講料、学費	0860	寝具・カーペット
0122	〃 サービス	0450	保険料	0870	身辺雑貨品
0123	〃 物品(1)	0460	新聞購読料	0880	家具
0124	〃 物品(2)	0470	公共料金	0890	食料品
0125	〃 物品流通券	0480	RESERVE	0891	健康食品
0130	インターネット通販	049X	EXCEPTION (カード会社独自使用可)	0892	酒類
0131	〃 旅行・運輸	05XX	物品(1)	0893	土産
0132	〃 サービス	0500	宝石・貴金属	0894	花
0133	〃 物品(1)	0510	指輪	09XX	物品(5)
0134	〃 物品(2)	0540	時計	0910	スポーツ用品、玩具、人形
0135	〃 物品流通券	0541	ライタ	0911	ゴルフボール
0136	プロバイダー利用料	0560	カメラ(含レンズ・8ミリ)	0912	クラブセット
0137	デジタルコンテンツ	0561	ビデオカメラ	0913	ゲーム機・ゲームソフト
02XX	旅行・運輸	0562	デジタルカメラ	0914	ペット
0200	鉄道・バス運賃	0570	事務用品	0920	書籍、レコード
0201	鉄道回数券	0590	RESERVE	0921	CDレンタル
0202	プリペイドカード(鉄道・バス)	06XX	物品(2)	0950	楽器
0203	鉄道定期券・周遊券	0610	工具・園芸用品	0970	美術、骨董品、古銭、切手
0210	国内航空券	0650	電気製品	0971	陶磁器
0211	航空回数券	0652	音響製品(ステレオ・ラジオ・アンプ)	0980	進物、歳暮、中元
0212	国際航空券	0653	ビデオ	0981	流通券(ビール、ハム、ショウユ、図書、旅行券)
0220	乗船券	0654	テレビ	0990	区分けできないもの
0230	国内パッケージ旅行				

<補足説明>

- ①オンライン端末取引において、商品コードの設定がなかった場合（または0000を入力された場合）、かつCARDNETセンターに加盟店ブランド情報テーブルが登録されている場合は、CARDNETセンターにて加盟店ブランド情報テーブルに登録されている該当ブランドの商品コードを設定する。
- ②オンライン端末取引において、商品コードの設定がなかった場合（または0000を入力された場合）、かつCARDNETセンターに加盟店ブランド情報テーブルが登録されていない場合は、CARDNETセンターにて0990を設定する。「加盟店ブランド情報テーブル」の詳細については、「CARDNET端末情報登録仕様書」を参照。

CARDNET CONFIDENTIAL

8. 3. 11 BIT22 : POSデータコード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
22	POSデータコード	カード区分、PIN入力有無	JIS8, an12, 12バイト

②本手順での規定

端末の能力、環境、カードの使用方法等を識別するコードが設定される。
CAFIS手順への変換については、「9. 7 CAFIS手順への変換について」を参照。

a) 各桁の意味

POSデータコードの各桁の意味は以下のとおり。

X ₁	X ₂	X ₃	X ₄	X ₅	X ₆	X ₇	X ₈	X ₉	X ₁₀	X ₁₁	X ₁₂
----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------

桁数	意味	
1桁目 (X ₁)	端末の能力 (注)	<u>カードデータ入力方法</u> 端末が有する、カードの情報を読み取るための機能を示す
2桁目 (X ₂)		<u>会員の認証方法</u> 端末が有する、会員を認証するための機能を示す
3桁目 (X ₃)		<u>カード取り込み機能</u> 端末のカード取り込み能力の有無を示す
4桁目 (X ₄)	環境 (注)	<u>操作環境</u> 端末の操作環境および場所を示す
5桁目 (X ₅)		<u>会員の存在</u> 会員がその場にいるかどうか、いない場合はその理由を示す
6桁目 (X ₆)		<u>カードの存在</u> カードがその場に存在するかを示す
7桁目 (X ₇)	実際の使用方法 (注)	<u>カードデータ入力モード</u> カードの情報を端末へ入力するために使用された方法を示す
8桁目 (X ₈)		<u>会員の認証方法</u> 会員を認証するために使用された方法を示す
9桁目 (X ₉)		<u>会員認証の実在</u> 会員を認証した方法を示す
10桁目 (X ₁₀)		<u>カードデータ出力方法</u> 端末の、カードを更新する能力を示す
11桁目 (X ₁₁)		<u>端末出力方法</u> 端末のメッセージを印刷／表示する能力を示す
12桁目 (X ₁₂)		<u>PIN入力情報</u> 端末が取得したPINの長さを示す

(注) 原則として、「端末の能力」・「環境」は端末に一意の値、「実際の使用方法」は取引に応じた値を設定する。

b) 各桁のコード値

◆ 1 桁目：カードデータ入力方法

コード値	意味
0	未定義
1	マニュアル入力
2	磁気ストライプ
3	バーコード
4	OCR
5	ICカード
6	キーボード入力
7～9	未使用
A	非接触C(国際クレジットEMV相当)
B	非接触C(国際クレジットMS相当)
C	非接触C(国内独自スキーム)
D～X	未使用
Y	EC
Z	未使用

<補足説明>

センター間取引

- ・同一端末が複数の機能を有する場合は、以下の優先順位で設定する。
A > B > 5 > C > 2 > Y > 1 > 3 > 4 > 6 > 0
- ・複数の端末を利用する加盟店の場合は、各端末に応じた値の設定を推奨する。ただし、端末毎の設定が難しい場合、加盟店はカード会社と協議の上、値を決定するものとする。

オンライン端末取引

- ・オンライン端末取引では、“2”，“5”，“A”，“C”を使用する。
- ・同一端末が複数の機能を有する場合は、以下の優先順位で設定する。
A > 5 > C > 2

◆ 2 桁目：会員の認証方法

コード値	意味
0	認証なし
1	PIN
2	電気的なサイン確認
3	声紋／指紋等による確認
4	筆跡
5	認証未稼働
6	その他
7	ICクレジットカードオフライン平文PIN認証
8	ICクレジットカードオンライン暗号PIN認証
9	ICクレジットカードオフライン暗号PIN認証
A	3-D Secure ※一部の海外加盟店では、通常のEC取引においても設定する場合あり
B	NoCVM(セレクトابلカーネル) ※一定金額超過時にPIN入力を行なう場合も含む
C～Z	未使用

<補足説明>

センター間取引

- ・同一端末が複数の機能を有する場合は、以下の優先順位で設定する。
9 > 8 > 7 > 1 > B > A > 2 > 3 > 4 > 5 > 0 > 6
- ・複数の端末を利用する加盟店の場合は、各端末に応じた値の設定を推奨する。ただし、端末毎の設定が難しい場合、加盟店はカード会社と協議の上、値を決定するものとする。

オンライン端末取引

- ・オンライン端末取引では、“0”，“1”，“9”，“B”を使用する。
- ・同一端末が複数の機能を有する場合は、以下の優先順位で設定する。
9 > 1 > B > 0

◆3桁目：カード取り込み機能

コード値	意味
0	なし
1	取り込み
2	ICクレジットカード静的データ認証
3	ICクレジットカード動的データ認証
4～Z	未使用

<補足説明>

センター間取引

- ・同一端末が複数機能を有する場合は、以下の優先順位で設定する。
3 > 2 > 1 > 0
- ・複数の端末を利用する加盟店の場合は、各端末に応じた値の設定を推奨する。ただし、端末毎の設定が難しい場合、加盟店はカード会社と協議の上、値を決定するものとする。

オンライン端末取引

- ・オンライン端末取引では、“0”、“3”を使用する。
- ・同一端末が複数の機能を有する場合は、以下の優先順位で設定する。
3 > 0

◆4桁目：操作環境

コード値	意味
0	端末未使用
1	店内／有人
2	店内／無人
3	店外／有人
4	店外／無人
5	会員／無人
6	mPOS
7	自動販売機
8	未使用
9	個社仕様予約域
A～Z	未使用

<補足説明>

- ・オンライン端末取引では、“9”を固定で使用する。

◆ 5 桁目：会員の存在

コード値	意味
0	対面販売
1	非対面販売(不特定)
2	非対面販売(メールオーダー)
3	非対面販売(電話)
4	非対面販売(リカーリング取引)
5	非対面販売(分割配送／パーシャルシッピング取引)
6～8	未使用
9	個社仕様予約域
A～Z	未使用

<補足説明>

- ・オンライン端末取引では、“9”を固定で使用する。

◆ 6 桁目：カードの存在

コード値	意味
0	カード無し
1	カード有り
2～8	未使用
9	個社仕様予約域
A～Z	未使用

<補足説明>

- ・オンライン端末取引では、“9”を固定で使用する。

◆7桁目：カードデータ入力モード

コード値	意味
0	未定義
1	マニュアル入力
2	磁気カードストライプ読込
3	バーコード
4	OCR
5	ICクレジットカード(IC処理)
6	キーボード入力(マニュアル入力)
7	未使用
8	CARDNET ID変換 ※ "8" が設定された場合は、CARDNETセンターでID変換を実施
9	未使用
A	非接触C(国際クレジットEMV相当)
B	非接触C(国際クレジットMS相当)
C	非接触C(国内独自スキーム)
D	銀聯カード取引(磁気カード、マニュアル入力)
E	銀聯カード取引(ICカード)
F	銀聯カード取引(ICカードMSフォールバック) 直前のIC処理にてアプリケーション選択以降のIC処理ができないことによる磁気カードストライプ読込(=ICクレジットカード対応オンライン端末では、該当KIDのICカードアクアイアラテーブルが存在しない場合のみが対象)
G	銀聯カード取引(非接触Cカード)
H～R	未使用
S	直前のIC処理にてATR異常または、アプリケーション選択エラーによる磁気カードストライプ読込または、PINバイパスMS遷移による磁気カードストライプ読込
T	直前のIC処理にてアプリケーション選択以降のIC処理ができないことによる磁気カードストライプ読込(=ICクレジットカード対応オンライン端末では、該当KIDのICカードアクアイアラテーブルが存在しない場合のみが対象)
U	直前のIC処理にてIC PIN-Pad異常による磁気カードストライプ読込
V	ICチップ読込、かつ磁気ストライプ相当処理(MS相当処理)
W～X	未使用
Y	EC取引等による設定
Z	磁気ストライプ変換処理適用 (JIS I 第1トラック情報→JIS I 第2トラック情報への変換等)

<補足説明>

- ・オンライン端末取引では、"2"、"5"、"6"、"8"、"A"～"G"、"S"、"T"、"V"を使用する。

<注意事項>

7桁目に"8"が設定された電文(※)は、必ずCARDNETセンターにてID変換を実施する。CARDNETセンターに該当のID変換データが存在しない場合、拒否応答(国内レスポンスコード:P85)する。

※マニュアル入力電文(アドバイス電文を除く)のみ設定可能。

◆ 8 桁目：会員の認証方法

コード値	意味
0	認証なし(オンライン端末取引のサインレス)
1	PIN
2	電氣的なサイン確認
3	声紋／指紋等による確認
4	筆跡
5	目視によるサイン確認
6	その他の確認
7	ICクレジットカードオフライン平文PIN認証
8	ICクレジットカードオンライン暗号PIN認証
9	ICクレジットカードオフライン平文PIN認証と署名
A	ICクレジットカードオフライン暗号PIN認証
B	ICクレジットカードオフライン暗号PIN認証と署名
C	3-D Secure ※一部の海外加盟店では、通常のEC取引においても設定する場合あり
D	NoCVM(セレクトابلカーネル)
E～R	未使用
S	携帯電話機への暗証番号入力等による確認
T～Z	未使用

<補足説明>

- ・オンライン端末取引では、“0”，“1”，“5”，“7”，“9”～“B”，“D”，“S”を使用する。

◆ 9 桁目：会員認証の実在

コード値	意味
0	認証なし
1	ICカード
2	CAD
3	オーソリエージェント
4	小売商による
5	その他
6～8	未使用
9	個社仕様予約域
A	未使用
B	3-D Secure ※一部の海外加盟店では、通常のEC取引においても設定する場合あり
C～Z	未使用

<補足説明>

- ・オンライン端末取引では、“9”を固定で使用する。

◆10桁目：カードデータ出力方法

コード値	意味
0	未定義
1	なし
2	磁気ストライプの書込
3	ICカード
4～8	未使用
9	個社仕様予約域
A～Z	未使用

<補足説明>

- ・オンライン端末取引では、“9”を固定で使用する。

◆11桁目：端末出力方法

コード値	意味
0	未定義
1	なし
2	印刷
3	表示(プリンタなし)
4	印刷と表示(スプロケットプリンタ)
5	プリンタレスCCT(現状未使用)
6	ペーパーレスCCT
7～8	未使用
9	印刷と表示(ジャーナルプリンタ)
A～Z	未使用

<補足説明>

- ・オンライン端末取引では、“3”、“4”、“6”、“9”を使用する。

◆12桁目：PIN入力情報

コード値	意味
0	PIN取得なし
1	PIN取得不明
2～3	未使用
4～C	暗証桁数
D～R	未使用
S	PIN所得あり(桁数不明)
T～Z	未使用

<補足説明>

- ・オンライン端末取引では、“0”、“4”～“C”を使用する。

8. 3. 12 BIT24 : ファンクションコード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
24	ファンクションコード	業務識別情報	JIS8, n3, 3バイト

②本手順での規定

オーソリ、売上、障害取消業務においてオンライン業務の識別を示す。CN手順では、以下に示すコード値のみを有効とする。

表8-7 ファンクションコード一覧

MTI	オンライン業務	コード値	MTI	オンライン業務	コード値
11XX	オーソリ	100	15XX	オンライン精査	500
	オーソリ取消／返品	100	16XX	障害電文通知 カットオーバー依頼	650
	事前承認	101			821
	事前承認取消	101	18XX	開局 閉局 キー交換 カットオーバー エコーテスト	801
	承認後オーソリ	100			802
	承認後オーソリ取消／返品	100			811
	無効カード照会	108			821
12XX	売上	200			831
	売上取消／返品	200	14XX	障害取消	
	承認後売上	201			
	承認後売上／返品	201			

<補足説明>

イシュアダイレクト処理時およびオーソリ代行処理時は、CARDNETセンターにて当項目を編集する。仕様詳細については「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

8. 3. 13 BIT25 : メッセージ理由コード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
25	メッセージ理由コード	取引理由、取引目的	JIS8, n4, 4バイト

②本手順での規定

取引の詳細な理由、および目的を示す。現状では、以下のコード値をサポートする。

表8-8 メッセージ理由コード一覧

コード値	内容	備考
1511	カード不正使用の疑い有り	センター間取引 加盟店で判断し設定されるコード →設定条件はカード会社と協議の上決定する。 オンライン端末取引 端末にて商品コード " 9999 " が入力された場合に 設定されるコード
9999	その他	センター間取引およびオンライン端末取引のデフォルト値

8. 3. 14 BIT26 : 加盟店業種コード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
26	加盟店業種コード	加盟店の業種情報	JIS8, n4, 4バイト

②本手順での規定

加盟店の業種情報が設定される。加盟店業種コード表を次頁の表8-9に示す。デフォルト値は、" 5999 " とする。なお、表8-9に規定のないコードを使用する場合は、仕向センターと被仕向センターとで事前に調整することとする。

<補足説明>

①オンライン端末取引において、CARDNETセンターに加盟店ブランド情報テーブルが登録されている場合は、CARDNETセンターにて、加盟店ブランド情報テーブルに登録されている該当国際ブランドの加盟店業種コードを設定する。

②オンライン端末取引において、CARDNETセンターにて、加盟店ブランド情報テーブルが登録されていない場合は、CARDNETセンターにてデフォルト値（" 5999 "）を設定する。

「加盟店ブランド情報テーブル」の詳細については、「CARDNET端末情報登録仕様書」を参照。

表 8-9-1 加盟店業種コード

1/5

区分	コード	説明
農業サービス	0742	獣医のサービス
	0763	農業共同組合
	0780	園芸、造園のサービス
請負サービス	1520	総合建築業者－住宅
	1711	暖房工事、ガス(上下水道)設備、エアコン工事の請負業者
	1731	配線業者
	1740	レンガ工事、石材加工、タイル張り、左官、断熱材の請負業者
	1750	大工工事
	1761	屋根ふき工事、下見張り、板金業
	1771	コンクリート業
運輸	1799	特別な業種の請負業者、その他分類外の業者
	4011	鉄道
	4111	地方や郊外通勤乗客の輸送(連絡船含む)
	4119	救急サービス
	4121	タクシー、リムジン
	4131	路線バス、チャーターバス、ツアーバス
	4214	自動車運送業者、市内や長距離トラック運送、引越および保管
	4215	宅配便サービス－空輸および陸上、運送業者
	4225	公共の卸売問屋－農作物、冷蔵商品、家庭用品、保管
	4411	貨物船、巡航船
	4457	船舶のレンタル、船舶のリース
	4468	停泊所、海洋のサービス、供給品
	4511	航空会社、航空貨物
	4582	空港、飛行場、空港ターミナル
	4722	旅行代理店
	4761	テレマーケティング－旅行関連サービス
	4784	有料道路通行料、橋の通行料
	4789	運輸サービス、その他分類外の業者
公共事業	4812	電話機の販売を含む遠隔通信機器
	4814	市内や長距離の通話、クレジットカード通話、磁気ストライプが読める電話の使用による通話、ファックスサービスを含む遠隔通話サービス
	4821	電報サービス
	4829	振替、為替
	4899	ケーブルサービス
	4900	公共事業－電気、ガス、水道、下水道、衛生
小売店	5211	材木、建築材料の店
	5231	芝生、ペンキ、壁紙の店
	5251	金物屋
	5261	苗木、芝、庭用品の店
	5271	モービルホームの小売商
	5310	ディスカウントショップ
	5311	百貨店
	5331	バラエティショップ
	5399	雑貨店
	5411	食料品店、スーパーマーケット
	5422	冷凍、冷蔵の食肉の糧食供給者
	5441	キャンディ、ナッツ、菓子店
	5451	日用品店
	5462	ベーカリー
	5499	食料雑貨専門店、コンビニエンスストア
	5511	自動車およびトラックの小売商(新車および中古車)、販売、サービス、部品
	5521	自動車およびトラックの小売商(中古車のみ)、販売
	5531	オートストア、家庭用品店

表 8-9-2 加盟店業種コード

2 / 5

区分	コード	説明
小売店	5532	自動車のタイヤ店
	5533	自動車のパーツ、アクセサリ店
	5541	サービスステーション
	5542	自動のガソリンスタンド
	5551	ボートの小売商
	5561	娯楽用や作業用トレーラ、キャンパーの小売商
	5571	オートバイの小売商
	5592	モーターホームの小売商
	5598	スノーモービルの小売商
	5599	その他の自動車小売商、その他分類外の業者
	5611	男性および男児の衣類およびアクセサリーの店
	5621	女性の既製服の店
	5631	女性のアクセサリおよび専門店
	5641	小児および幼児服の店
	5651	家族衣料の店
	5655	スポーツ服、乗馬服の店
	5661	靴店
	5681	毛皮商品、毛皮の店
	5691	男性および女性の衣料店
	5697	仕立て屋、裁縫婦、修理屋、寸法直し店
	5698	かつらおよび小さいかつらの店
	5699	その他の洋服およびアクセサリーの店
	5712	家具、内装用品および道具店、器具を除く
	5713	床材店
	5714	織物、カーテン、室内装飾
	5718	暖炉、暖炉の熱避け用スクリーンおよびアクセサリーの店
	5719	その他内装用品の専門店
	5722	家庭用器具店
	5732	ラジオ、テレビおよびステレオの店
	5733	音楽店、楽器、ピアノ、楽譜
	5734	コンピュータソフトウェアの店
	5735	レコード店
	5811	仕出し店
	5812	食堂、レストラン
	5813	飲酒店(アルコール飲料)ーバー、居酒屋、ナイトクラブ、カクテルラウンジ、ディスコ
	5814	ファーストフードレストラン
	5912	薬局、薬屋
	5921	酒屋、ビール、ワイン、リカー
	5931	中古雑貨、中古品の店
	5932	アンティーク店
	5933	質屋
	5935	廃品回収業者
	5937	アンティーク再生品の店
	5940	自転車店 - 販売、サービス
	5941	スポーツ用品店
	5942	本屋
	5943	文具、オフィス、学校用品店
	5944	宝石、腕時計、壁掛け時計および銀製品の店
	5945	趣味、玩具およびゲームの店
	5946	カメラおよび写真撮影の店
	5947	ギフト、カード、ノベルティおよびお土産の店
	5948	カバンおよび革製品の店
	5949	縫い物、編み物、織物および反物の店
	5950	ガラス製品およびクリスタル製品の店

表 8-9-3 加盟店業種コード

3 / 5

区分	コード	説明
小売店	5961	カタログ注文、本およびレコードクラブを含む通信(郵便)販売の店
	5963	直販業者、訪問販売
	5970	美術用品および工芸品の店
	5971	美術商および画廊商
	5972	切手およびコインの店一切手収集およびコイン収集の用品
	5973	宗教用品の店
	5974	ゴム印の店
	5975	補聴器ー販売、サービス、用品の店
	5976	整形外科の用品ー義手／義足の店
	5977	化粧品店
	5978	タイプライターの店ー販売、サービス、レンタル
	5983	燃料の小売商ー石油、薪、石炭、液化石油
	5992	花屋
	5993	たばこ屋およびスタンド
	5994	新聞屋および新聞のスタンド
	5995	ペット店、ペットフードおよび用品
	5996	スイミングプールー販売およびサービス
	5997	電気剃刀店ー販売およびサービス
	5998	テントおよび日除け(雨覆い)店
	5999	その他の専門小売店
サービス業	6010	金融機関ー手動現金支払
	6011	金融機関ー自動現金支払
	6012	金融機関ー商品およびサービス
	6051	非金融機関ー外国通貨、為替(電信以外)、受領書、トラベラーズチェック、郵便切手
	6211	証券ー仲介人およびディーラ
	6300	保険ー販売および保険の引き受け
	6381	保険の掛け金
	6399	保険、その他分類外の業者
	6611	過払い、返還
	6760	金融債
	7011	ロッジーホテル、モーテル、リゾート
	7032	スポーツおよび娯楽のキャンプ、少年および少女のキャンプ
	7033	トレーラー駐車場、キャンプ場
個別サービス業	7210	洗濯、クリーニングおよび衣類のサービス
	7211	洗濯サービスー家庭および商用
	7216	ドライクリーニング店
	7217	カーペットおよび内装用品クリーニング
	7221	写真スタジオ
	7230	美容院、床屋
	7251	靴修理店、靴磨き屋、帽子クリーニング店
	7261	葬式のサービスおよび火葬場
	7273	デートおよびエスコートサービス
	7276	税金の準備サービス
	7277	カウンセリングサービスー結婚、個人
	7278	買い物、ショッピングのサービス、クラブ
	7279	借金のカウンセリング
	7280	病院患者の個社資金引き出しアカウント
	7295	ベビーシッターのサービス
	7296	貸衣装ー衣装、ユニフォーム
	7297	マッサージ
	7298	健康および美容温泉
	7299	その他の個社サービスーその他分類外の業者

表 8-9-4 加盟店業種コード

4 / 5

区分	コード	説明
ビジネスサービス	7311	広告サービス
	7321	消費者クレジット報告の代理店
	7322	借金徴収代理店
	7332	青写真および写真複写のサービス
	7333	商業用写真、アート、グラフィックス
	7338	即時コピー、再生サービス
	7339	速記サービス
	7341	窓クリーニングのサービス
	7342	駆除および消毒のサービス
	7349	クリーニングおよびメンテナンス、管理人サービス
	7361	職業紹介所、一時雇いサービス
	7372	コンピュータおよびデータ処理サービス
	7389	旅行関係サービス以外のテレマーケティング
	7392	管理、コンサルティング、広報関連サービス
	7393	探偵所、警備所、セキュリティサービス(装甲車、番犬含む)
	7394	器材のレンタルおよびリースサービス、道具のレンタル、家具のレンタル、器具のレンタル
	7395	写真再生所、写真開発
	7399	ビジネスサービスーその他分類外の業者
	7512	自動車レンタルおよびリース
	7513	トラックおよび万能トレーラのレンタル
修理サービス	7519	モーターホームおよびRVレンタル
	7523	駐車場および車庫
	7531	自動車車体修理店
	7534	タイヤのトレッド付け替えおよび修理の店
	7535	自動車塗装店
	7538	自動車修理店(非ディーラ)
	7542	洗車
	7549	牽引サービス
	7622	ラジオ、テレビおよびステレオ修理店
	7623	エアコンおよび冷蔵の修理店
	7629	電気および小器具修理店
	7631	腕時計、壁掛け時計および宝石修理店
	7641	室内装飾および家具修理、家具の再仕上げ
娯楽および催し物	7692	溶接
	7699	その他の修理店および関連サービス
	7832	映画館
	7833	映画館(即時支払サービス)
	7841	レンタルビデオ店
	7911	ダンスホール、スタジオおよびスクール
	7922	演劇プロデューサー(映画除く)、チケット代理店
	7929	バンド、オーケストラ、芸人
	7932	ビリヤードおよびプールの設立
	7933	ボウリング場
	7941	商業スポーツ、プロスポーツクラブ、競技場、スポーツ主催者
	7991	旅行者のアトラクションおよび展示
	7992	ゴルフコースーパブリック
	7993	ビデオ娯楽ゲーム用品
	7994	ビデオゲームアーケードおよび設立
	7995	賭け(宝くじ、カジノチップ、場外馬券および場内馬券含む)
	7996	遊園地、サーカス、祭り、占い師
	7997	会員制クラブ(スポーツ、娯楽、競技)、カントリークラブ、ゴルフコース
	7998	水族館、海洋館、イルカ水族館
	7999	娯楽サービス(スイミングプール、ミニゴルフおよび運動場、スキー場、スポーツおよびゲーム教室、ボートレンタルおよび飛行機レンタル含む)

表 8-9-5 加盟店業種コード

5 / 5

区分	コード	説明
専門職サービス および会員組織	8011	医者
	8021	歯科医、矯正歯科医
	8031	整骨医
	8041	整体士
	8042	検眼医、眼科医
	8043	眼鏡店
	8044	眼鏡用品および眼鏡
	8049	足治療医、足専門医
	8050	看護および個人ケアの施設
	8062	病院
	8071	医学および歯科研究所
	8099	医療サービス、開業医、その他分類外の業者
	8111	法的サービス、弁護士
	8211	小学校、中学校
	8220	単科大学、総合大学、専門学校および短期大学
	8241	通信教育学校
	8244	ビジネスおよび秘書学校
	8249	職業訓練校および商業学校
	8299	学校および教育サービス、その他分類外の業者
	8351	子供の世話サービス
	8398	慈善および社会サービス団体
	8641	市民、社会および友愛団体
	8651	政治団体
	8661	宗教団体
	8675	自動車団体
	8699	会員制団体、その他分類外の業者
	8911	建築、工学および測量のサービス
	8931	経理、監査および簿記のサービス
	8999	専門職のサービス、その他分類外の業者
行政サービス	9211	裁判費用(扶助料および養育費含む)
	9222	罰金
	9223	保釈金および保証金の支払
	9311	税金の支払
	9399	行政サービス、その他分類外の業者
	9401	食券
	9411	行政ローン支払

8. 3. 15 BIT28 : 精査日

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
28	精査日	精査対象日、カットオーバー日付	JIS8, n6, 6バイト

②本手順での規定

オンライン精査対象日やカットオーバー日付が設定される。YYMMDDの形式（YYは西暦の下2桁）とする。

a) オンライン精査電文（1520/1522）での指定事項

CARDNETセンターにて、オンライン精査の対象日を設定する。

b) カットオーバー電文（1814）での指定事項

CARDNETセンターにて、カット対象日付の更新処理時に更新する日付を設定する。

CARDNETセンターにて、カット対象日付の通知処理時に現在の日付を設定する。

c) オーソリ、売上電文（1110/1130/1210/1230）での指定事項

オーソリゼーションの判定を行った会社（BIT58 オーソリ判定会社コード）が任意に設定する。

d) 障害取消電文（1420）での指定事項

取消対象の元取引応答の設定値をセットする。元取引がタイムアウトした場合は、電文送信元センターのシステム日付を設定する。

8. 3. 16 BIT30 : オリジナル金額

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
30	オリジナル金額	元取引の取引金額	JIS8, n24, 24バイト

②本手順での規定

オーソリ／売上業務、オーソリアドバイス（許可）／売上アドバイス（許可）業務の要求電文送信時は、取引金額（BIT4）と同一値を設定する。オーソリアドバイス（拒否）／売上アドバイス（拒否）業務の要求電文送信時は、拒否となった元取引の取引金額を設定する。

応答電文送信時は、要求電文の金額を保証して設定する。応答、取消／返品、障害取消、結果通知といった一連の取引を通じて、フィールド値は変化しない。

オリジナル金額は、取引金額サブフィールドと精算金額サブフィールドより構成される。当手順では、取引金額フィールドのみを使用する。精算金額フィールドは使用しない。また、設定可能なオリジナル取引金額の桁数はMax 8 桁（上 4 桁はALL " 0 " 固定）とする。

表 8－10 サブフィールド構成

サブフィールド	オリジナル取引金額(n12)	オリジナル精算金額(n12)
設定値(設定金額)	元取引の取引金額(BIT4)を設定	デフォルト値(ALL " 0 ")を設定

12バイト

12バイト

8. 3. 17 BIT32 : 加盟店会社コード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
32	加盟店会社コード	個々の加盟店を識別するコード	JIS8, anp11, 13バイト, LLVAR

②本手順での規定

センター間取引

加盟店センター配下の複数加盟店を識別する1項目として使用される。実際に加盟店契約カード会社と契約をしている単位（支店等）で設定される。

- ・加盟店端末番号（BIT41）との組み合わせで取引発生元の売場や端末を識別する。
- ・加盟店センターと加盟店が同一の場合は、原則として差出センターID（共通制御ヘッダー）と同一値が設定される。

オンライン端末取引

“02100” + “1” + “端末設置カード会社” が設定される。

└国内使用予約域（BIT60）の端末識別番号の上5桁

取引特定キー（トランザクションID）の1項目として使用され、要求、応答、再送、結果通知といった一連の取引を通して、フィールド値は変化しない。

障害取消を送信する場合は、原則として元取引要求の値を保証する。ただし、CARDNETセンターがタイムアウトを検知して被仕向センターへ障害取消を送信する場合は、CARDNETセンターIDを設定する（元取引の値を保証しない）。

8. 3. 18 BIT35 : JIS I 第2トラック情報

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
35	JIS I 第2トラック情報	JIS I 第2トラック(ABA)データ JIS I 第2トラック(国内専用)データ	JIS8, ans..37 Max39バイト, LLVAR

②本手順での規定

オーソリ、売上、障害取消業務において、JIS I ストラップ読み込み時に設定される。

- ・実際のトラック情報から、始め符号、終り符号、LRC符号を除いた最大37桁を設定する。
- ・フィールド属性はJIS8の為、読み込みイメージをキャラクター変換して設定する。

レングス (2バイト)	会員番号 (Max19バイト)	分離符号 " = " (1バイト)	有効期限 (4バイト)	IQCサービス コード (3バイト)	任意データ
レングス部		データ部			

図8－4－1 JIS I 第2トラック情報 (ABA)

レングス (2バイト)	広義の会員番号(Max19桁)					分離符号 (1バイト)	有効期限 (4バイト)
	MI (1バイト)	国コード (3バイト)	業態区分 (1バイト)	狭義の会員番号 (Max13バイト)	CD (1バイト)		
	" 9 "		" 392 "			" = "	
レングス部		データ部					

IQCサービス コード (3バイト)	任意データ (5バイト)	業態区分 (1バイト)	企業コード (4バイト)
データ部			

図8－4－2 JIS I 第2トラック情報 (国内専用)

8. 3. 19 BIT37 : リトリールリファレンスナンバー

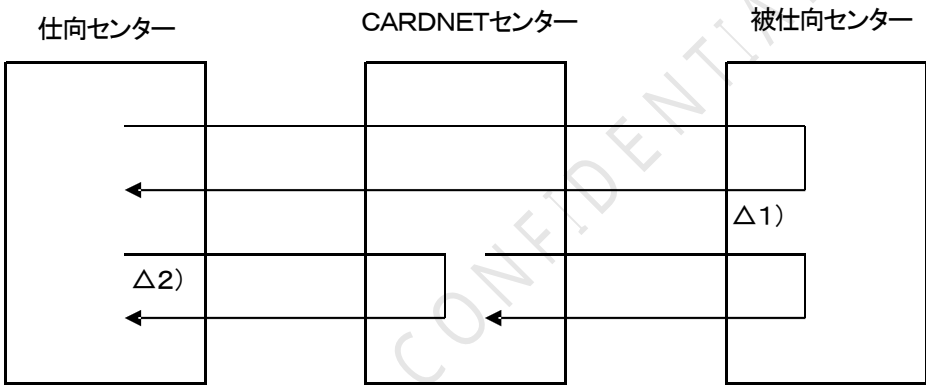
①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
37	リトリールリファレンスナンバー	オーソリゼーション 判定センターの処理通番	JIS8, anp12, 12バイト

②本手順での規定

オーソリゼーションの判定を行った会社（BIT58 オーソリ判定会社コード）が処理通番として設定する。

オフラインで取引照会キーの1項目として使用する為、一定時間内の取引中でユニークに採番する。



- 1) 同期中継処理時の採番箇所
- 2) 非同期中継処理時の採番箇所

図8－5 リトリールリファレンスナンバー採番箇所

8. 3. 20 BIT38 : 承認コード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
38	承認コード	承認コード	JIS8, anp6, 6バイト

②本手順での規定

オーソリゼーションの判定を行った会社（BIT58 オーソリ判定会社コード）が設定する。

拒否応答時は、デフォルト値として " 000000 " を設定する。

障害取消業務では、元取引応答の値を設定する。但し、元取引がタイムアウトした場合は、
" 000000 " を設定する。

8. 3. 21 BIT39 : アクションコード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
39	アクションコード	エラーコード	JIS8, n3, 3バイト

②本手順での規定

取引の処理結果を示すエラーコード情報を設定する。アクションコードの詳細は、9. 6
「エラーコード設定基準」を参照。

8. 3. 22 BIT41 : 加盟店端末番号

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
41	加盟店端末番号	取引発生元の端末識別番号	JIS8, n8, 8バイト

②本手順での規定

加盟店の取引発生元端末を特定する為の識別番号として使用する。

センター間取引

- ・加盟店会社コード（BIT32）の詳細情報として使用する場合は、コード体系をカード会社へ通知する。詳細は「CARDNETテーブル情報設定説明書」を参照。
- ・1桁～3桁の部分は、オンライン端末の採番範囲である「500～699」は使用不可とする。
- ・詳細な入力端末の識別が必要な場合は、国内使用領域（BIT60）中の端末識別番号サブフィールドを使用する。

オンライン端末取引

- ・国内使用領域（BIT60）中の端末識別番号の下8桁を設定する。

8. 3. 23 BIT42 : 加盟店番号

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
42	加盟店番号	加盟店の管理番号	JIS8, anp15, 15バイト

②本手順での規定

カード会社の管理基準で採番された加盟店番号を設定する。番号体系はカード会社各社が各加盟店に割り当てたものを使用する。

センター間取引

デフォルト値は、"スペース"とする。仕向センターが送信先判定代行利用時に設定値がデフォルトの場合は、CARDNETセンターにて管理する加盟店番号を編集する。センター間取引の障害取消業務では、取消対象元取引の応答電文の値を設定する。但し、元取引がタイムアウトした場合は、元取引の要求電文の値を設定する。

オンライン端末取引

CARDNETセンターから被仕向センターへの要求電文にはオンライン端末毎に登録された値が設定される。

8. 3. 24 BIT43 : 加盟店名／所在地

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
43	加盟店名／所在地	加盟店名と所在地	JIS8, anp40, 42バイト, LLVAR

②本手順での規定

加盟店名、所在都市名を設定する。以下のサブフィールドで構成される。

表8-11 サブフィールド構成

サブフィールド	加盟店名 (anp23)	所在都市名 (anp14)	国コード (anp3)
センター間取引	加盟店名(左詰、余りスペース) 例)ABC DEPARTMENT	所在都市名(左詰、余りスペース) 例)YOKOHAMA	392 (デフォルト)
オンライン 端末取引	端末情報登録の加盟店ブランド情報 テーブルで加盟店／所在地の指定が ある場合は、テーブルより値を設定。 指定がない場合 CARDNET△CCT (左詰、余りスペース)	端末情報登録の加盟店ブランド情報 テーブルで加盟店／所在地の指定が ある場合は、テーブルより値を設定。 指定がない場合 TOKYO(左詰、余りスペース)	392 (デフォルト)
23バイト		14バイト	3バイト

<補足説明>

イシュアダイレクト処理時、およびオーソリ代行処理時は、CARDNETセンターにて当項目を編集する。仕様詳細については「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

8. 3. 25 BIT47 : JIS II トラック情報

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
47	JIS II トラック情報	JIS II トラックデータ	JIS8, ans69, 72バイト, LLLVAR

②本手順での規定

オーソリ、売上、障害取消業務において、JIS II ストライプ読み込み時に設定される。

- ・実際のトラック情報から、始め符号、終り符号、LRC符号を除いた69桁を設定する。
- ・フィールド属性はJIS8の為、読み込みイメージをキャラクター変換し設定する。

レングス (3バイト)	IDマーク (1バイト)	業態 (1バイト)	任意データ (4バイト)	会社コード (4バイト)	任意データ (59バイト)
レングス部			データ部		

図8－6 JIS II トラック情報 (BIT47)

<補足説明>

- ・会員番号フィールド (BIT2) の設定時は、データ部の11桁目～26桁目まで最大16バイトを会員番号として設定する。
- ・各種代行サービス利用時に会員番号や有効期限等を使用する場合は、予め任意データエリアを指定する。詳細は「CARDNET接続条件書 (代行機能編)」、「CARDNETテーブル情報設定説明書」を参照。

8. 3. 26 BIT48 : 国内レスポンスコード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
48	国内レスポンスコード	国内体系エラーコード	JIS8, anp5, 8バイト, LLLVAR

②本手順での規定

アクションコード（BIT39）の補足情報として設定される。サブフィールドは設定フラグおよび国内レスポンスコードで構成される。

表 8-12-1 サブフィールド構成＜同期中継の場合 注1＞

送信方向	被仕向センター⇒CARDNETセンター		CARDNETセンター⇒仕向センター	
サブフィールド	設定フラグ(n2)	国内レスポンスコード(anp3)	設定フラグ(n2)	国内レスポンスコード(anp3)
設定値	設定あり " 01 " 注2	スペース(許可) または エラーコードを設定	設定あり " 01 "	被仕向センター 設定の値

注1：同期中継の場合、仕向センターからCARDNETセンターおよびCARDNETセンターから被仕向センターへの電文送信時には本項目は設定されない。

注2：設定フラグ " 00 "（設定なし）の場合、CARDNETセンターから仕向センターへ送信時は " 01 "（設定あり）に編集する。

設定フラグ " 00 "（設定なし）の場合、国内レスポンスコードはスペース（許可）以外、精査エラーとなる。また、国内レスポンスコードはCARDNETセンターから仕向センターへ送信する際、アクションコード（BIT39）に従い編集する。編集の基準は「9. 6. 3 エラーコード編集処理」を参照。

設定フラグ " 01 "（設定あり）の場合、国内レスポンスコードとアクションコード（BIT39）の相関が一致しない場合は精査エラーとなる。

精査エラーとなる例：アクションコード " 100 "（取扱拒否）設定フラグ " 01 "（設定あり）国内レスポンスコードがスペース（許可）

表 8-12-2 サブフィールド構成<非同期中継の場合(仕向)>

送信方向	仕向センター⇒CARDNETセンター		CARDNETセンター⇒仕向センター	
サブフィールド	設定フラグ(n2)	国内レスポンスコード(arp3)	設定フラグ(n2)	国内レスポンスコード(arp3)
設定値	設定あり " 01 " 注1	スペース(許可) または エラーコードを設定	設定あり " 01 "	仕向センター 設定の値

注1：設定フラグ " 00 " (設定なし) の場合、CARDNETセンターから仕向センターへ送信時は " 01 " (設定あり) に編集する。

設定フラグ " 00 " (設定なし) の場合、国内レスポンスコードはスペース(許可)以外、精査エラーとなる。また、国内レスポンスコードはCARDNETセンターから仕向センターへ送信する際、アクションコード(BIT39)に従い編集する。編集の詳細は「9. 6. 3 エラーコード編集処理」を参照。

設定フラグ " 01 " (設定あり) の場合、国内レスポンスコードとアクションコード(BIT39)の相関が一致しない場合は精査エラーとなる。

精査エラーとなる例：アクションコード " 100 " (取扱拒否) 設定フラグ " 01 " (設定あり) 国内レスポンスコードがスペース(許可)

表 8-12-3 サブフィールド構成 <非同期中継の場合(被仕向)>

送信方向	CARDNETセンター⇒被仕向センター		被仕向センター⇒CARDNETセンター	
サブフィールド	設定フラグ(n2)	国内レスポンスコード(arp3)	設定フラグ(n2)	国内レスポンスコード(arp3)
設定値	設定あり " 01 "	仕向センター 設定の値 注1	設定あり " 01 " 注2	スペース(許可) または エラーコードを設定

注1：仕向センターからCARDNETセンターへ設定フラグ " 00 " (設定なし) 国内レスポンスコードにスペース(許可)が設定された場合は、設定フラグ " 01 " (設定あり) に編集し国内レスポンスコードはアクションコード(BIT39)に従い編集する。編集の詳細は「9. 6. 3 エラーコード編集処理」を参照。

注2：被仕向センターからCARDNETセンターへ送信時は設定フラグ " 00 " (設定なし) の場合、国内レスポンスコードにスペース(許可)以外を設定すると精査エラーになる。

8. 3. 27 BIT49 : 取引通貨コード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
49	取引通貨コード	取引金額の通貨単位	JIS8, n3, 3バイト

②本手順での規定

取引金額の通貨単位を設定する。現状では、日本円のみサポート可能とする。

コード値

392 → 日本円

8. 3. 28 BIT50 : 精査通貨コード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
50	精査通貨コード	精査金額の通貨単位	JIS8, n3, 3バイト

②本手順での規定

精査金額の通貨単位を設定する。現状では、日本円のみサポート可能とする。

コード値

392 → 日本円

8. 3. 29 BIT52 : 入力暗証番号

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
52	入力暗証番号	暗号化した暗証番号ブロック	b.b64, 8バイト

②本手順での規定

暗証番号入力有りの電文において、PIN暗号化キー（KPE）で暗号化されたISO 0 PIN BLOCKが設定される。

<補足説明>

PIN暗号化処理方式についての詳細は、第7章「セキュリティ制御仕様」を参照。

8. 3. 30 BIT53 : セキュリティ関連制御情報

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
53	セキュリティ関連制御情報	PIN暗号化情報	JIS8, an14, 16バイト, LLVAR

②本手順での規定

暗証番号入力有りの電文、KPEのキー交換電文において、PINの暗号化方式を設定する。
以下のサブフィールドで構成される。

表8-13 サブフィールド構成

サブフィールド	属性	桁数	設定値
KEY TYPE	n	2	" 99 "
PIN暗号化ロジック	n	2	" 01 " (Single-DES) (注1) " 02 " (Triple-DES) (注1)
PINブロック形式	n	2	" 01 " (ISO-0)
KEY索引値	n	2	" 00 "
認証索引値	n	2	" 00 "
チェックディジット	an	4	チェックディジットを設定

注1 : 暗号化方式により決定される。

チェックディジットは、算出した16ビット列を4ビット4桁のバイナリーデータと見なして、JIS8コードにキャラクタ変換した値を設定する。

- ・バイナリーデータの値 " 1 " ~ " 9 " は、JIS8コードの " 1 " ~ " 9 " へ変換する。
- ・バイナリーデータの値 " 10 " ~ " 15 " は、JIS8コードの " A " ~ " F " へ変換する。

<補足説明>

PIN暗号化処理方式についての詳細は、第7章「セキュリティ制御仕様」を参照。

8. 3. 31 BIT56 : オリジナルデータエレメント

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
56	オリジナルデータエレメント	取消対象の元取引 特定情報	JIS8, anp35, 37バイト, LLVAR

②本手順での規定

障害取消業務において、取消対象元取引の特定キーの一部（トランザクションID）のうち、差出センターID（共通制御ヘッダー）の3桁目～7桁目までの5バイトを除いた4つの項目を設定する。以下のサブフィールドより構成される。

表 8－14 サブフィールド構成

サブフィールド	オリジナル MTI (n4)	オリジナル システムトレース Aナンバー(BIT11) (n6)	オリジナル 現地取引日時 (BIT12) (n12)	オリジナル 加盟店会社コード (BIT32) (anp13)
設定値	取引対象元取引と同一値を設定 * 加盟店会社コードはレングス(LL部)を含む			

4バイト

6バイト

12バイト

13バイト
(2+11バイト)

8. 3. 32 BIT58 : オーソリ判定センターID

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
58	オーソリ判定センターID	オーソリゼーション判定を行ったセンターを識別するコード	JIS8, anp11, 13/バイト, LLVAR

②本手順での規定

実際にオーソリゼーションの判定を行ったセンターを識別するコードが設定される。

- a) オーソリ、売上応答の指定事項
オーソリゼーションの判定を行った被仕向センターIDが設定される。
- b) オーソリ、売上アドバイス要求の指定事項
オーソリゼーションの代行判定を行った仕向センターIDが設定される。

<補足説明>

- ・CARDNETセンターにてオーソリ代行処理を行った場合は、CARDNETセンターがオーソリ判定を代行したカード会社のセンターIDの先頭7桁と「JCN」を設定する。

例) カード会社のセンターIDが「12345670000」の場合

1	2	3	4	5	6	7	△	J	C	N
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

注：△…スペース

CARDNETセンターのオーソリ代行処理の詳細については、「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

8. 3. 33 BIT59 : 端末出力データ

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
59	端末出力データ	端末の表示用テキスト	JIS8, ans147, 150バイト, LLLVAR

②本手順での規定

応答電文で端末の出力テキストを設定する。以下のサブフィールドで構成される。

表 8-15 サブフィールド構成

サブフィールド	設定内容	属性／桁数	
会員番号	伝票印字用会員番号。右詰で余りスペース 注1	anp19	19バイト
有効期限	カードの有効期限YYMM形式伝票印字用 注1	anp4	4バイト
カナ氏名フラグ	印字用カナ氏名データの有無 注2 " 0 " : カナ氏名なし " 1 " : カナ氏名あり	n1	1バイト
カナ氏名	印字用カナ氏名データ。左詰で余りスペース 注2、注3	ans23	23バイト
メッセージフラグ	表示・印字用テキストデータの有無 注4 " 0 " : 表示／印字用テキストデータなし " 1 " : 表示／印字用テキストデータあり	n1	1バイト
表示テキスト1行目	1行目に表示するテキスト 注4	ans15	15バイト
表示テキスト2行目	2行目に表示するテキスト 注4	ans15	15バイト
印字テキスト1行目	1行目に印字するテキスト 注4	ans23	23バイト
印字テキスト2行目	2行目に印字するテキスト 注4	ans23	23バイト
印字テキスト3行目	3行目に印字するテキスト 注4	ans23	23バイト

注1 : 会員番号、有効期限の印字が不要の場合（拒否の場合等）は、スペースを設定する。
（オンライン端末取引時は、スペースの設定は不可。）

注2 : カナ氏名を未設定の場合は、カナ氏名フラグには" 0 " を、カナ氏名にはスペースを設定する。

注3 : オンライン端末にてカナ氏名を印字する為には、端末情報登録でのIATA／カナ氏名印字有の設定を必要とする。

注4 : 表示／印字テキストを未設定の場合は、メッセージフラグには" 0 " を、表示／印字テキストには、スペースを設定する。

8. 3. 34 BIT60 : 国内使用予約域

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
60	国内使用予約域	国内カード業務をサポートする 為の必須項目を設定	JIS8, ans..121 Max124バイト, LLLVAR

CARDNET CONFIDENTIAL

②本手順での規定

国内使用予約域のサブフィールド構成を表8-16に、支払区分毎の支払方法サブフィールド形式を図8-7に示す。

表8-16 サブフィールド構成

サブフィールド	内容	属性／桁数	
端末識別番号	加盟店の端末識別番号 センター間取引 原則として、6桁目～13桁目は、加盟店端末番号(BIT41)と同一値を設定する。但し、加盟店で設定不可の場合は、カード会社と協議の上、体系を決定するものとする。 オンライン端末取引 設置カード会社が採番した、端末識別番号13桁が設定される。	n13	13バイト
端末処理通番	端末の処理通番	n5	5バイト
支払区分	支払区分: 支払方法の指定 10: 一括 21: ボーナス一括 22: ボーナス(回数指定) 注1 23: ボーナス(ボーナス月指定) 24: ボーナス(複数月指定) 注1 25: ボーナス(複数月、金額指定) 31: ボーナス併用(開始月、回数指定) 注1 32: ボーナス併用(開始月、回数、ボーナス金額指定) 注1 33: ボーナス併用(開始月、回数、複数月指定) 34: ボーナス併用(開始月、回数、複数月、金額指定) 61: 分割(開始月、回数指定) 注1 62: 分割(開始月、回数、金額指定) 63: 分割(開始月、回数、初回金額指定) 注1, 注3 69: 分割2回(開始月、回数指定) 80: リボルビング 取消／返品業務は、元取引の支払区分を設定する。 無効カード照会、事前承認業務は、ALL0(" 00 ")を設定する。 センター間取引の際に使用する支払区分 " 69 " は、被仕向センターへの電文中継時、CARDNETセンターにて " 61 " に変換する。	n2	2バイト
税／その他	取扱金額中の税・その他の金額 無効カード照会業務は、0円を設定する。 オーソリ／売上アドバイス業務の拒否結果のアドバイス電文では、0円を設定する。	n7	7バイト
取消／返品区分	取消／返品業務の識別区分→取消= " 1 "、返品= " 2 " 取消／返品以外の業務は、スペースを設定する。	anp1	1バイト
承認番号	承認後オーソリ業務(取消／返品含む)および承認後売上業務(取消／返品含む)の事前承認番号 注2 上記以外の業務は、スペースを設定する。	anp6	6バイト
伝票番号	取消／返品業務の売上伝票番号(元取引の端末処理通番) 取消／返品以外の業務は、スペースを設定する。(取消／返品業務でのスペース設定は不可)	anp5	5バイト
支払方法	支払の方法(支払区分により決定) 無効カード照会、事前承認、取消／返品業務は、サブフィールドの設定無し(=Min0バイト)。 データ識別、セパレータは、サブフィールド形式で定義する固定値を設定する。回数、月、金額の項目属性は " n " (数字)とする。	ans .82	Max82バイト (Min0バイト)

注1：オンライン端末では、支払区分23、25、32、33、62、69は使用しない。

注2：オンライン端末取引の場合には、承認後売上取消／返品業務は、スペースを設定する。

注3：iD取引では、支払区分69は使用しない。

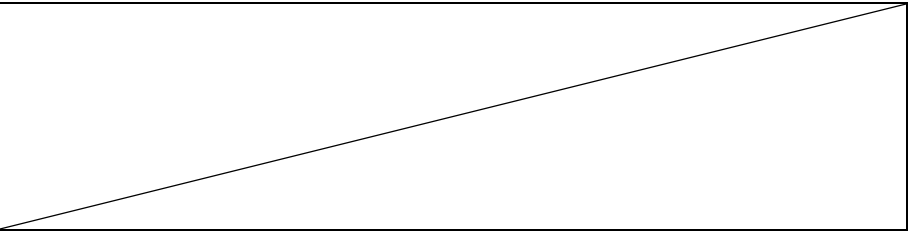
支払区分	セパレータ	
	1	
10	"@"	

図8-7-1 一括

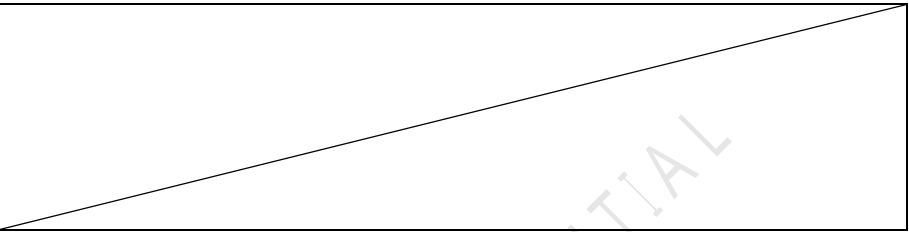
支払区分	セパレータ	
	1	
21	"@"	

図8-7-2 ボーナス一括

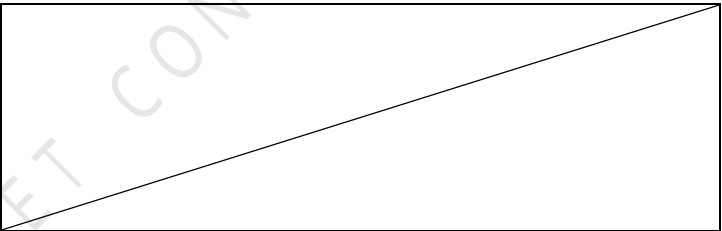
支払区分	データ識別	ボーナス回数	セパレータ	
	1	2	1	
22	"E"		"@"	

図8-7-3 ボーナス（回数指定）

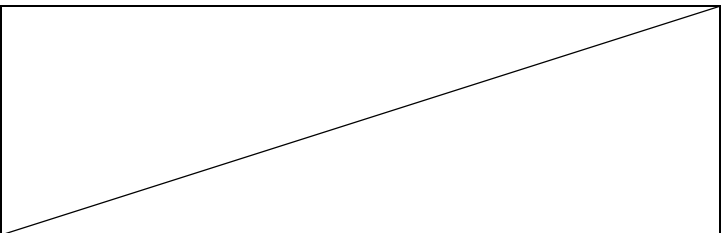
支払区分	データ識別	ボーナス月	セパレータ	
	1	2	1	
23	"F"		"@"	

図8-7-4 ボーナス（ボーナス月指定）

支払区分			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	データ識別	ボーナス回数	データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス月
	(1)	(1)	(2)	(2)	(3)	(3)	(4)	(4)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	(6)
24	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
	"E"		"F"		"F"		"F"		"F"		"F"		"F"	

セパレータ	注:ボーナス回数の数だけ、ボーナス月の項目を繰り返す(最小1回～最大6回)。 オンライン端末からの要求電文において図の*項目が全て省略されている場合、CARDNETセンターにて、ボーナス月(1)に"00"を設定し、データ識別(2)～ボーナス月(6)の項目は全てカットする。
1	
"@"	

図8-7-5 ボーナス(複数月指定)

支払区分	データ識別	ボーナス回数	データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス金額(1)	データ識別	ボーナス月	データ識別
	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)
	1	2	1	2	1	8	1	2	1
25	"E"		"F"		"G"		"F"		"G"

ボーナス金額(2)	データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス金額(3)	データ識別	ボーナス月
(3)	(3)	(3)	(3)	(4)	(4)	(4)
8	1	2	1	8	1	2
	"F"		"G"		"F"	

データ識別	ボーナス金額(4)	データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス金額(5)	データ識別
(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)
1	8	1	2	1	8	1
"G"		"F"		"G"		"F"

ボーナス月	データ識別	ボーナス金額(6)	セパレータ	注:ボーナス回数の数だけ、ボーナス月およびボーナス金額の項目を繰り返す。(最小1回～最大6回)
(6)	(6)	(6)		
2	1	8	1	
"G"			"@"	

図8-7-6 ボーナス(複数月/金額指定)

支払区分	* *					注: オンライン端末からの要求電文において、図の*項目が全て省略されている場合、CARDNETセンターにて支払開始月に " 00 " を設定する。
	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	セパレータ	
	1	2	1	2	1	
31	"A"		"C"		"@"	

図 8－7－7 ボーナス併用（開始月／回数指定）

支払区分	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	データ識別	ボーナス金額	セパレータ	
	1	2	1	2	1	8	1	
	"A"		"C"		"G"		"@"	
32								

図 8－7－8 ボーナス併用（開始月／回数／ボーナス金額指定）

支払区分	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	データ識別	ボーナス回数	データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス月
	1	2	1	2	1	2	(1)	(1)	(2)	(2)	(3)	(3)	(4)	(4)
	"A"		"C"		"E"		"F"		"F"		"F"		"F"	
33														

データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス月	セパレータ	注: ボーナス回数の数だけ、ボーナス月の項目を繰り返す(最小1回～最大6回)
(5)	(5)	(6)	(6)		
1	2	1	2	1	
"F"		"F"		"@"	

図 8－7－9 ボーナス併用（開始月／回数／複数月指定）

支払区分	*		*		*		*		*	
	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	データ識別	ボーナス回数	データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス金額(1)
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	8
34	"A"		"C"		"E"		"F"		"G"	

*		*		*		*		*			
データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス金額(2)				データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス金額(3)	
(2)	(2)	(2)					(3)	(3)	(3)		
1	2	1	8				1	2	1	8	
"F"		"G"						"F"		"G"	

*		*		*		*		*			
データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス金額(4)				データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス金額(5)	
(4)	(4)	(4)					(5)	(5)	(5)		
1	2	1	8				1	2	1	8	
"F"		"G"						"F"		"G"	

*		*		*		*		*		
データ識別	ボーナス月	データ識別	ボーナス金額(6)				セパレータ			
(6)	(6)	(6)								
1	2	1	8				1			
"F"		"G"						"@"		

注：ボーナス回数の数だけ、ボーナス月およびボーナス金額の項目を繰り返す（最小1回～最大6回）。
オンライン端末からの電文において、支払開始月が省略されている場合、CARDNETセンターにて"00"を設定する。
オンライン端末からの電文において、ボーナス月およびボーナス金額が全て省略されている場合、CARDNETセンターにて、ボーナス月(1)に"00"、ボーナス金額(1)に"00000000"を設定し、データ識別(2)～ボーナス金額(6)の項目は、全てカットする。

図8-7-10 ボーナス併用（開始月／回数／複数月／金額指定）

支払区分 61	*		*				注: オンライン端末からの要求電文において、支払開始月が省略されている場合、CARDNETセンターにて“00”を設定する。
	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	セパレータ		
	1	2	1	2	1		
	“A”		“C”		“@”		

図8-7-11 分割（開始月／回数指定）

支払区分	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	データ識別	分割金額(1)	データ識別	分割金額(2)
62	1	2	1	2	1	8	1	8
	"A"		"C"		"D"		"D"	

データ識別	分割金額(3)	データ識別	分割金額(4)
(3)		(4)	
1	8	1	8
"D"		"D"	

データ識別	分割金額(5)	データ識別	分割金額(6)	セパレータ
(5)		(6)		
1	8	1	8	1
"D"		"D"		"@"

注：分割回数の数だけ、分割金額の項目を繰り返す（最小1回～最大6回）。

図8－7－12 分割（開始月／回数／金額指定）

支払区分	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	データ識別	初回金額	セパレータ
63	1	2	1	2	1	8	1
	"A"		"C"		"B"		"@"

注：オンライン端末からの電文において、支払開始月が省略されている場合には、CARDNETセンターにて "00" を設定する。
また、初回金額においても、オンライン端末設定時は、"00000000" をCARDNETセンターにて設定する。

図8－7－13 分割（開始月／回数／初回金額指定）

支払区分	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	セパレータ
69	1	2	1	2	1
	"A"		"C"		"@"

注: 被仕向センターへ中継時は、"61" へ変換される。分割回数は、2回(固定)を設定する。

図8－7－14 分割（開始月／回数指定）

支払区分	セパレータ
80	1
	"@"

図8－7－15 リボルビング

8. 3. 35 BIT62 : 個社使用予約域

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
62	個社使用予約域	ISO8583標準外業務をサポートするための情報伝達域	b, b.968 Max124バイト, LLLVAR

②本手順での規定

このフィールドは仕向センターと被仕向センター間で固有のサービスをサポートするためのデータを含むものとする。

＜フォーマット＞

付加データはTLV形式（タグ（JIS8）：3バイト固定、長さ（JIS8）：3バイト固定、値（b））で連続して記述される。BIT62全体のフィールド長には、各付加データのタグ・長さ・値の全体を合計した長さを設定する。

026	J01	012	XXXXXXXXXXXX	J02	002	00
フィールド長 3バイト	タグ 3バイト	長さ 3バイト	↑値 12バイト	タグ 3バイト	長さ 3バイト	↑値 2バイト
	サブフィールド J01			サブフィールド J02		

＜補足説明＞

CARDNETセンターでは、このフィールド内容は接続先から他方の接続先へ透過させるだけで、内容のフォーマット精査は行わない。ただし、タグ定義を追加する際は、株式会社日本カードネットワークと事前に調整することとする。

なお、以下に示すタグについては、例外的に株式会社日本カードネットワークが提供するサービスにて使用するため、使用不可とする。

使用不可タグ: "CN1"、"TK1"、"CT1"

8. 3. 36 BIT63 : カードネット拡張使用域

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
63	カードネット拡張使用域	セキュリティ関連方法伝達域	b, b.1576 Max200バイト(注1), LLVAR

注1 外貨取引決済(タグDXX使用時)またはタグA07使用時のみMax200バイトまで利用可能とし、その他取引の場合はMax124バイトまで利用可能とする。

②本手順での規定

(1) フォーマット

付加データはTLV形式(タグ(JIS8) : 3バイト固定、長さ(JIS8) : 3バイト固定、値(b))で連続して設定する。BIT63全体のフィールド長には、各付加データのタグ・長さ・値の全体を合計した長さを設定する。各サブフィールドの設定は任意とし、全てのサブフィールドを設定する必要はないものとする。ただし、あるサブフィールドを設定した場合の値の設定は必須とし、設定するサブフィールドが存在しない場合はBit offとする。また、各サブフィールドの設定順については、原則A01から昇順とし、同一のタグの複数設定は不可とする。(ただし、タグA07を使用する場合は、必ず昇順での設定とする)

<設定例>

a) 「セキュリティコード有り」かつ「3-D Secure関連情報有り」の時

113 (3バイト)	A01 (3バイト)	006 (3バイト)	XXXXXX (6バイト)	A03 (3バイト)	095 (3バイト)	XXX...XXX (95バイト)
サブフィールド A01				サブフィールド A03		

b) 「セキュリティコード有り」かつ「JIS2面情報有無が「1」」の時

089 (3バイト)	A01 (3バイト)	006 (3バイト)	XXXXXX (6バイト)	A02 (3バイト)	071 (3バイト)	XXX...XXX (71バイト)
サブフィールド A01				サブフィールド A02		

c) 「3-D Secure関連情報有り」の時

101 (3バイト)	A03 (3バイト)	095 (3バイト)	XXX...XXX (95バイト)
サブフィールド A03			

d) 「3-D Secure関連情報有り」かつ「3-D Secure2. 0関連情報有り」の時

185 (3バイト)	A03 (3バイト)	095 (3バイト)	XXX...XXX (95バイト)	A07 (3バイト)	078 (3バイト)	XXX...XXX (78バイト)
サブフィールド A03				サブフィールド A07		

(2) サブフィールドの定義

カードネット拡張使用域を使用する場合には、株式会社日本カードネットワークが定義する以下のサブフィールドのみを設定可とする。

表 8-17 サブフィールド構成

タグ	長さ	設定内容
A01	6バイト	セキュリティコード
A02	2バイト	JIS2面情報(JIS2面情報有無が‘0’の時)(注4)
	71バイト	JIS2面情報(JIS2面情報有無が‘1’の時)(注4)
A03	95バイト	3-DSecure関連情報(注1)(注2)
A04	10バイト	iD取引用情報データ(オンライン/許可)(注3)
	34バイト	iD取引用情報データ(ネット決済オンライン)(注3)
A05	115バイト	iD取引用情報データ(拒否)(注3)
A07	78バイト	3-DSecure2.0関連情報(注2)

注1 タグA03は、3-DSecureのバージョンによらず、使用される項目。

注2 マニュアル入力の電文(取消および返品を除く)のみ設定可。

注3 マニュアル入力電文のみ設定可。

注4 タグA07を使用する場合は、タグA02の使用は不可とする。

a) セキュリティコード(タグ:A01)項目詳細

セキュリティコード(A01)の項目詳細を表8-18に示す。

表 8-18 セキュリティコード項目詳細

サブフィールド		内容	属性/桁数	
タグ		“A01”固定(セキュリティコードを示す)	an3	3バイト
長さ		“006”固定	n3	3バイト
値	端末入力可否	POS端末等でのセキュリティコードの入力可否を示す。 ‘0’:否(初期値) ‘1’:可	n1	1バイト
	店員入力可否	店員によるセキュリティコードの入力有無を示す。 ‘0’:無(初期値) ‘1’:有り	n1	1バイト
	セキュリティコード	・「端末入力可否=1(可)」かつ「店員入力有無=1(有)」の場合 入力されたセキュリティコード(右詰残り先頭0) ・上記以外の場合 スペース	anp4	4バイト

b) JIS2面情報（タグ：A02）項目詳細

JIS2面情報（A02）の項目詳細を表8－19に示す。

表8－19 JIS2面情報項目詳細

サブフィールド		内容	属性／桁数	
タグ		“A02”固定（JIS2面情報を示す）	an3	3バイト
長さ		“002”または“071”	n3	3バイト
値	端末読取機能有無	POS端末等でのJIS2面情報の読取機能の有無を示す。 ‘0’：無（初期値） ‘1’：入力機能あり	n1	1バイト
	JIS2面情報有無	カード上のJIS2面の存在有無を示す。 ‘0’：正常に読み取れない又は磁気ストライプなし（初期値） ‘1’：正常に読み取れる	n1	1バイト
	JIS2カード情報	JIS2面情報有無が‘1’のときのみJIS2面のエンコード情報全体を設定する。	ans69	69バイト

c) 3-D Secure関連情報（タグ：A03）項目詳細

3-D Secure関連情報（A03）の項目詳細を表8-20に示す。3-D Secure関連情報（A03）は、取消および返品を除くマニュアル入力の電文のみ設定可。タグA03は、3-D Secureのバージョンによらず、使用される項目。

表8-20 3-D Secure関連情報項目詳細

サブフィールド		内容	属性／桁数	
タグ		“A03”固定(3-D Secure関連情報を示す)	an3	3
長さ		“095”固定	n3	3
値 注1	MVN	Message Version Number (左詰め残リスペース) ※設定不可能な場合は、ALLスペース	ans10	10
	TI	Transaction Identifier(XID) 注2 (Base64でエンコード) ※設定不可能な場合は、ALLスペース	ans28	28
	TS	Transaction Status ※設定不可能な場合は、ALLスペース	anp1	1
	CAVVA	CAVV Algorithm 注4 ※設定不可能な場合は、ALLスペース	anp1	1
	CAVV	Cardholder Authentication Verification Value 注2 (Base64でエンコード) ※設定不可能な場合は、ALLスペース	ans28	28
	ECI	Electronic Commerce Indicator ※設定不可能な場合は、ALLスペース	anp2	2
	PAN	会員番号(左詰め残リスペース) ※CAVVの検証に使用するPAN	anp19	19
	3DS2.0 認証フラグ	・3-D Secure2.0で認証された取引の場合 注3 ‘1’ ・上記以外の取引 注4 スペース(初期値)	anp1	1
予備		ALLスペース	anp5	5

注1 各値の設定内容については、カード会社の基準による。

注2 Base64は、RFC2045にて規定されている符号化方式の一つ。

注3 タグA07（3-D Secure2.0関連情報）の設定有無に関わらず、3-D Secure2.0で認証された取引の場合は、“1”を設定する。

注4 特定条件の場合、CARDNETセンターにて編集を行う。詳細は「（4）3-D Secure関連情報の中継に関する留意事項」を参照。

- d) iD取引用情報データ（オンライン／許可／ネット決済オンライン）（タグ：A04）項目詳細
iD取引用情報データ（オンライン／許可／ネット決済オンライン）（A04）の項目詳細を表8-21に示す。iD取引用情報データ（オンライン／許可／ネット決済オンライン）（A04）は、マニュアル入力の電文のみ設定可。

表8-21 iD取引用情報データ（オンライン／許可／ネット決済オンライン）項目詳細

サブフィールド		内容	属性／桁数	
タグ		“A04”固定 (iD取引用情報データ(オンライン／許可／ネット決済 オンライン)を示す)	an3	3
長さ		“010”または“034”注	n3	3
値	スキームID	“01001”固定	n5	5
	事業者コード	カード情報より取得した事業者コード ※設定不可能な場合は、ALLスペース	anp5	5
	取引金額	スペース	anp9	9
	承認番号	ネット決済オンラインのときのみ本人認証にて付与された 承認番号を設定する。	anp7	7
	取引日付	ネット決済オンラインのときのみ本人認証時承認番号が 付与された取引日付を設定する。	anp8	8

注： iD取引用情報データ（オンライン／許可）のときは“010”、iD取引用情報データ（ネット決済オンライン）のときは“034”を設定する。

- e) iD取引用情報データ（拒否）（タグ：A05）項目詳細
iD取引用情報データ（拒否）（タグ：A05）の項目詳細を表8-22に示す。iD取引用情報データ（拒否）（タグ：A05）は、マニュアル入力の拒否アドバイス電文のみ設定可。

表8-22 iD取引用情報データ（拒否）（タグ：A05）項目詳細

サブフィールド		内容		属性／桁数	
タグ		“A05”固定 (iD取引用情報データ(拒否)を示す)		an3	3
長さ		“115”固定		n3	3
値	処理年月	端末で処理した日付		n6	6
	業務区分	業務区分コード ‘1’:売上 ‘4’:取消		n1	1
	カード区分	‘3’:マニュアル入力固定		n1	1
	カードエンコード	表8－23参照		anp69	69
	内容	入力された商品コード (“スペース”3桁+“商品コード”4桁)		np7	7
	商品コード	入力された金額		n8	8
	金額	入力された税送料		n7	7
	税送料	表8－16参照		n2	2
	支払区分	オフライン拒否の理由(表8－24参照)		an4	4
	拒否理由	スペース		anp10	10

表 8-23 カードエンコード内容 (タグ : A05)

項目名称	内容	桁数
会社コード	加盟店契約カード会社コード	7
会員番号	カード情報より取得した会員番号(10進数)	16
有効期限	カード情報より取得した有効期限(YMMM)	4
スキームID	“01001”固定	5
事業者コード	カード情報より取得した事業者コード(10進数)	5
予備	スペース	32

表 8-24 オフライン拒否の理由～エラーコード一覧～ (タグ : A05)

コード値	内容
S001	カード内の有効フラグが取扱不可
S003	ネガ情報と一致(有効性フラグ更新)
S005	カード内の有効期限超過
S010	1回の取引限度額超過しており、オンライン処理不可
S020	当日利用回数オーバー
S021	当日利用金額オーバー
S030	当月限度枠オーバー(カード内のパラメータに対するエラー)
S031	当月限度枠オーバー(加盟店契約カード会社にて指定)
S032	当月限度枠(限度額)オーバー(加盟店契約カード会社にて指定)
S040	カード書き込みエラー
S050	通信エラー

f) 3-D Secure2. 0関連情報 (タグ : A07) 項目詳細

3-D Secure2. 0関連情報 (A07) の項目詳細を表 8-25に示す。3-D Secure2. 0関連情報 (A07) は、取消および返品を除くマニュアル入力の電文のみ設定可。

なお、タグA07は、タグA03の「3DS2. 0認証フラグ」が「1」の場合のみ設定が可能。タグA03の「3DS2. 0認証フラグ」が「1」以外のときにタグA07が設定されていた場合、CARDNETセンターで拒否応答する。

表 8-25 3-D Secure2. 0関連情報項目詳細

サブフィールド	内容	属性／桁数	
タグ	“A07”固定(3-D Secure2. 0関連情報を示す)	an3	3
長さ	“078”固定	n3	3
値 注1	DSTI	DS Transaction ID ※設定不可能な場合は、ALLスペース	ans36 36
	3DSSTI	3DS Server Transaction ID ※設定不可能な場合は、ALLスペース	ans36 36
	予備	ALLスペース	anp6 6

注 1 各値の設定内容については、カード会社の基準による。

(3) 設定条件

CARDNETセンターから被仕向センターへの要求電文送信時の各サブフィールドの設定条件については、被仕向センターの登録内容（各サブフィールドの送信可否条件）によって決定する。

しかし、被仕向センターがあるサブフィールドに関して”送信可”と登録していても、当該サブフィールドが仕向センター／オンライン端末からの要求電文に設定されていないければ、被仕向センターの要求電文にも設定しない。

また、仕向センターに関しては、各サブフィールドの設定条件は保有しない。

(4) 3-D Secure関連情報の中継に関する留意事項

CARDNETセンターから被仕向センターへの要求電文送信時の「3-D Secure関連情報」および「3-D Secure2.0関連情報」については、3-D Secureのバージョンにより、設定可否の判定方法が異なる。設定条件を表8-26に示す。

また、3-D Secure関連情報に関するCN手順とCAFIS手順の差異を、「9.7.2 3-D Secure関連情報の設定方法」に示す。

表8-26 3-D Secure関連情報（A03）／2.0関連情報（A07）の設定条件

仕向要求電文の設定有無			被仕向センターの サブフィールド送信契約		被仕向要求電文の設定内容	
仕向センター／オンライン端末 →CARDNETセンター					CARDNETセンター →被仕向センター	
A03	A07	3DSのバージョン (注1)	3DS1. 0	3DS2. 0	A03	A07
無	無	—	不可	不可	×	×
			可	不可	×	×
			可	可	×	×
有	無	1. 0	不可	不可	×	×
			可	不可	○	×
			可	可	○	×
有	無	2. 0	不可	不可	×	×
			可	不可	△	×
			可	可	○	×
有	有	2. 0	不可	不可	×	×
			可	不可	△	×
			可	可	○	○

[凡例] ○：仕向要求電文の値を設定、×：設定なし

△：仕向要求電文の値を一部編集し設定（詳細は表8-27に記載）

(注1) タグA03の「3DS2.0認証フラグ」が”1”の場合、3DS2.0取引と判断する。

特定条件の場合（表 8－26 の被仕向要求電文の設定内容が「△」の箇所）は、タグ A03 の一部項目を編集したうえで、被仕向センターへ中継する。編集する項目と編集内容を、表 8－27 に示す。下表に記載のない項目は編集せず、仕向要求電文の値を設定する。

表 8－27 3-D Secure 関連情報（A03）の編集内容

項目名	編集内容
CAVVA	‘9’ の場合 : スペースに編集 上記以外の場合 : 編集しない
3DS2. 0 認証フラグ	スペースに編集

8. 3. 37 BIT72 : 通知レコード

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
72	通知レコード	汎用通知情報	JIS8, ans..340 Max343バイト, LLLVAR

②本手順での規定

汎用通知業務において、被仕向システム側に通知する情報を設定する。

a) カットオーバー依頼（C644）の指定事項

“CUTOVER△REQUEST”（15バイト文字列）を設定する。

注 1 : LLL部は“015”固定とする。

注 2 : △＝スペースを表す。

b) 障害電文通知（E644）の指定事項

通知電文（E644）の送信契機となった障害電文（受信異常電文）を以下に基準で設定する。

- ・ヘッダー部を含む受信電文全体を対象とする。
- ・受信電文の復号化処理が未完了の場合は暗号文を、完了済みの場合は平文を設定する。
- ・受信電文が340バイト以上の場合は、電文の先頭から340バイトまでを設定し、残りの部分は破棄する。
- ・LLL部は設定される電文長により可変とする。

8. 3. 38 BIT74 : 売上取消／返品件数

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
74	売上取消／返品件数	売上取消／返品の数	JIS8, n10, 10バイト

②本手順での規定

オンライン精査処理において、売上取消／返品、承認後売上取消／返品業務の総件数を設定する。
対象業務は、MTIとプロセシングコード（BIT3）の組み合わせで識別する。

a) 対象業務識別コード値

- ・ MTI : " 12XX "
- ・ プロセシングコード（BIT3） : " 200000 "

8. 3. 39 BIT75 : 売上障害取消件数

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
75	売上障害取消件数	売上を障害取消した総件数	JIS8, n10, 10バイト

②本手順での規定

オンライン精査処理において、売上、承認後売上業務を障害取消した総件数を設定する。対象業務は、MTIとプロセシングコード（BIT3）の組み合わせで識別する。

a) 対象業務識別コード値

- ・ MTI : " 14XX "
- ・ プロセシングコード（BIT3） : " 000000 "
- ・ オリジナルMTI（BIT56） : " 12XX "

8. 3. 40 BIT76 : 売上件数

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
76	売上件数	売上の総件数	JIS8, n10, 10バイト

②本手順での規定

オンライン精査処理において、売上、承認後売上業務の総件数を設定する。対象業務は、MTIとプロセッシングコード（BIT3）の組み合わせで識別する。

a) 対象業務識別コード値

- ・ MTI : " 12XX "
- ・ プロセッシングコード（BIT3） : " 000000 "

8. 3. 41 BIT77 : 売上取消／返品障害取消件数

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
77	売上取消／返品 障害取消件数	売上取消／返品を障害取消した 総件数	JIS8, n10, 10バイト

②本手順での規定

オンライン精査処理において、売上取消／返品、承認後売上取消／返品業務を障害取消した総件数を設定する。対象業務は、MTIとプロセッシングコード（BIT3）の組み合わせで識別する。

a) 対象業務識別コード値

- ・ MTI : " 14XX "
- ・ プロセッシングコード（BIT3） : " 200000 "
- ・ オリジナルMTI（BIT56） : " 12XX "

8. 3. 42 BIT80 : 照会件数

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
80	照会件数	無効カード照会の総件数	JIS8, n10, 10バイト

②本手順での規定

オンライン精査処理において、無効カード照会業務の総件数を設定する。対象業務は、MTIとプロセッシングコード（BIT3）の組み合わせで識別する。

a) 対象業務識別コード値

- ・ MTI : " 11XX "
- ・ プロセッシングコード（BIT3） : " 360000 "

8. 3. 43 BIT81 : オーソリ件数

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
81	オーソリ件数	オーソリの総件数	JIS8, n10, 10バイト

②本手順での規定

オンライン精査処理において、オーソリ（取消／返品）、事前承認（取消）業務の総件数を設定する。対象業務は、MTIとプロセッシングコード（BIT3）の組み合わせで識別する。

a) 対象業務識別コード値

- ・ MTI : " 11XX "
- ・ プロセッシングコード（BIT3） : " 000000 " or " 010000 " or " 200000 "

8. 3. 44 BIT82 : 照会障害取消件数

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
82	照会障害取消件数	無効カード照会を障害取消した総件数	JIS8, n10, 10バイト

②本手順での規定

オンライン精査処理において、無効カード照会業務を障害取消した総件数を設定する。対象業務は、MTIとプロセシングコード（BIT3）の組み合わせで識別する。

a) 対象業務識別コード値

- ・ MTI : " 14XX "
- ・ プロセシングコード（BIT3） : " 360000 "
- ・ オリジナルMTI（BIT56） : " 11XX "

8. 3. 45 BIT86 : 売上取消／返品金額

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
86	売上取消／返品金額	売上取消／返品総金額	JIS8, n16, 16バイト

②本手順での規定

オンライン精査処理において、売上取消／返品、承認後売上取消／返品業務の総金額を設定する。対象業務は、MTIとプロセシングコード（BIT3）の組み合わせで識別する。

a) 対象業務識別コード値

- ・ MTI : " 12XX "
- ・ プロセシングコード（BIT3） : " 200000 "

8. 3. 46 BIT87 : 売上障害取消金額

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
87	売上障害取消金額	売上を障害取消した総金額	JIS8, n16, 16バイト

②本手順での規定

オンライン精査処理において、売上、承認後売上業務を障害取消した総金額を設定する。対象業務は、MTIとプロセッシングコード（BIT3）の組み合わせで識別する。

a) 対象業務識別コード値

- ・ MTI : " 14XX "
- ・ プロセッシングコード（BIT3） : " 000000 "
- ・ オリジナルMTI（BIT56） : " 12XX "

8. 3. 47 BIT88 : 売上金額

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
88	売上金額	売上の総金額	JIS8, n16, 16バイト

②本手順での規定

オンライン精査処理において、売上、承認後売上業務の総金額を設定する。対象業務は、MTIとプロセッシングコード（BIT3）の組み合わせで識別する。

a) 対象業務識別コード値

- ・ MTI : " 12XX "
- ・ プロセッシングコード（BIT3） : " 000000 "

8. 3. 48 BIT89 : 売上取消／返品障害取消金額

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
89	売上取消／返品 障害取消金額	売上取消／返品を障害取消した 総金額	JIS8, n16, 16バイト

②本手順での規定

オンライン精査処理において、売上取消／返品、承認後売上取消／返品業務を障害取消した総金額を設定する。対象業務は、MTIとプロセッシングコード（BIT3）の組み合わせで識別する。

a) 対象業務識別コード値

- ・ MTI : " 14XX "
- ・ プロセッシングコード（BIT3） : " 200000 "
- ・ オリジナルMTI（BIT56） : " 12XX "

8. 3. 49 BIT90 : オーソリ障害取消件数

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
90	オーソリ障害取消件数	オーソリを障害取消した総件数	JIS8, n10, 10バイト

②本手順での規定

オンライン精査処理において、オーソリ（取消／返品）、事前承認（取消）業務を障害取消した総件数を設定する。対象業務は、MTIとプロセッシングコード（BIT3）の組み合わせで識別する。

a) 対象業務識別コード値

- ・ MTI : " 14XX "
- ・ プロセッシングコード（BIT3） : " 000000 " or " 010000 " or " 200000 "
- ・ オリジナルMTI（BIT56） : " 11XX "

8. 3. 50 BIT93 : 電文送信先センターID**①データ定義**

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
93	電文送信先センターID	電文送信先のセンターID	JIS8, anp11, 13バイト, LLVAR

②本手順での規定

汎用通知、ネットワーク制御業務において、電文送信先のセンターIDを設定する。要求電文の宛先センターID（共通制御ヘッダー）と同一値が設定される。会社コード7桁+サブコード4桁の合計11桁で構成される。

8. 3. 51 BIT94 : 電文送信元センターID**①データ定義**

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
94	電文送信元センターID	電文送信元のセンターID	JIS8, anp11, 13バイト, LLVAR

②本手順での規定

汎用通知、ネットワーク制御業務において、電文送信元のセンターIDを設定する。要求電文の差出センターID（共通制御ヘッダー）と同一値が設定される。会社コード7桁+サブコード4桁の合計11桁で構成される。

8. 3. 52 BIT96 : キーマネジメントデータ

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
96	キーマネジメントデータ	暗号化キー	<Single-DES> (a3)+b64 11or14バイト LLLVAR <Triple-DES> (a3)+b128 19or22バイト LLLVAR

②本手順での規定

キー交換業務において暗号化キー（KPE／KC／KMAC）を設定する。交換する暗号化キーは、キー暗号化キー（KEK）でDES ECB方式にて暗号化した状態とする。各キー毎のフィールド設定基準を表8－21に定義する。

表8－21 フィールド設定基準

暗号化キー	設定値	暗号化方式	属性／桁数		備考
PIN暗号化キー (KPE)	接頭文字なし、KPE	Single-DES	b64	8バイト	LLL部-"008"
		Triple-DES	b128	16バイト	LLL部-"016"
電文暗号化キー (KC)	接頭文字 " ENC " +KC	Single-DES	a3+b64	11バイト	LLL部-"011"
		Triple-DES	a3+b128	19バイト	LLL部-"019"
電文認証キー (KMAC)	接頭文字 " MAC " +KMAC	Single-DES	a3+b64	11バイト	LLL部-"011"
		Triple-DES	a3+b128	19バイト	LLL部-"019"

<補足説明>

暗号化キー管理方式の詳細は、第7章「セキュリティ制御仕様」を参照。

暗号化方式はSingle-DES方式またはTriple-DES（2key-Triple-DES）方式となる。

暗号化方式の選択は、「CARDNETテーブル情報設定説明書（ダイレクト接続／カード会社編）」および「CARDNETテーブル情報設定説明書（加盟店編）」を参照。

8. 3. 53 BIT97 : 精査合計金額

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
97	精査合計金額	精査金額総計の相殺値	JIS8, a+n16, 17バイト

②本手順での規定

オンライン精査業務において、金額に関する精査カウンター相殺値を設定する。

a) 精査カウンター操作基準

1. 売上金額(BIT88)	: 金額分減算	} 1～4の処理結果を精査合計金額(BIT97)とする。
2. 売上障害取消金額(BIT87)	: " 加算	
3. 売上取消／返品金額(BIT86)	: " 加算	
4. 売上取消／返品障害取消金額(BIT89)	: " 減算	

b) フィールド設定基準

上記の精査カウンター操作処理により算出した精査合計金額（BIT97）は、表 8－22 の設定基準に従って設定される。

表 8－22 フィールド設定基準

算出結果	設定値
精査合計金額 マイナス 借方(Debit)超過	接頭文字 " D " + 精査合計金額(絶対値)
精査合計金額 プラス 貸方(Credit)超過	接頭文字 " C " + 精査合計金額(絶対値)
精査合計金額 ±0	接頭文字 " C " + 精査合計金額(ALL 0)

<補足説明>

オンライン精査処理仕様の詳細は、第 6 章「オンライン精査仕様」を参照。

8. 3. 54 BIT100：精査対象センターID

①データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
100	精査対象センターID	オンライン精査の対象センターID	JIS8, anp11, 13バイト, LLVAR

②本手順での規定

オンライン精査業務において、精査対象の接続先センターIDを設定する。要求電文の宛先センターID（共通制御ヘッダー）と同一値が設定される。会社コード7桁＋サブコード4桁の合計11桁で構成される。

CARDNET CONFIDENTIAL

第9章 各種識別仕様

本章では、センターIDと会社コード、加盟店会員番号の識別方法、日時項目、エラーコードの設定基準、CAFIS手順への変換について定義する。

9. 1 センターIDと会社コード識別方法

センターIDは、①区分コード、②IDマーク、③業態区分、④企業コード、⑤サブコードの合計11桁により構成される。センターIDは、各接続先毎にユニークに採番され、センターを識別するコードとして使用される。

また、会社コードは、基本的に上記①～④の合計7桁により識別される。会社コード中の③、④の合計5桁は、流通システム開発センターより取得したコードを使用する。

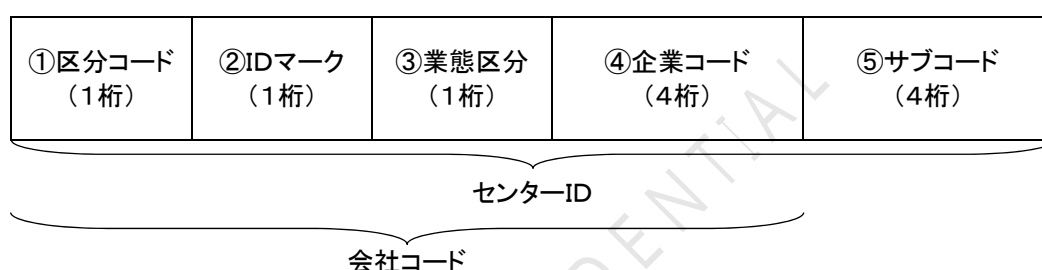


図9-1 センターIDと会社コードの体系

9. 2 会員番号識別方法

CN手順におけるオーソリ／売上業務に関するオンライン処理の照会、および問い合わせ等で使用する会員番号は、BODY部の会員番号（BIT2）を基本とする。ただし、JIS I 第2トラック情報（BIT35）の国内専用データ読み込み時は、狭義の会員番号を使用する。会員番号（BIT2）設定基準、およびJIS I 第2トラック情報（BIT35）の国内専用フォーマットの詳細については、第8章「電文項目説明」を参照。

<補足説明～バッチ処理と代行処理>

（1）バッチ処理の会員番号

CARDNETセンターのバッチ処理として、売上データ提供処理、および結果通知提供処理等で使用する会員番号フィールドは、カード種別（JIS I / JIS II / マニュアル）により決定される。

バッチ処理仕様の詳細は「CARDNET接続条件書（バッチ機能編）」を参照。

（2）代行処理の会員番号

CARDNETセンターの代行処理として、送信先判定代行処理、およびオーソリ代行処理等で使用する会員番号フィールドは、カード会社センターが持ち込んだ判定情報により取得される。

代行処理仕様の詳細は「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

9. 3 加盟店識別方法

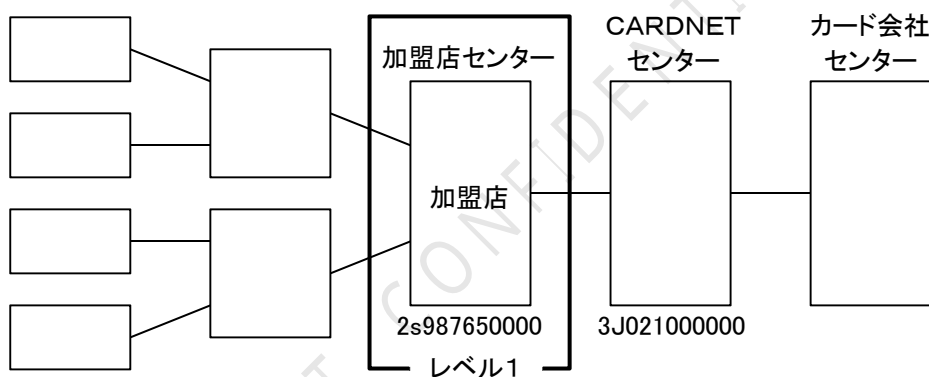
9. 3. 1 センター間取引

加盟店は、①差出センターID（共通制御ヘッダー部）、②加盟店会社コード（BIT32）、③加盟店端末番号（BIT41）の組み合わせにより識別される。加盟店の識別番号は加盟店センターにて、実際にカード会社と加盟契約をしている加盟店毎に、下記の各レベルに応じてユニークに採番される。

加盟店の識別レベルは、予め加盟店センターにて選択し、加盟店配下の全加盟店において共通とする。また番号体系は、リンクする加盟店番号等と共に、別途カード会社へ通知を行う事とする。

（1）レベル1（ex. センター単位）

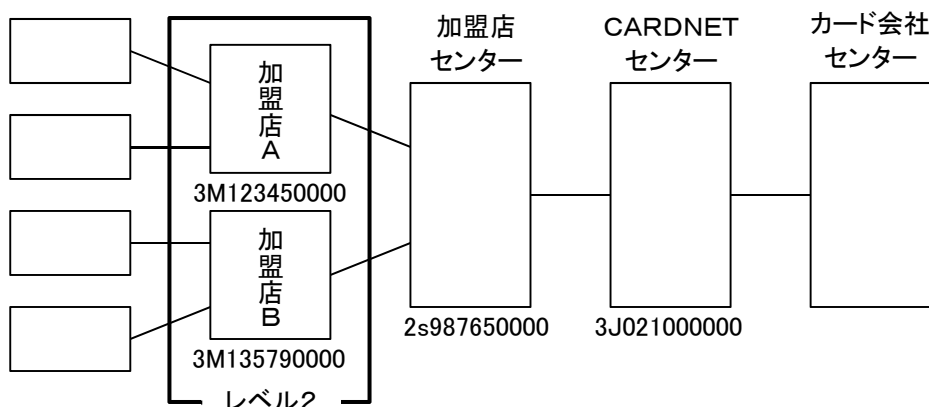
加盟店センター単位で加盟店を識別する場合は、①差出センターID（11桁）により判断される。なお、レベル1で加盟店を識別する場合は、②加盟店会社コードには①と同一コードを設定する。



◎加盟店識別番号 = "2s987650000"

（2）レベル2（ex. 支店単位）

加盟店センター配下の複数加盟店を識別する場合は、②加盟店会社コード（11桁）により判断される。同一加盟店センター配下の加盟店A、および加盟店Bにおける加盟店会社コードの上7桁は、加盟店センターIDの上7桁と必ずしも同一とは限らない。

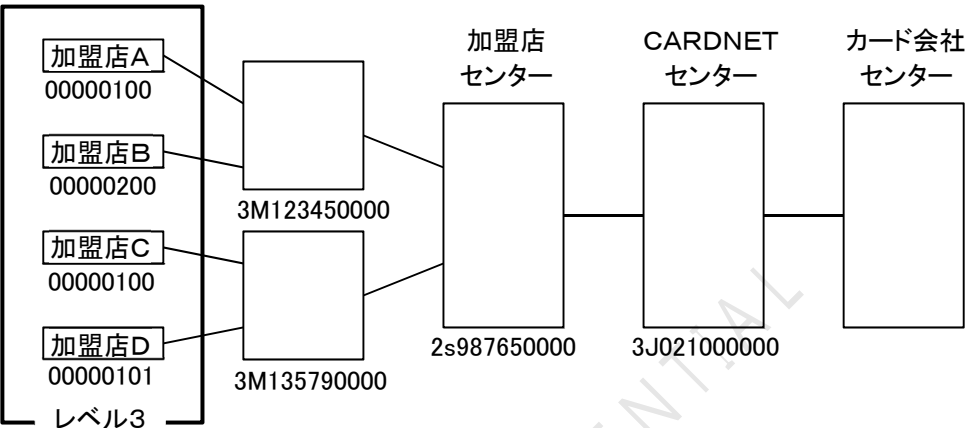


◎加盟店識別番号 = "3M123450000" or "3M135790000"

(3) レベル3 (ex. 売場／端末単位)

加盟店センター配下の加盟店の売場や設置端末を識別する場合は、②加盟店会社コード（11桁）＋③加盟店端末番号（8桁）の組み合わせ合計19桁により判断される。

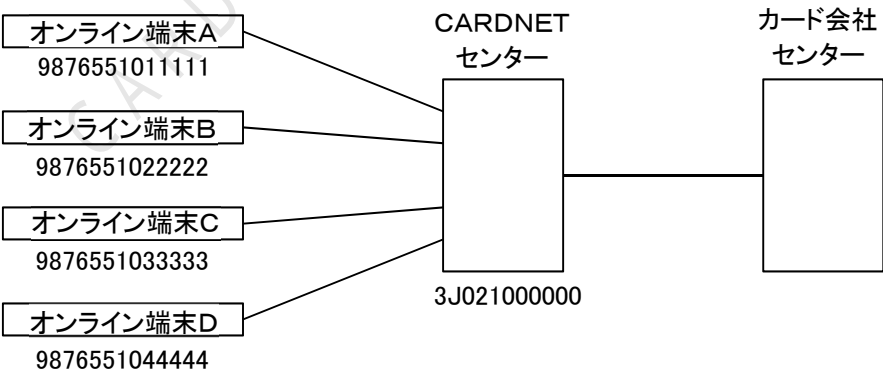
同一加盟店配下の加盟店A、加盟店B、加盟店C、および加盟店Dにおける加盟店会社コードの上7桁は、加盟店センターIDの上7桁と必ずしも同一とは限らない。



◎加盟店識別番号＝“3M123450000”＋“00000100”or
“3M123450000”＋“00000200”or
“3M135790000”＋“00000100”or
“3M135790000”＋“00000101”

9. 3. 2 オンライン端末取引

加盟店は、国内使用予約域（BIT60）の端末識別番号13桁により識別される。



9. 4 日時設定基準

CN手順で使用する日時の設定項目の設定基準、および識別方法を表9-1に示す。

表9-1 日時設定基準

項目名		設定基準
共通制御ヘッダー		送信日時
業務共通ヘッダー		カット対象日付
BODY部	BIT12	現地取引日時
	BIT14	有効期限
	BIT17	収集日
	BIT28	精査日

9. 5 2000年の扱い

CARDNETセンターとの間で送受信される電文項目について、西暦の年が下2桁（YY）で設定されている場合、「00」は「2000年」として処理を行う。

9. 6 エラーコード設定基準

CN手順における取引結果の識別は、BODY部のアクションコード（BIT39）を基本とする。
また、アクションコードの補足情報として、BODY部に国内レスポンスコード（BIT48）を設定する。

9. 6. 1 アクションコード設定基準

アクションコード（BIT39）は、各センターにおける取引結果として要求、またはアドバイスに対する応答電文、アドバイスの要求電文、および汎用通知電文を送信時に必須で設定される。アクションコードの一覧を表9-2に示す。

なお、下記に示すコード値以外のアクションコードは、使用不可とする。

表9-2 アクションコード一覧

項番	アクションコード	内容
オーソリゼーション結果として承認または拒否を示す為に、業務系電文(MTI 1110/1120/1121/1210/1220/1221)にて使用するコード。		
1	000	承認許可
2	100	取扱拒否
3	103	取扱保留、アクアイアラへ連絡
4	200	カード回収、アクアイアラへ連絡
障害取消の結果を示す為に、障害取消電文(MTI 1430)にて使用するコード。		
5	400	取消完了(元取引が金額カウンターの計上有り)
6	480	取消完了(元取引が金額カウンターの計上無し)
オンライン精査の結果を示す為に、オンライン精査電文(MTI 1532/1530)にて使用するコード。		
7	500	オンライン精査成立(精査合計金額一致)
8	501	オンライン精査不成立、オフライン精査要(精査合計金額不一致)
カットオーバー依頼電文(MTI 1644)にて使用するコード。		
9	600	カットオーバー依頼
ネットワーク制御電文(MTI 1814)にて使用するコード。		
10	800	了解(ネットワーク制御処理完了)

表 9-2 アクションコード一覧（続き）

項番	アクションコード	内容
システム障害等により取引の正常処理不可を示す為に、応答電文(MTI 1110/1130/1210/1230/1430/1532/1530/1814)および障害電文通知(MTI 1644)にて使用するコード。		
11	910	オンラインステータス開局以外
12	909	障害中(システム不調)
13	917	電文認証キー同期エラー(KMAC)
14	919	電文暗号化キー同期エラー(KPE、KC)
15	904	フォーマットエラー(電文精査エラー)
16	913	取引二重受信
17	914	元取引無し、取消済み(取消／返品、障害取消)
18	911	被仕向センター送信タイムアウト
19	940	代行判定エラー、契約チェックエラー 注1

注1：CARDNETセンターでのみ設定可能なコード値とする。接続先センターがCARDNETセンターの各種代行サービスを利用する場合に、代行判定処理のエラー情報として設定される。代行処理仕様の詳細については「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

9. 6. 2 国内レスポンスコード設定基準

国内レスポンスコード（BIT48）は、アクションコード（BIT39）の詳細理由、およびエラー箇所の特定期間として使用される。国内レスポンスコードは、各センターにおいて必須で設定される。

(1) コード体系

接続先センターおよびオンライン端末のエラーコードは、GXXとする。また、CARDNETセンターのエラーコードは、GXXおよびCN手順の独自コードであるPXX、EXX、KXXとする。

CAFISセンターのエラーコードはCXXとする。先頭の接頭文字はエラー箇所の特定情報として使用する。国内レスポンスコードの種別、および体系を表9-3、図9-2に示す。

表9-3 国内レスポンスコード種別

コード種別	内容
GXX	接続先センター、オンライン端末およびCARDNETセンターにて設定するエラーコード。
PXX	仕向センターとCARDNETセンター間のエラー発生時にCARDNETセンターが設定する独自コード。
EXX	CARDNETセンター内部のエラー発生時にCARDNETセンターが設定する独自コード。
KXX	CARDNETセンターと被仕向センター間のエラー発生時にCARDNETセンターが設定する独自コード。
CXX	CAFISセンターにて設定するエラーコード。(※)

※CAFIS手順データ部1-0承認コードエリアに設定された値をCN手順に変換する。

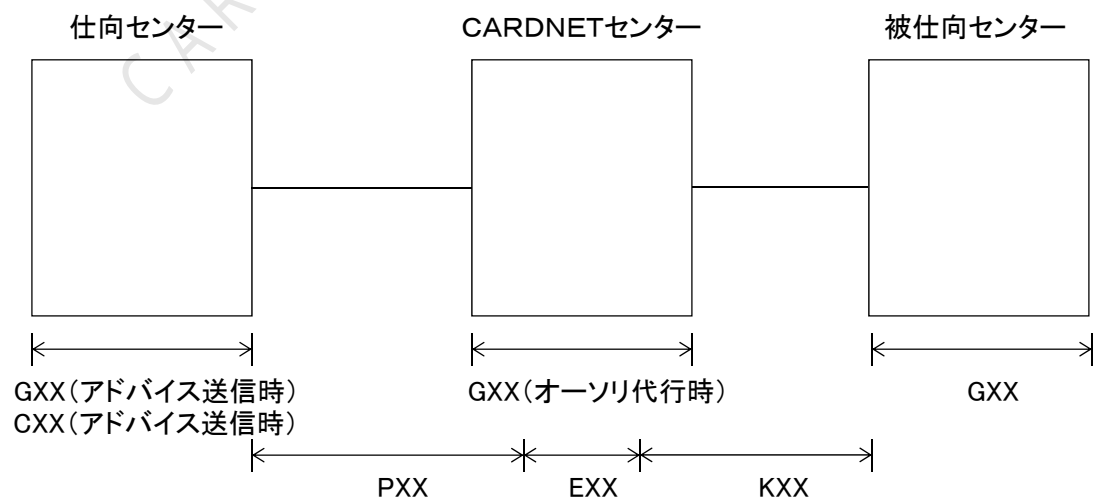


図9-2 国内レスポンスコード体系

(2) コード値一覧

国内レスポンスコード（BIT48）の一覧とアクションコード（BIT39）の対応を表 9-4～表 9-9 に示す。

表 9-4 国内レスポンスコード一覧（GXX）～接続先センター設定分

項番	コード値	内容
接続先センターが設定するエラーコード。設定基準は各接続先にて任意とする。		
1	スペース	許可
2	G12	カード使用不可(クレジットカードが使用不可能なとき)
3	G30	保留(取引の判定が保留と見なされたとき)
4	G42	暗証エラー(暗証番号の入力が誤っていたとき)
5	G44	セキュリティコード誤り
6	G45	セキュリティコード入力無
7	G46	JIS2面情報エラー
8	G54	利用回数エラー(1日の利用回数または金額をオーバーしているとき)
9	G55	限度額オーバー(1日の限度額をオーバーしているとき)
10	G56	無効カード、カード取込(無効カードが入力されたとき)
11	G60	事故カード(事故カードが入力されたとき)
12	G61	無効カード(無効カードが入力されたとき)
13	G65	会員番号エラー(会員番号の入力が誤っていたとき)
14	G67	商品コードエラー(商品コードの入力が誤っていたとき)
15	G68	金額エラー(金額の入力が誤っていたとき)
16	G69	税・その他エラー(税・その他の入力が誤っていたとき)
17	G70	ボーナス回数エラー(ボーナス回数の入力が誤っていたとき)
18	G71	ボーナス月エラー(ボーナス月の入力が誤っていたとき)
19	G72	ボーナス金額エラー(ボーナス金額の入力が誤っていたとき)
20	G73	支払開始月エラー(支払い開始月の入力が誤っていたとき)
21	G74	分割回数エラー(分割回数が入力が誤っていたとき)
22	G75	分割金額エラー(分割金額の入力が誤っていたとき)
23	G76	初回金額エラー(初回金額の入力が誤っていたとき)

表 9-4 国内レスポンスコード一覧 (GXX) ~接続先センター設定分 (続き)

項番	コード値	内容
接続先センターが設定するエラーコード。設定基準は各接続先にて任意とする。		
24	G77	業務区分エラー(業務区分の入力が誤っていたとき)
25	G78	支払方法エラー(支払方法の入力が誤っていたとき)
26	G80	取消区分エラー(取消区分の入力が誤っていたとき)
27	G81	取扱区分エラー(取扱区分の入力が誤っていたとき)
28	G83	有効期限エラー(有効期限切れのクレジットカードが入力されたとき)
29	G84	承認番号エラー(承認番号の入力が誤っていたとき)
30	G85	CAFIS代行処理エラー(CAFIS代行処理時にJIS-1カード契約がないとき)
31	G92	任意メッセージ出力(カード会社で任意のメッセージを出力したいとき)
32	G94	サイクル通番エラー(サイクル通番が規定値以上または数字でないとき)
33	G95	カード会社終了(クレジットカード会社の当該業務の運用が終了しているとき)
34	G97	当該要求拒否、取扱不可
35	G98	対象業務エラー(接続クレジットカード会社の対象業務でない)
36	G99	接続要求受付拒否

表 9-5 国内レスポンスコード一覧 (GXX) ~ICオフライン取引時設定分

項番	コード値	内容	アクションコード	内容
ICオフライン取引時に、オンライン端末および仕向センターが設定するエラーコード。				
1	G14	PINバイパス実行後のオフライン拒否(MS遷移あり)	100	取扱拒否
2	G15	オンライン処理失敗後の2nd Generate ACでのオフライン拒否		
3	G16	G14、G17、G18以外の1st Generate ACでのオフライン拒否		
4	G17	PINバイパス実行後のオフライン拒否(MS遷移なし)		
5	G18	PIN誤入力回数オーバー時(PINブロック時)のオフライン拒否		

注：一部のオンライン端末では、G12またはG92が設定される。
 詳細については「CARDNETオンライン端末説明書」を参照。

表 9-6 国内レスポンスコード一覧 (GXX) ~CARDNETセンター設定分

項番	コード値	内容	アクションコード	内容
CARDNETセンターがオーソリ代行処理を行った場合に設定するエラーコード。				
1	G12	IQCサービスコードチェックエラー(カード使用不可)	100	取扱拒否
2	G54	累積利用チェックエラー・回数(利用回数エラー)		
3	G55	〃 ・金額(限度額オーバー)		
4	G65	チェックディジットチェックエラー(会員番号エラー)		
5	G83	有効期限チェックエラー(有効期限エラー)		
6	G12	無効通知情報チェックエラー・拒否(無効カード)		
7	G30	〃 ・保留(保留)	103	取扱保留
8	G56	〃 ・回収(無効カード、カード取込)	200	カード回収

注：CARDNETセンター代行処理仕様の詳細については「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

表 9-7 国内レスポンスコード一覧 (PXX)

項番	コード値	内容	アクションコード
CARDNETセンターが仕向センターの要求電文受信時にシステム系エラーを検知した場合に設定するコード。			
1	P01	オンラインステータス開局以外	910
2	P12	キー同期エラー(KPE)	919
3	P30	取引二重受信	913
4	P31	元取引無し(障害取消)	914
5	P50	仕向契約無し	940
6	P51	イシュア判定処理エラー 注1	
7	P52	アクアイアラ判定処理エラー 注1	
8	P53	加盟店契約判定処理エラー 注1	
9	P54	イシュア契約判定処理エラー 注1	
10	P55	送信先判定処理エラー 注1	

表 9-7 国内レスポンスコード一覧 (PXX) ~続き

項番	コード値	内容	アクションコード
CARDNETセンターが仕向センターの要求電文受信時にシステム系エラーを検知した場合に設定するコード。			
11	P65	会員番号入力エラー	904
12	P68	金額入力エラー	
13	P69	税・その他入力エラー	
14	P70	ボーナス回数入力エラー	
15	P71	ボーナス月入力エラー	
16	P72	ボーナス金額入力エラー	
17	P73	支払開始月入力エラー	
18	P74	分割回数入力エラー	
19	P75	分割金額入力エラー	
20	P76	初回金額入力エラー	
21	P78	セパレータ設定エラー	
22	P80	取消区分入力エラー	
23	P81	取扱区分入力エラー	
24	P83	有効期限入力エラー	
25	P84	承認番号入力エラー	
26	P90	フォーマットエラー (BODY部フィールド妥当性・保証項目チェックエラー)	

注 1 : 接続先センターがCARDNETセンターの各種代行サービスを利用する場合に、代行判定処理のエラー情報として設定される。代行処理仕様の詳細については「CARDNET 接続条件書 (代行機能編)」を参照。

表 9-8 国内レスポンスコード一覧 (EXX)

項番	コード値	内容	アクションコード
CARDNETセンターがCARDNETセンター内部のシステム系エラーを検知した場合に設定するコード。			
1	E90	CARDNETセンター内部障害	909

表 9－9 国内レスポンスコード一覧 (KXX)

項番	コード値	内容	アクションコード
CARDNETセンターが被仕向センターへ要求電文送信時、応答電文受信時、または要求電文受信時にシステム系エラーを検知した場合に設定するコード。			
1	K01	オンラインステータス開局以外 注1	910
2	K02	障害中(システム不調)	909
3	K40	被仕向センター送信タイムアウト	911
4	K50	被仕向契約無し	940

注 1 : CAFISセンターのオンラインステータス開局以外を含む。

CARDNET CONFIDENTIAL

9. 6. 3 エラーコード編集処理

CARDNETセンターにおけるエラーコードの変換仕様を定義する。エラーコードの編集処理は、CAFISセンター経由の接続等を考慮し、以下の3パターンを想定する。

(1) アクションコード(BIT39) → 国内レスポンスコード(BIT48)
or
エラーコード

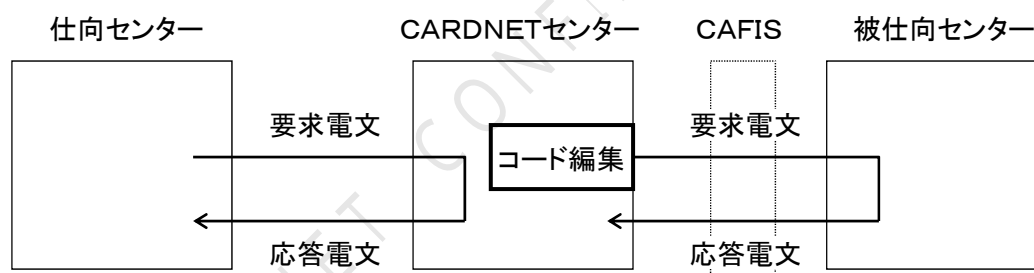
(2) エラーコード → アクションコード(BIT39)

(3) 国内レスポンスコード(BIT48) → エラーコード

(1) アクションコードおよび国内レスポンスコード（エラーコード）編集処理

CARDNETセンターは、①仕向センターからのアドバイスの要求電文受信時、②被仕向センターからの要求の応答電文受信時に国内レスポンスコードがデフォルト設定（設定フラグ“00”かつ国内レスポンスコードがスペース）の場合、アクションコードに従い国内レスポンスコードを編集する。

① アドバイス中継時のコード編集処理



注：CAFIS経由の電文中継時、エラーコードは、データ部1-0 承認コードエリアに設定する。

② 要求中継時のコード編集処理

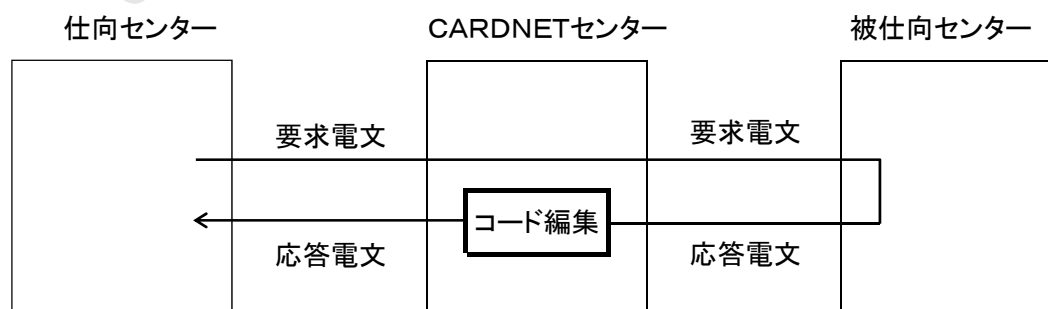


表 9-9 アクションコード・国内レスポンスコード変換表

項番	アクションコード	国内レスポンスコード	内容
1	000	スペース	承認許可
2	100	G12	取扱拒否(カード使用不可)
3	103	G30	取扱保留、アクアイアラへ連絡(保留)
4	200	G56	カード回収、アクアイアラへ連絡(無効カード、カード取込)
5	その他	G99	(接続要求受付拒否)

(2) エラーコードおよびアクションコード編集処理

CARDNETセンターは、①CAFIS経由の被仕向センターからの要求の応答電文受信時にエラーコードに従いアクションコードを編集する。

①要求中継時のコード編集処理

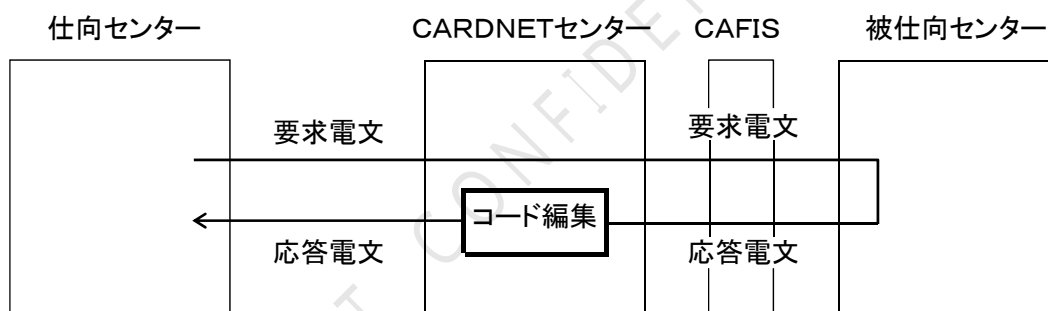


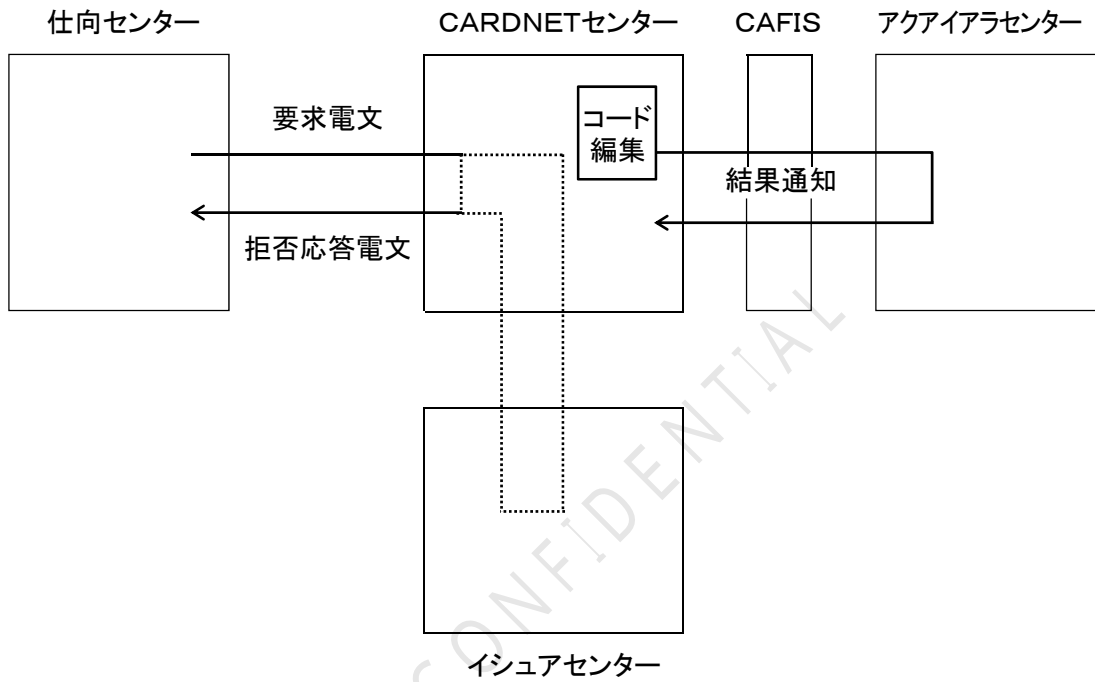
表 9-10 エラーコード・アクションコード対応表

項番	エラーコード	アクションコード	内容
1	スペース	000	承認許可
2	CXX	909	CAFISセンターにて検知したエラー(障害中、システム不調)
3	G30	103	保留 (取扱保留、アクアイアラへ連絡)
4	G56	200	無効カード、カード取込(カード回収、アクアイアラへ連絡)
5	その他	100	(取扱拒否)

(3) 国内レスポンスコード・エラーコード編集処理

CARDNETセンターは、①仕向センターへの要求の応答電文を折返し送信時に、CAFIS経由の被仕向センターへ結果通知を送信する場合、国内レスポンスコードに従いエラーコードを編集する。

①要求中継時のコード編集処理（イシュアダイレクト時）



注 1：CAFIS経由の結果通知中継時、エラーコードは、データ部 1－0 承認コードエリアに設定する。

注 2：イシュアダイレクト処理の詳細は「CARDNET接続条件書（代行機能編）」を参照。

表 9－1 1 国内レスポンスコード・CAFISエラーコード対応表

項番	国内レスポンスコード	エラーコード	内容
1	PXX KXX	G99	CARDNETセンターが検知した被仕向センター側のエラー（接続要求受付拒否）

9. 7 CAFIS手順への変換について

被仕向センターがCAFIS経由接続の場合、仕向センターからCN手順で受信した電文をCAFIS手順に変換して被仕向センターへ送信する。本項では、特に留意すべき変換仕様や各手順の違いについて記載する。

9. 7. 1 BIT22：POSデータコードを使用した変換

(1) 1桁目

BIT22：POSデータコード（1桁目）は、CAFIS手順のデータ部9-7-1、9-7-4の「IC対応端末フラグ」の設定に使用する。変換仕様は下表のとおり。

表9-12 CAFIS手順「IC対応端末フラグ」の設定仕様

CN手順 BIT22:POSデータコード 1桁目	CAFIS手順 データ部9-7-1, 9-7-4 IC対応端末フラグ
5/C	1:接触EMV対応端末(MS+IC)端末
A	3:非接触EMV対応端末、接触EMV有り
B	4:非接触MS専用端末、接触EMV無し
上記以外	0:初期値(設定不可)または接触MS専用端末(接触EMV無し)

(2) 2桁目

BIT22：POSデータコード（2桁目）は、CAFIS手順のデータ部9-7-1、9-7-3、9-7-4の「PIN入力機能」の設定に使用する。変換仕様は下表のとおり。

表9-13 CAFIS手順「PIN入力機能」の設定仕様

CN手順 BIT22:POSデータコード 2桁目	CAFIS手順 データ部9-7-1, 9-7-3, 9-7-4 PIN入力機能
1/7/8/9	1:PIN入力可能
上記以外	0:不明

(3) 7桁目

BIT22: POSデータコード(7桁目)は、CAFIS手順のデータ部9-7-1、9-7-3、9-7-4の「PAN入力モード」の設定に使用する。変換仕様は下表のとおり。

表9-14 CAFIS手順「PAN入力モード」の設定仕様

CN手順 BIT22: POSデータコード 7桁目	CAFIS手順 データ部9-7-1, 9-7-3, 9-7-4 PAN入力モード
1/6/Y	01: マニュアル入力(非接触)
2	90: MS読込(接触)
5/V	05: 接触ICチップ読込(EMV仕様)
A	07: 非接触ICチップ読込(EMV仕様)
B	91: MS読込(非接触)
S/T/U	95: フォールバック
上記以外	(データ部9-7-1, 9-7-3, 9-7-4は設定されない)

9. 7. 2 3-D Secure関連情報の設定方法

CN手順とCAFIS手順では、3-D Secureのバージョン毎の3-D Secure関連情報の設定有無が異なる。CN手順からCAFIS手順へ変換する際の3-D Secure関連情報の設定有無を表9-15に示す。

表9-15 CN手順からCAFIS手順へ変換時の3-D Secure関連情報の設定有無

3-D Secureの バージョン	CN手順(注1)		CAFIS手順	
	BIT63 タグA03	BIT63 タグA07	データ部 9-1-2	データ部 9-1-3
1. 0	○	×	○	×
2. 0	○	△(注2)	○	○(注3)

[凡例] ○: 設定あり、×: 設定なし、△: 任意

(注1) 仕向要求電文のBIT63 タグA03の「3DS2. 0認証フラグ」が“1”の場合、3DS2. 0の取引と判断する。

(注2) 使用有無はカード会社の基準による。

(注3) 仕向要求電文にタグA07が設定されていない場合、被仕向要求電文のデータ部9-1-3の「DS Transaction ID」と「3DS Server Transaction ID」には、ALLスペースを設定して、被仕向センターへ中継する。

CARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）＜第5．3版＞	
2021年9月	
株式会社日本カードネットワーク	
Copyright（C）2021．9	複写・無断転用厳禁
株式会社日本カードネットワーク	